# 竜王町総合庁舎別館改修工事実施設計図書

竜王町総合庁舎別館改修工事　　図面リスト

| No | 図面名称 | SCALE | No | 図面名称 | SCALE | No | 図面名称 | SCALE | No | 図面名称 | SCALE |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 【建築工事　意匠図】 | - | A | 【建築工事　意匠図】 | - | E | 【電気設備工事】 | | M | 【機械設備工事】 | |
| ０１ | 建築工事特記仕様書（１） | - | ３１ | 既存　建具配置図 | 1/100 | ０１ | 特記仕様書１ | ― | ０１ | 機械設備工事特記仕様書 | ― |
| ０２ | 建築工事特記仕様書（２） | - | ３２ | 既存　建具表１ | 1/50 | ０２ | 特記仕様書２ | ― | ０２ | 衛生器具機器表（新設・撤去） | ― |
| ０３ | 建築工事特記仕様書（３） | - | ３３ | 既存　建具表２ | 1/50 | ０３ | 幹線系統図 | ― | ０３ | 給排水設備１・２階平面図（現況） | 1/100 |
| ０４ | 建築工事特記仕様書（４） | - | ３４ | 改修　建具配置図 | 1/100 | ０４ | キュービクル結線図 | ― | ０４ | 給排水設備１階平面詳細図（現況） | 1/50 |
| ０５ | 附近見取図　配置図 | 1/2500 1/500 | ３５ | 改修　建具表 | 1/50 | ０５ | 分電盤結線図１ | ― | ０５ | 給排水設備２階平面詳細図（現況） | 1/50 |
| ０６ | 既存改修　仕上表 | - | ３６ | 仮設計画図（参考） | 1/300 1/150 | ０６ | 分電盤結線図２ | ― | ０６ | 給排水設備１・２階平面図（改修） | 1/100 |
| ０７ | 改修　平面図 | 1/100 | ３７ | 可動間仕切　配置図 | 1/50 | ０７ | 分電盤結線図３ | ― | ０７ | 給排水設備１階平面詳細図（改修） | 1/50 |
| ０８ | 改修　立面図 | 1/100 | ３８ | 可動間仕切　断面図 | 1/5 | ０８ | 撤去キュービクル結線図 | ― | ０８ | 給排水設備２階平面詳細図（改修） | 1/50 |
| ０９ | 改修　断面図 | 1/100 | ３９ | 家具詳細図 | 1/20 | ０９ | 幹線設備撤去平面図 | 1/100 | ０９ | 換気設備　機器表（新設・撤去） | ― |
| １０ | 既存　矩計図 | 1/30 | ４０ | 鋼製引戸、トイレブース　断面詳細図 | 1/5 | １０ | 幹線設備改修平面図 | 1/100 | １０ | 換気設備１・２階平面図（現況） | 1/100 |
| １１ | 改修　矩計図 | 1/30 | ４１ | 鋼製床詳細図　０１ | 1/30 | １１ | 掘削断面図 | 1/100 | １１ | 換気設備１階厨房平面図（現況） | 1/30 |
| １２ | 既存改修　渡り廊下・階段　断面詳細図 | 1/50 | ４２ | 鋼製床詳細図　０２ | 1/10 | １２ | 発電機仕様図 | ― | １２ | 換気設備１・２階平面図（改修） | 1/100 |
| １３ | 既存　１階平面詳細図 | 1/50 | ４３ | サインキープラン | 1/100 | １３ | 発電機系統図 | ― | １３ | 空調設備　機器表（新設・一時撤去再取付・撤去） | ― |
| １４ | 既存　２階平面詳細図 | 1/50 | ４４ | サイン詳細図　０１ | ― | １４ | 地下タンク仕様図 | ― | １４ | 空調設備１・２階平面図（現況） | 1/100 |
| １５ | 既存　展開図（１） | 1/50 | ４５ | サイン詳細図　０２ | ― | １５ | 空調、動力設備撤去図 | 1/100 | １５ | 空調設備１・２階平面図（改修） | 1/100 |
| １６ | 既存　展開図（２） | 1/50 | ４６ | サイン詳細図　０３ | ― | １６ | 別館空調動力設備改修図 | 1/100 | １６ | 空調設備１・２階平面図（計装改修） | 1/100 |
| １７ | 既存　展開図（３） | 1/50 | ４７ | 外構詳細図１ | 1/150 | １７ | コンセント設備撤去図 | 1/100 | １７ | 空調設備２階全体平面図（計装改修） | 1/100 |
| １８ | 既存　展開図（４） | 1/50 | ４８ | 外構詳細図２ | ― | １８ | コンセント設備改修図 | 1/100 | | | |
| １９ | 既存　展開図（５） | 1/50 | | | | １９ | 電灯設備撤去図 | 1/100 | | | |
| ２０ | 既存　展開図（６） | 1/50 | | | | ２０ | 電灯設備改修図 | 1/100 | | | |
| ２１ | 既存　展開図（７） | 1/50 | | | | ２１ | 駐車場外灯設備図 | 1/100 | | | |
| ２２ | 改修　１階平面詳細図 | 1/50 | | | | ２２ | 電灯設備改修図（リモコンスイッチ配線図） | 1/100 | | | |
| ２３ | 改修　２階平面詳細図 | 1/50 | | | | ２３ | 電灯設備（トイレ廻り）改修図 | 1/50 | | | |
| ２４ | 改修　展開図（１） | 1/50 | | | | ２４ | 誘導灯・非常灯設備改修図 | 1/100 | | | |
| ２５ | 改修　展開図（２） | 1/50 | | | | ２５ | 拡声・テレビ共聴設備撤去図 | 1/100 | | | |
| ２６ | 改修　展開図（３） | 1/50 | | | | ２６ | 拡声・テレビ共聴・トイレ呼出設備改修図 | 1/100 | | | |
| ２７ | 改修　展開図（４） | 1/50 | | | | ２７ | 自動火災報知設備撤去図 | 1/100 | | | |
| ２８ | 改修　展開図（５） | 1/50 | | | | ２８ | 自動火災報知設備改修図 | 1/100 | | | |
| ２９ | 既存　天井伏図 | 1/100 | | | | ２９ | 構内通信線路設備 | 1/150 | | | |
| ３０ | 改修　天井伏図 | 1/100 | | | | ３０ | 電話設備仕様書 | ― | | | |
| | | | | | | ３１ | 電話設備機器参考姿図 | ― | | | |
| | | | | | | ３２ | 電話情報設備撤去図 | 1/100 | | | |
| | | | | | | ３３ | 電話情報設備改修図 | 1/100 | | | |
| | | | | | | ３４ | 別館～防災センター電話情報設備、地震計撤去改修図 | 1/200 | | | |

竜　王　町　総　務　課

株式会社　丸山建築事務所

# 建築工事特記仕様書

## Ⅰ 工事概要

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 |
| 工事場所 | 竜王町大字小口３番地　　敷地面積　10,298.47 ㎡ |
| 用途規制 | 第１種低層　第２種低層　第１種中高層　第２種中高層　第１種住居　第２種住居 |
| 準住居　近隣商業　商業　準工業　工業　工業専用　指定なし | |
| 防火規制 | 防火地域　準防火地域　法22条指定区域　指定なし |
| その他の規制 | 風致地区　自然公園　宅造規制区域　市街化区域　市街化調整区域 |
| | 風速　Vo（　３４　）m／ｓｅｃ　地表面粗度区分（　Ⅳ　） |
| | ・多雪区域　垂直積雪量（　　９５　　）ｃｍ |
| 工事期間・限 | 令和　５年　１１月　３０日　予定 |
| 工事種目 | 新築　増築　改修　解体　改築 |

| NO | 名称 | 工種 | 構造 | 室面積（㎡） 1階 | 2階 | | 室別合計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 別館 | 改修 | RC | 529.16 | 417.39 | | 946.55 | |
| 2 | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | 946.55 | |

概要説明
- 本館業務のうち、商工観光課、建設計画課、農業振興課、上下水道課の執務室を移設する。
- 上記に伴う内部改修工事を行う。
- 上記工事に伴う電気設備工事を行う。
- 上記工事に伴う機械設備工事を行う。
- 本館からの渡り廊下にスロープ設置工事を行う。

別途工事

## Ⅱ 建築工事仕様

1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書　最新版」（以下「標仕」という）および「公共建築改修工事標準仕様書　最新版」（以下「改修標仕」という）による。（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　「建築工事監理指針　最新版」および「建築改修工事監理指針　最新版」を参考とする。）

2 特記仕様　1　項目は番号に ◯ 印のついたものを適用する。
2　特記事項は　・ 印のついたものを適用する。
・ 印のない場合は ※ 印のあるものを適用する。
・ 印と ※ 印のある場合はともに適用する。
3　特記事項に記載の（　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該表、当該図を示す。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 1 一般共通事項 | ①施工基準 | 本工事は、滋賀県建設工事執行規則に基づき、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書を含む図面　100　葉、標仕により完全に施工する。<br>上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。　(1.1.1) |
| | ②完成図 | 完成図の種類、記入内容および様式は標仕により作成し、原図、ＣＡＤデータおよび焼付製本（Ａ１サイズ）３　部を提出するものとする。なお、標仕の表1.7.1.0の完成図に本特記仕様書を加えたものとする。　(1.7.1,1.7.2) |
| | ③保全に関する資料 | 保全に関する資料は標仕により作成し、監督職員に指示された必要部数の原本、複写図および電子データを提出するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督職員の指示による。　(1.7.3) |
| | ④工事写真 | 工事管理写真はカラーとし、その内容が明確に判別できるものとする。デジタル写真とする場合、使用するデジタルカメラの総画素数は200万画素以上、記録画素数は640×480画素以上とする。 |

| 区分 | 分類・規格 | 撮影箇所 | 部数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 着工前 | サービス版 | ・ 4 ◯ 9 ・ 30 | 1 | 状況によりつなぎ写真 |
| 工事中 | サービス版 | | 1 | 適宜,ｱﾌﾊﾟｽﾄ撤去は工程毎 |
| 完成時 | サービス版 | ・ ◯ 9 ・ 12 | 3 | 完了届提出用 |
| 定期提出 | サービス版 | ※ 3 ・ 6 ・ 9 | 1 | 工事月報用 |
| 竣工写真 | ※ サービス版 ・ キャビネ版 | ・ ◯ 3 ・ 7 | 2 | 主として外観 |
| | サービス版 | ・ ・ 10 ◯ 20 | 2 | 主として内観 |
| | 竣工写真については、銀版写真の場合はネガ、デジタル写真の場合はファイル形式をＪＰＥＧとし、ＣＤ-ＲＯＭにて提出すること。 | | | |

工事写真の撮影要領は、「工事写真の撮り方・建築編」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。　工事写真キャビネ版はアルバム台紙に、サービス版は工事写真帳に貼り付けて提出すること。

| | | |
|---|---|---|
| ⑤技術検査 | 工事施工途中において、適宜中間技術検査を行う。　(1.6.2) |
| ⑥現場代理人 | 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。<br>契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事における現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する運用基準（滋賀県土木交通部）」による。<br>①現場代理人の常駐を要しない期間<br>・ 請負契約の締結の日の翌日から令和　年　月　日までの期間については、現場代理人の工事現場への常駐は要しない。<br>◯ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。<br>なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。<br>②工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。<br>現場代理人は、発注者との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。 |
| ⑦技術管理 | 受注者は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理にあたらせること。<br>①　技術者の専任を要しない期間<br>・ 請負契約の締結の日の翌日から令和　年　月　日までの期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任は要しない。<br>◯ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。<br>なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。<br>②　滋賀県建設工事請負契約約款（以下「契約約款」という）第31条第2項の規定に基づく検査を完了した日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。<br>なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日（契約約款第31条第6項に該当するものを含む）とする。<br>また、日程の都合上、契約工期満了後に検査が行われる場合は、契約工期満了後の監理技術者等の工事現場への専任を要しない。 |
| ⑧技能士 | 各工種の作業については、極力技能士の資格を有する者に作業をあたらせること。　(1.5.2)<br>また、受注者は、◯印のついた工事種別および技能検定の職種について、職業能力開発促進法による一級技能士または単一等級の資格を有する者、１職種１名以上該当工事作業中工事現場（資材製作加工の場合は製作所）に常勤させるとともに、作業に先立ち事前にその氏名等を監督職員に届け出なければならない。<br>・ 仮設工事(とび)　・ 鉄筋工事(鉄筋)　・ コンクリート工事（ 型枠 ・ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送）<br>・ 鉄骨工事(構造物鉄工)　・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ/ALCﾊﾟﾈﾙ工事（ CB積 ・ ALCﾊﾟﾈﾙ施工）<br>・ 防水工事（ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 ・ 合成ｺﾞﾑｼｰﾄ防水 ・ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水 ・ 塩ビシート防水 ・ ｾﾒﾝﾄ系防水 ・ ｼｰﾘﾝｸﾞ）<br>・ 石工事（ ・石張り ・ 石積み ・ 石材加工）　・ タイル工事(タイル張り)　・ 木工事(建築大工)<br>・ 屋根及びとい工事（ ・屋根金属薄板葺きおよびとい設置　・ かわらぶき　・ 石綿スレート葺き）<br>・ 金属工事(鋼製下地)　・ 左官工事（ ・金こて仕上、ｾﾙﾌ塗り,吹付 ・ 断熱硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付）<br>・ 建具工事（ ・ｻｯｼ施工 ・ｶﾞﾗｽ加工取付 ・ 木製建具加工取付 ・ 自動ドア取付）　・ 塗装工事(塗装)<br>・ カーテンウォール工事(金属製カーテンウォール施工)<br>・ 内装工事（ ・表具 ・ 壁装 ・ 畳製作施工 ・ ﾌﾞﾗｽﾁｯｸ系床施工 ・ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床施工 ・ ｶｰﾃﾝ施工 ・ ｷﾞｰﾄﾞ仕上）<br>・ 排水工事(配管)　・ 植栽工事(植栽)　・ 外壁改修工事(樹脂接着剤注入施工) |
| ⑨建築材料等 | 建築材料等は、極力県内産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。<br>ただし、同等品以上とする場合は監督職員の承認を受けること。<br>工事で使用する各種塗料類、接着剤類、その他の材料のホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆とする。<br>あわせて、その他室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策として、その原因となる物質の含有量が低濃度である材料を極力選定する。（標仕を参考とすること。）　(1.4.1)<br>さらに、環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。<br>（1）グリーン購入法に基づくエコマーク商品<br>（2）建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品、材料<br>（3）滋賀県リサイクル製品認定制度に基づく滋賀県リサイクル製品<br>（参考URL http://www.pref.shiga.jp/d/haikibutsu/gomizero/h2112reeflet.pdf）　(1.4.1)<br>工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとすること。　(1.4.1)<br>製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁　平成18年2月15日）に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。　(1.4.2) |
| ⑩材料の検査に伴う試験 | 試験は、原則として公的試験場で行うものとし、その場所の決定にあたっては監督職員の承諾を受けること。 |
| ⑪特殊な材料の工法 | 標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 |
| ⑫各種検査合格書等 | 各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書およびその写し各１部を提出すること。なお、責任施工のものは、受注契約者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。 |
| ⑬設備工事との取合 | 各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通補強及び仕上げ部分、経量鉄骨天井下地、同壁下地の開口補強は建築工事とする。 |
| ⑭下請け業者の選定 | 各種下請業者、製造所等県下で供給出来るものについては、極力県内業者を選定すること。 |
| ⑮公害対策 | 工事着手前に付近の状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事竣工まで万全の対策を講ずること。 |
| ⑯産業廃業物の処理 | 受注者は、産業廃業物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けること。<br>(1) 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。<br>(2) 「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。また再生資源利用【促進】計画書および同実施書を作成し速やかに報告のこと。<br>(3) 受注者は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第１２条の３によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。　(1.7.11) |
| 17 発生材の処理 | 引渡しを要するもの： |
| ⑱-1保険の付与及び事故の補償（法定外の労災保険の付保） | 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 |
| ⑱-2保険 | 受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。 |
| ⑲安全対策 | ※　工事車両の出入りについては、速度制限を厳守し、危険防止に努めること。また、必要に応じて交通整理員を配置するとともに、近隣家屋に騒音、振動等の公害が発生しないよう留意し、工事全般に万全の対策を講ずること。また、施設運営についても担当者と協議を行い、支障のないよう努めること。<br>※　別添仮設計画図・配置図等により示された仮設計画を参考に、受注者にて構造、施工方法について十分検討のうえ、関係法令に従い安全堅固に設置すること。 |
| ⑳総括安全衛生管理義務者 | 労働安全衛生法第３０条第２項の総括安全衛生管理義務者には、（※建築工事　・ 電気設備工事　・ 機械設備工事）の請負人を指名する。 |
| ㉑シンナー等の保管 | シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止するとともに、保管数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。 |
| ㉒火気の管理 | 喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配置すること。 |
| ㉓過積載防止の措置 | 受注者は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出すること。 |
| ㉔騒音振動の防止 | 受注者は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成13年国土交通省告示第487号）」に基づき指定された建設機械（ｶﾞ97ラベル）を使用すること。 |
| ㉕工事実績情報の作成及び登録 | 受注者は、工事請負代金５００万円以上の工事について、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）入力システムに基づき「登録のための確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けた後、（一財）日本建設情報総合センター(JACIC)に提出するとともに、センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出すること。<br>提出の期限は以下のとおりである。<br>（１）受注時登録データの提出期限は、契約締結後１０日(土、日、祝日、年末年始を除く)以内とする。<br>（２）完了時登録データの提出期限は、工事完了後１０日(土、日、祝日、年末年始を除く)以内とする。<br>（３）施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から１０日以内に変更データを提出しなければならない。<br>登録後は速やかにセンター発行の「登録内容確認書（工事実績）」を監督職員に提出すること |
| 26 余裕期間制度 | １．本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間（契約締結日から工事開始日の前日までの期間）を設定した工事である。<br>取り扱いについては、「工事における余裕期間制度実施要領（令和２年２月）（滋賀県）」および「建設工事における余裕期間制度　運用マニュアル（令和２年２月）（滋賀県土木交通部）」に基づくものとする。<br>２．余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は請負人者の責において行うものとする。<br>３．余裕期間内は主任技術者または監理技術者を配置することを要しない。また、現場代理人は工事現場に常駐しないものとする。<br>４．コリンズへの登録する技術者の従事期間は、実工期をもって登録するものとする。<br>５．請負人は工事開始日の前日までに現場代理人等を定め、所定の様式により届け出るものとする。<br>・（発注者指定方式）<br>６．実工期：令和　年　月　日から 令和　年　月　日まで<br>（余裕期間：契約締結日から令和　年　月　日までの期間、工事開始日：令和　年　月　日）<br>・（任意着手方式）<br>７．実工期：工事開始日から　日間<br>（ただし、令和　年　月　日（工事開始期限日）までに工事を開始すること。）<br>契約締結後において、工事開始日の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事開始日の変更をすることができる。<br>なお、低入札価格調査等により、上記の工事開始日以降に契約締結となった場合には、余裕期間は適用しない。 |
| 27 低入札価格調査制度に基づく措置 | （1)配置技術者の増員<br>建設工事等入札執行要領第１７条第１項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した場合において、監理（主任）技術者とは別に、入札公告に定める監理（主任）技術者の要件と同一の要件を満たす技術者を専任で１名現場に配置しなければならない。<br>なお、当該技術者は、監理（主任）技術者を補助し、監理（主任）技術者と同様の職務を行うものとする。<br>また、当該技術者を求めることになった場合には、その指名その他必要な事項を監理（主任）技術者と同様の方法により届け出ること。<br>(2)施工体制台帳および施工計画書にかかる内容の説明<br>建設工事等入札執行要領第１７条第１項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した場合において、受注者は施工体制台帳および施工計画書の提出に際して、監督職員からその内容の説明を求められたときは、応じなければならない。<br>(3)材料、下請負代金等の支払い状況等の説明<br>建設工事等入札執行要領第１７条第１項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した場合において、毎月の下請負代金の支払い状況が確認できる資料を履行報告に追加して提出すること。<br>また、監督職員から材料費、労務費、下請負代金、その他経費（以下「経費等」という。）の支払いの状況について説明を求められた場合は、これまでに要した経費等の支払いを確認できる資料ならびに今後必要とする経費等とこれにかかる資金の調達方法の資料を提示するとともに、それらの内容について説明を求められた場合は、応じなければならない。<br>(4)工事コスト調査への協力<br>受注者は、建設工事等入札執行要領第１７条第１項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した場合においては、工事コスト調査に協力しなければならない。<br>（概要は県ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.pref.shiga.jp/h/d-kanri/kensetsu_low/index.html を参照のこと）<br>・元請者は、下請者の協力を得て、閣接工事費等諸経費動向調査票（建築工事においては共通費実態調査票）の作成を行い、完了届提出後１週間以内に発注者に提出するものとする。なお、調査票等については、別途、監督職員から指示するものとする。<br>・受注者は、閣接工事費等諸経費動向調査票等について、費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、元請者は、下請者についてもﾋｱﾘﾝｸﾞに参加させるものとする。 |

| | | |
|---|---|---|
| 28 契約後ＶＥ方式に関する特記事項 | １．定義<br>ＶＥ提案とは、契約書第１９条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者（以下「乙」という。）が発注者（以下「甲」という。）に行う提案のことをいう。<br>２．提案の範囲<br>（１）乙がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料および施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。<br>（２）以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含めないものとする。<br>①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴うもの。<br>②契約書第１８条にもとづき条件変更が確認された後の提案。<br>３．ＶＥ提案書の提出<br>（１）乙はＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書（様式１～４）に記載し、甲に提出しなければならない。<br>①設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比および提案理由。<br>②ＶＥ提案の実施方法に関する事項。（当該提案に係る施工条件等を含む）<br>③ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額および算出根拠。<br>④甲が別途発注する関連工事がある場合は、それとの関係。<br>⑤工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項。<br>⑥その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項。<br>（２）甲は、提出されたＶＥ提案書に関する追加資料、図書その他の書類の提出を乙に求めることができる。<br>（３）乙は、ＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに提出できるものとする。<br>（４）ＶＥ提案の提出にかかる費用は、乙の負担とする。<br>４．ＶＥ提案の審査<br>ＶＥ提案の審査は、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。<br>５．ＶＥ提案の採否等<br>（１）甲は、ＶＥ提案の採否について、ＶＥ提案の受領後１４日以内に書面により通知するものとする。ただし、乙の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。<br>（２）提出されたＶＥ提案が適正と認められなかった場合の通知は、その理由を付して行うものとする。<br>（３）甲は、ＶＥ提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第１９条の２の規定に基づくものとする。<br>（４）甲は、ＶＥ提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第２４条の規定により請負代金額の変更を行うものとする。<br>（５）前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。<br>（６）ＶＥ提案が適正と認められた後、契約書第１８条の条件変更が生じた場合において、甲がＶＥ提案に対する変更案を求めた場合、乙はこれに応じるものとする。<br>（７）ＶＥ提案が適正と認められた後、契約書第１８条の条件変更が生じた場合、ＶＥ管理費については原則として変更しないものとする。ただし、双方の責に帰することができない事由（不可抗力や、予測することが不可能な事由等）により、工事の続行が不可能、または著しく工事低減額が減少した場合においては、甲乙協議して変更できるものとする。<br>６．ＶＥ提案の保護<br>ＶＥ提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。<br>７．責任の所在<br>発注者がＶＥ提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。 |
| 29 総合評価方式に関する特記事項 | １．競争参加資格の確認申請時の技術提案内容の担保<br>受注者は、競争参加資格の確認申請時に提出した施工計画等に関する技術提案書（以下、「技術提案書」という。）に基づき、工事を履行しなければならない。<br>２．技術提案内容の施工計画書への反映<br>施工計画書の取り扱いは標仕のとおりであるが、受注者は技術提案書の内容を満足する施工計画書を監督職員に提出しなければならない。なお、施工計画書において、技術提案書の内容を一覧できる様式に整理すること。また、提案事項ごとに具体的な実施方法、履行の確認方法および確認時期について、監督職員の承諾を得るとともにその内容をあわせて施工計画書に記載すること。<br>３．配置技術者等<br>受注者は、技術提案書に記載した配置予定技術者を当該工事の主任技術者または監理技術者あるいは現場代理人として配置しなければならない。<br>４．履行の確認方法<br>（１）技術提案の履行確認のとりまとめについては、「技術提案の履行確認書（以下、「履行確認書」という。）」によるものとする。<br>（２）工事着手前に受注者において「技術提案内容」欄に必要事項を記入し、監督職員の確認を得るとともに、履行確認方法について監督職員と協議の上決定し、原案として施工計画書と併せて提出するものとする。なお、履行確認方法については、技術提案書においてあらかじめ示した方法によるものとする。<br>（３）受注者は完了時に「履行確認の概要」、「各【対策】の履行状況」、「技術提案履行率」、「減点係数」および「技術提案加算点」を記入し、「減点数」を計算したうえ、監督職員へ提出するものとする。<br>（４）計算結果については、受発注者の両者で確認を行うこととする。<br>（５）履行の確認にあたり必要があると認められるときは、監督職員はその理由を受注者に通知して、工事目的物を最小限度破壊して確認することができる。この場合の確認または復旧に要する費用は、受注者の負担とする。<br>５．再度の施工<br>（１）受注者は、前項の確認により技術提案事項が履行できていないことが明らかになったときは、直ちに再度施工または手直しの計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、発注者が再度の施工が適当でないと判断した場合は、この限りではない。<br>（２）受注者は、前項の計画書の内容について監督職員の承諾が得られたならば直ちに実施し、再度監督職員の確認を受けなければならない。<br>６．不履行に対する措置<br>技術提案書に記載された内容について、受注者の責により入札時の提案内容が履行されない場合は、次によりその点数を工事成績評定（法令遵守等）において減点するとともに入札参加者に対する指名停止等の措置を行うものとする。<br>なお、履行確認の対象とするのは、技術提案（簡易な施工計画）および県産材の使用の有無とする。<br>●各着目点の不履行による減点数＝α×β×３<br>α：減点係数（表１のとおり）<br>β：受注者の各着目点の加算点数（ただし、技術提案において加算点評価されなかった内容については$\beta=0.2$とする。）<br>●工事成績評定における減点数＝各着目点の不履行による減点数の総和<br>※「各着目点」は発注者が設定する着目点をいう。また、「県産材の使用」については評価項目単位とする。<br>表１：減点係数（α）<br>履行率 / 減点係数（α）<br>50%未満 / １．０<br>50%以上　75%未満 / ０．６<br>75%以上　90%未満 / ０．３<br>90%以上　100%未満 / ０．１<br>※実績を評価対象とした現場代理人の従事期間における減点係数は、以下のとおりとする。<br><加算点評価の対象となった現場代理人の従事><br>技術提案書に記載した現場代理人が、工期内で途中交代した場合、全体工期に対して従事していた期間より履行率を求め、減点係数（α）を設定し減点する。<br><加算点評価の対象とならなかった現場代理人の従事><br>減点の対象とはしない。<br>※県産材の使用における減点係数は、以下のとおりとする。<br><加算点評価の対象となった資材><br>完了時の使用数量に占める県産材使用量が50%を下回った場合にのみ、減点係数（α）を「１.０」とし減点する。ただし、提案のあった県産材使用量以上の利用が合った場合や真にやむを得ない理由と認められる場合はこの限りでない。<br><加算点評価の対象とならなかった資材><br>減点の対象とはしない。 |

| | | |
|---|---|---|
| 30 施工体制点検 | 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に従い、施工体制を講じること。 |
| 31 設計ＧＬ | ※図示　・監督職員が現場にて決定する。　・既設建築物ＦＬから導き出されるＧＬ |
| 32 揮発性有機化合物の室内濃度測定 | 施工完了時に室内空気中の化学物質濃度測定を実施し、濃度が「文部科学省学校環境衛生基準第１　教室等の環境に係る学校環境衛生基準」に記載の数値以下である事を確認し、報告すること。　(1.5.9)<br>測定箇所：事務室（１．２階）、男子更衣室、書庫、会議室<br>測定化学物質：ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ、ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ |
| 33 不法無線局の排除 | 受注者は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、不法無線局を搭載していると疑わしい車両を発見したときは、速やかに監督職員にその旨報告すること。 |
| 34 取扱説明書の作成 | 竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。　(1.7.3)<br>（部数、詳細については、監督職員の指示による。） |
| 35 近隣住民等への説明 | 受注者は、施工に先立ち地元自治会、近隣住民等に工事施工内容の説明を行うこと。 |
| 36 近隣家屋の調査 | 受注者は、工事の着手前および完了後に、図示部分の近隣家屋・工作物等の調査を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は受注者の責任において現状に復旧すること。<br>また、受注者自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査すること。 |
| 37 ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ | バリアフリー化にあたっては、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」を遵守すること。 |
| 38 住宅性能評価 | 受注者は、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」を遵守し、住宅性能評価書に示された品質を確保すること。 |
| 39 暴力団員等による不当介入の排除 | 滋賀県の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について（「不当介入に関する通報制度」の徹底について）<br>１ 受注者は、暴力団員等（暴力団の構成員および暴力団関係者、その他県発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。<br>２ 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別記様式第１号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。<br>また、受注者は、以上のことについて、下請負人に対して十分に指導を行うものとする。<br>３ 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 |
| 40 環境配慮指針 | 公共建築に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出しなければならない。 |
| 41 週休2日取組促進型工事の実施 | 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休２日に取り組む旨を協議した上で工事を実施する週休２日取組促進型工事（受注者希望方式）である。費用の計上等の運用にあたっては、「（営繕工事版）週休２日取組促進型工事実施要領」により行う。<br>４週８休以上の現場閉所（現場休息）を前提に労務費を補正して予定価格を作成しており、４週８休に満たない場合は、現場閉所（現場休息）の状況に応じて請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。<br>週休２日の取り組みを実施しない場合も、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。<br>なお、本工事が単独発注の場合は「現場閉所」とし、分離発注工事の場合は「現場休息」とするものとする。<br>また、本工事が分離発注工事である場合、受注者は、分離発注工事である他工事の全ての受注者と協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場閉所（現場休息）の予定日等を調整したうえで「実施工程表」等を作成するものとする。 |
| 42 各種申請業務 | 工事に必要な各種申請業務は、すべて受注者の責任において申請を行うこと。<br>許可申請・届出書等の変更が必要な場合は、本工事において手続きを行うこと。 |
| 43 施工計画書の提出を求める工事 | 受注者は、施工計画書の作成にあたり、「その他」の事項として新型コロナウィルス感染症の感染防止対策を記載するものとする。必要と認める拡大防止対策のうち共通仮設および現場管理の範囲を超え、受注者が追加で費用を要する拡大防止対策を行う場合は、受発注者間で設計変更の協議を行うこととする。<br>協議における資料は、受注者の負担により作成することとする。 |
| 44 その他 | 本工事に関連して実施される国、県または関係団体の調査等に協力すること。 |
| 45 建設工事公衆災害防止対策要綱 | 建設業法（昭和24年法律第100号）第25条の27第2項の規定に基づき「建設工事公衆災害防止対策要綱（国土交通省告示第496号、令和元年9月2日、以下（新要綱））」が告示されたため、公共建築工事標準仕様書に位置付ける「建設工事公衆災害防止対策要綱」は新要綱に読み替える。 |
| 46 特例監理技術者 | １．本工事において、建設業法第26条第３項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（１）～（８）の要件を全て満たさなければならない。<br>（１）建設業法第26条第３項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。<br>（２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補または一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。<br>なお、監理技術者補佐の建設業法第２７条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。<br>（３）監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。<br>（４）同一の特例監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に２件までとする。<br>（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一の工事とみなす。）<br>（５）特例監理技術者が兼務できる工事は管内（土木事務所、支所）の工事でなければならない。<br>（６）特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回および主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。<br>（７）特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。<br>（８）監理技術者補佐が担う業務等については、明らかにすること。<br>２．本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、前項（１）～（８）の事項について確認できる書類を下記により提出すること。<br>（１）監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者などの合格証など）<br>（２）（１）の提出書類と同じ<br>（３）監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類<br>（３カ月以上の雇用関係を証明できる健康保険被保険者証の写しなど）<br>（４）特例監理技術者が兼務する工事のＣＯＲＩＮＳの写し等<br>（５）（４）の提出書類と同じ<br>（６）業務分担、連絡体制等を記載した書類（施工計画書など）<br>（７）（６）の提出書類と同じ<br>（８）（６）の提出書類と同じ<br>３．本工事において、特例監理技術者および監理技術者補佐の配置を行う場合、または配置を要さなくなった場合は適切にＣＯＲＩＮＳへの登録を行うこと。 |
| 47 工事着工時提出図書 | 工事着工にあたり、設備工事を含む設計図書一式の二つ折り製本（Ａ１サイズ１部及びＡ３縮小版３部）を作成し、監督職員に提出のこと。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） |

| | |
|---|---|
| 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 |
| 図名 | 建築工事特記仕様書（１） |
| Ｎｏ. | Ａ－０１ |
| 縮尺 | A1：－<br>A3：－ |

## ② 仮設工事

**① 監督員事務所**
監督員事務所の規模　（ ⊙ １０㎡ ・ ２０㎡ ・ ３５㎡ ・ ６５㎡ ・ １００㎡）程度
備　品　　机、いす、書棚、黒板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、安全帯、衣類ロッカー
　　請負人加入電話の子機、冷暖房機器、清火器等監督職員の指示による。

**② 仮囲い**
図示による他、万能鋼板、金網、フェンスバリケード等の仮設計画を立案し、施設管理者、監督職員らと協議の上設置する。

**③ 工事用水**
構内既存の施設　⊙ 利用できる （ ※ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない

**④ 工事用電力**
構内既存の施設　⊙ 利用できる （ ※ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない

**⑤ シート養生**
必要に応じて室内外の壁、天井、床等シートで養生する。
溶接作業を行う場所については、防災シートを使用し、防火対策を講ずる。

**⑥ 足場**
・「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
内部足場　　※脚立、足場板等 ・ ローリングタワー ・ 枠組棚足場
防護シート等　　・防音パネル ・防音シート ・養生シート ・ネット及び養生シート
材料、搬去材等の運搬方法　・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種　［表2.2.1］

**⑦ 既存部分の養生**
既存部分の養生　　※行う（ ※ビニールシート ・　　）
　　・行わない
既存家具等の養生　　⊙行う（ ※ビニールシート ・　　）
　　・行わない
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管　　・行う ⊙行わない（撤去新設）
　　養生の方法　・取り外しのうえ清掃
既存空調室内機の養生　※行う（ ※ポリエチレンフィルム ・　　）
　　・行わない

**⑧ 仮設間仕切り**
⊙設ける（ 図示　　）・Ａ種 ⊙Ｂ種 ※Ｃ種
・設けない

**⑨ 交通誘導員**
交通誘導員を工事車両の出入口など必要と思われるところに適宜配置すること。

## ③ 土工事

**① 埋戻し及び盛土**
種別 ・Ａ種　※Ｂ種（不足分は良質土搬入のこと）・Ｃ種 ・Ｄ種　(3.2.3)（表3.2.1）
・建設汚泥から再生した処理土

**② 建設発生土の処理**　(3.2.5)
※現場説明書による　　⊙構外搬出適切処理
・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し

**3 山留め**　(3.3.1)
・自立鋼矢板　・切梁腹起鋼矢板　・松矢板
・その他（ 法付けオープンカット工法　　）
施工箇所

**④ 騒音・振動の防止**
低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する。

## ④ 地業工事

**① 砂利地業**　(4.6.3)
※再生クラッシャラン　・切込み砂利及び切込み砕石

**2 床下防湿層**　(4.6.6)
施工箇所　※建物内の土間スラブ下
防湿ポリエチレンフィルム　t＝0.15　重ね・のみ込み寸法　250mm以上

## ⑤ 鉄筋工事

**① 鉄筋の種類**　(5.2.1)（表5.2.1）

| 種類の記号 | 呼び名（mm） |
|---|---|
| ⊙SD295A | ※D16以下 ・ |
| ・SD345 | ※D19以上 ・ |

**② 鉄筋の継手**
呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接 ・重ね継手　(5.3.4)

**③ 鉄筋の最小かぶり厚さ**　(5.3.5)
最小かぶり厚さは目地底から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

| 施工箇所 | 標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm） |
|---|---|
| ・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 | ※10 ・ |
| ・ | |

**④ 壁開口部の補強**
一般壁　・Ａ形　・Ｂ形　⊙図示　(別4.2)（別表4.3～4）
耐震壁　・図示

## ⑥ コンクリート工事

**① 普通コンクリートの設計基準強度**　(6.1.4)

| 設計基準強度Ｆｃ（N/mm²） | 施工箇所 |
|---|---|
| ※21 | 建物躯体 |
| ⊙18 | 土間コンクリート、捨てコンクリート |

**② レディーミクストコンクリートの類別**
※Ⅰ類 ・Ⅱ類　(6.1.5)（6.4.1～2）（表6.1.1）

**③ スランプ**　(6.2.3)
工作物のスランプ　15又は18cm
　基礎、地中梁　18cm
　一般部及び土間コンクリート　18cm
　捨てコンクリート　15cm

**④ セメントの種類**
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.2)（6.13.2）（6.16.2）（表6.3.1）
・高炉セメントＢ種　（・　　）

**⑤ 骨材の種類**　(6.3.3)（6.5.4）
※Ａ
・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Ｒt＝3.0kg/m 以下）

**⑥ 混和材料**
※混和剤 ・混和材　(6.3.5)（6.4.8）

**⑦ 調合強度**　(6.4.5)
呼び強度は、設計基準強度（Fc）に、下記の構造体強度補正値（S）を加えた値以上、かつ、品質が所要の規定を満たすものとする。
構造体強度補正値（S）は、下記の表により、ｺﾝｸﾘｰﾄの打ち込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。
コンクリート強度の気温による補正値（単位：N／mm2）　(表6.4.1)

| | コンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温θの範囲（℃） | |
|---|---|---|
| 普通ポルトランドセメント | 8≦θ | 0≦θ＜8 |
| 構造体強度補正値　S（N/mm2） | 3 | 6 |

**8 無筋コンクリート**
設計基準強度　※18N/mm²　(6.14.3)

**9 コンクリート躯体表面の処理**
外装タイル後張り面の躯体表面の処理
(表6.2.3)

**10 コンクリートの打放し仕上**
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種

## 7 鉄骨工事

建築工事特記仕様書（構造関係）による

## ⑧ コンクリートブロック・ＡＬＣパネル工事

**1 補強コンクリートブロック造**
※空洞ブロック16 ・空洞ブロック16－Ｗ　(8.2.2)

**2 コンクリートブロック帳壁及び塀**　(8.3.2)
※標仕表8.3.1及び下表による

| 適用箇所 | | 厚さ（mm） |
|---|---|---|
| ・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁 | | ・150 ⊙120 ・100 |
| ・塀 | 高さ 2m以下 | ・ |
| | 高さ 2mを超える | ・ |
| ・衛生配管用裏積みブロック | | ・100 |

**③ ＡＬＣパネル**　(8.4.2～6)（表8.4.2～4）

| 種類 | 単位荷重（N/m²） | 厚さ（mm） | 取付け工法種別 |
|---|---|---|---|
| ⊙外壁パネル | ・1180 ・1960 | ・100（平ﾌﾟﾛｰﾅｰﾊﾟﾈﾙ） | ・Ａ種 ・Ｂ種 |
| | | ・125（ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ） | ・Ａ種 ・Ｂ種 |
| | | ⊙50 | ・Ａ種 ・Ｂ種 |
| ・間仕切壁パネル | | ※100 ・ | ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種 |
| ・屋根パネル | ・980 | ※100 ・ | ・Ｆ種 ・ |
| ・床パネル | ・2350 ・3530 | ・100 ・150 | |

外壁パネル：（１時間耐火）シポレックス 又は同等品
・床パネルの耐火性能（・1時間 ・2時間）

## ⑨ 防水工事

**1 アスファルト防水**　(9.2.2～3)（表9.2.3～8）

| 種別 | 施工箇所 |
|---|---|
| ・ＡＩ－２ | |
| ・Ａ－２ | |
| ・Ｄ－２ | |
| ・ＢＩ－２ | |
| ・Ｅ－２ | |

アスファルト　※３種 ・４種　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm） ・25 ・　(9.2.2)
　ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護
・乾式保護材 ・押出成形セメント板（厚さ 15mm）　(9.2.5)

**2 改質アスファルトシート防水**　(9.3.2～4)（表9.3.1）

| 種別 | ・ＡＳ－１ ・ＡＳ－２ | 厚さ | （ ） |
|---|---|---|---|
| 施工箇所 | ・ | | |

**3 合成高分子系ルーフィングシート防水**　(9.4.2～3)（表9.4.1）

| 種別 | 厚さ（mm） | 施工箇所 | 仕上げ塗料塗り | 使用分類 |
|---|---|---|---|---|
| ・Ｓ－Ｆ１ | ※1.2 ・ | | ・シルバー | ・非歩行 |
| ・Ｓ－Ｆ２ | ※2.0 ・ | | ・カラー | ・軽歩行 |
| ・Ｓ－Ｍ１ | ※1.5 ・ | | | |
| ・Ｓ－Ｍ２ | ※1.5 ・ | | ・防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張 | |
| ・Ｓ－Ｍ３ | ※1.2 ・ | | | |

**4 金属下地断熱防水工法**
金属下地　JEF建材　ＱＬルーフ
断熱材　面材付ポリスチレンフォーム３種ｂ　t=35mm
　一部
防水工法　非歩行用　機械固定式塩ビシート防水（立上り共）　t＝1.5mm

**5 塗膜防水**　(9.5.3)（表9.5.1）
・ウレタン塗膜防水　Ｘ－２
施工箇所：

**6 塗布防水**
・無機質浸透性塗布防水材　（シラン系浸透性吸水防止材）
施工箇所：スロープ立上り部分

**⑦ シーリング**　(9.6.2)（表9.6.1）

| 種別（記号） | 施工箇所 |
|---|---|
| MS-2（ﾉﾝｽﾞﾘｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ） | 建具周囲水切廻り、換気扇ﾌｰﾄﾞ周囲 |
| PU-2（ﾉﾝｽﾞﾘｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ） | ALC板目地及び躯体取合 |
| SR-1 | 内部壁洗面カウンター取合い、ライニング天板 |

※施工に先立ち簡易接着性試験を行う。　(9.6.5)
※塗装面はノンブリードタイプとする。

**8 責任施工及び保障期間**
防水工事は責任施工とし、保証期間は次のとおりとする。
・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　10年
・合成高分子ｼｰﾄﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　10年
・塗膜防水　10年

## 10 石工事

**1 天然石**
石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)（表10.2.1～2）

| 施工箇所 | 種類 | 産地・名称 | 断面寸法(mm) | 仕上げの種類 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

**2 壁の石張り工法**
外壁石張り　(10.3.2～3)（10.5.2～3）
　工法
内壁石張り　(10.4.2～3)（10.5.2～3）
　工法

**3 床及び階段の石張り**
床石張りの裏面処理　・行う　(10.6.2)
屋内のワックス掛け　・行う　(10.1.5)

## ⑪ タイル工事

**① 陶磁器質タイル**
タイルの種類　(11.2.1)

| 施工箇所 | 形状寸法(mm) | きじ 磁器 | きじ せっ器 | きじ 陶器 | うわぐすり 施ゆう | うわぐすり 無ゆう | 役物 あり | 役物 なし | 色 標準 | 色 特注 | 再生材の適用 G | 備考 参考品番 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 視覚障碍者用床ﾀｲﾙ | 300×300 | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ | | | 視覚障碍者用床ﾀｲﾙ |
| 50角タイル | 45×45 | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない ・行う（※外壁タイル ・　　）

**② 張り付け用材料**
既成調合モルタル

| 保水率(%) | 単位容積質量(kg/l) | 接着強さ(N/mm²) 標準時 | 接着強さ(N/mm²) 温冷繰返し後 | 長さ変化率(%) | 曲げ強さ(N/mm²) |
|---|---|---|---|---|---|
| 70.0以上 | 1.80程度 | 0.60以上 | 0.40以上 | 0.20以下 | 4.0以上 |

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外 ・第三種　(11.2.3)

## 12 木工事

**1 木材の品質**
※標仕12.2.1 ・市販品　(12.2.1)
・保存処理木材を適用する箇所（　　）

**2 樹種**
・杉ＫＤ材（びわ湖材）小節程度：柱・頭つなぎ・化粧土台・木製建具枠・見切材等　(12.2.1)
・杉ＫＤ材（びわ湖材）：大壁柱、間柱、野縁等
※県産材使用数量調書を作成のこと。
※びわ湖材については、「びわ湖材証明書」を提出の上監督員の承認を得ること。

**3 集成材等**　(12.2.2)

| 品名 | 規格・品質 | 芯材の種類 | 化粧単板の樹種 |
|---|---|---|---|
| ・集成材 | ※一般材 | ・たも ・なら ・しおじ | |
| ・構造用集成材 | ・１種 ※２種 ・３種 | ・ | |
| ・造作用集成材（積層材） | ※１等 ・２等 | ・米桧 ・カバ ・たも | |
| ・化粧ばり造作用集成材 | ※１等 ・２等 | ・ | ・ |

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外 ・第三種

**4 接着剤**
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12.2.6)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

**5 防腐・防蟻処理**
行う箇所（　　）
防腐処理　※行う（※図示 ・　　）　(12.2.8)
防蟻処理　・行う（※図示 ・　　）　(12.2.9)
防腐、防蟻処理の種類、品質
　表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

## 13 屋根及びといい工事

**1 長尺金属板葺**　(13.2.2～3)（表13.2.1）

| 屋根葺形式 | 長尺金属板の種類 | 板厚（mm） |
|---|---|---|
| ・嵌合式瓦棒葺き | ※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） | ※0.5 ・ |

・下葺材料　（ アスファルトルーフィング940 ）
・断熱材　（ 無機質高充填ﾌｫｰﾑﾌﾗｽﾀｯｸ断熱材 ）
・屋根下地　（ 硬質木片セメント板 t=18mm ）
・雪止金物　（ SUSt=1.5 2段(千鳥) ）

**2 折板葺**　(13.3.2～3)（表13.2.1）

| | |
|---|---|
| 形式 | ・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形 |
| 形状（mm） | 山高（ 88 ） 山ピッチ（ 200 ） 板厚・0.6 ・0.8 |
| 材料 | ※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） |
| （規格等） | |
| 軒先面戸板 | ・有り ・無し （化粧フレーム付） |
| 断熱材 | ・有り（種別：無機質(ｶﾞﾗｽ繊維系)断熱材 厚さ： 5 mm） ・無し |
| 耐火性能 | ・30分耐火 ・無し |

**3 とい**
材種　・配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管(ｶﾗｰ)（φ75）　(13.5.2)（表13.5.1）
　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU） G
　・硬質塩化ビニル樹脂製角樋 （ 前高角樋 W120 ）
とい受金物の材質　・ステンレス製
とい受金物の取付間隔　※標仕表13.5.3による　(13.5.2)（表13.5.3）
鋼管製といの防露　※標仕表13.5.5による　(13.5.3)（表13.5.5）
　防露材のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外 ・第三種
掃除口　※有り ・無し

## 14 金属工事

**① ステンレスの表面仕上げ**　(14.2.1)

| 種類 | 施工箇所 |
|---|---|
| ※ＨＬ程度 | 下記以外の見え掛かり全て |
| ・No.２Ｂ程度 | 下地用アングル、チャンネル等 |
| ・鏡面仕上げ | |

**② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理**　(14.2.2)（表14.2.1）

| 種別 | 施工箇所 |
|---|---|
| ⊙ＢＢ－１種（無着色） | 笠木、水切、ジョイナー類 |
| ・ＢＢ－２種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） | |

**3 鉄の亜鉛めっき**
表面処理方法　：　溶融亜鉛めっき　(14.2.3)（表14.2.2）
種別　：　２種Ｂ
施工箇所　：　屋外階段

**④ 軽量鉄骨天井下地**
※野縁等の種類は表14.4.1により、屋内は19形、屋外は25形とする。　(14.4.2)（表14.4.1）
※野縁受の間隔900mm程度とし、野縁の間隔は表14.4.2による。　(14.4.3)（表14.4.2）
※天井懐が1.5m以上の場合は、縦横1.8m程度に、吊ボルトと同材又は、[-19×10×1.2(mm)以上を用いて、吊ボルトの水平補強と斜め補強を行う。　(14.4.4)

**⑤ 軽量鉄骨壁下地**
※スタッド、ランナー等の種類は表14.5.1よる。　(14.5.3)（表14.5.1）
・50形 ⊙65形 ・90形 ⊙100形 ・25形（JIS規格外） ・40形（JIS規格外）

**⑥ 手すり及びタラップ**　(14.2.1)（14.8.2～3）（表14.2.2）

| 種類 | 材料の種別 | 表面処理 |
|---|---|---|
| 手すり | ・ｽﾃﾝﾚｽｽSUS304（内・外部） | ※ＨＬ程度 ・鏡面程度 ・ |
| | ⊙アルミ（内部） | ※樹脂被覆（内部） |
| タラップ | ※ステンレスSUS304（外部） | ※ＨＬ程度 ・鏡面程度 ・ |
| | ・鉄（内部） | ※ＳＯＰ塗装 |

**⑦ くつふきマット**
市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
　・硬質アルミニウム製（ステンレス製受枠）　⊙ステンレス製（受枠とも）
　※リードマーク（警告表示）付
　ミズシマ　ステンレスラインマットＮＳ1507、枠8×25、リードマークＰ　又は同等品

**⑧ ステンレス床見切**
ステンレスチャンネル　40W×20H×2t　ヘアライン

**⑨ 鋼製床下地**
施工箇所　スロープ
材質、形状　高耐食メッキ仕様

## 15 左官工事

**① モルタル塗り材料**
吸水調整材　(15.2.2)

| 全面形分（%） | 吸水量（g） | 接着強度（N/mm²） | 界面破断率（%） |
|---|---|---|---|
| 表示値±1.0 | 30分で1g以下 | 0.98以上 | 50以下 |

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）　(15.2.2)
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

| 混合割合 | 凝結時間 | 曲げ及び圧縮強度比 | 吸水比 | 透水比 |
|---|---|---|---|---|
| セメント重量の5%以下 | JIS R 5201の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内 | 70%以上 | 95%以下 | 80%以下 |

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。

**② 床コンクリートの直均し仕上げ**
下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による　(表6.2.4)（15.3.1～2）

| 施工箇所 | 平たんさ（mm） | 備考 |
|---|---|---|
| フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲 | 1mにつき10以下 | 塗料塗りの場合も含む |
| フリーアクセスフロア（溝構法）範囲 | 3mにつき7以下 | |
| | | |

**3 セルフレベリング材塗り**
※セメント系 ・せっこう系　(表15.4.1)（15.4.1～5）

**4 仕上塗材仕上げ**　(15.5.2)（表15.5.1）

| 種類 | 呼び名 | 仕上げの形状等 |
|---|---|---|
| ・薄付け仕上塗材 | ・外装薄塗材Ｓi | ・ |
| | ・可とう形外装薄塗材Ｓi | ・ |
| | ・外装薄塗材Ｅ | ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 |
| | ・内装薄塗材Ｅ | 砂壁状じゅらく |
| | ・可とう形外装薄塗材Ｅ | ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 |
| | ・防水形外装薄塗材Ｅ | ・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状 |
| | ・外装薄塗材Ｓ | 砂壁状 |
| | ・内装薄塗材Ｃ | ・ |
| | ・内装薄塗材Ｌ | ・ |
| | ・内装薄塗材Ｓi | ・ |
| | ・内装薄塗材Ｗ | 京壁状じゅらく |
| ・複層仕上塗材 | ・複層塗材ＣＥ | ※ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 |
| | ・可とう形複層塗材ＣＥ | 耐候性 ※3種 ・ |
| | ・複層塗材Ｓi | 上塗材 |
| | ※複層塗材Ｅ（ローラー施工） | 溶媒 ※水系 ・溶剤系 |
| | ・複層塗材ＲＥ | 樹脂 ・エポキシ系（ＲＥ） |
| | ・複層塗材ＲＳ | ※アクリル系（Ｅ） |
| | ・防水形複層塗材ＣＥ | 外観 ※つやあり ・つやなし |
| | ・防水形複層塗材Ｅ | ・メタリック |
| | ・防水形複層塗材ＲＥ | |
| | ・防水形複層塗材ＲＳ | 防水形の増塗材 ・行う |
| ・軽量骨材仕上塗材 | ・吹付用軽量骨材 | 砂壁状 |
| | ・こて塗用軽量塗材 | 平たん状 |

・可とう形改修用仕上塗材Ｅ　アクリルシリコン系
下地調整材　・セメント系（C-1）　・合成樹脂エマルジョン系（E）

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種
防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

---

| | | | |
|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 構造設計 | 一級建築士登録 大臣（　） | 構造設計 一級建築士登録 交付番号（　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. Ａ－０２ |
| 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録 大臣（　） | 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　） | 図名 | 建築工事特記仕様書（２） | 縮尺 A1：－ A3：－ |

## ⑯ 建具工事

1 見本の製作等
・特殊な建具の仮組（建具符号：　　）　(16.1.4)

② アルミニウム製建具
外部に面する建具　(16.2.2)　(16.2.4)　(表16.2.1)

| 種　別 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠見込み（mm） | 施工箇所 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・A種 | S－4 | ※A－3 | ※W－4 | ※70 | ※図示　・ |
| ⊙B種 | S－5 | ・ | ・ | ・ | ※図示　・ |
| ・C種 | S－6 | A－4 | W－5 | 100 | ※図示　・ |

表面処理　⊙BB－1種　・BB－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）　(表14.2.1)
2連引込セミオートハンガードア　LIXIL　フレアス　又は同等品
内付け／外付け　片引込戸　LIXIL　フロンテック　又は同等品

屋内建具
表面処理　⊙BC－2種又はBB－2種（⊙ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）　(表14.2.1)
ビル用内窓　YKKap　Biew　又は同等品

③ 網戸
防虫網　(16.2.3)
網の種別　⊙ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　　式　※外部可動式　⊙固定式

4 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　(16.3.2)　(表16.3.1)
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・適用あり

⑤ 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　(16.4.2)
小松ウォール　カームドア外付枠タイプ　又は同等品

6 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL程度　・鏡面仕上げ　・　(16.5.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）　(16.5.5)
特定防火設備の戸　・適用あり　(表16.5.1)

⑦ 自動ドア開閉装置　(16.8.2～3)　(表16.8.1～3)

| 開閉方法 | センサの種類 | |
|---|---|---|
| ※スライディングドア | ・マットスイッチ | ・電子マットスイッチ |
| ・スイングドア | ※光線スイッチ | ・音波スイッチ |
| | ・熱線スイッチ | ・光電スイッチ　・非接触タッチセンサー |

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

⑧ 自閉式上吊り引戸装置
品質規格　※標仕表16.9.1による　(16.9.2～3)
・製造所標準仕様による

⑨ 木製建具
樹脂シート張（枠、建具）　金物共　収納用既成建具　（折戸、３枚連動引戸）
パナソニック電工　ベリティス　又は同等品
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　(16.6.2)
※規制対象外　・第三種

⑩ 建具用金物
マスターキー　・製作する　⊙製作しない（新設キーを既存マスター合わせとする）　(16.7.4)
建具用金物　(16.3.6)　(16.4.6)
錠類はシリンダー箱錠（ステンレス製レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける　(16.7.2)
吊金物
⊙丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ

⑪ トイレブース
表面仕上げ材　(20.2.5)
※高圧メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　⊙幅木型　・足金物型
小松ウォール　サニティTB-GPR　又は同等品

⑫ ガラス
※建具表による　(16.13.2)
・ガラスブロック　種仕16.13.5による　(16.13.5)

| 表面形状 | 呼び寸法（mm） | 厚さ（mm） | 色調 | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|
| ・正方形 | | ・ | ・クリア | ・無し |
| ・長方形 | | | ・ｶﾗｰｶﾗｽｰ | ・有り |

⑬ ガラス留め材及び溝
ガラス留め材　(16.13.2)　(表9.6.1)

| 建具の種類 | 材　　種 |
|---|---|
| アルミニウム製 | ※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材） |
| 鋼製及び鋼製軽量 | ※シーリング材 |
| ステンレス製 | ※シーリング材 |

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　(16.13.3)
種仕16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会
JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を
監督職員に提出する

14 ガラス用フィルム

| 名　　称 | 種　類 | 張り面 | 性能値 |
|---|---|---|---|
| ・ガラス飛散防止フィルム | 第２種 | ※内張り　・外張り | 飛散防止率　D 1 |
| ・目隠しフィルム（フロスト） | | | |

品質　飛散防止：JIS A 5759に準拠

15 重量シャッター　(16.10.2)

| シャッターの種類 | |
|---|---|
| ・一般重量シャッター | 耐風圧性能（　　）N/㎡ |
| ・外壁用防火シャッター | 耐風圧性能（　　）N/㎡ |
| ・屋内用防火シャッター | |
| ・屋内用防煙シャッター | |

開閉機能　・上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.10.2)　(表16.10.1)

・危害防止機構取付
・障害物感知装置（自動閉鎖型）　・シャッターの二段降下方式
・鋼板パネル形可動座板式　（大臣認定品）　サンユウテック　Sガード　又は同等品
一般重量シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない　(16.10.2)

16 軽量シャッター
開閉形式
※手動式　・上部電動式（手動併用）
スラット　材質　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・アルミ型材
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
ガイドレール等
・鋼板製　・ステンレス製ＳＵＳ３０４（厚さ1.5mm）　・アルミ型材
耐風圧性能（　　）N/㎡

## 17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類　(17.2.2)

| 種　　類 | 規格等 |
|---|---|
| ※アルミニウム製 | ※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による |
| ・ | ・ |

2 PCカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。
コンクリートの種類及び品質　(17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

| コンクリートの種類 | 設計基準強度（Ｆｃ） | 所要スランプ（cm） |
|---|---|---|
| | | |

## ⑱ 塗装工事

① 材料
屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
仕様・規格を充たす環境配慮型対応製品がある場合はそれを使用すること。
用途による規格外の製品を使用する場合は、監理者の承諾を得ること。

② 素地ごしらえ
亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別　(18.2.4)　(表18.2.3)　(表18.3.4)

| 種　別 | 施工部位及び塗料種別 |
|---|---|
| A種 | 鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合 |
| B種 | A種、C種以外 |
| C種 | 下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合 |

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別　(18.2.7)　(表18.2.7)
種別　⊙B種　・A種（施工箇所：壁・天井　　）

③ 下地調整　[7.2.2～7]　[表7.2.1～7]

| 下地面の種類 | 下地調整の種別 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 木部 | ・RA種　※RB種 | 新規塗の場合：B種 |
| 鉄鋼面 | ・RA種　※RB種 | |
| 亜鉛めっき面 | ・RA種　※RB種 | |
| 亜鉛めっき面（鋼製建具） | ※RB種　・RC種 | |
| モルタル、プラスター面 | ・RA種　※RB種 | 新規塗の場合：B種 |
| コンクリート、ＡＬＣパネル面 | ・RA種　※RB種 | 新規塗の場合：B種 |
| せっこうボード、その他ボード面 | ・RA種　※RB種 | 新規塗の場合：B種 |

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修　[4.4.2]　[4.4.4]　[表7.2.4～6]
・行わない　・行う

既存塗膜の劣化部分の除去、目粗しなど、入念に行うこと。
会議室、廊下1・3通り壁：下地調整材C-2

4 錆止め塗料塗り

| 種別 | 鉄鋼面 | 亜鉛めっき面 |
|---|---|---|
| A種 | ※鉛ｰｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止めペイント(1種) | ※一液形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂錆止めﾍﾟｲﾝﾄ |
| B種 | ・水系錆止めペイント　・鉛ｰｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止めペイント(2種) | ・変性エポキシ樹脂プライマー |
| C種 | | ・水系錆止めペイント |

⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種別　・A種　※B種　・C種　[7.4.2～5]　[表7.4.1～3]
木部の塗りの種別　・A種　⊙B種　・C種

6 フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)
新規木部の塗りの種別　・A種　※B種　[7.6.2.3]　[表7.6.1.2]
新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種別　・A種　※B種

7 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)
新規の塗りの種別　・A種　※B種　[7.7.2]　[表7.7.1]
塗り替えの種別　・A種　※B種　・C種

8 耐候性塗料塗り(DP)　[7.8.2～4]　[表7.8.1～3]

| 下地の種類 | 新規塗りの種別 | 塗り替えの種別 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 鉄面 | ※A種・B種・C種 | ・A種⊙B種・C種 | （3級） |
| 亜鉛めっき面 | ※A種・B種・C種 | ・A種⊙B種・C種 | （2級） |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面 | ・A種・B種・C種 | ・A種・B-2種・C種 | |

9 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)
新規の塗りの種別　・A種　※B種　[7.9.1～5]　[表7.9.1～4]
塗り替えの種別　・A種　※B種　・C種

⑩ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
新規の塗りの種別　・A種　※B種　[7.10.2]　[表7.10.1]
塗り替えの種別　・A種　※B種　・C種

11 合成樹脂エマルション模様塗り(EP-T)
新規の塗りの種別　・A種　※B種　[7.11.1]　[表7.11.1]
塗替えの場合

| 既存塗膜 | 下地調整 | 種　　別 |
|---|---|---|
| 合成樹脂エマルション模様塗り | ※RB種 | ※A種 |
| | ・RC種 | ※C－3種 |
| 平滑な塗料塗り | ※RB種 | ・A種　・B種 |
| | ・RC種 | ・C－1種　・C－2種 |

12 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)
新規の塗りの種別　・A種（3回塗）　・B種　[7.12.2]　[表7.12.1]
・フローリング部分　3分艶

13 木材保護塗料塗り(WP)　[7.14.2]　[表7.14.1]
新規の塗りの種別　・A種　※B種　・屋内用　木材保護着色（　　）
塗り替えの種別　・A種　※B種　・C種　・塗り工程は標仕またはメーカーの仕様による

14 オイルステイン塗り(OS)
上塗りニス　※行う（メーカー仕様による）　・行わない

## ⑲ 内装工事

① 接着剤　(19.2.2)　(19.3.3)
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

② ビニル床シート張り　(19.2.2)

| 種　　類 | JISの記号 | 色　　柄 | 厚さ（mm） |
|---|---|---|---|
| ※発泡層のないもの | ※ＮＣ　・ | ・無地　・マーブル柄　・木目柄 | ⊙2.5 |
| | | ・無地　・マーブル柄 | ・2.0 |
| ⊙発泡層のあるもの | | ※柄物　・無地 | ※2.8 |
| ・硬質骨材入り防滑床材 | ※ＮＯ　・ | ※柄物　・無地 | ※2.0　・2.5 |
| ・ﾌﾞﾙｰﾀｲﾙ用防滑性床材 | | ※無地　・マーブル柄 | ※2.5 |

⊙超防汚性ビニル床シート：厚さ 2.0mm　東リ　消臭ＮＳトワレＮＷ　又は同等品
⊙発泡複層ビニル床シート：厚さ 2.8mm　東リ　ＳＦフロアＮＷ　又は同等品

③ ビニル幅木
高さ（mm）　・60　・75　⊙100　・300　(19.2.2)

④ カーペット敷き
・タイルカーペット　(19.3.3)　(表19.3.2)

| パイル形状 | 種　類 | 寸法（mm） | 総厚さ（mm） | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| ※ループパイル | ※第一種 | ※500×500 | ※6.5 | |
| | ・第二種 | ・ | ・ | |
| ⊙カットパイル | | ※500×500 | ※6.5 | |
| ・カット、ループ併用 | | | | |

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）

5 合成樹脂塗床　(19.4.2～3)　(表19.4.1～7)

| 種　　別 | 仕上げの種類 |
|---|---|
| ・弾性ウレタン塗床材 | ・平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ |
| ・エポキシ樹脂塗床材 | ・薄膜流し展べ仕上げ<br>・厚膜流し展べ仕上げ（・平滑　・防滑）<br>・樹脂モルタル仕上げ（・平滑　・防滑）<br>・防滑仕上げ |
| ・水性アクリル系塗床材 | ・薄膜流し展べ仕上げ（・平滑　・防滑）<br>・厚膜流し展べ仕上げ（・標準　・高防滑）<br>ＳＫ化研　アートフロアーＡＷ（防滑）　又は同等品 |

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　(19.4.2)
※規制対象外　・第三種

6 フローリング張り　(19.5.2～7)　(表19.5.1～4)

| 種　　別 | 樹　種 | 工　法 | 仕上げ塗装等 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| ※複合フローリングブロック | ※なら | ・接着張り | ・塗装品 | |
| 305×305 t=15 | ・松 | ・ | ・無塗装品 | |
| | ・ | ・ | ・ | |
| | ・ | ・ | ・ | |

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.5.2)

⑦ ビニル床タイル張り　(19.2.2)

| 種　　類 | JISの記号 | 厚さ（mm） | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| ※コンポジションビニル床タイル | ＫＴ | ※2 | 予診室・廊下取合補修用 |
| ・複層ビニル床タイル | ＦＴ | ※2 | |
| ⊙単層ビニル床タイル | ＴＴ | ⊙2　・3 | 視覚障碍者誘導用300×300 |
| | | | |

⑧ せっこうボード
その他のボード張り　(19.7.2)　(表19.7.1)

| 種　　類 | JISの記号 | 厚さ（mm）、規格等 |
|---|---|---|
| ・硬質木毛セメント板 | ＨＷ | ・15　・20　・25　・ |
| ・普通木毛セメント板 | ＮＷ | ・15　・20　・25　・ |
| ⊙けい酸カルシウム板 | 0.8ＦＫ | タイプ2（無石綿）（・5　⊙6　・10　） |
| ・化粧けい酸カルシウム板 | 0.8ＦＫ<br>1.0ＦＫ | タイプ2（無石綿）（・6　・8　・　）<br>タイプ2（無石綿）（・6　・8　・　） |
| ⊙ロックウール化粧吸音板 | ＤＲ | ⊙フラットタイプ　⊙9（不燃）・12　・　）<br>・凹凸タイプ（・12・15（不燃）・19・　） |
| ・ロックウール化粧吸音板（軒天井用） | ＤＲ<br>ＤＲ（凹凸）<br>ＤＲ（軒天）<br>ＤＲ（軒天凹凸） | ・フラットタイプ 9（不燃）<br>・凹凸タイプ（・12・15）（不燃） |
| ⊙せっこうボード | ＧＢ－Ｒ | ・12.5（不燃）　⊙9.5（不燃） |
| ・普通硬質せっこうボード | ＧＢ－Ｒ－Ｈ | 9.5（不燃） |
| ・不燃積層せっこうボード | ＧＢ－ＮＣ | 9.5（不燃）　化粧無（下地張り用）<br>化粧有（トラバーチン模様） |
| ⊙シージングせっこうボード | ＧＢ－Ｓ | 12.5（不燃） |
| ・強化せっこうボード | ＧＢ－Ｆ | 15.0（不燃）　21.0（不燃） |
| ・吸音用穴あきせっこうボード | ＧＢ－Ｐ | 9.5（準不燃）910mm×1820mm |
| ・化粧せっこうボード（木目） | ＧＢ－Ｄ | 12.5（不燃）幅440mm程度<br>模様（※荏目　・板目）　専用下地材付き |
| ・化粧せっこうボード（直貼りタイプ） | ＧＢ－Ｄ | 9.5（準不燃）910mm×910mm |
| ・化粧吸音せっこうボード（直貼りタイプ） | ＧＢ－Ｄ | 9.5（不燃）910mm×910mm |
| ・難燃合板 | Ⓖ | ・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度）<br>・不透明塗料塗り（しな合板程度） |
| ・メラミン樹脂化粧板 | | JIS K 6903による　厚さ1.2 |
| ・ミディアムデンシティファイバーボード | ＭＤＦ　Ⓖ | ・3　・7　・9　・12　・ |
| ・単板張りパーティクルボード | Ⓖ | ・無研磨板　・研磨板<br>・10　・12　・15　・18　・ |
| ・ハードボード（素地） | ＨＢ　Ⓖ | ・無研磨板（・スタンダード　・テンパード）<br>・研磨板　（・スタンダード　・テンパード） |
| ・インシュレーションボード | ＩＢ　Ⓖ | Ａ級（・天井仕上　・内装仕上　・　）<br>・9　・12　・15　・18　・ |

⊙メラミン系不燃化粧板　t=3mm　（出隅専用見切共）　目地・取合部シール
アイカ　セラール　又は同等品

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

9 吸音材　(表19.7.1)

| 種　　類 | JISの記号 | 厚さ（mm） |
|---|---|---|
| ・ロックウール吸音ボード1号（ガラスクロス貼品） | ＲＷ－Ｂ | ・25　・50 |
| ・グラスウール吸音ボード32Ｋ | ＧＷ－Ｂ | ※25　・ |
| ・グラスウール吸音材24Ｋ | ＧＷ－Ｆ | ※50　・ |

10 壁紙張り　(19.8.2)

| 施工箇所 | 壁紙の種類 | | | | | 防火性能 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 紙 | 繊維（織物） | プラ（ビニル） | その他（化学繊維） | 無機質 | | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃・準不燃・難燃 | |

素地ごしらえ　(表18.2.4)　(表18.2.7)
モルタル、プラスター面　※B種　・A種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　※B種　・A種（施工箇所：　　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.8.2)

11 断熱材　(19.9.2～3)

| 種　　類 | | 施工箇所 | 厚さ（mm） | 品質等 |
|---|---|---|---|---|
| ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 | ※2種b | ※土間下 | ※30<br>・ | 特定フロンを使用しないもの |
| | ※3種b（スキン層付） | ※金属下地断熱防水工法部分 | ※35<br>・30 | |
| | | ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ屋根部分 | ・5-10、10-15 | JSP ﾐﾗｺﾛｰﾄﾞ同等品 |
| ・高性能グラスウール断熱材 | | ※最上階天井面<br>・ | ※100<br>・ | 高性能　24kg／m3 |
| | | 製造所 | 性能の確認できる資料を監督職員に提出する | |

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
断熱材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

⑫ 乾式二重床下地材
※乾式二重床システム
床パネル　構造用合板12mm
支持脚　台板　ラワン合板5.5mm／支柱　鋼製
（株）染野製作所　ジム・エース　又は　同等品

⑬ OAフロア
※置式タイプOAフロア
鋼板製　500×500×93
ナカニ工業株式会社　3000Nシリーズ　又は　同等品

## ⑳ ユニット及びその他の工事

① 天井点検口
材　質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ）　⊙450mm角（9ヶ所）　・600mm角

② 床点検口（化粧蓋）
材　質　オールステンレス製　600mm角　ボルト固定式　密閉型（防水・防臭型）

③ 壁点検口
材　質　塩ビ製　300mm角　ケンドン式

④ パブリック用手摺
本体：機械設備工事（本工事）　取付下地補強：建築工事（本工事）

⑤ 室名札・ピクトサイン
室名札　正面型　アルミ製プレート　アルミ枠
側面型　アルミ製プレート　アルミブラケット
施工箇所　正面型：事務室
側面型：ホール、トイレ、玄関
フジタ　ＰＦＴＴ（正面型）／ＦＴＮ（側面型）　又は同等品

⑥ 鏡
寸法（mm）　・図示　⊙　500×900　(20.2.9)
厚さ（mm）　※5　・
ＴＯＴＯ　フリーサイズ大型鏡（４方フレーム仕様）　又は同等品

⑦ メラミン
ポストフォーム甲板
施工箇所　配管ライニング天板
材質、形状　耐水ＭＤＦ芯メラミンポストフォーム甲板　t＝20mm　W＝150mm
アイカ　ポストフォームカウンター　ＫＰＡ　又は同等品

⑧ 家具
家具詳細図による　(12.2.2)、(19.7.2)
製作に先立ち施工図作製のうえ、監督職員の承諾を得る。
（カウンター）　ウチダ　VISITシリーズ　又は同等品

9 カーテンレール
材　種　※アルミニウム製（シングル／ダブル）　・ステンレス製　(20.2.14)
形　式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）
・天井付け　・壁付け

⑩ ブラインドボックス及びカーテンボックス
⊙既存再使用する（SOP塗替）　[5.1.6]
・新設する
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・
色彩　※Ｂ－１　・Ｂ－２（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・木製　図示　（材：びわ湖材　柏KD材）

⑪ 可動間仕切り
可動間仕切り詳細図による
製作に先立ち施工図作製のうえ、監督職員の承諾を得る。
（パーテーション）　ウチダ　VISITシリーズ　又は同等品

12 カーテン/暗幕　(20.2.14)

| 施工箇所 | 形　式 | | 装　置 | | | ひだの種類 | 性　能 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 片引 | 引分 | 電動 | ひも引 | 手引 | | | |
| 会議室 | ・ | ⊙ | ・ | ・ | ⊙ | 箱ひだ | 防炎、高遮光 | ﾄﾞﾚｰﾌﾟ |
| 保健室 | ・ | ⊙ | ・ | ・ | ⊙ | 箱ひだ | 防炎、高遮光 | ﾄﾞﾚｰﾌﾟ |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ⊙ | 箱ひだ | 防炎 | ﾒﾃﾞｨｶﾙｶｰﾃﾝ |
| 第一外来 | ・ | ⊙ | ・ | ・ | ⊙ | 箱ひだ | 防炎、遮光1級 | ﾚｰｽｱｯﾌﾟﾚｰﾌﾟ |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ⊙ | 箱ひだ | 防炎 | ﾒﾃﾞｨｶﾙｶｰﾃﾝ |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | | | |

東リ　コントラクトカーテン　又は同等品

⑬ 流し台ユニット

| 種　類 | 寸法 | 適用内容 | 規格・品質等 |
|---|---|---|---|
| 流し台 | ⊙1200L×600D | ｽﾃﾝﾚｽ天板、吊戸棚H500 | |
| | | | |
| | | | |

LIXIL　サンファーニ　ティオ　又は　同等品

⑭ おだれ石
TOTO　ハイドロセラ・フロPU（薄型）　t－7　又は同等品

15 点字鋲
材　種　ステンレス製　ノンスリップタイプ　点鋲　Φ22.2

⑯ 点字ブロック
シート製　300×300
安全交通試験研究センター　準拠品

⑰ 機器取付用壁下地補強
手摺、衛生器具その他設備機器等の取付用壁下地補強は当該製品メーカーの仕様によること。

⑱ 消火器ボックス
材　種　スチール製　UNION　UFB-3F-2900H（各階廊下）　又は同等品

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | | |
| 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 |
| 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　） | | 図名 | 建築工事特記仕様書（３） |

No. Ａ－０３
縮尺 A1：－ A3：－

## ㉑ 排水工事

① 排水管

排水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1) (21.2.2)

| 材種 | 管の種類 | 管形状（接合方法） |
|---|---|---|
| ・遠心力鉄筋コンクリート管 | ※外圧管（※１種　・２種） | B形（ゴム接合） |
| ⊙硬質塩化ビニル管 | ※ＶＰ　・ＶＵ | |
| ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 | ・ＲＥＰ-ＶＵ | |

車道部の排水管の敷設 (21.1.1) (21.2.2)
・図示
・砂基礎（地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類）

② 排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた (21.2.1(e))

| 種類 | | 適用荷重 |
|---|---|---|
| ・水封形 | ・密閉形（テーパー・パッキン式） | ・Ｔ－２用 |
| ・簡易気密形（パッキン式） | ・中ふた付密閉形 | ・Ｔ－６用 |
| | | ・Ｔ－１４用 |
| | | ・Ｔ－２０用 |

グレーチングふた (21.2.1(f))

| 材質 | 形式 | 種類 | 適用荷重 | メンバーピッチ | 上面形状 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・鋼製 | ※受枠付き | ・溝ふた用 | ・歩行用 | ※細目 | ※凹凸形 |
| ・ステンレス製 | ・ボルト固定 | ・桝ふた用 | ・Ｔ－２用 | ・普通目 | ・平形 |
| | ・無し | ・かさ上げ用 | ・Ｔ－６用 | | |
| | ・有り | ・Ｕ字溝用 | ・Ｔ－１４用 | ・細目 | ・凹凸形 |
| | | | ・Ｔ－２０用 | | |

③ 埋戻し土　・Ａ種　⊙Ｂ種 (21.2.1) (表3.2.1)

④ 浸透管及び浸透桝　製造所　監督職員の承諾する製造所

## ㉒ 舗装工事・外構工事

① 盛り土に用いる材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3) (表3.2.1)

② 遮断層及び凍上抑制層の材料
・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・　厚さは図示 (22.2.2～3)
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂　厚さは図示

③ 路床安定処理　※添加材料による安定処理 (22.2.2～3) (表22.2.1)
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量　kg/m³（目標ＣＢＲ　※5以上　・　）

④ 路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土） (22.2.5)

⑤ 路床締固め度の試験　※行う　ブルーフローリング測定 (22.2.5)

⑥ 路盤材料　※再生クラッシャラン（RC-40） (22.3.3)
・クラッシャラン（C-40）又はクラッシャランスラグ（CS-40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

⑦ アスファルト舗装 (22.4.2)
アスファルト　⊙再生アスファルト　・ストレートアスファルト (22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)

| 区分 | ※一般地域 | ・寒冷地域 |
|---|---|---|
| 表層 | ※密粒度アスファルト混合物（13）<br>・細粒度アスファルト混合物（13） | ※密粒度アスファルト混合物（13F）<br>・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F） |

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　） (22.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

⑧ コンクリート舗装
早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.2)
溶接金網　※有り　・無し (22.5.3～4)
厚さ試験　※行わない　・行う (22.5.6)

⑨ カラー舗装 (22.6.2)

| 舗装の種類 | 工法 | 備考 |
|---|---|---|
| ※加熱系カラー舗装 | ※加熱系混合物　・樹脂系混合物 | ・ |
| ・常温系カラー舗装 | ・ニート工法　・塗布工法 | ・ |

⑩ 透水性舗装　アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.7.6) (22.4.6)

⑪ ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装 (22.8.2～3)

| 種類 | 寸法（mm） | 厚さ（mm） | 目地材 |
|---|---|---|---|
| ※普通平板（Ｎ）　・カラー平板（Ｃ） | ※300角 | ※60 | ※砂 |
| ・洗出平板（Ｗ）　・擬石平板（Ｓ） | ・ | | ・モルタル |

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～3)

| 種類 | 厚さ（mm） | 色彩及び表面加工等 |
|---|---|---|
| ※標準ブロック<br>・透水性ブロック<br>・誘導、注意喚起用ブロック | 車道部　※80　・<br>歩道部　※60　・ | ※標準品<br>・<br>誘導、注意喚起用は黄色系とする |
| ・植生ブロック | ※80　・100 | |

⑫ 路面標示用塗料　JIS K 5665（路面標示用塗料）による

| 種類 | 施工 | 適用 | 色 | 幅（mm） | 布厚さ（mm） | 揮発性有機溶剤の含有率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・１種Ⓖ | 常温 | 液状 | ※白 | ※150 | ※1.0 | 塗料総質量に対して |
| ・１種Ⓖ | 加熱 | | ・ | ・ | ・ | 5%以下 |
| ・３種１号 | 溶融 | 粉体状 | | | | |

## ㉓ アスベスト含有建材の除去及び処理

① 法令等の遵守　施工にあたっては、大気汚染防止法（昭和43年法律97号）、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年 法律137号）、労働安全衛生法（昭和47年法律57号）、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令21号）等、石綿処理に関する諸法令を遵守し、第三者に危害を与える事のないように施工する。 [9.1.1]
諸法令により必要とされる届け出等を遅滞なく担当官庁へ提出すること。
また、諸法令の適用及び運用は受注者の負担と責任において行う。

② 大防法・石綿予防則による事前調査　解体工事、改修工事等における大気汚染防止法及び石綿障害予防規則による事前調査を実施すること。
解体工事開始前に工事対象となる全ての部材について、石綿が含まれているかを設計図書などの文書と目視で調査し、調査結果の報告書を作成の上発注者に説明すること。
なお、上記事前調査は建築物石綿含有建材調査者等、一定の知見を有する者が実施するよう努める事。
また、事前調査結果を作業場に備え付け、掲示すること。
あわせて、工事に係る部分の床面積の合計が80㎡以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修工事等の事前調査を実施したときは、その結果を工事開始日までに石綿事前調査報告システムにより労働基準監督署及び県（大津市内は大津市）に報告するとともに、発注者に書面で報告すること。

③ 作業計画　事前に、石綿障害予防規則第４条に定められた内容を盛り込んだ作業計画を作成し、監督職員に提出して承諾を得た後に施工する。 [9.1.1]

④ 施工調査等　石綿含有建材の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督員に提出する。
（１）石綿含有建材使用部位の確認
（２）石綿含有建材の種別、厚さ等の確認
（３）石綿含有建材使用数量の確認
（４）施工範囲及び区画、近隣周辺への影響等の確認
（５）廃棄物の搬出及び処分先の確認

⑤ 吹付石綿及び石綿含有保温材等　既存建築物に施工されている吹付石綿及び石綿の含有量が0.１%（重量%）を超える石綿含有保温材等の除去工事に適用する。 [9.1.3] [9.1.4]

| 材料名 | 使用箇所 | 備考 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

⑥ 石綿含有建築用仕上塗材　既存建築物に施工されているアスベストの含有量が0.１%（重量%）を超える石綿含有建築用仕上塗材の除去工事に適用する。

| 材料名 | 使用箇所 | 備考 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

⑦ 石綿含有調査　・行う（下表による）　・行わない [9.1.1]

| 材料名 | 調査方法 | 使用箇所 |
|---|---|---|
| 吸音用穴あき石膏ボード | | |
| ビニル床シート | | |
| | | |

⑧ 石綿粉じん濃度測定　（ａ）除去工事を行う当該建物の作業場近傍及び敷地境界において、「空気中の繊維状粒子測定方法（JIS K 3850-1）」、条例等及び「ｱｽﾍﾞｽﾄﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞﾏﾆｭｱﾙ」に定める方法により測定する。
測定点　・図示　・（　）
測定数　・図示　・（　） [9.1.1]

⑨ 石綿作業主任者　石綿含有建材の除去に当り、石綿則に基づき、石綿作業主任者を選任すること。 [9.1.2]
石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習終了者又は平成18年以前の特定化学物質等作業主任者技能講習終了者とする。
（ａ）石綿作業主任者は、資格証明書の写しに工事経歴書を添付して監督員に提出し、承諾を受ける。
（ｂ）特定化学物質等作業主任者は、作業者に対して事前に石綿に関する教育を行い、十分理解させる。
（ｃ）特定化学物質等作業主任者は、除去工事に使用する負圧・除じん装置の管理、呼吸用の保護具、作業衣、保護衣等の管理を行う。

⑩ 除去作業者　石綿の除去作業者は、６ヶ月以内に石綿についての特殊健康診断（石綿障害予防規第４０条）を受診した者とし、除去作業者名簿を監督員に提出し、承諾を受ける。 [9.1.2]

⑪ 負圧除じん装置の設置　（ａ）負圧除じん装置は、適切な運転状態となるようスモークテスタ等による気流の確認、Ｕ字マノメータ等による除じん装置の性能の維持確認などを行う。 [9.1.3] [9.1.4]
（ｂ）ＨＥＰＡフィルタは、ＪＩＳ　Ｚ８１２２に規定する超高性能微粒フィルタとする。

⑫ 作業場の養生、隔離等　・養生プラスチックシートの仕様 [9.1.3] [9.1.4]
・（ａ）床　：厚さ０．１５㎜以上、２層張り
・（ｂ）壁その他：厚さ０．０８㎜以上
・（ｃ）接合部の重ね長さ：３０㎝以上
・（ｄ）養生：足場等によりプラスックシートが破損しないよう合板等で養生する。
・セキュリティゾーン
（ａ）高性能真空掃除機を設置して保護衣、カバー、保護手袋等に付着しているアスベストを十分吸引して取り除く。
（ｂ）セキュリティゾーン内部は、外部にアスベストが飛散しないよう関係法令等に規定された掃除等を行う。

⑬ 石綿の除去　除去作業中に粉じんの発生が多い場合は、適宜エアレス構造の器具を用いて散水、または飛散防止剤等を噴霧し、粉じんの飛散を防止する。 [9.1.3] ～ [9.1.5]
なお、石綿を含んだ排水は他の場所へ漏水しないよう十分止水し、適切に処理する。

⑭ 除去した石綿の処理方法　「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和４５年法律第１３７号)」の規定を尊守して行う。 [9.1.3] [9.1.4]
・（ｉ）特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の埋め立て処分
・（ⅱ）知事等許可を受けた施設において溶融または大臣認定を受けた施設における無害化処理
・指定処分地（　）
なお、処分に関しては公社の受入れ基準等を確認すること。

⑮ 石綿含有保温材等の除去　石綿含有保温材等の除去工事 [9.1.4]
・　行う　（適用範囲　・図示　・　）　・　行わない
養生等
※　養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。

掻き落とし、破砕、切断による除去方法
※　行わない（　手ばらし　）
・　行う

⑯ 石綿含有建築用仕上塗材の除去　石綿含有建築用仕上塗材の除去工事
・　行う（適用範囲　・図示　・　）　・　行わない
除去工法
・作業場の隔離措置及び負圧除塵装置の設置の上実施する工法
・石綿則第６条ただし書きによる隔離措置と同等と判断できる工法
（　）

⑰ 石綿含有成形板の処理等　処理を行う石綿含有成形板の仕様等 [9.1.5]

| 材料名 | 厚さ（mm） | 使用場所 | 処理を行う範囲 |
|---|---|---|---|
| 石膏ボード | 9 | | ⊙図示　・全て |
| ビニル床シート | 2.5 | | ⊙図示　・全て |
| Ｐタイル | 2 | | ⊙図示　・全て |
| ｴﾎﾟｷｼ樹脂系接着剤 | | （ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ,ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ、ﾋﾞﾆﾙ巾木等内装用接着剤） | ・図示　⊙全て |
| 酢酸ﾋﾞﾆﾙ樹脂系接着剤 | | | |
| ｳﾚﾀﾝ樹脂系接着剤 | | | |
| ﾋﾞﾆﾙ共重合樹脂系接着剤 | | | |

処理作業の方法 [9.1.5]
１．石綿含有成形板の撤去
（１）石綿含有成形板の撤去は、内装材および外部建具等の撤去にさきがけて行う。
（２）建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所または、換気扇枠等で粉じんが外部に飛散する恐れがある箇所をビニルシート等で塞ぐものとする。
（３）石綿含有成形板の撤去は、原則として切断、破砕等によらない方法で行う。
また、原則として「手ばらし」とする。
（４）撤去作業中は、散水その他の方法により、石綿含有成形板を常に湿潤な状態として作業を行う。
（５）撤去作業者には、防じんマスク、防護メガネおよび作業衣を着用させる。
また、着用した作業衣等は付着した粉じんを除去した後に区画外へ搬出するか又は処分する場合は石綿等の廃棄物と同等の措置を行う。使用する保護具等については国家検定合格品とする。
（６）撤去作業後、石綿が含まれている成形板の破片、破断粉および作業衣等に付着した粉じんが残存しなよう、真空掃除機等により清掃および後片付けを十分に行う。
（７）建物外部の除去作業については、対象箇所の周囲を当該部分の高さと同程度まで防じんシート等で囲う。
（８）石綿含有ケイ酸カルシウム板（１種）を切断、破砕棟する場合は、作業場の隔離を行う。

２．石綿含有成形板の集積、運搬等 [9.1.5]
（１）撤去した石綿含有成形板の集積および積み込みに当たっては、高所より投下しない事の他、粉じんの飛散防止に努める。
（２）細かく粉砕された石綿含有成形板は、湿潤化の上、丈夫なビニル袋（厚0.15mm以上）に入れる等、飛散防止の措置を講じる。
（３）撤去した石綿含有成形板を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と分別して保管するものとし、シート等で覆う等、飛散防止の措置を講じる。また、保管場所には、石綿含有成形板の保管場所であることの表示を行う。
（４）石綿含有成形板の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
（５）石綿含有成形板の撤去、集積、積み込みおよび保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督員に報告し、確実に処理されたかの確認を受ける。

３．石綿含有成形板の処分等 [9.1.5]
（１）廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和４５年法律第１３７号）に定めるところにより処理する。
（２）マニュフェストには、石綿含有成形板であることを明示する。
（３）撤去された石綿含有成形板の処分が完了した場合は、マニュフェストを監督員に提出し、処分が確実に行われたことの確認を受ける。

⑱ 石綿含有成形板等の処分　石綿含有石こうボード（管理型最終処分場での埋め立て処分）を除く石綿含有含有成形板等 [9.1.5]
⊙（ｉ）石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の埋め立て処分
・（ⅱ）知事等許可を受けた施設において溶融または大臣認定を受けた施設における無害化処理
・指定処分地（　）

## 24 特殊な建設副産物の処理

① 施工調査　※行う　・行わない　・分析調査（　） (7.1.2)

② 回収・処分　特殊な建設副産物の種類 (7.3.1)

| | | |
|---|---|---|
| フロン | ・回収　・処分 | （空調器製造所において回収、処分） |
| ハロン | ・回収　・処分 | |
| イオン化式感知器 | ・回収　・処分 | |
| 六ふっ化硫黄ガス | ・回収　・処分 | |
| ＰＦＯＳ | ・回収　・処分 | |
| 特定化学物質（　） | ・回収　・処分 | |
| その他の特殊な建設副産物 | ・回収　・処分 | |

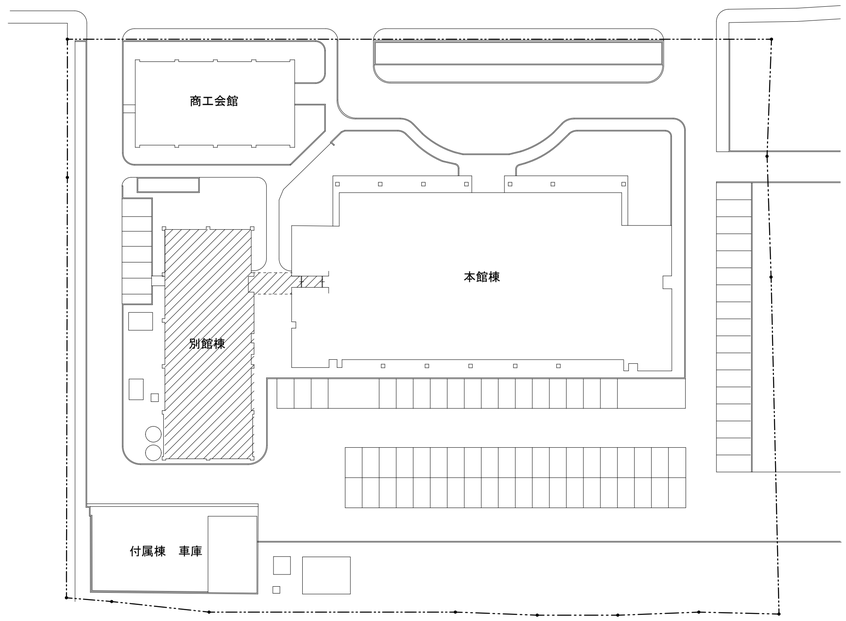
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　） |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　） |

名称　竜王町総合庁舎別館改修工事
図名　建築工事特記仕様書（４）
No.　Ａ－０４
縮尺　A1：－　A3：－




付近見取図　1/2500

計画地：竜王町大字小口３番地




配置図　1/500

改修工事範囲を示す

［工事概要］

・本館業務のうち、商工観光課、建設計画課、農業振興課、上下水道課の執務室を移設する。
・上記に伴う内部改修工事を行う。
・上記工事に伴う電気設備工事を行う。
・上記工事に伴う機械設備工事を行う。
・本館からの渡り廊下にスロープ設置工事を行う。

［工事上の諸注意事項］

１．工事施工可能日は原則月曜日から金曜日までとし、作業可能時間は午前9時00分から午後5時30分までとする。
２．工事車両の出入の際は敷地内徐行の徹底を図るとともに、大型車両の進入時は交通誘導員を15名程度配置すること。
３．工事着手前に町関係者及び監督職員と施工方法、安全管理対策、作業時間等を十分協議の上、工事施工計画書を作成し、関係者と協議調整した上で工事に着手すること。
　また、施工に際しては都度、当該部分の工事の施工範囲、施工方法について町関係者に十分説明を行うこととする。
４．工事ヤード等の計画は仮設計画図に示す内容を参考として、現場の状況、施設管理者の要望等を協議の上、工事施工者の責任において仮設計画を適切に立案し、監督職員の承諾を得て施工に移ること。
５．新型コロナウィルス感染症の感染防止対策として、工事中は換気効率が下がる恐れがあるため、有効な換気対策を考慮した施工方法について調整を行うこと。また、町関係者と工事関係者の動線の交錯が極力ないよう配慮すること。
６．本工事により既設建物、舗装、備品等に損傷を与えた場合、本工事内において原状復旧を行うこと。

竜王町総合庁舎別館改修工事　工程表（参考）

| | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 仮設工事 | | | | | | | | | |
| 撤去工事 | | | | | | | | | |
| 金属工事 | | | | | | | | | |
| 左官工事 | | | | | | | | | |
| 建具工事 | | | | | | | | | |
| 仕上工事 | | | | | | | | | |
| 雑工事 | | | | | | | | | |
| 設備工事 | | | | | | | | | |
| 検査関係 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>Ａ－０５ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>付近見取図・配置図 | 縮尺<br>A1：1/2500 1/500<br>A3：1/1250 1/250 |

## 外　部　仕　上　表

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 屋　　根 | 既存：特殊プライマー処理の上、FRP防水仕上（コンパックルーフ工法　R-4）<br>渡り廊下部分：FRP防水　トップコート塗り<br>２階屋上部：樹脂ペースト塗布の上、（機械固定工法SMG2.0ｍｍ）塩ビシート防水<br>既存のまま | 外　階　段 | 既存：錆止め塗料塗りの上、耐候性塗料塗り　フッ素樹脂塗装（DP-1）<br>既存のまま | 外　壁　改　修<br>（コンクリート） | コンクリート打放しの上、50角タイル貼 |
| 外　　壁<br>（RC打放部） | 既存：RC-RNシステム　化粧打放しコンクリート改修システム超耐久性保護仕上げ<br>既存のまま | 軒　　樋 | 既存：軒樋　FRP防水　トップコート塗り<br>既存のまま | 外　壁　改　修<br>（ＡＬＣ） | ALCｔ50下地調整の上、50角タイル貼 |
| 外　　壁<br>（タイル貼部） | 既存：クリアウォール塗り<br>既存のまま | 竪　　樋 | 既存：竪樋　錆止め塗料塗りの上、耐候性塗料塗り　フッ素樹脂塗装（DP-1）掴み金物共<br>既存のまま | | |
| 外　　壁<br>（RC打放目地付部） | 既存：RC-RNシステム　化粧打放しコンクリート改修システム超耐久性保護仕上げ<br>既存のまま | | | | |

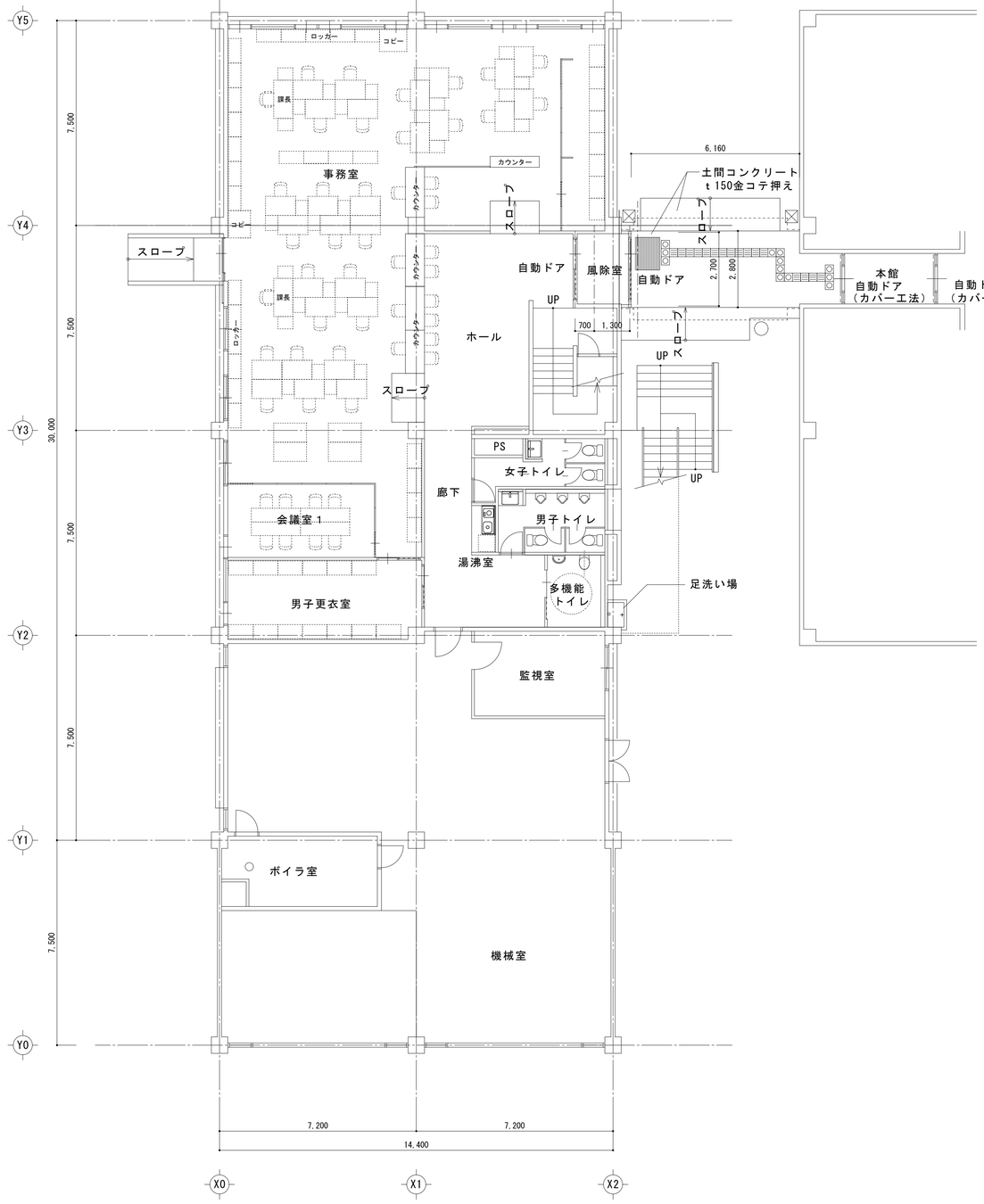
## 内　部　仕　上　表　（特記なき限り下地・仕上げ共撤去とする）

| | 室　名 | 床 | | 巾　木 | 壁 | 天　井 | 廻縁 | 天井高 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既存１階 | 廊下 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上EP塗り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上EP塗 | LGS下地の上ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ貼り | ― | 2300 | |
| | 食堂 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | LGS下地 PBt=9.5<br>底目地の上EP塗り | ― | 2400 | |
| | 厨房 | ﾓﾙﾀﾙこて仕上げ | FL-115 | ― | 100角半磁器ﾀｲﾙ貼り | LGS下地<br>石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=4 VP塗り | ― | 2800 | ｶｳﾝﾀｰ、ﾊｯﾁ、排水溝<br>鋳鉄製溝蓋 |
| | 104会議室 | ｺﾝﾊﾟﾈt=12 ﾀﾀﾐ敷 | FL+150 | 畳寄せ | LGS下地 PBt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | LGS下地 PBt=9.5<br>ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張 | 木製 | 2610 | |
| | 踏込 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | 木製素地H=100 | LGS下地 PBt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | LGS下地 PBt=9.5<br>底目地の上EP塗り | ― | 2100 | |
| | 105会議室 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | LGS下地の上ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ貼り | ― | 2700 | |
| | 小休憩室 | ﾓﾙﾀﾙこて仕上げ | FL±0 | 木製OP塗り | CB150 ﾓﾙﾀﾙ下地の上EP塗り<br>LGS下地 PBt=12.5の上EP塗り | LGS下地 PBt=9.5<br>ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張 | ― | 2400 | |
| | 和室6帖 | ｺﾝﾊﾟﾈt=12 ﾀﾀﾐ敷 | FL+200 | 畳寄せ | LGS下地 PBt=12の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | LGS下地 PBt=9.5<br>ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張 | 木製 | 2200 | |
| | 物入 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　一部CB化粧類EP塗り<br>LGS下地 PBt=12.5の上EP塗り | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し | ― | ― | |
| | 監視室<br>機械室<br>ﾎﾞｲﾗｰ室 | 既存のまま | FL±0 | 既存のまま | 既存のまま | 既存のまま | ― | ― | |
| | 給湯室 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | CB150 ﾓﾙﾀﾙ下地の上VP塗り<br>LGS下地<br>石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6 VP塗り | 石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=4 VP塗り | ― | 2100 | |
| | 男子トイレ<br>女子トイレ | 下地均しﾓﾙﾀﾙ<br>長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り | FL±0 | ― | CB150<br>100角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 | 石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=4 VP塗り | ― | 2200 | |
| | 階段下物入 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>既存のまま | FL±0 | ﾓﾙﾀﾙ<br>既存のまま | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し<br>既存のまま | 段裏:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し<br>LGS下地 PBt=9 底目地EP塗り<br>既存のまま | ― | ― | |
| | 階段室 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | ― | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上EP塗り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上EP塗 | LGS下地の上ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ貼り | ― | 2300 | |
| 改修１階 | 階段室 | 長尺塩ビシート張り | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2700 | 天井点検口　新設<br>SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ新設<br>手摺り新設 |
| | 事務室 | OAフロアH＝100の上<br>タイルカーペットｔ6.5張り | FL±100 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2600 | 天井点検口　新設<br>既存木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ SOP塗替<br>ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去新設 |
| | 男子更衣室 | 長尺塩ビシート張り | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2700 | 天井点検口　新設<br>既存木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ SOP塗替<br>ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去新設 |
| | 風除室 | 長尺塩ビシート張り | FL±0 | 45二丁タイル貼 | ALCt50の上50角タイル貼<br>RC下地調整の上50角タイル貼 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2300 | 天井点検口　新設 |
| | ホール・廊下 | 長尺塩ビシート張り | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2300 | 天井点検口　新設 |
| | 湯沸室 | 長尺塩ビシート張り | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2300 | 天井点検口　新設 |
| | 男子トイレ | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(無地)張 | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | GB-St12.5の上ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ｔ3.0貼 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2300 | 天井点検口　新設 |
| | 女子トイレ | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(無地)張 | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | GB-St12.5の上ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ｔ3.0貼 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2300 | 天井点検口　新設 |
| | 障害者用トイレ | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(無地)張 | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | GB-St12.5の上ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ｔ3.0貼 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2300 | 天井点検口　新設 |

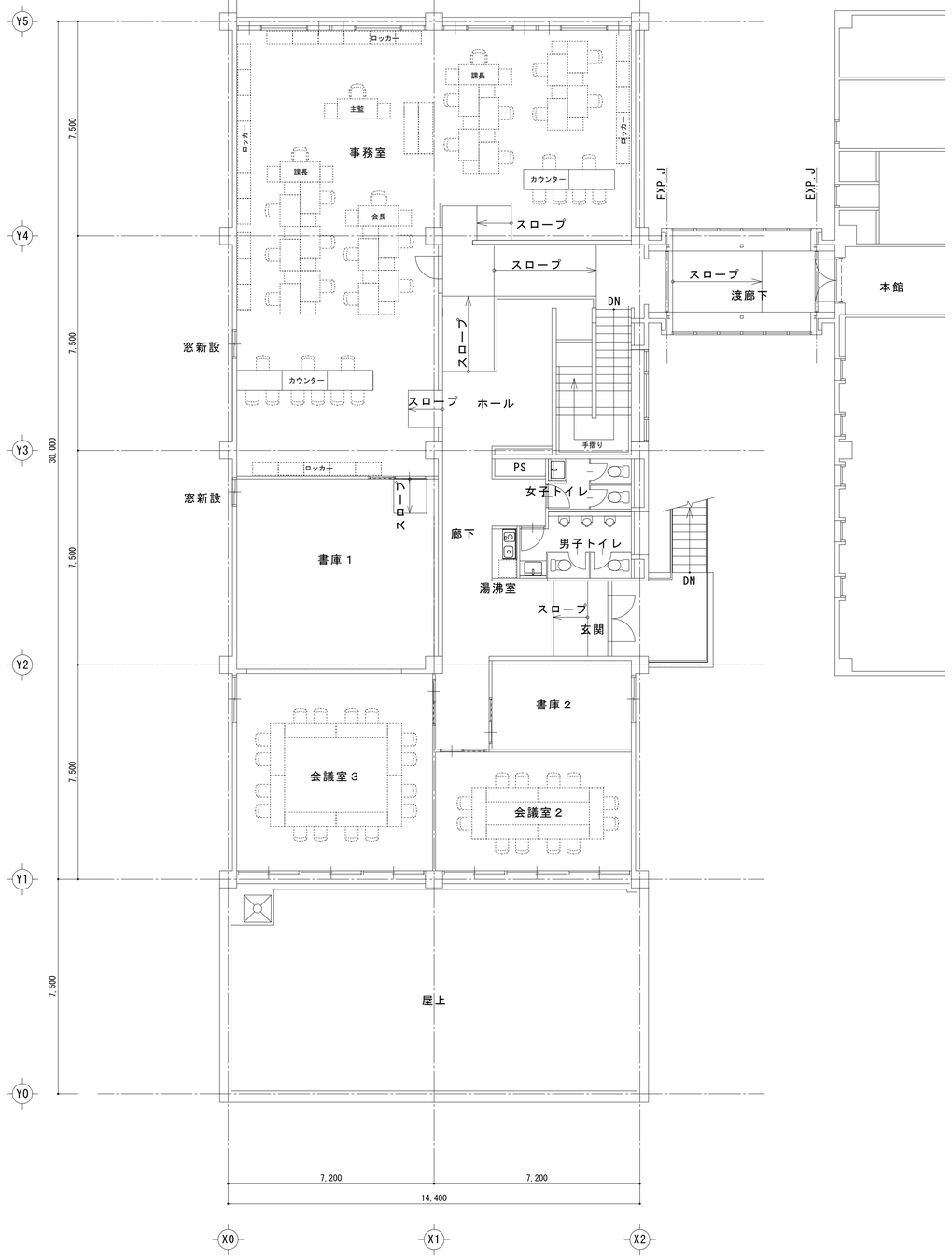
## 内　部　仕　上　表　（特記なき限り下地・仕上げ共撤去とする）

| | 室　名 | 床 | | 巾　木 | 壁 | 天　井 | 廻縁 | 天井高 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既存２階 | 玄関 | 均しﾓﾙﾀﾙt=115 ｼｰﾄ防水<br>ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄt=50<br>50角ﾀｲﾙ ﾎﾞｰﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>既存のまま | FL-100 | ｽﾃﾝﾚｽ HL H=100<br>既存のまま | ﾓﾙﾀﾙ下地の上EP塗り | LGS下地 化粧PBt=9.5<br>ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ貼り | ― | 2800 | 上り框 ｽﾃﾝﾚｽHL　既存のまま<br>スロープ新設 |
| | 廊下 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上EP塗り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上EP塗 | 同上 | ― | 2300 | |
| | 渡り廊下 | 同上<br>既存のまま | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60<br>既存のまま | LGS下地 PBt=12.5の上EP塗り<br>既存のまま | 同上<br>既存のまま | ― | 3115<br>～<br>2315 | |
| | 206会議室 | 同上 | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | 同上 | ― | 2400 | |
| | 職員厚生室 | 同上 | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | 同上 | ― | 2400 | |
| | 機械室 | 同上 | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しEP塗り | 同上 | ― | 2700 | |
| | 前室 | 同上 | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しEP塗り | 同上 | ― | 2700 | |
| | 事務室 | 同上 | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | 同上 | ― | 2400 | |
| | スタジオ<br>音調室 | 木床組立 ｺﾝﾊﾟﾈt=18<br>ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ貼り | FL+200 | 木製OP塗り H=60 | LGS下地 PBt=12.5捨貼り<br>ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50充填、寒冷紗裏張<br>有孔ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt=4 VP | LGS下地 PBt=9.5捨貼り<br>ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=50充填、寒冷紗裏張<br>有孔ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt=4 VP | ― | 2500<br>2400 | |
| | 会議室 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ貼り | FL+100 | 木製OP塗り H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上EP塗り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り | LGS下地 化粧PBt=9.5<br>ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ貼り | ― | 2400 | |
| | 更衣室 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | LGS下地 PBt=12.5の上EP塗り<br>CB150 ﾓﾙﾀﾙ下地の上EP塗り | 同上 | ― | 2400 | |
| | 休憩室 | ｺﾝﾊﾟﾈt=12 ﾀﾀﾐ敷 | FL+200 | 畳寄せ | LGS下地 PBt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り<br>ﾓﾙﾀﾙ下地の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｸﾛｽ貼り | LGS下地 PBt=9.5<br>ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張 | 木製 | 2500 | |
| | 踏込 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | 木製OP塗り H=60 | LGS下地 PBt=12の上EP塗り<br>CB150 ﾓﾙﾀﾙ下地の上EP塗り | LGS下地 PBt=9.5<br>ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張 | 木製 | 2300 | |
| | 給湯室 | ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ<br>Pﾀｲﾙ貼り | FL±0 | ｿﾌﾄ巾木 H=60 | CB150 ﾓﾙﾀﾙ下地の上VP塗り<br>LGS下地<br>石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6 VP塗り | 石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=4 VP塗り | ― | 2100 | |
| | 男子トイレ<br>女子トイレ | 下地均しﾓﾙﾀﾙ<br>長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り | FL±0 | ― | CB150<br>100角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 | 石綿ｾﾒﾝﾄｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=4 VP塗り | ― | 2200 | |
| 改修２階 | 事務室 | OAフロアH＝100の上<br>タイルカーペットｔ6.5張り | FL±100 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24kg<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2600 | 天井点検口　新設<br>既存木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ SOP塗替<br>ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去新設 |
| | 書庫１ | 長尺塩ビシート張り | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24kg<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2700 | 天井点検口　新設 |
| | 書庫２ | 長尺塩ビシート張り | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24kg<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2700 | 天井点検口　新設 |
| | 会議室２・３ | タイルカーペットｔ6.5張り | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24kg<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2700 | 天井点検口　新設<br>既存木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ SOP塗替<br>ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去新設 |
| | ホール･廊下 | 長尺塩ビシート張り<br>スロープ　防滑性塩ビシート張り | FL±0<br>～540 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5の上EP<br>下地調整RA種の上EP | ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24kg<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2700<br>2300 | 天井点検口　新設 |
| | 男子トイレ | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(無地)張 | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | GB-St12.5の上ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ｔ3.0貼 | ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24kg<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2300 | 天井点検口　新設 |
| | 女子トイレ | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(無地)張 | FL±0 | ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100 | GB-St12.5の上ﾒﾗﾐﾝ化粧合板ｔ3.0貼 | ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 24kg<br>石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上<br>岩綿吸音板t9 | 塩ビ | 2300 | 天井点検口　新設 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>Ａ－０６ |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名<br>既存改修　仕上表 | 縮尺<br>A1：―<br>A3：― |

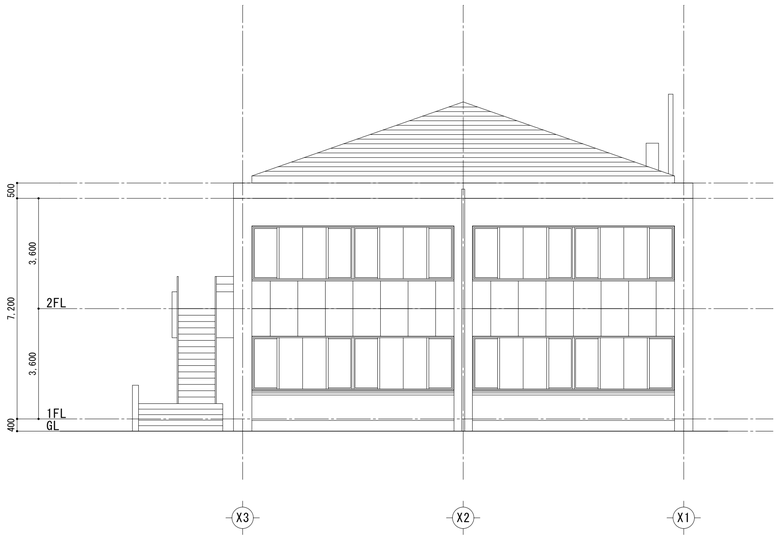



1階平面図

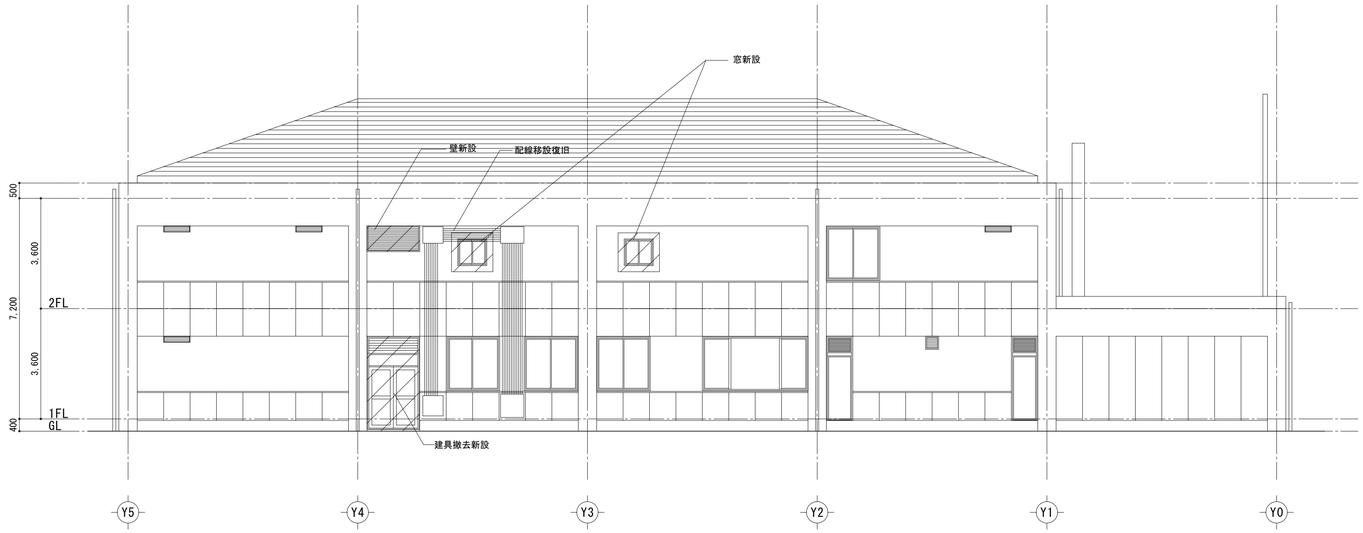



２階平面図

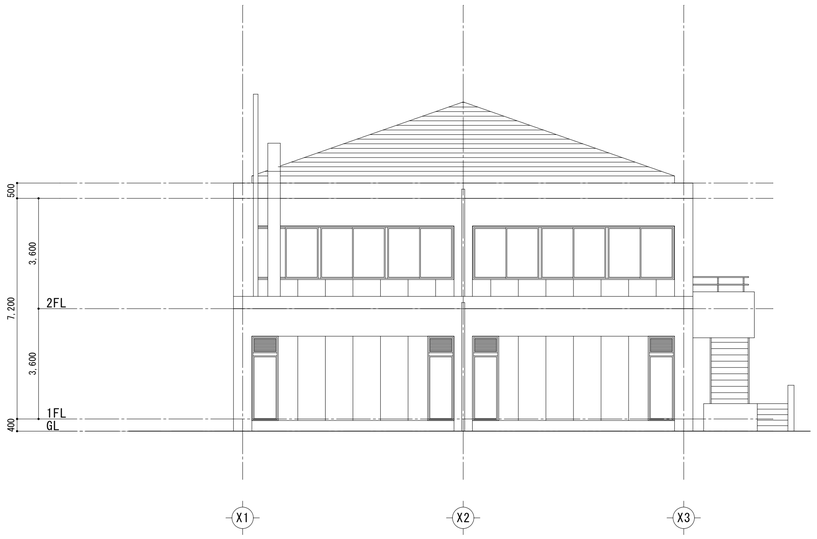
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－０７ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　平面図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |



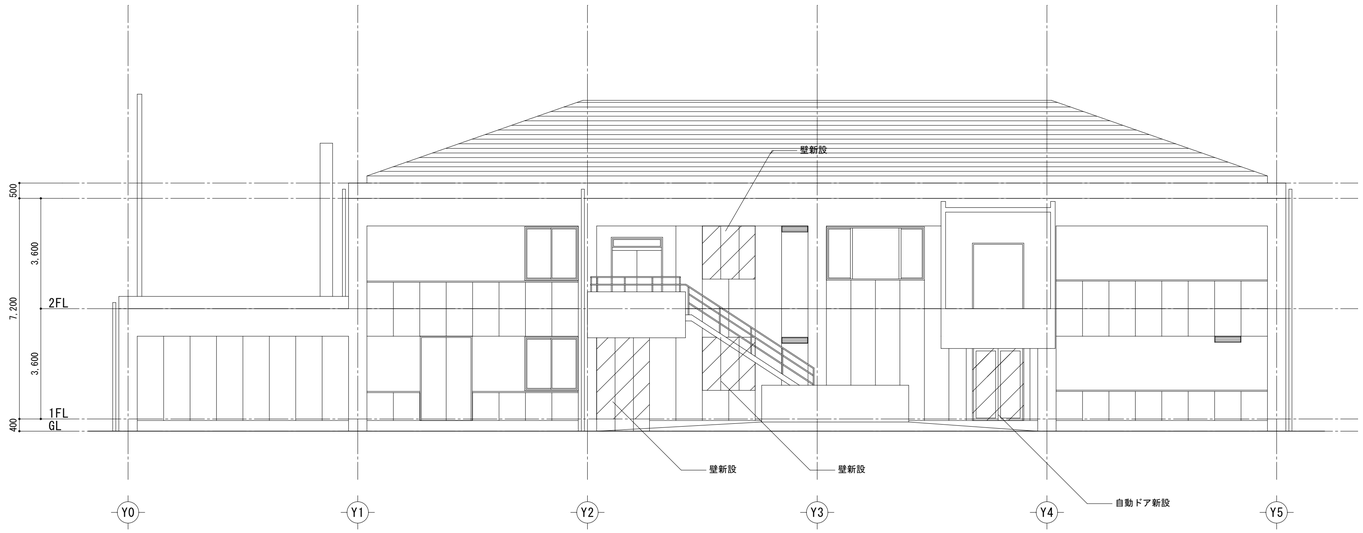

北立面図




西立面図



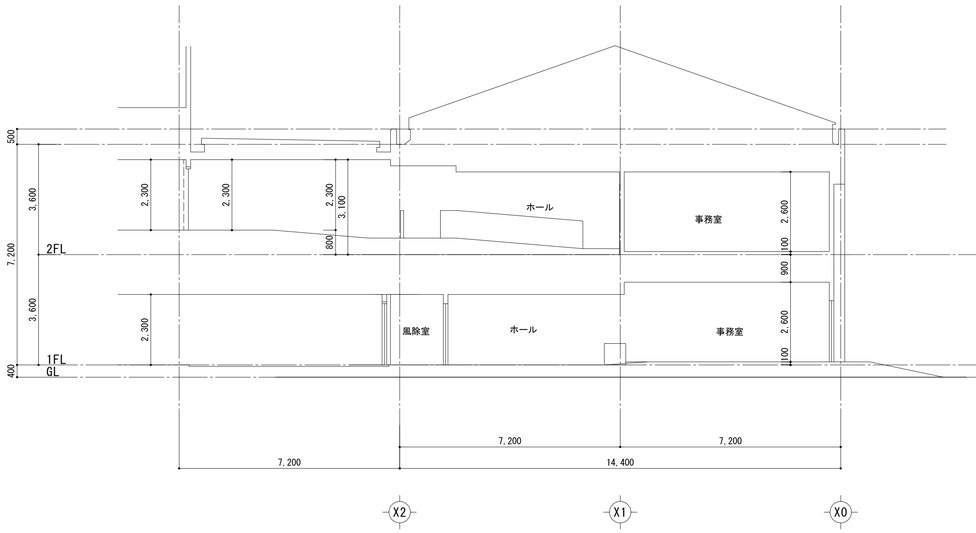

南立面図



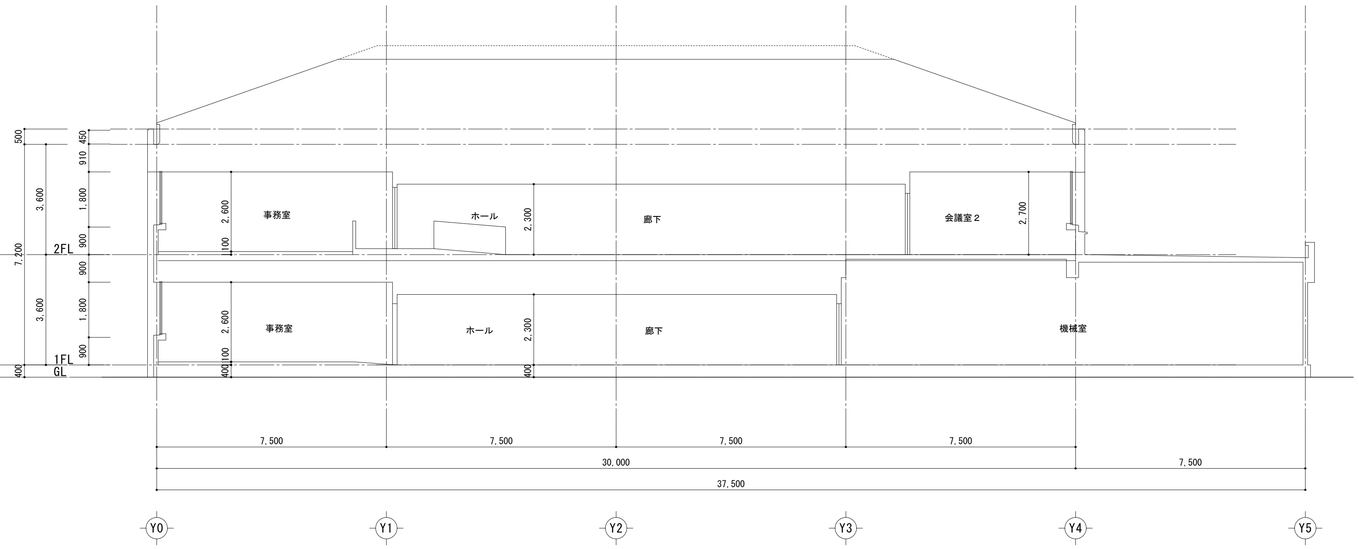

東立面図

改修工事範囲を示す

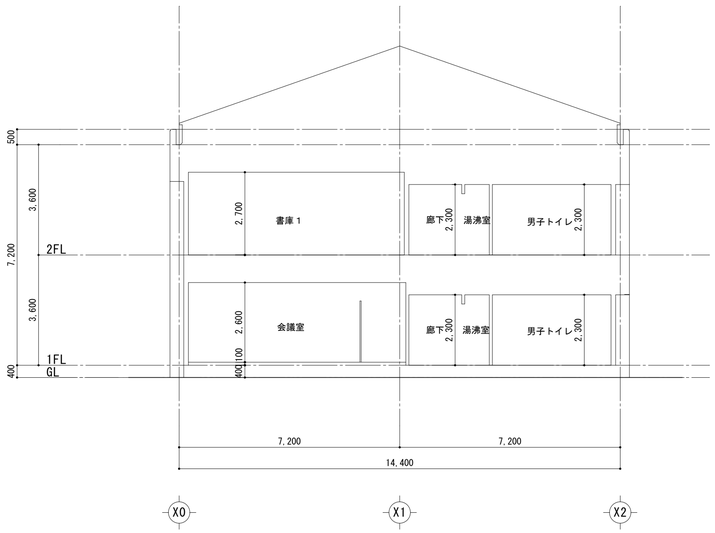
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－08 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　立面図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |



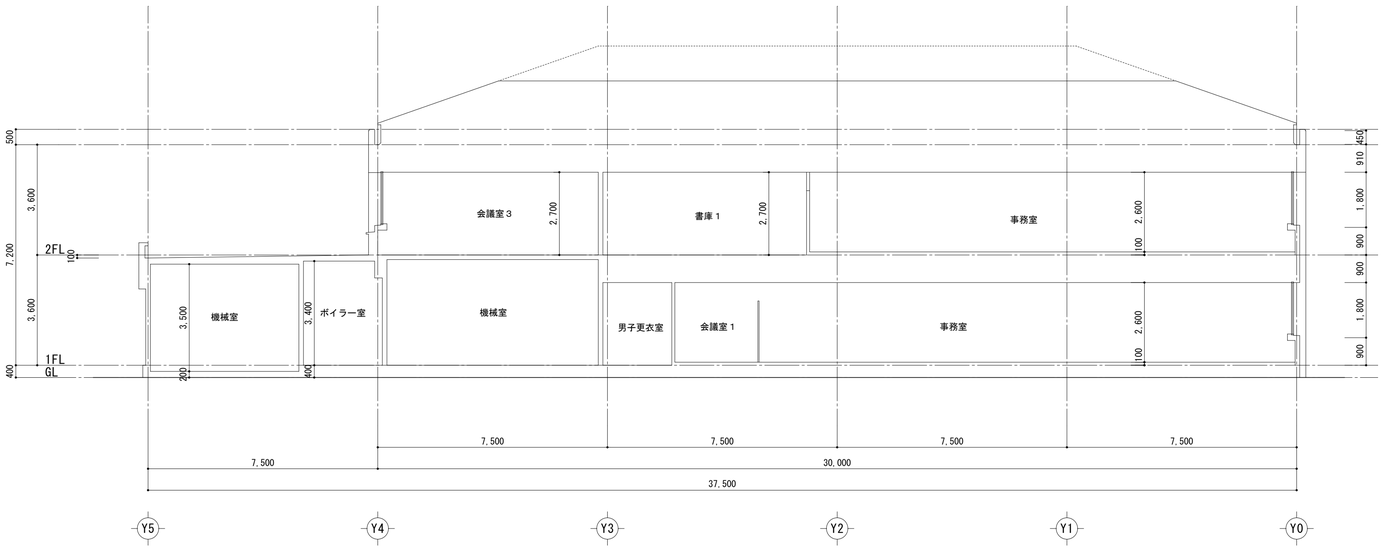

Ｘ－Ｘ’ 断面図




Ｙ－Ｙ’ 断面図

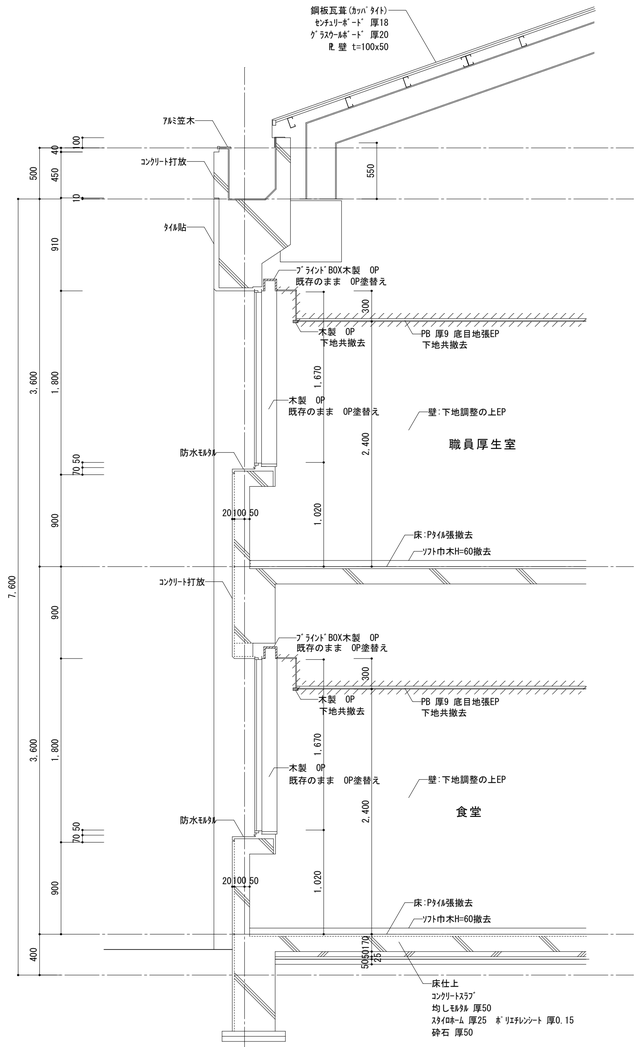



Ｘ－Ｘ’ 断面図

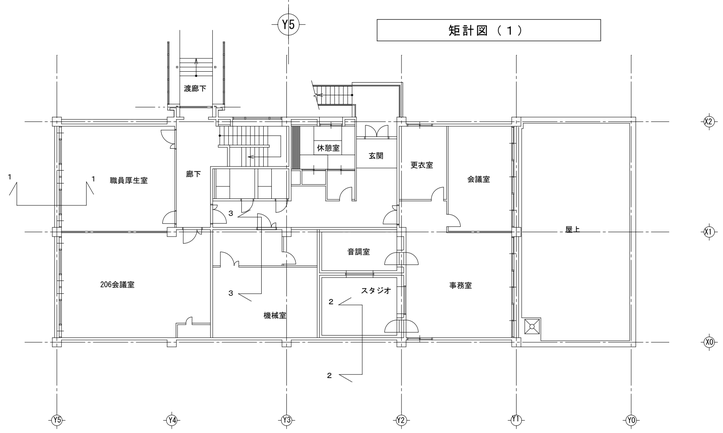


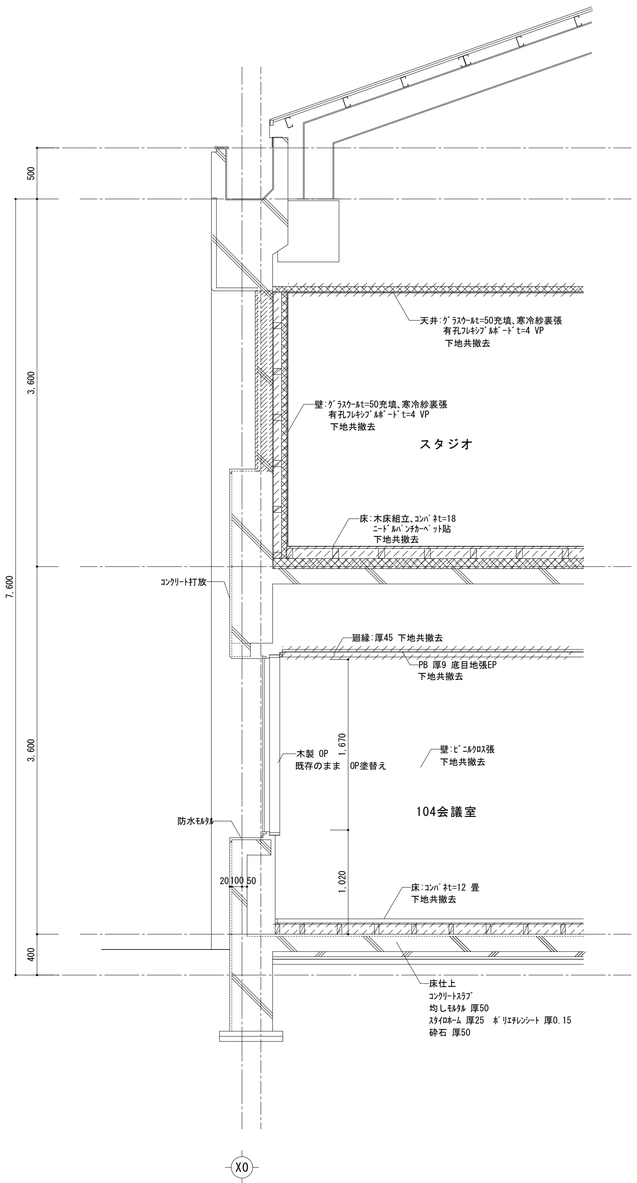

Ｙ－Ｙ’ 断面図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－０９ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　断面図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

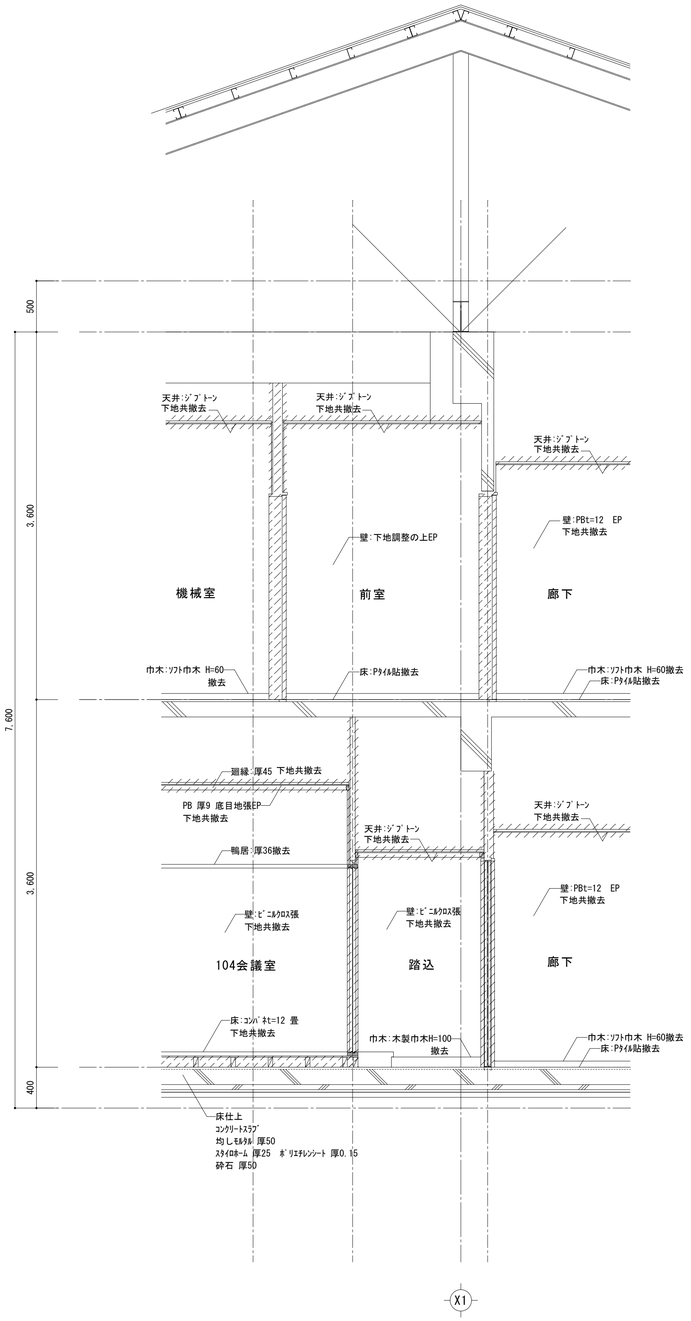



矩計図（１）




矩計図（２）



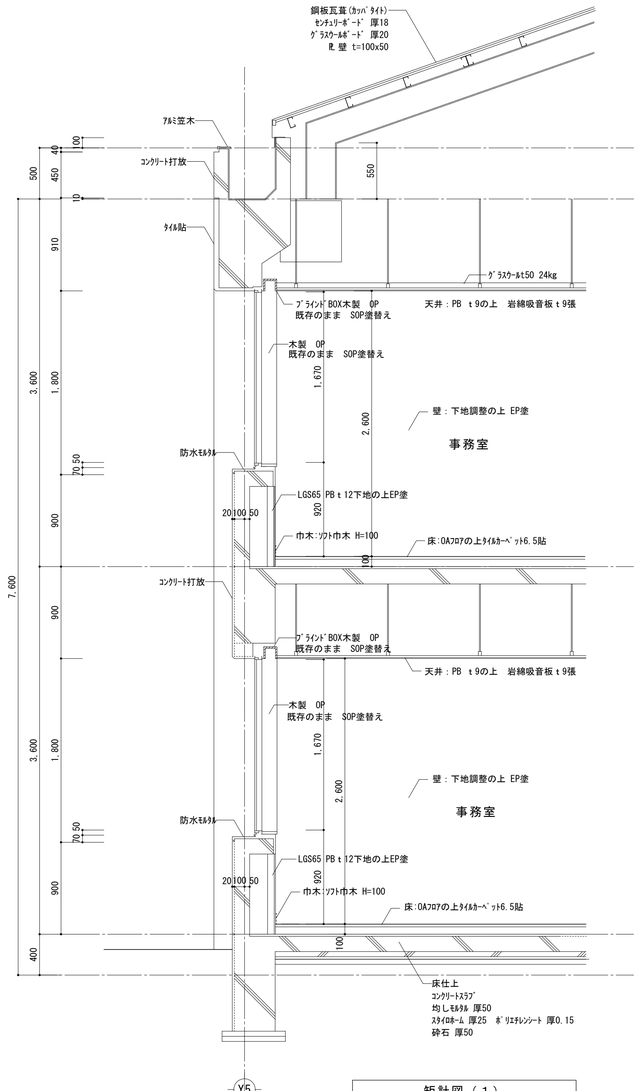

矩計図（３）

解体撤去範囲を示す

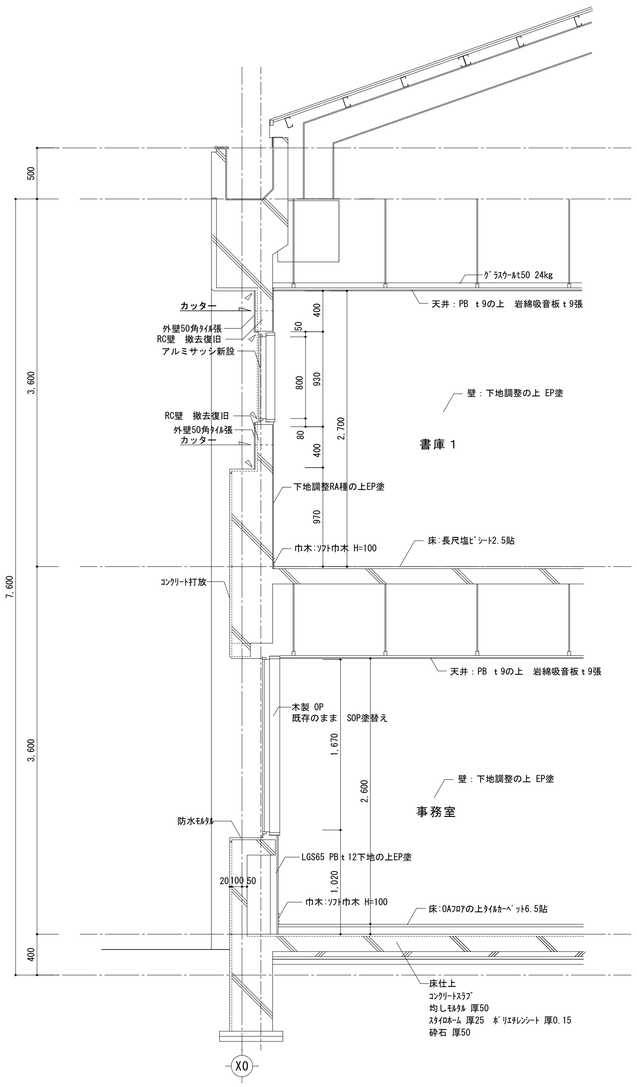
間仕切壁撤去：RC下地 ﾓﾙﾀﾙ下地 EP

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－１０ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 図名<br>既存 矩計図 | 縮尺<br>A1：1/30<br>A3：1/60 |

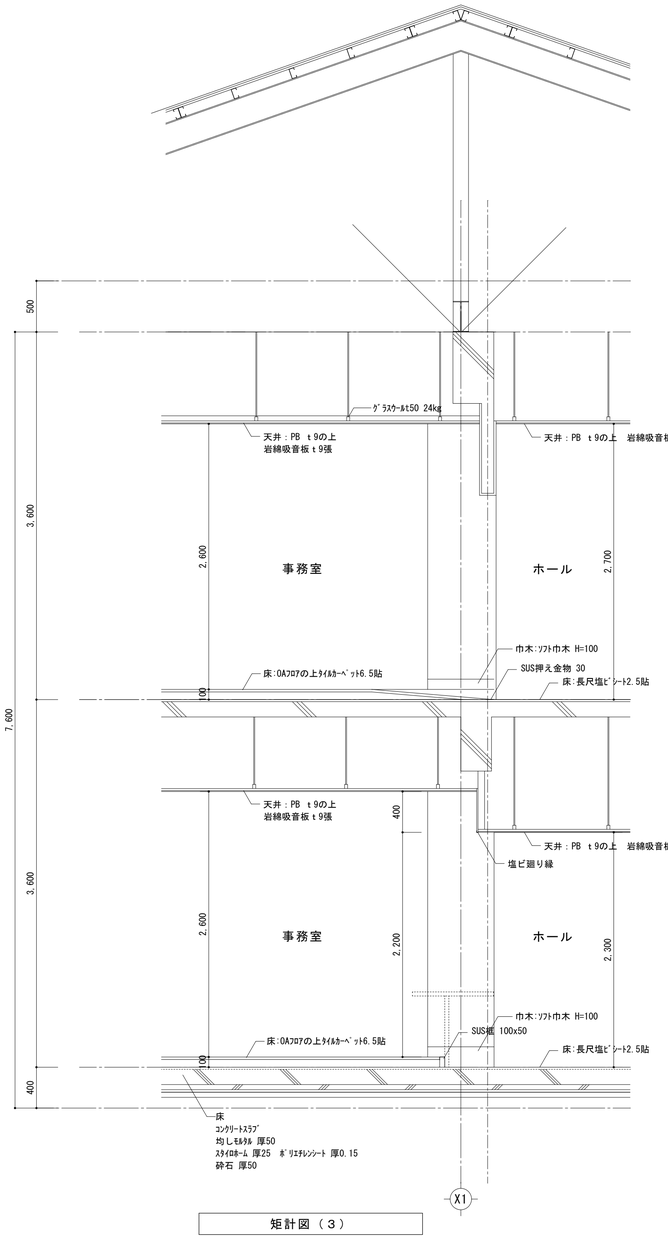
File A10_既存矩計図



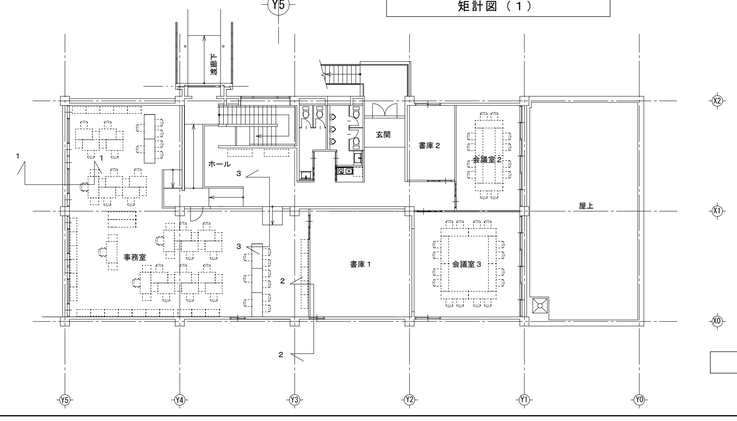

矩計図（１）



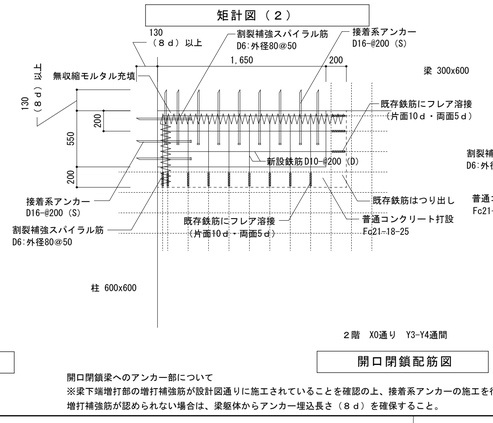

矩計図（２）




矩計図（３）

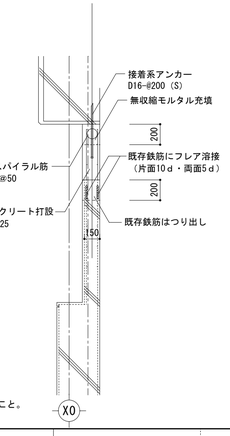


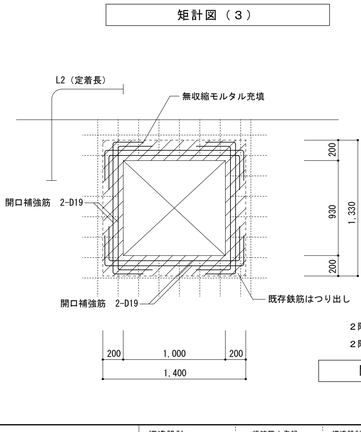

案内図




２階 X0通り Y3-Y4通間

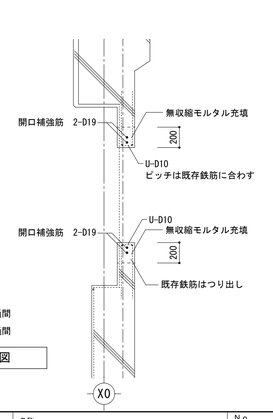
開口閉鎖配筋図




２階 X0通り Y2-Y3通間
２階 X0通り Y3-Y4通間

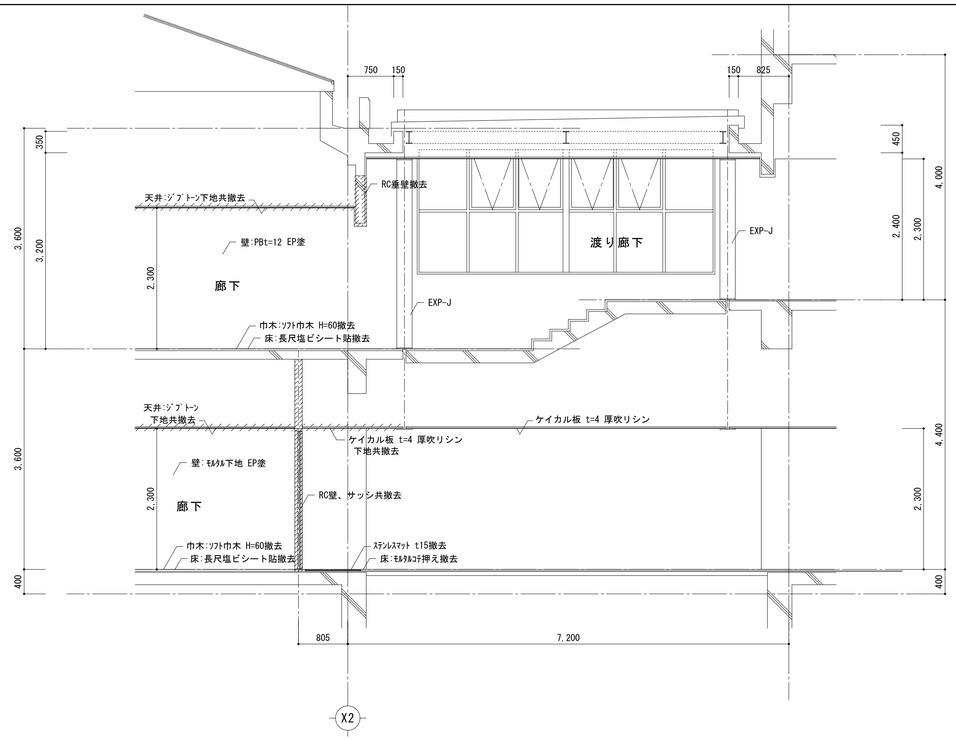
開口新設配筋図



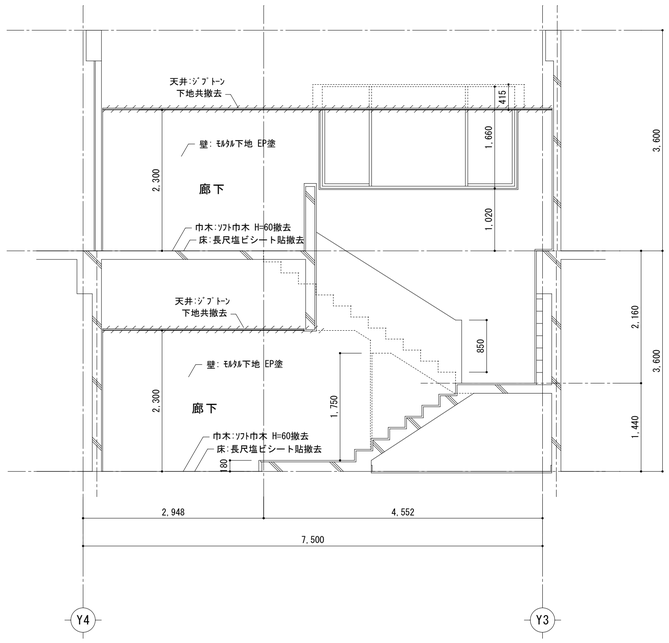

開口閉鎖梁へのアンカー部について
※梁下端増打部の増打補強筋が設計図通りに施工されていることを確認の上、接着系アンカーの施工を行うこと。
増打補強筋が認められない場合は、梁躯体からアンカー埋込長さ（８ｄ）を確保すること。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. A－１１ |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 図名 | 改修 矩計図 | 縮尺<br>A1：1/30<br>A3：1/60 |

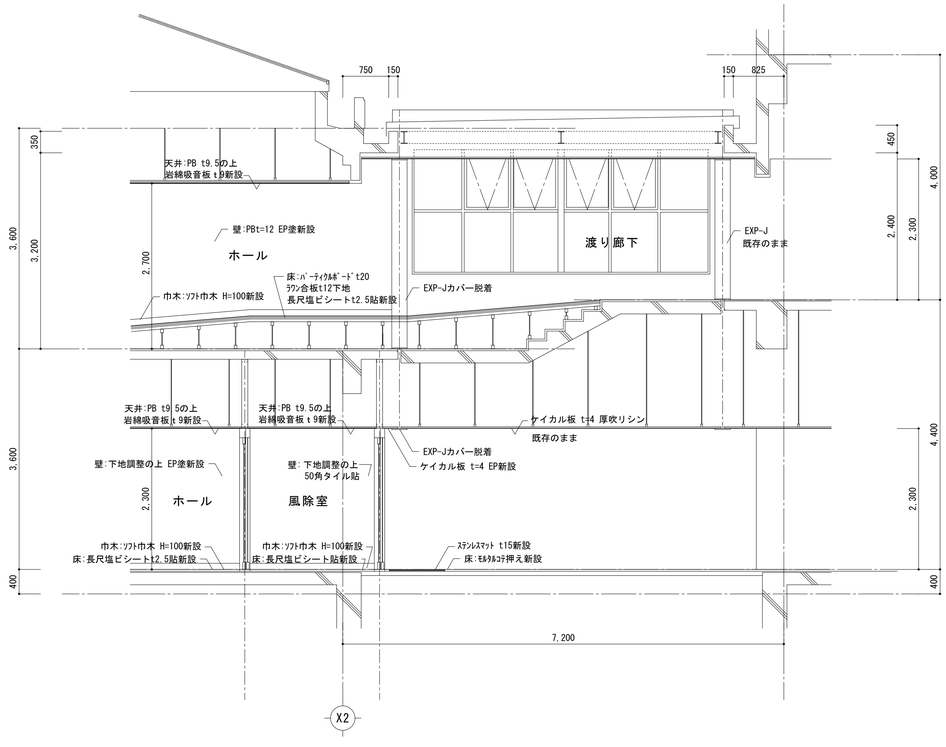
File A11_改修矩計図



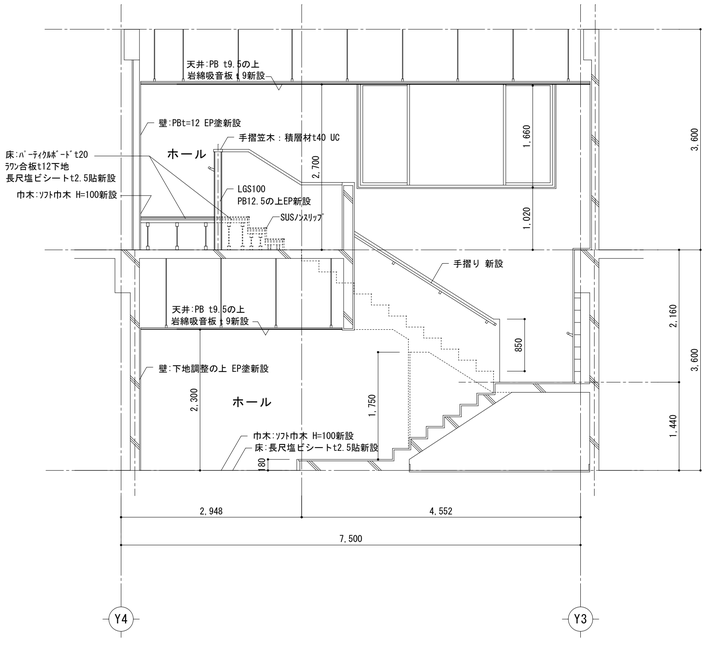

既存　渡廊下断面詳細図




既存　階段断面詳細図




改修　渡廊下断面詳細図



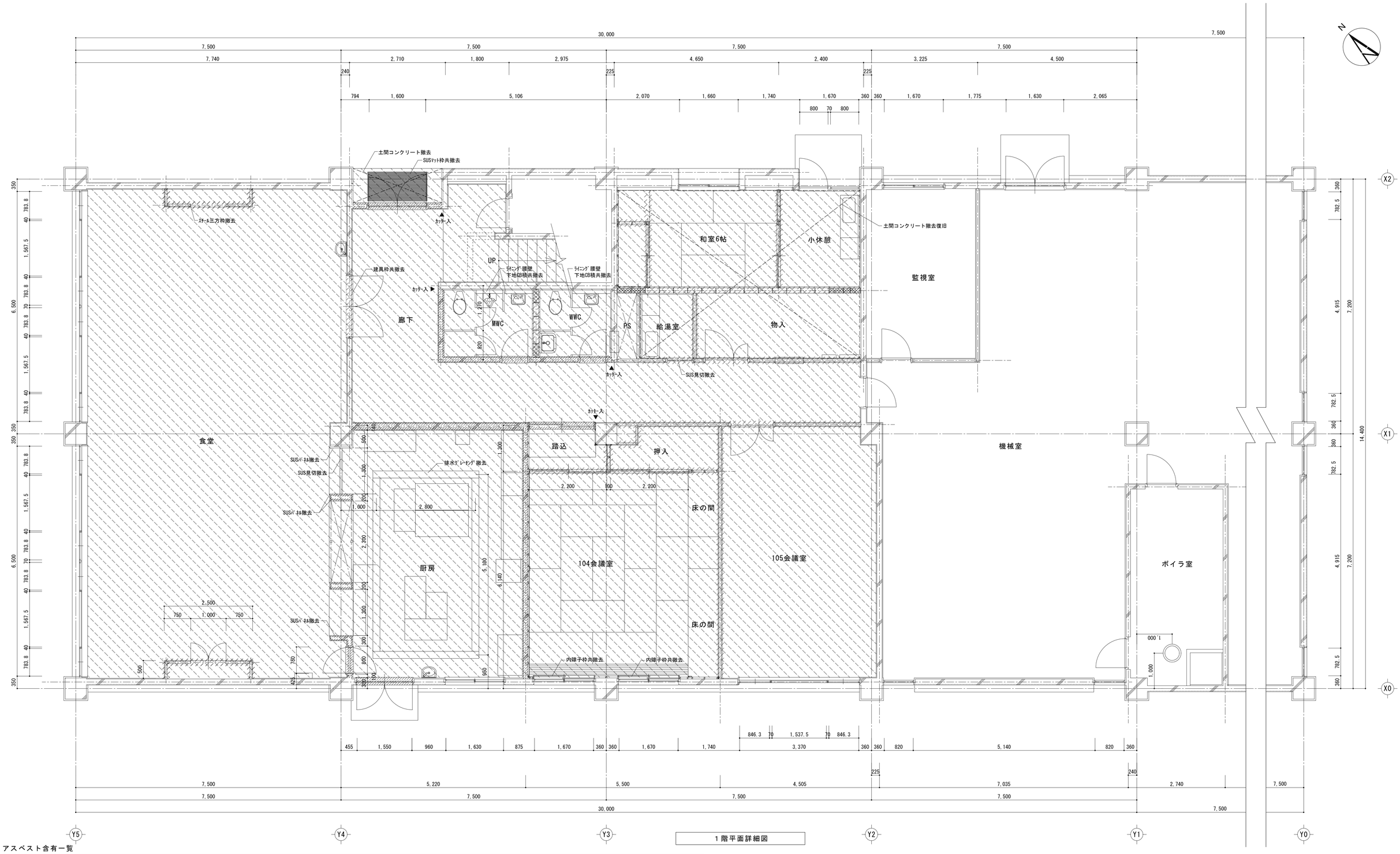

改修　階段断面詳細図

解体撤去範囲を示す

間仕切壁撤去：RC下地 ﾓﾙﾀﾙ下地　EP

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－12 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>既存改修　渡り廊下・階段<br>断面詳細図 | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A12_既存改修渡り廊下・階段-断面詳細図




1階平面詳細図

アスベスト含有一覧

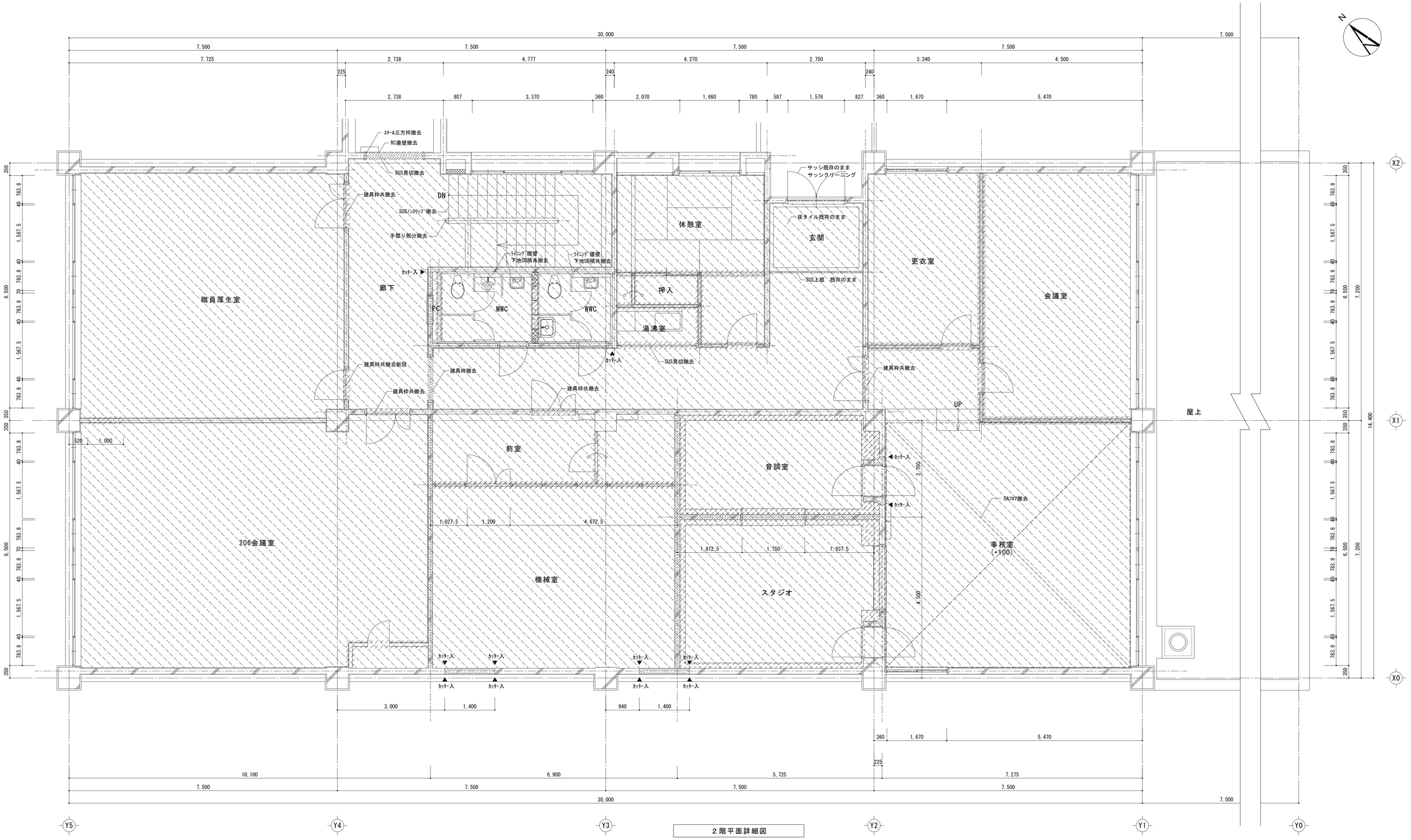
| 室名＼部位 | 食堂 | 厨房 | 104会議室 | 105会議室 | 廊下 | 男子ﾄｲﾚ | 女子ﾄｲﾚ | 給湯室 | 和室 | 小休憩 | 物入 | 階段室 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 床 | Pﾀｲﾙ | | | Pﾀｲﾙ | Pﾀｲﾙ | 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ | 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ | Pﾀｲﾙ | | | | |
| 壁 | PB | | | PB | PB | | | ｹｲｶﾙ板 | | | | |
| 天井 | PB | ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ | | | | ｹｲｶﾙ板 | ｹｲｶﾙ板 | ｹｲｶﾙ板 | PB | PB | | |
| その他 | | 換気ｶﾊﾞｰ<br>ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ | | | | | | | | | | |

※ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ全撤去
※衛生器具等撤去(機械設備)
（衛生陶器、配管、手摺、洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡、ﾐﾆｷｯﾁﾝ）
（厨房器具、換気ﾀﾞｸﾄ、配管）
※照明器具等撤去(電気設備)

B
A 展開方向 C
D

解体撤去範囲を示す
RC部撤去（ｶｯﾀｰ入含）
間仕切壁撤去：CB下地 LGS下地 PB

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 名称 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. A－１３ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 図名 既存 1階平面詳細図 | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |




２階平面詳細図

アスベスト含有一覧

| 室名 ＼ 部位 | 職員厚生室 | 前室 | 機械室 | 206会議室 | 廊下 | 男子ﾄｲﾚ | 女子ﾄｲﾚ | 給湯室 | 踏込 | 休憩室 | 音調室 | ｽﾀｼﾞｵ | 玄関 | 更衣室 | 会議室 | 事務室 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 床 | Pﾀｲﾙ | Pﾀｲﾙ | Pﾀｲﾙ | Pﾀｲﾙ | Pﾀｲﾙ | 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ | 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ | Pﾀｲﾙ | Pﾀｲﾙ | | | | | Pﾀｲﾙ | | Pﾀｲﾙ |
| 壁 | PB | PB | PB | PB | PB | | | ｹｲｶﾙ板 | | | | | | PB | PB | PB |
| 天井 | | ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ | ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ | | | ｹｲｶﾙ板 | ｹｲｶﾙ板 | ｹｲｶﾙ板 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | |

※ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ全撤去
※衛生器具等撤去(機械設備)
（衛生陶器、配管、手摺、洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡、ﾐﾆｷｯﾁﾝ）
※照明器具等撤去(電気設備)

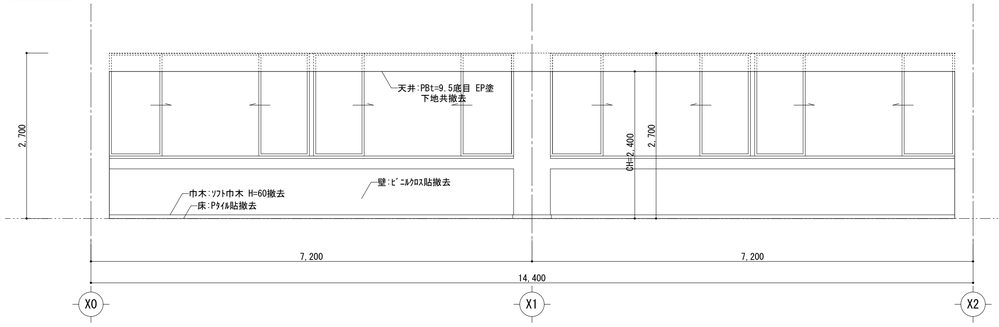
B
A　展開方向　C
D

解体撤去範囲を示す
RC部撤去（ｶｯﾀｰ入含）
間仕切壁撤去：CB下地 LGS下地 PB

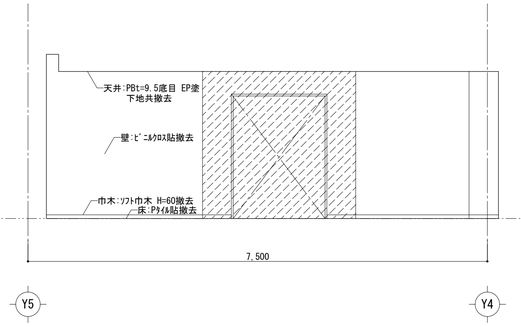
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） |

| | | |
|---|---|---|
| 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. A－１４ |
| 図名 | 既存　２階平面詳細図 | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

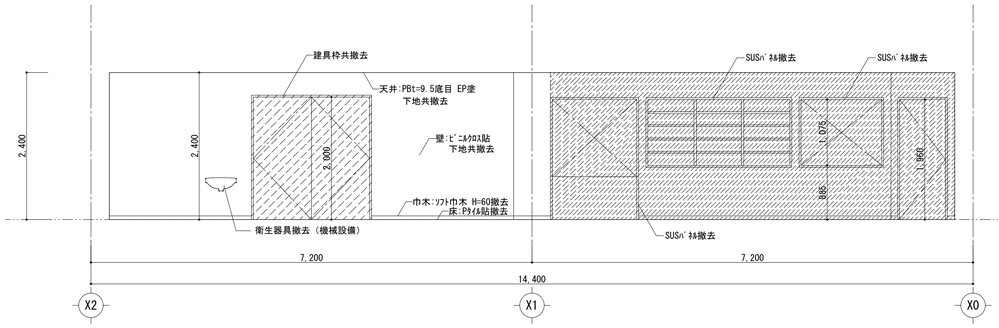
1 F



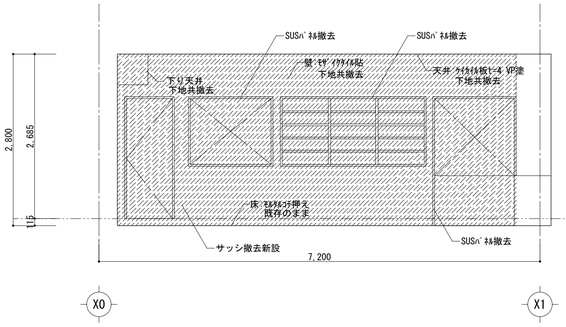

食堂　既存展開図　Ａ面



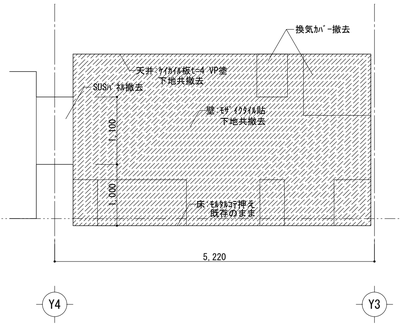

食堂　既存展開図　Ｂ面



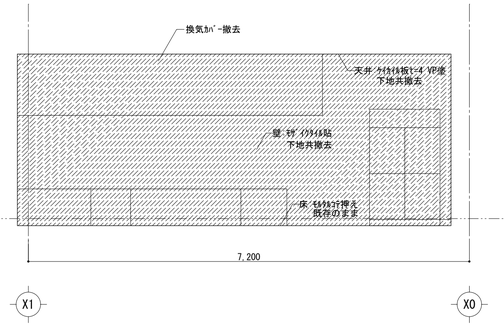

食堂　既存展開図　Ｃ面



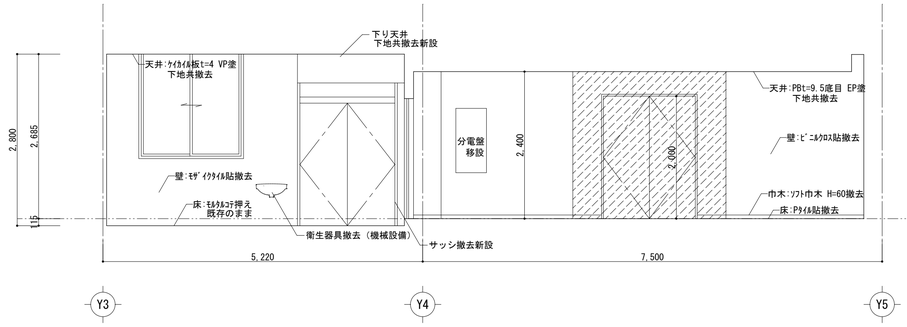

厨房　展開図　Ａ面



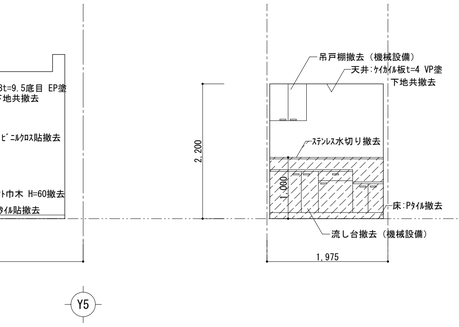

厨房　展開図　Ｂ面



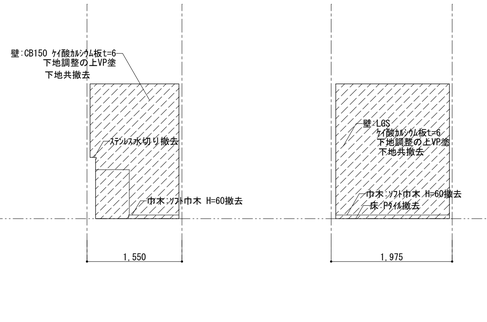

厨房　展開図　Ｃ面




厨房　展開図　Ｄ面



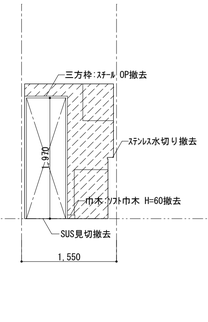

食堂　既存展開図　Ｄ面




給湯室　展開図　Ａ面




給湯室　展開図　Ｂ面



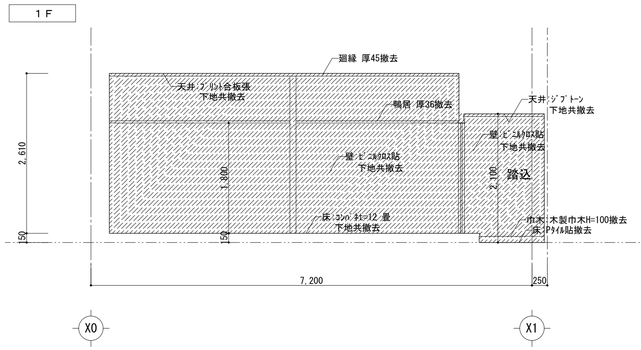

給湯室　展開図　Ｃ面

給湯室　展開図　Ｄ面

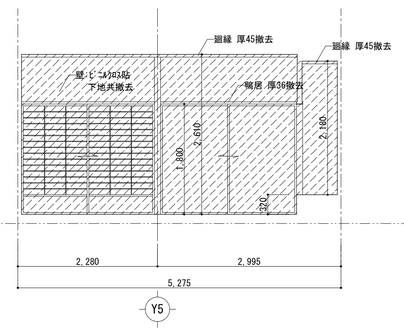
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>Ａ－１５ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>既存　展開図（１） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A15_既存展開図1

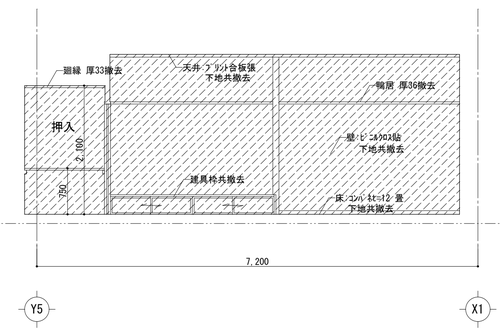
1 F



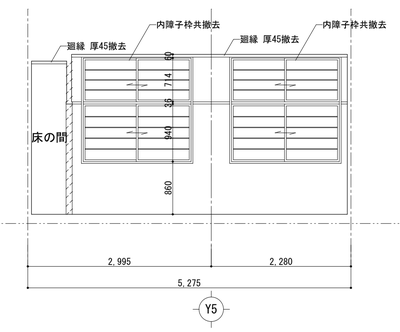

104会議室　展開図　Ａ面



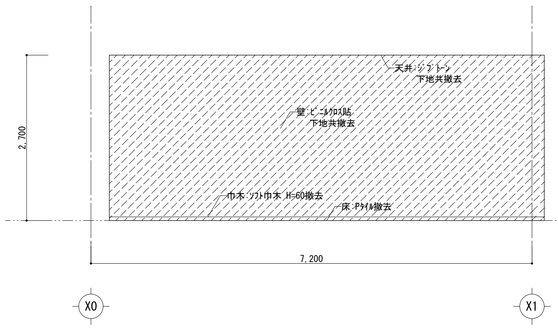

104会議室　展開図　Ｂ面



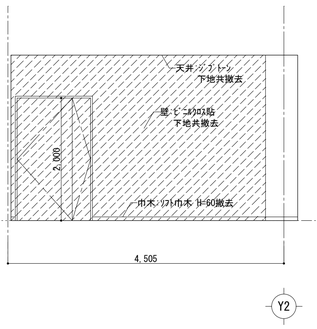

104会議室　展開図　Ｃ面



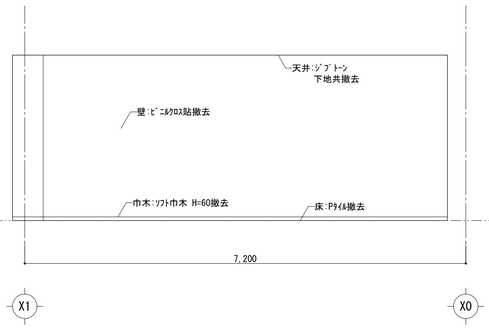

104会議室　展開図　Ｄ面



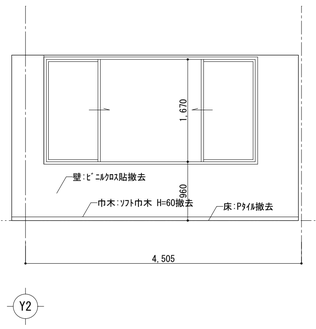

105会議室　展開図　Ａ面



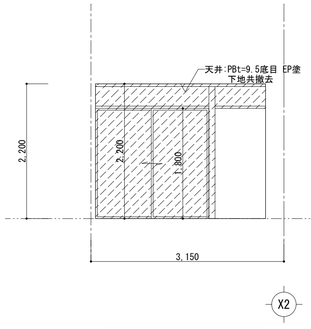

105会議室　展開図　Ｂ面



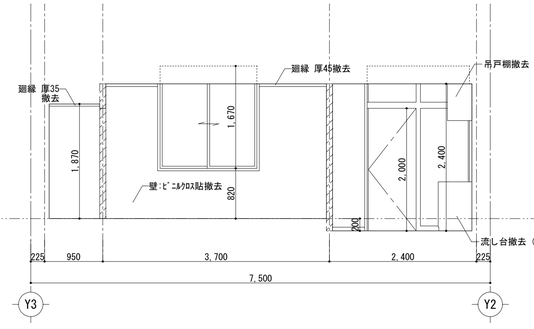

105会議室　展開図　Ｃ面



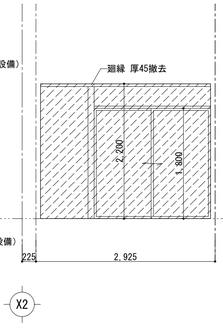

105会議室　展開図　Ｄ面



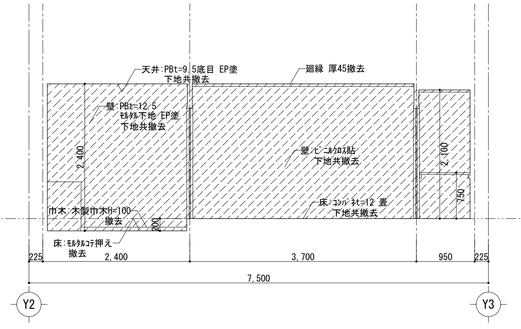

和室6帖　展開図　Ａ面




和室6帖　展開図　Ｂ面

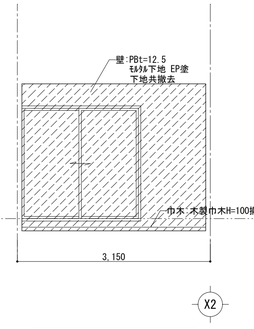



和室6帖　展開図　Ｃ面

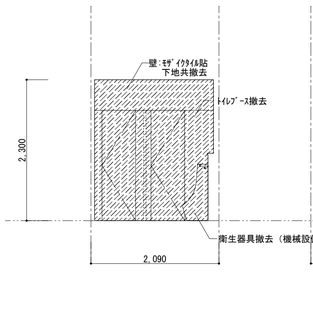



小休憩室　展開図　Ｄ面

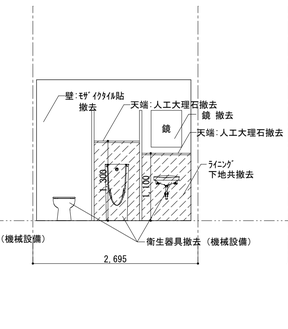
和室6帖　展開図　Ｄ面



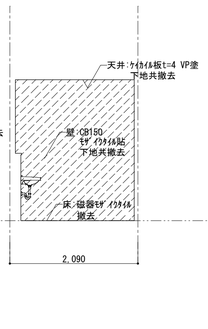

小休憩室　展開図　Ａ面



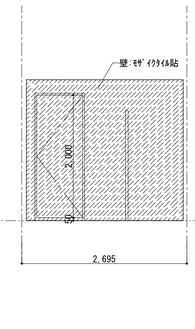

1階男子便所　展開図　Ａ面



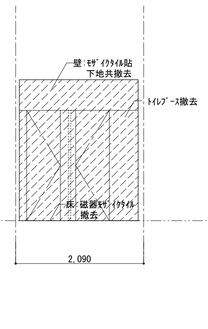

1階男子便所　展開図　Ｂ面



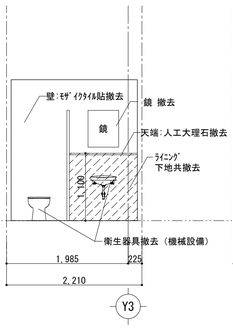

1階男子便所　展開図　Ｃ面



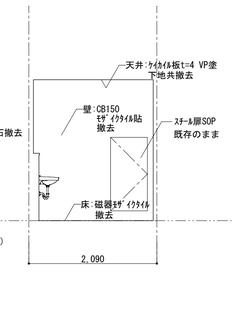

1階男子便所　展開図　Ｄ面



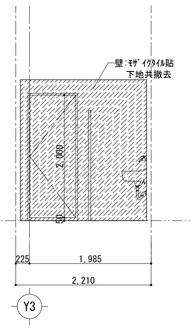

1階女子便所　展開図　Ａ面




1階女子便所　展開図　Ｂ面




1階女子便所　展開図　Ｃ面

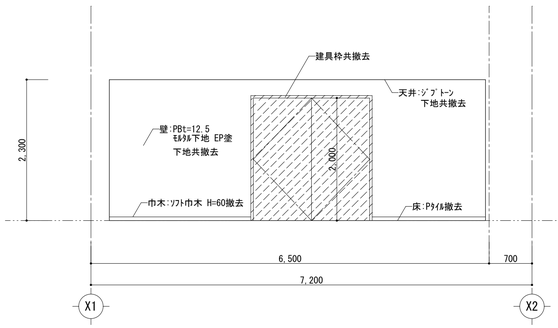



1階女子便所　展開図　Ｄ面

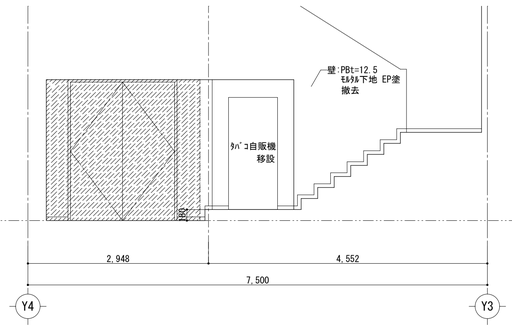
| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. | Ａ－１６ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 既存　展開図（２） | 縮尺 | A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A16_既存展開図2

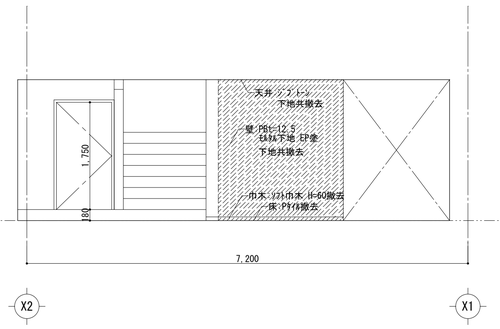
1 F



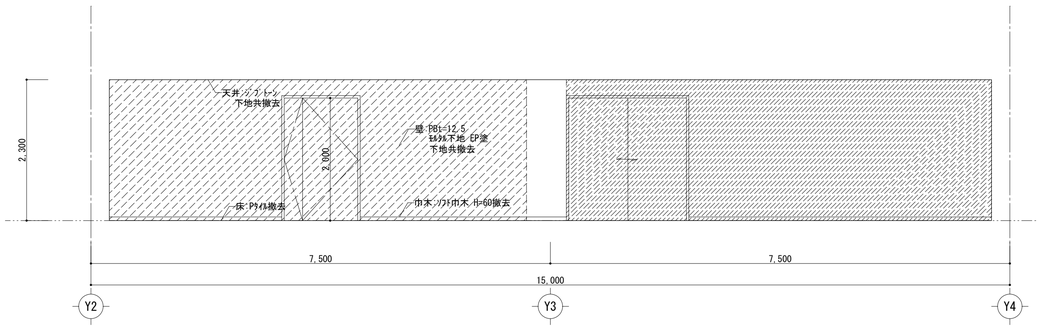

廊下　展開図　A面



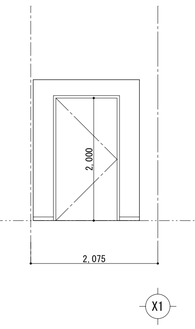

廊下　展開図　B面



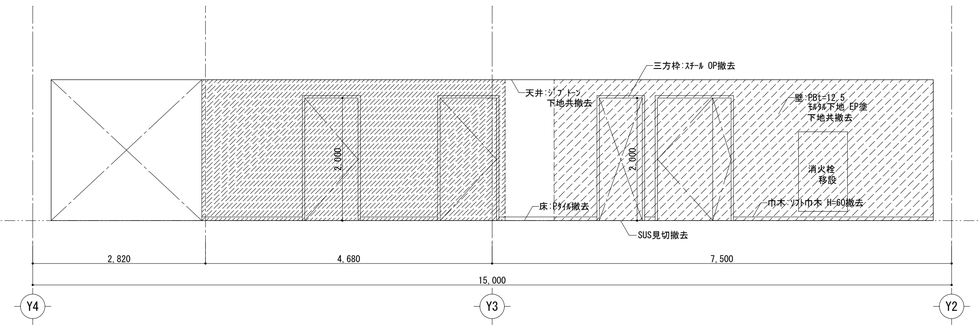

廊下　展開図　C面




廊下　展開図　D面




廊下　展開図　C面

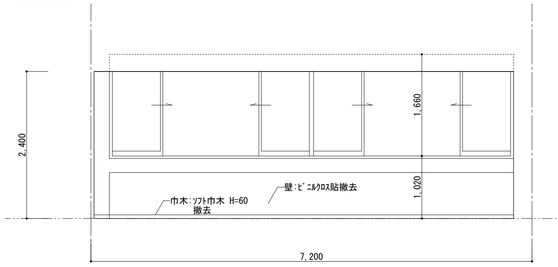



廊下　展開図　B面

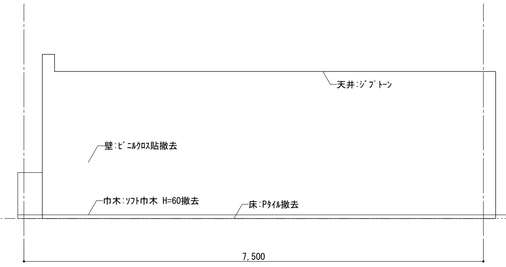
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－１７ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>既存　展開図（３） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A17_既存展開図3

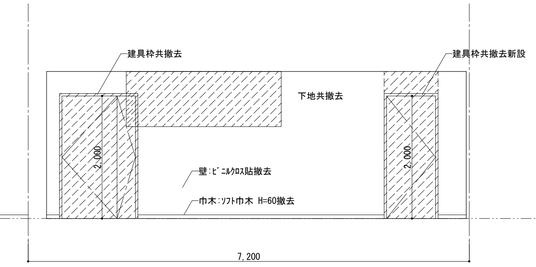
２Ｆ



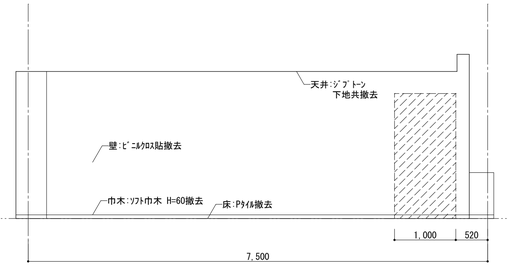

職員厚生室　展開図　Ａ面



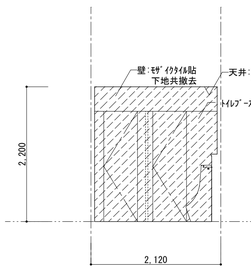

職員厚生室　展開図　Ｂ面



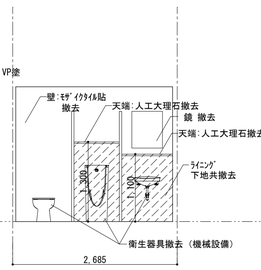

職員厚生室　展開図　Ｃ面




職員厚生室　展開図　Ｄ面



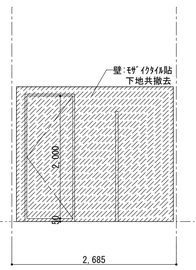

2階男子便所　展開図　Ａ面



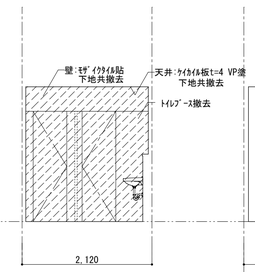

2階男子便所　展開図　Ｂ面



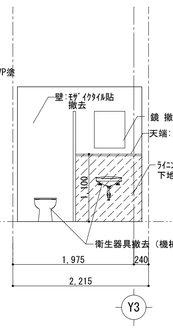

2階男子便所　展開図　Ｃ面



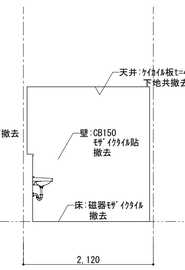

2階男子便所　展開図　Ｄ面



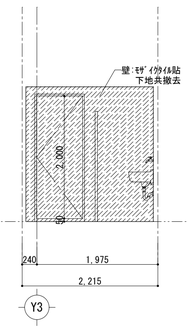

2階女子便所　展開図　Ａ面



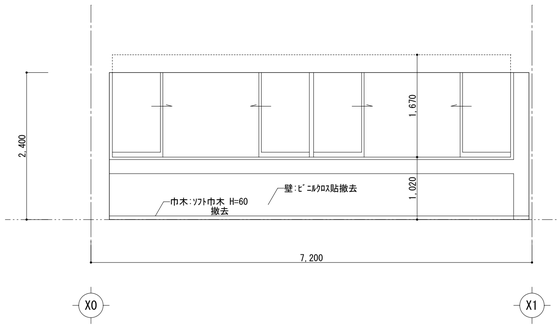

2階女子便所　展開図　Ｂ面



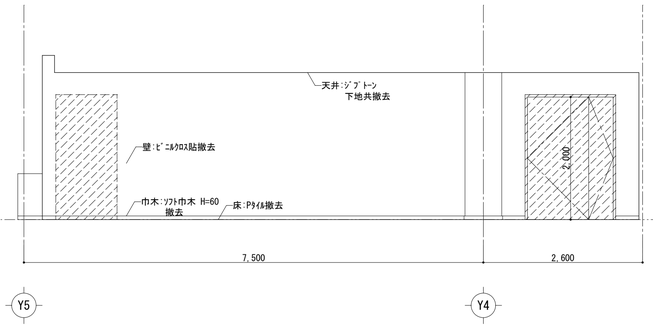

2階女子便所　展開図　Ｃ面



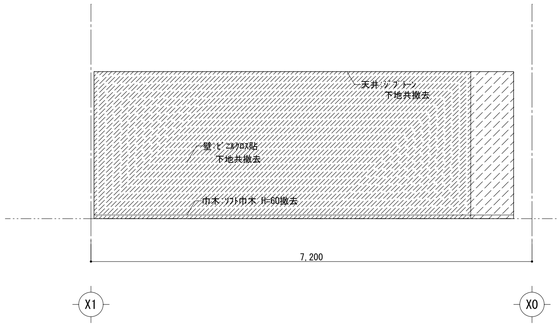

2階女子便所　展開図　Ｄ面



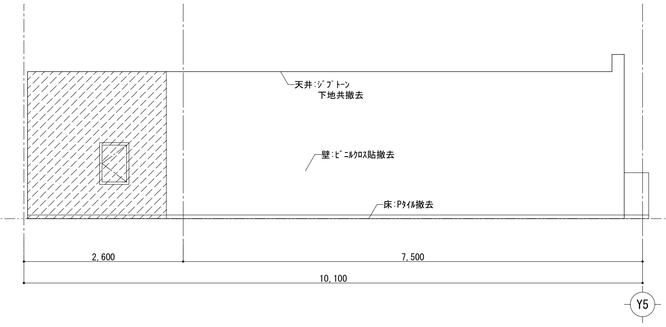

206会議室　展開図　Ａ面




206会議室　展開図　Ｂ面




206会議室　展開図　Ｃ面

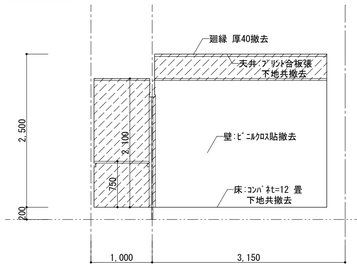



206会議室　展開図　Ｄ面

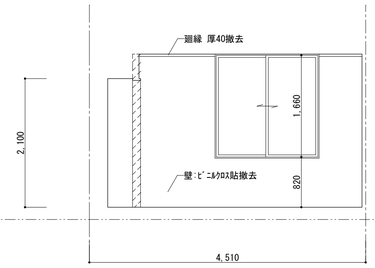
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－１８ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>既存　展開図（４） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A18_既存展開図4

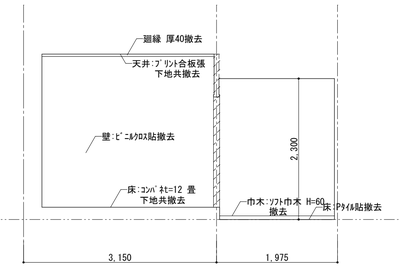
２Ｆ



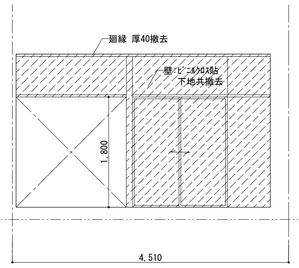

休憩室　展開図　Ａ面



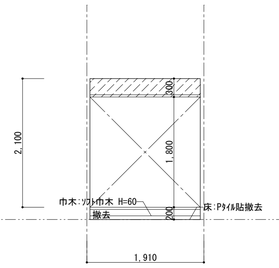

休憩室　展開図　Ｂ面



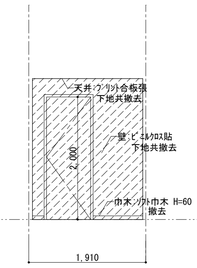

休憩室　展開図　Ｃ面



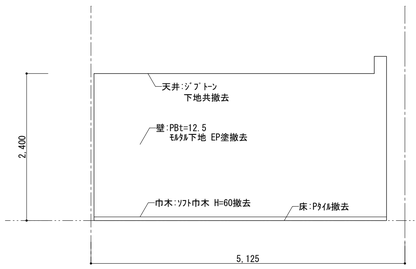

休憩室　展開図　Ｄ面



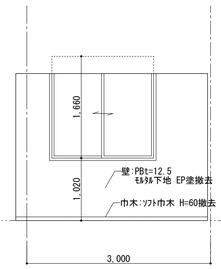

踏込　展開図　Ｂ面



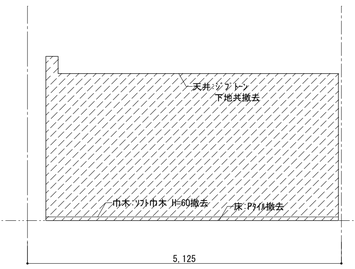

踏込　展開図　Ｄ面



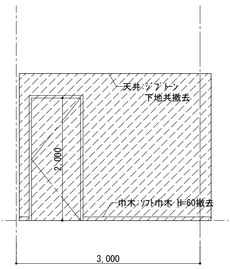

更衣室　展開図　Ａ面



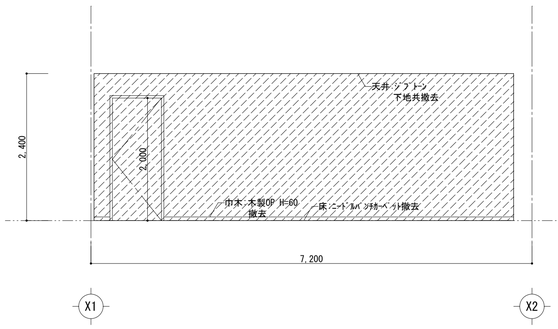

更衣室　展開図　Ｂ面



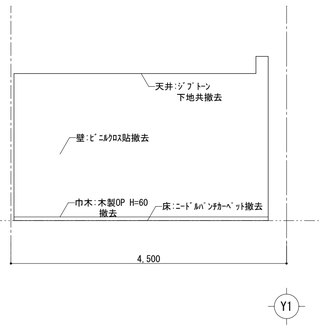

更衣室　展開図　Ｃ面



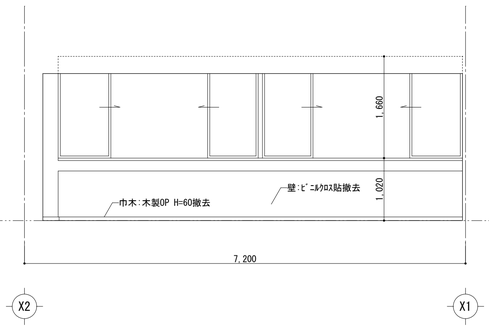

更衣室　展開図　Ｄ面



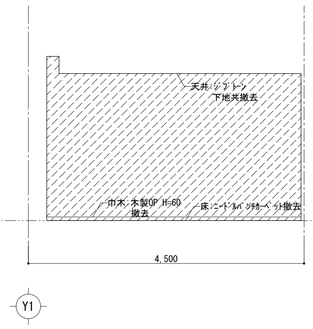

会議室　展開図　Ａ面



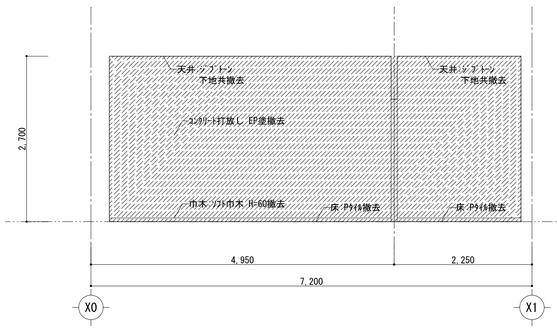

会議室　展開図　Ｂ面



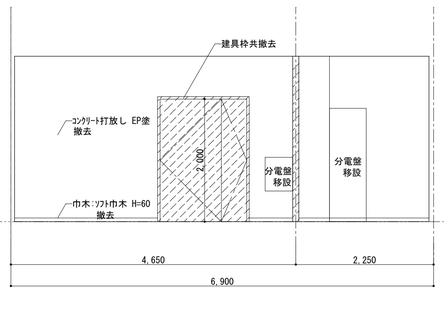

会議室　展開図　Ｃ面



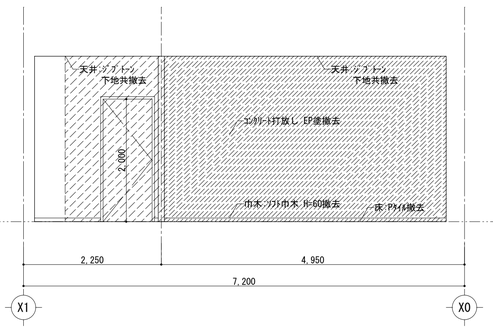

会議室　展開図　Ｄ面



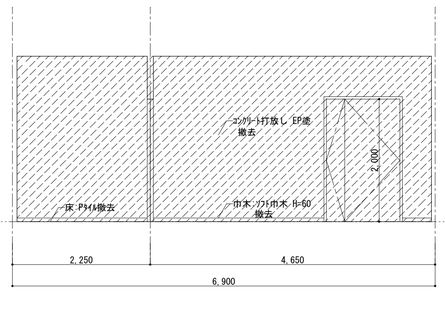

機械室　展開図　Ａ面




機械室　展開図　Ｂ面




機械室　展開図　Ｃ面

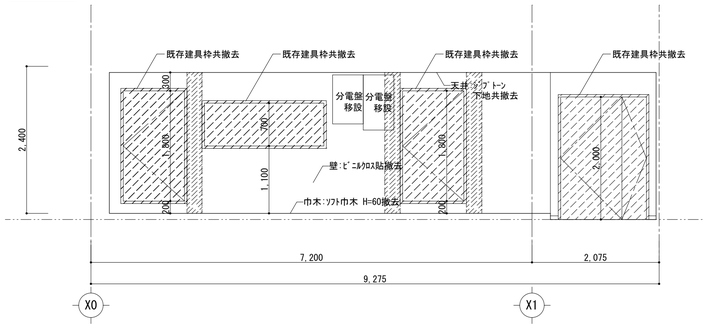



機械室　展開図　Ｄ面

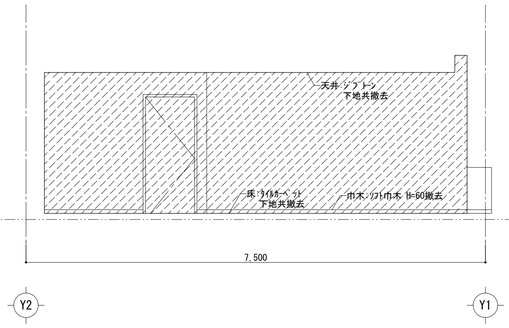
| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ. Ａ－１９ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 既存　展開図（５） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A19_既存展開図5

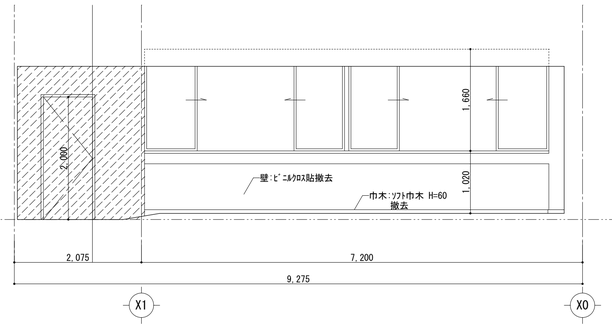
２Ｆ



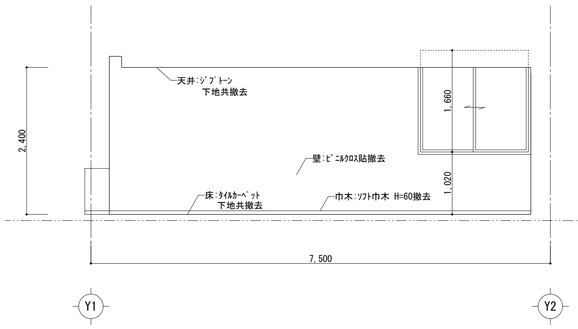

事務室　展開図　Ａ面



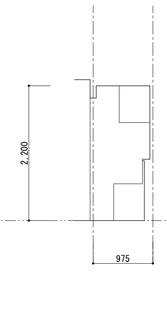

事務室　展開図　Ｂ面



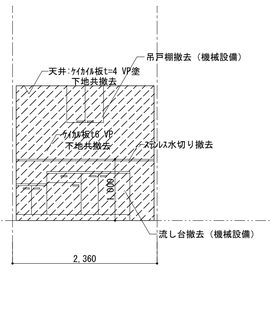

事務室　展開図　Ｃ面



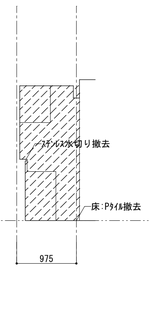

事務室　展開図　Ｄ面



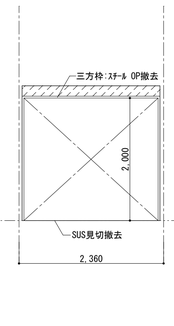

2階給湯室　展開図　Ａ面



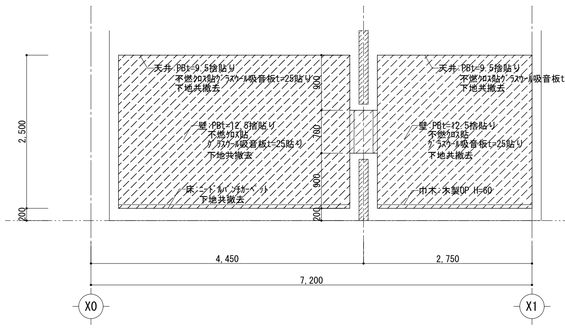

2階給湯室　展開図　Ｂ面




2階給湯室　展開図　Ｃ面

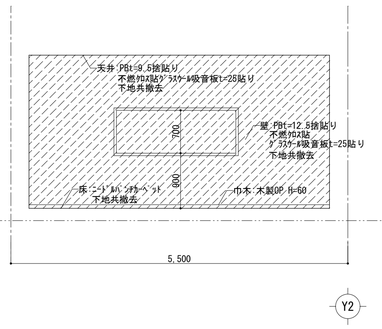



2階給湯室　展開図　Ｄ面

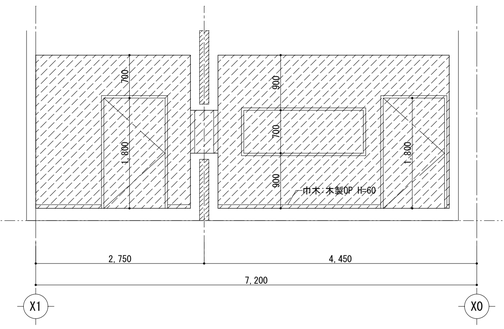



スタジオ　展開図　Ａ面

音調室　展開図　Ａ面

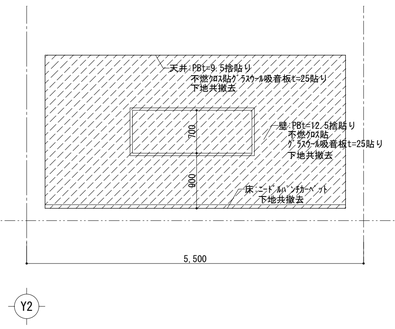



スタジオ　展開図　Ｂ面




音調室　展開図　Ｃ面

スタジオ　展開図　Ｃ面

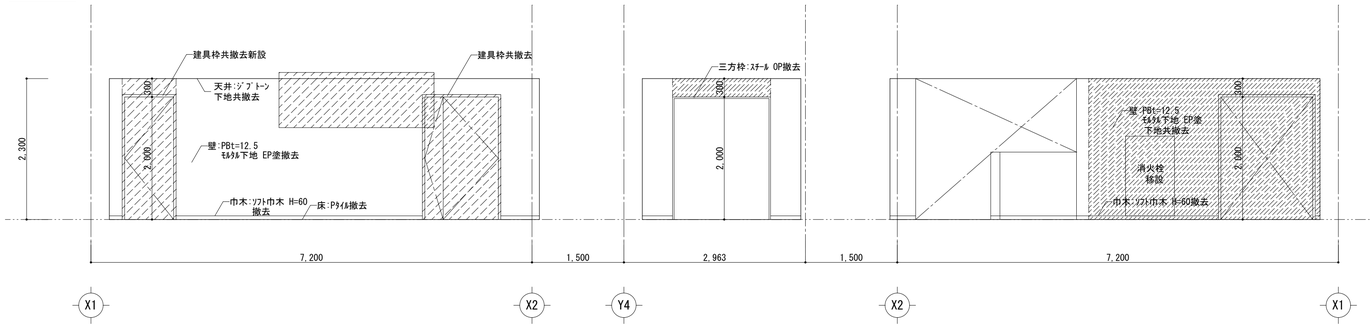



音調室　展開図　Ｄ面

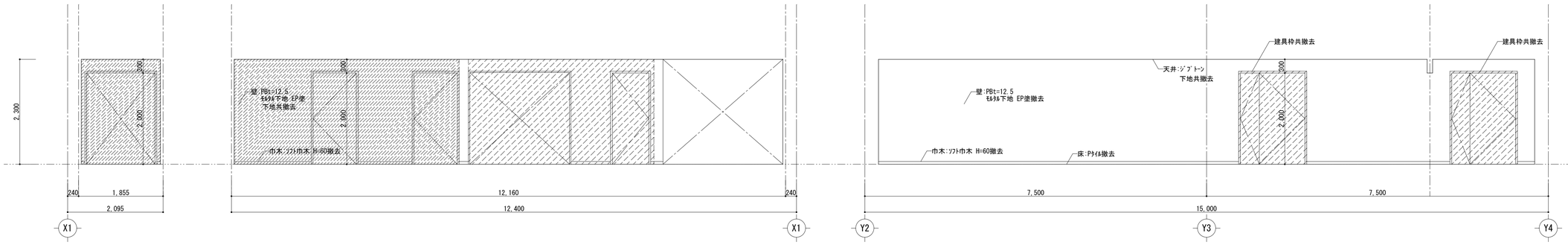
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２０ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>既存　展開図（６） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A20_既存展開図6

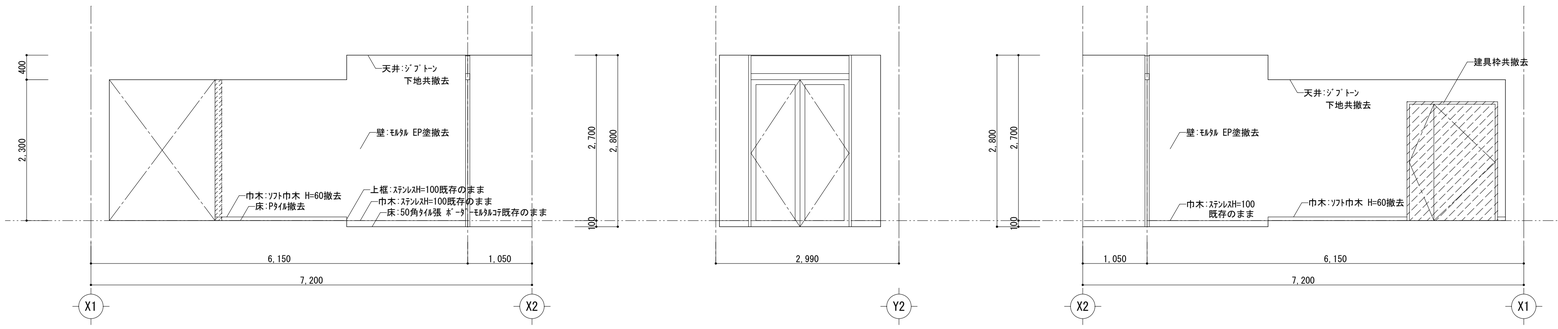
２Ｆ




廊下　展開図　Ａ面　　廊下　展開図　Ｂ面　　廊下　展開図　Ｃ面



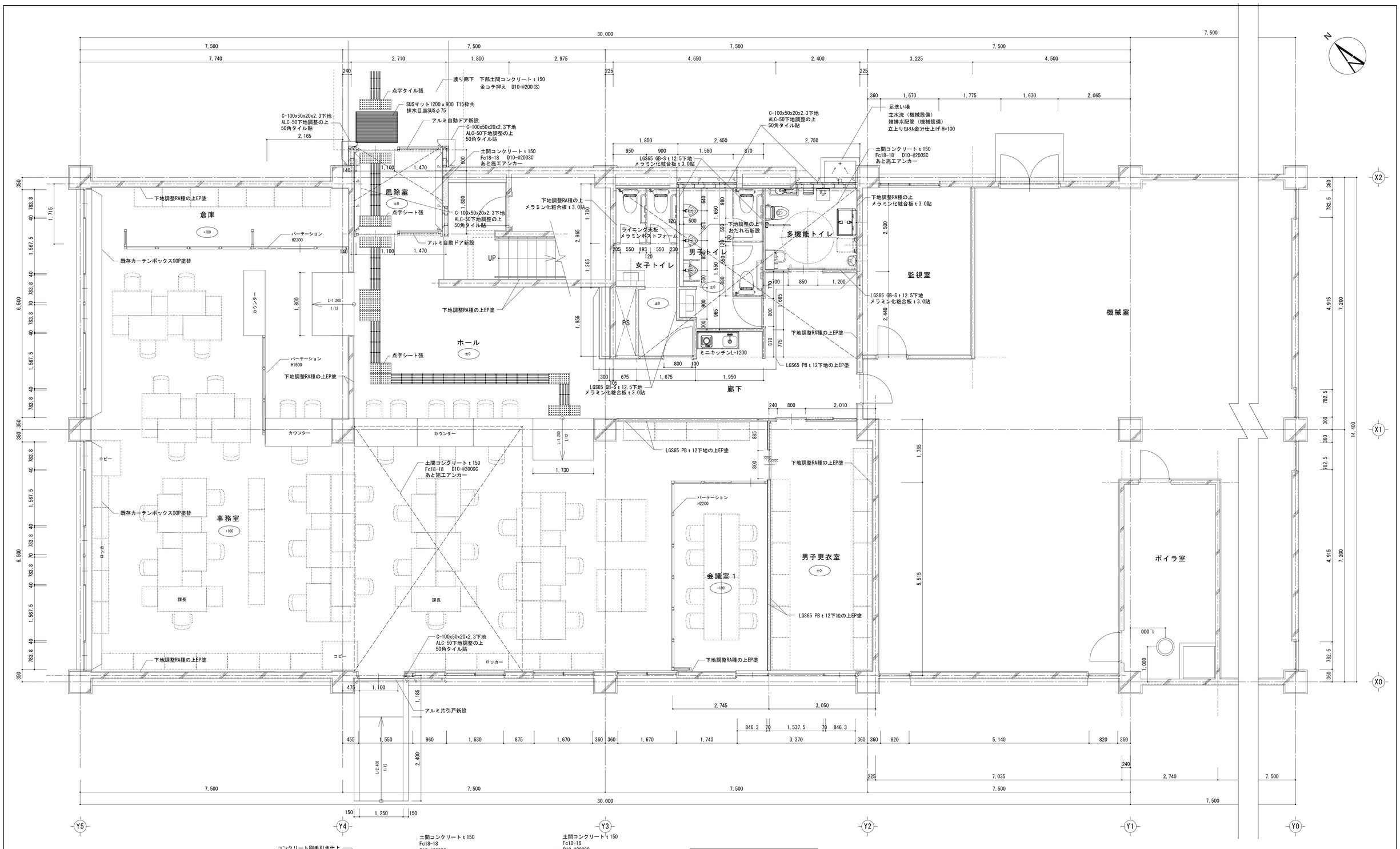

廊下　展開図　Ａ面　　廊下　展開図　Ｂ面　　廊下　展開図　Ｄ面




廊下　展開図　Ａ面　　玄関　展開図　Ａ面　　玄関　展開図　Ｂ面　　玄関　展開図　Ｃ面

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２１ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>既存　展開図（７） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A21_既存展開図7




■特記事項
- 床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。
- 塩ビ製巾木は目透かしタイプとする。
- メラミン化粧合板貼り端部及び巾木取合部にはアルミ製見切りを取り付けること。
- 衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。
- 天井点検口450角を適宜設けること。
- メラミン化粧合板は、アイカ工業 セラール 同等品とする。
- メラミン化粧合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２２ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名<br>改修 １階平面詳細図 | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

■特記事項
・床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。
・塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。
・メラミン化粧合板貼り端部及び巾木取合部にはアルミ製見切りを取り付けること。
・衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。
・天井点検口450角を適宜設けること。
・メラミン化粧合板は、アイカ工業　セラール　同等品とする。
・メラミン化粧合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。

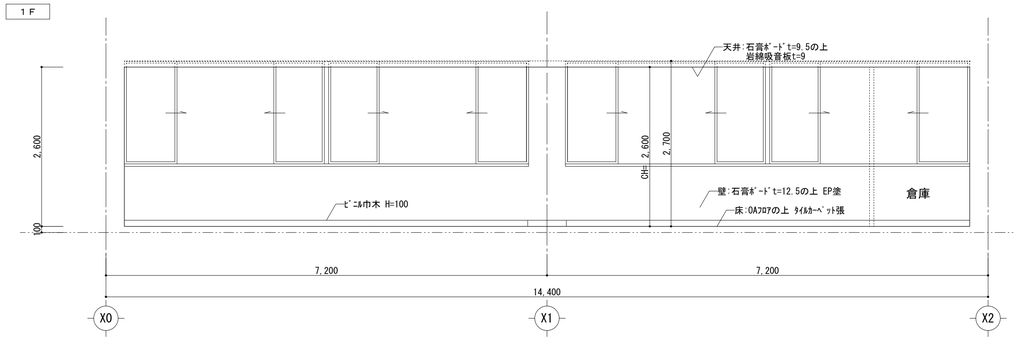
ロッカー
下地調整RA種の上EP塗
LGS65 PB t 12下地の上EP塗
カウンター
既存カーテンボックスSOP塗替
課長
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上 メラミン化粧合板 t 3.0貼
ライニング床板 メラミンポストフォーム
女子トイレ
男子トイレ
PS
ミニキッチンL-1200
ホール
手摺り新設
点字シート張
LGS65 PB t 12下地の上EP塗
廊下
LGS65 GB-S t 12.5下地 メラミン化粧合板 t 3.0貼
C-100x50x20x2.3下地 ALC-50下地調整の上 50角タイル貼
下地調整RA種の上 メラミン化粧合板 t 3.0貼
既存サッシクリーニング
玄関
下地調整の上 おだれ石新設
下地調整RA種の上EP塗
書庫２
LGS65 PB t 12下地の上EP塗
会議室３
既存カーテンボックスSOP塗替
屋上
LGS65 PB t 12下地の上EP塗
会議室２
既存カーテンボックスSOP塗替
LGS65 PB t 12下地の上EP塗
書庫１
LGS65 PB t 12下地の上EP塗
下り天井 H200
事務室
主監
会長
課長
カウンター
ロッカー
既存カーテンボックスSOP塗替
下地調整RA種の上EP塗
ロッカー
ロッカー
新設アルミサッシ
RC壁　撤去復旧の上 50角タイル貼
新設アルミサッシ
RC壁　撤去復旧の上 50角タイル貼
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗
下地調整RA種の上EP塗

## ２階平面詳細図

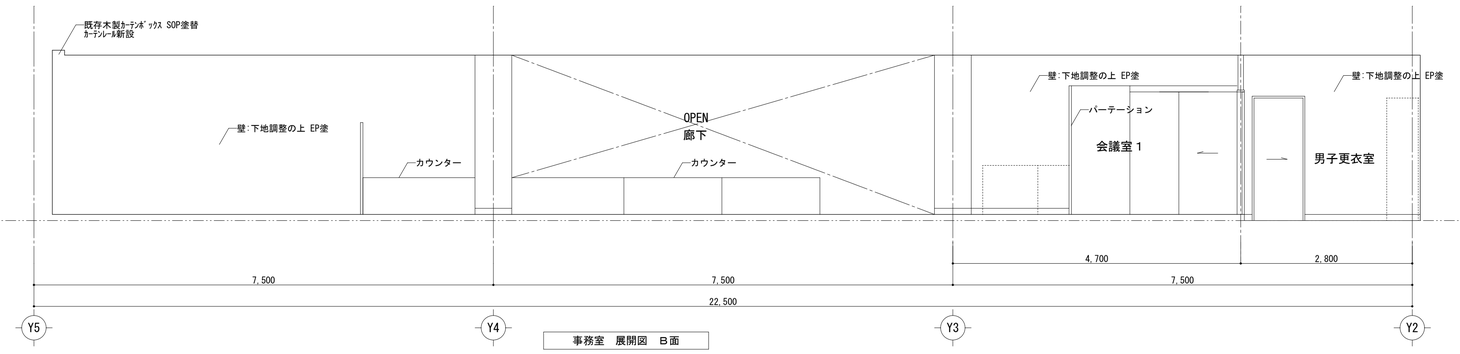
±0　ＦＬより高さを示す

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２３ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名<br>改修　２階平面詳細図 | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

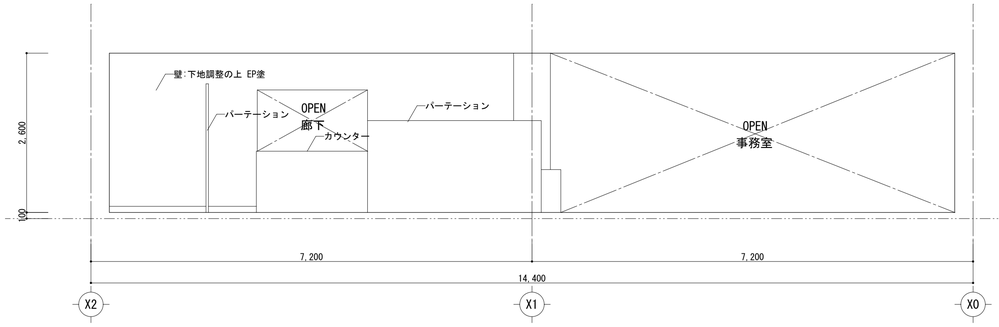
１Ｆ



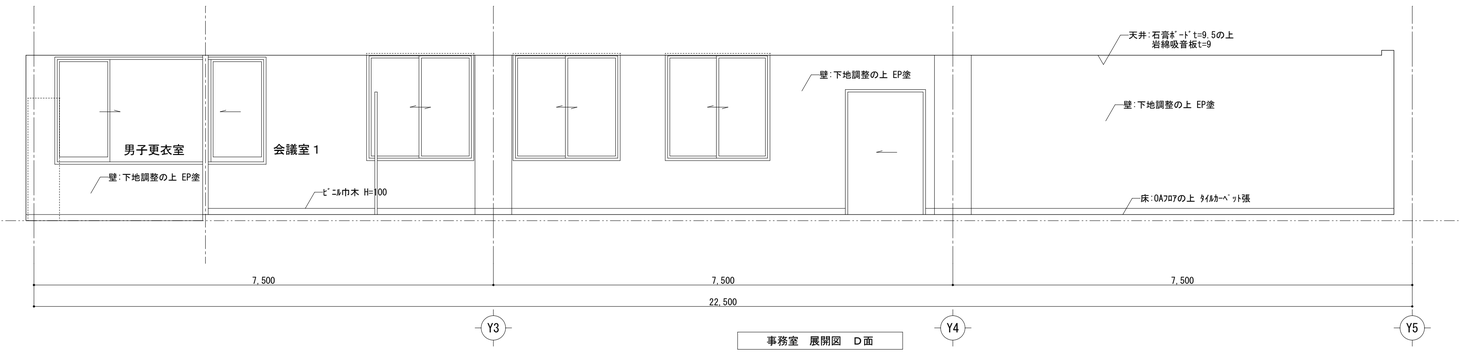

事務室　展開図　Ａ面




事務室　展開図　Ｂ面




事務室　展開図　Ｃ面

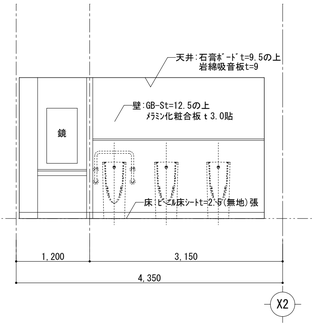



事務室　展開図　Ｄ面

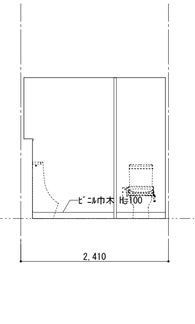
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２４ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　展開図（１） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File　A24_改修展開図1

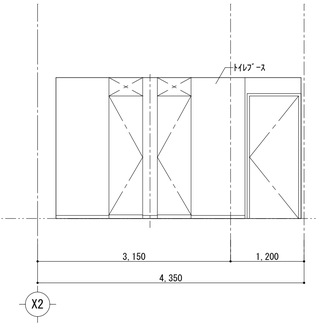
１Ｆ



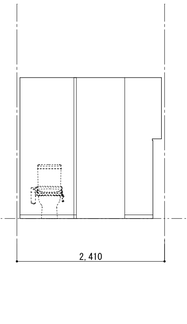

1階男子トイレ　展開図　Ａ面



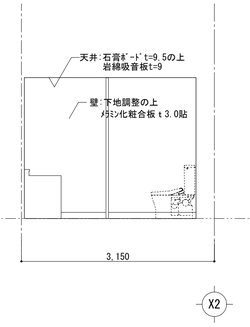

1階男子トイレ　展開図　Ｂ面



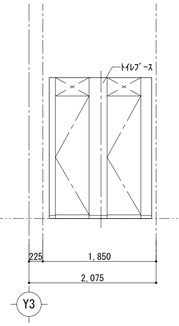

1階男子トイレ　展開図　Ｃ面



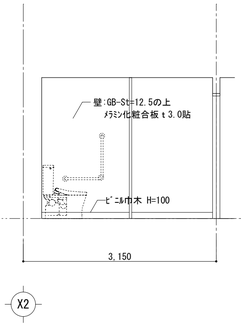

1階男子トイレ　展開図　Ｄ面



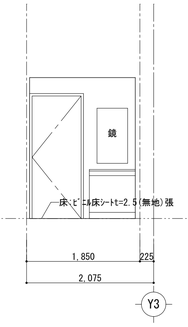

1階女子トイレ　展開図　Ａ面



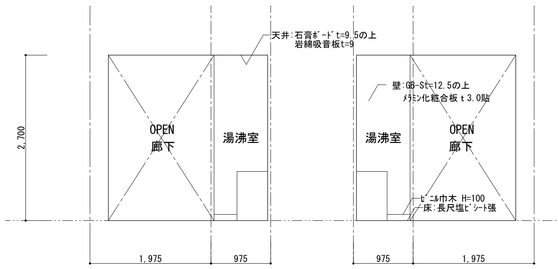

1階女子トイレ　展開図　Ｂ面




1階女子トイレ　展開図　Ｃ面

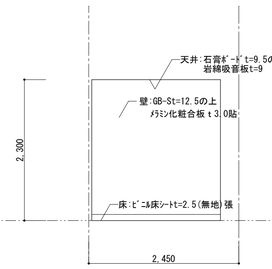



1階女子トイレ　展開図　Ｄ面

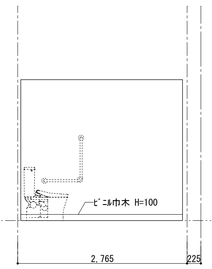



給湯室　展開図　Ａ面

給湯室　展開図　Ｃ面



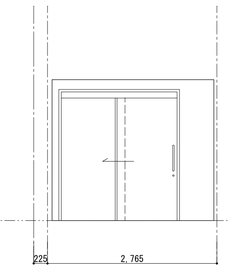

多機能トイレ　展開図　Ａ面



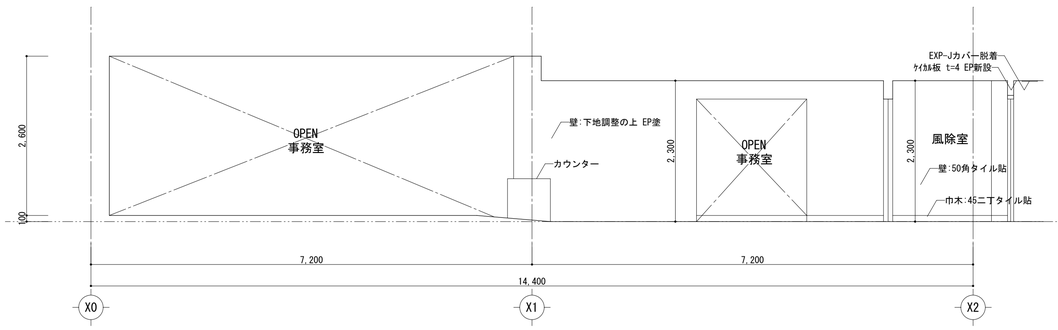

多機能トイレ　展開図　Ｂ面



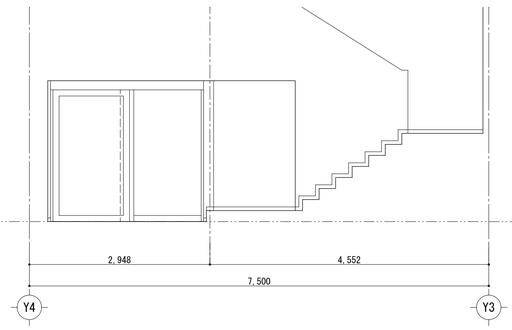

多機能トイレ　展開図　Ｃ面



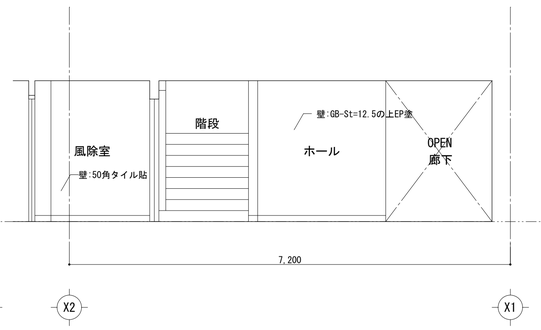

多機能トイレ　展開図　Ｄ面



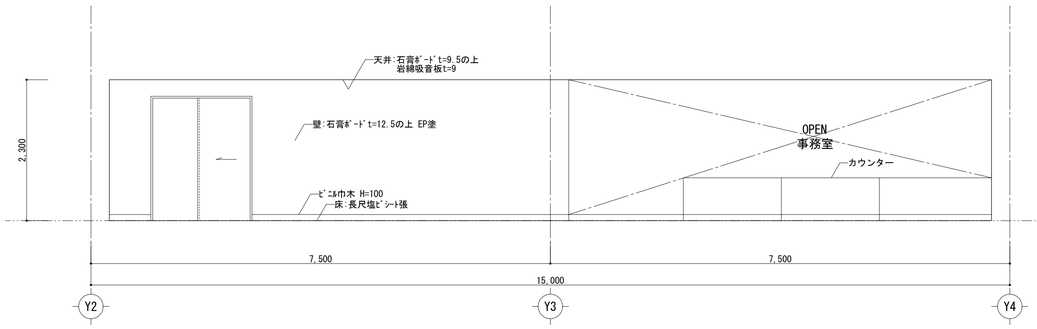

廊下　展開図　Ａ面



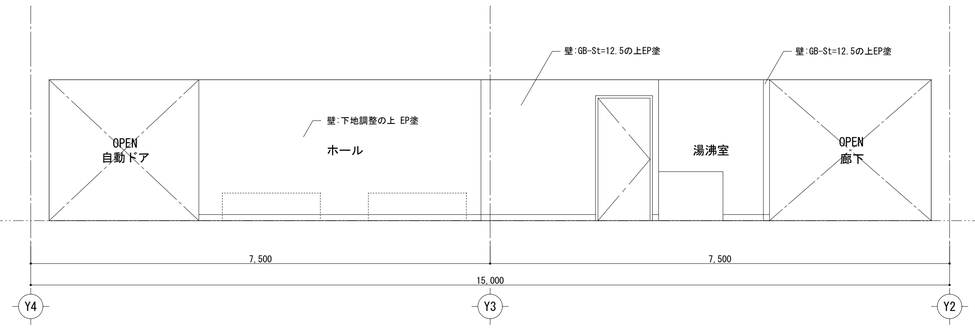

廊下　展開図　Ｂ面




廊下　展開図　Ｃ面




廊下　展開図　Ｄ面

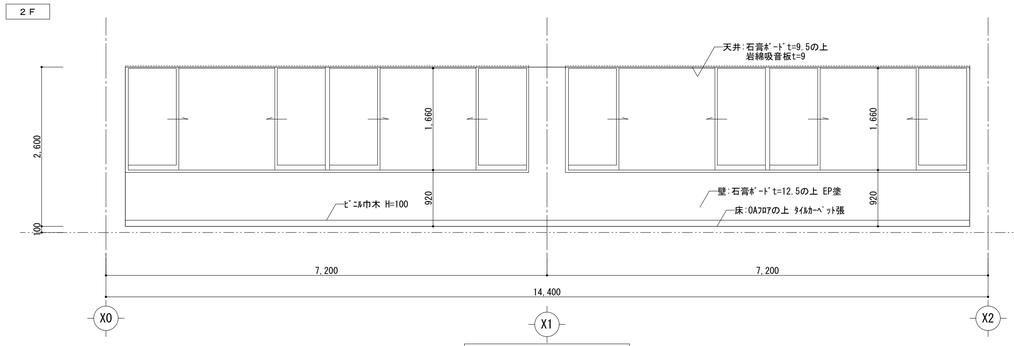



廊下　展開図　Ｂ面

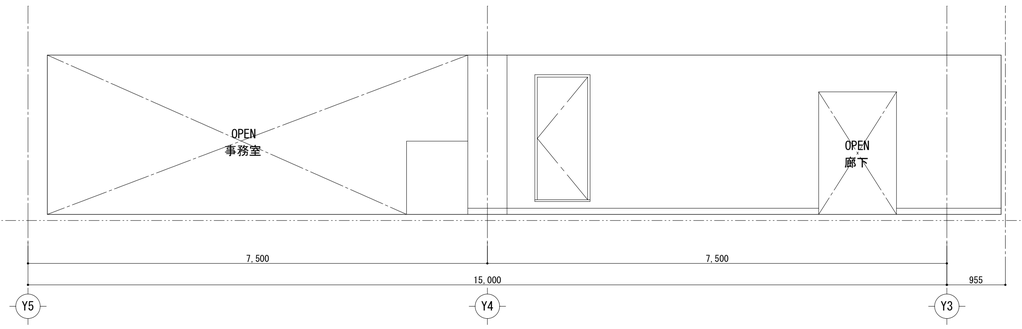
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２５ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　展開図（２） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File　A25_改修展開図2

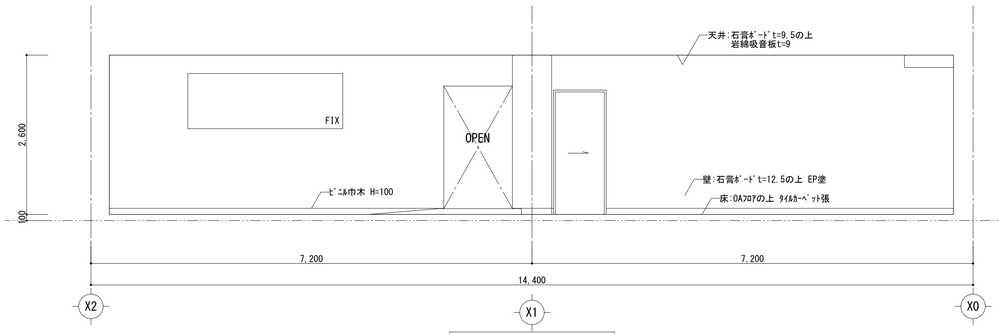
２Ｆ



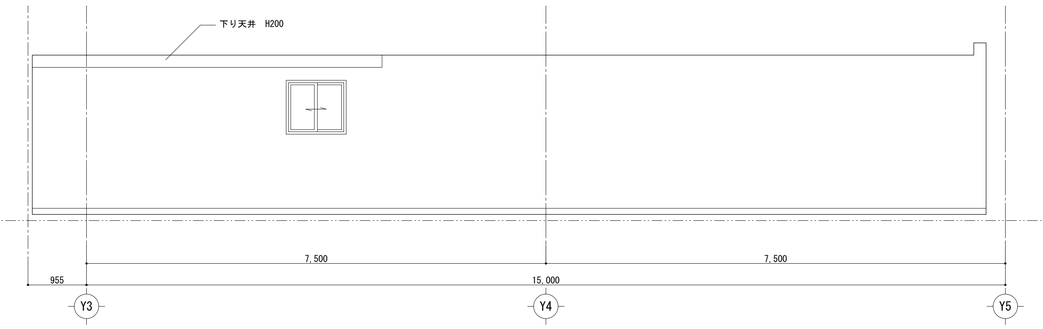

事務室　展開図　Ａ面



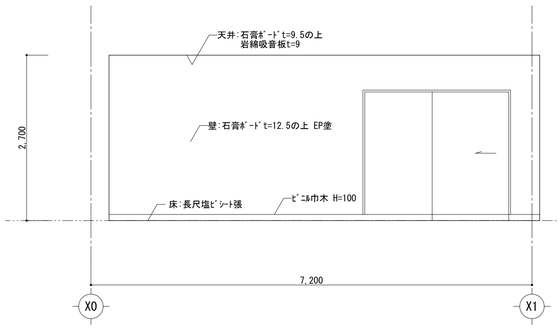

事務室　展開図　Ｂ面



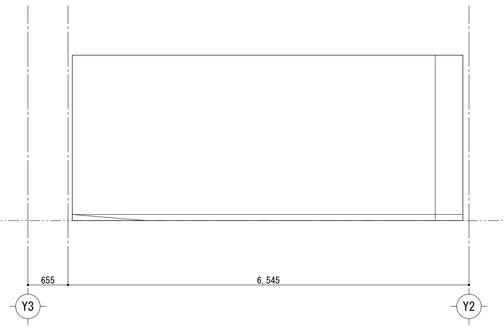

事務室　展開図　Ｃ面



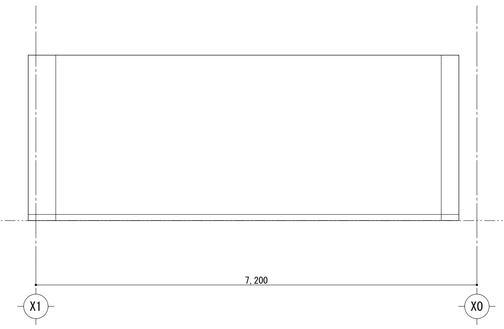

事務室　展開図　Ｄ面



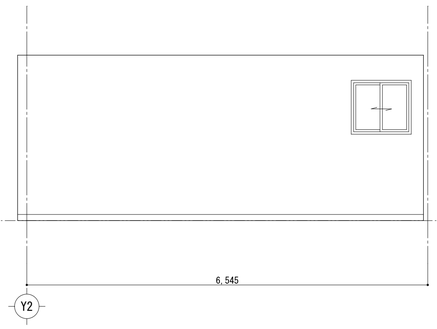

書庫１　展開図　Ａ面



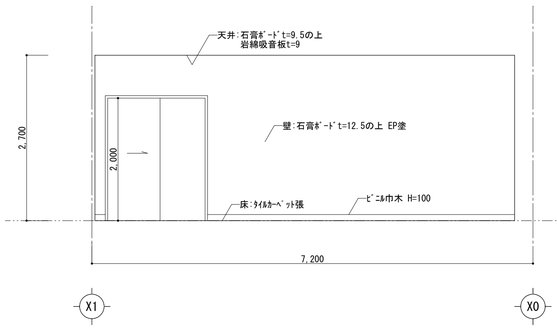

書庫１　展開図　Ｂ面



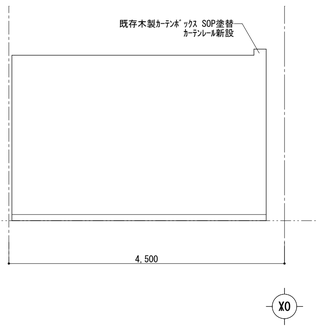

書庫１　展開図　Ｃ面



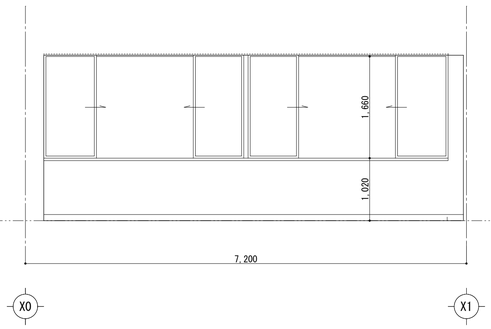

書庫１　展開図　Ｄ面



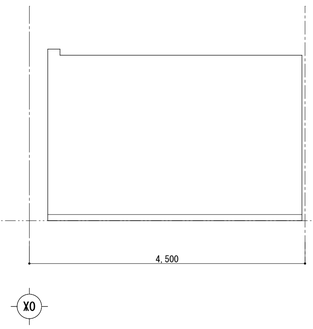

会議室３　展開図　Ａ面




会議室３　展開図　Ｂ面




会議室３　展開図　Ｃ面

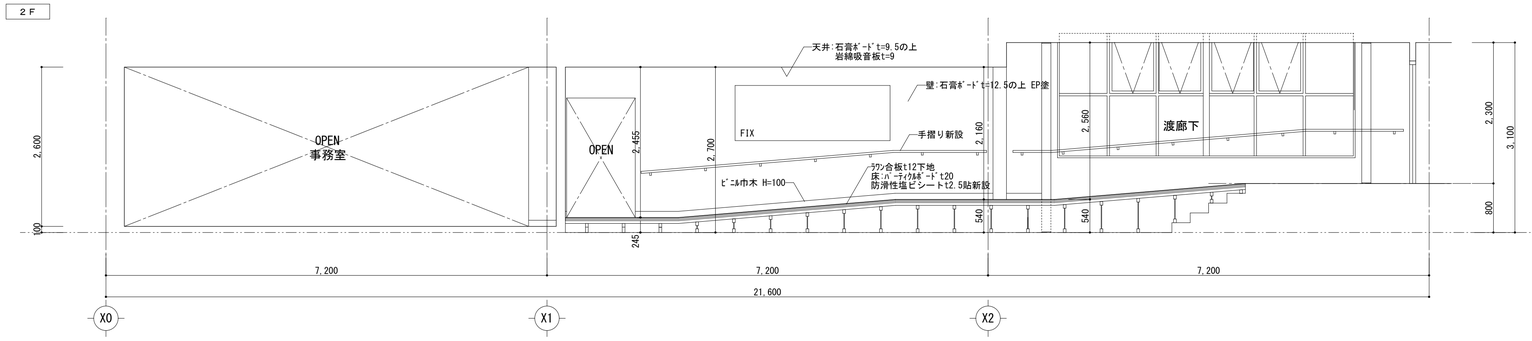



会議室３　展開図　Ｄ面

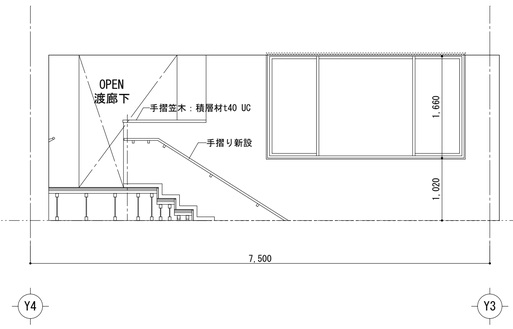
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２６ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　展開図（３） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A26_改修展開図3

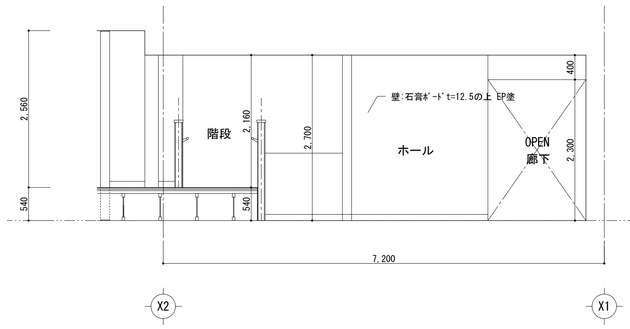
２Ｆ



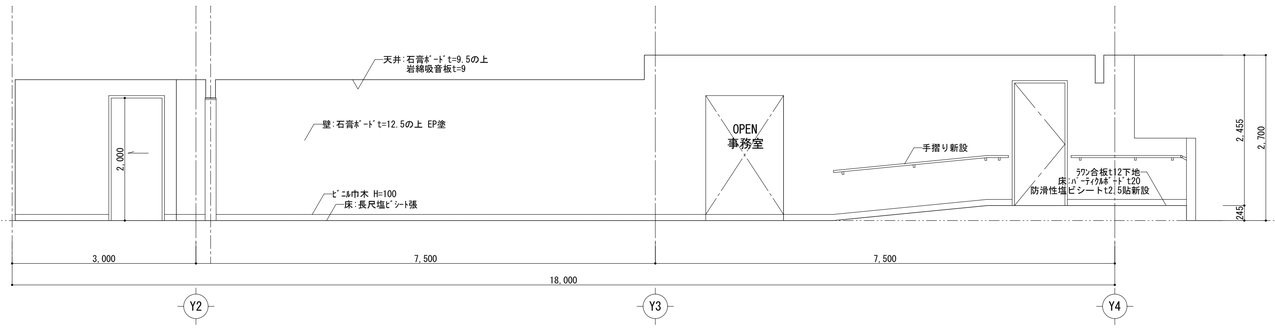

廊下　展開図　Ａ面



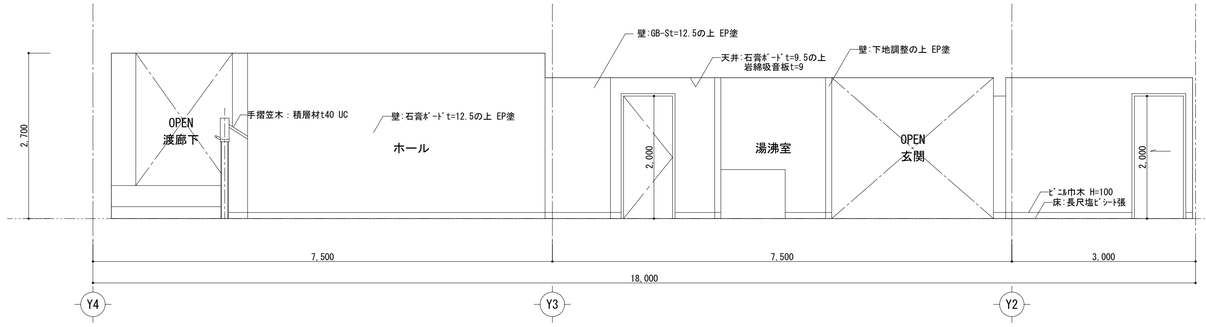

廊下　展開図　Ｂ面



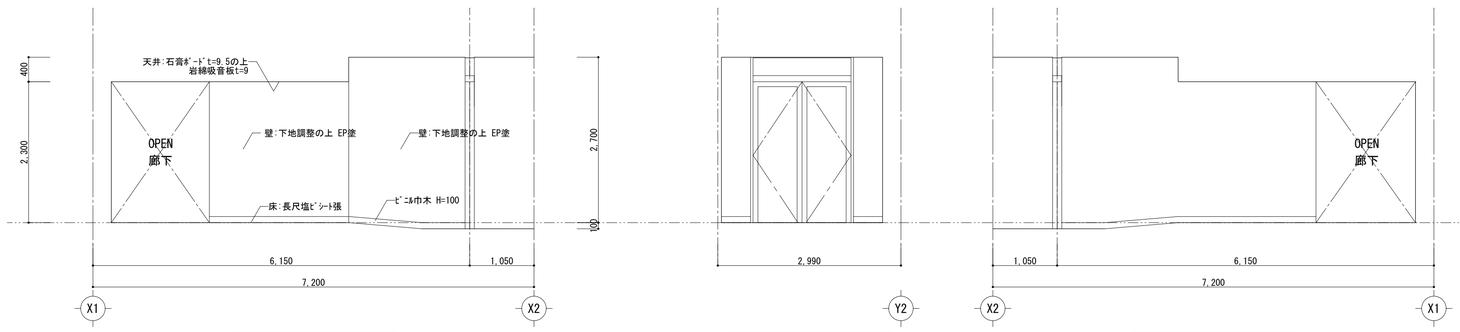

廊下　展開図　Ｃ面




廊下　展開図　Ｄ面




廊下　展開図　Ｂ面




廊下・玄関　展開図　Ａ面

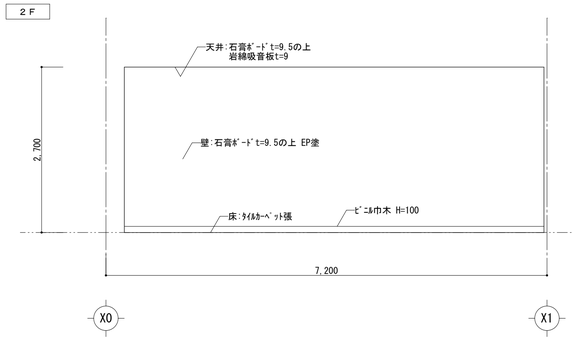
玄関　展開図　Ｂ面

玄関　展開図　Ｃ面

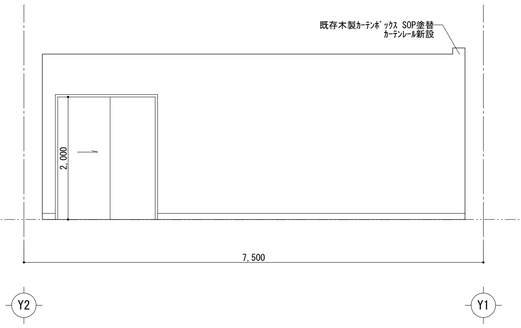
| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２７ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名<br>改修　展開図（４） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A27_改修展開図4

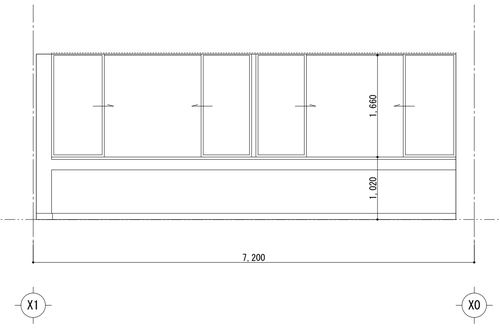
２Ｆ



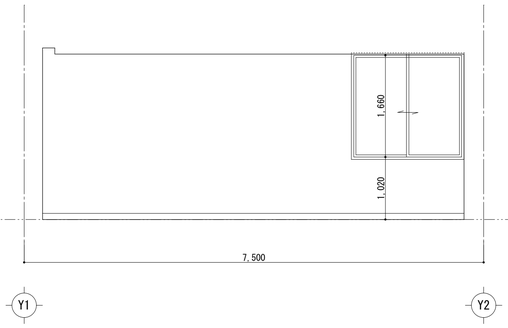

会議室３　展開図　Ａ面



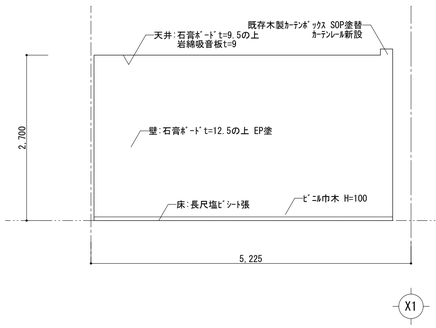

会議室３　展開図　Ｂ面



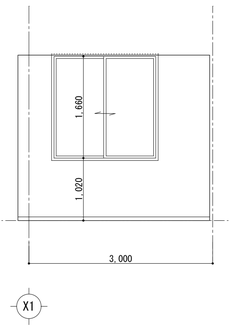

会議室３　展開図　Ｃ面



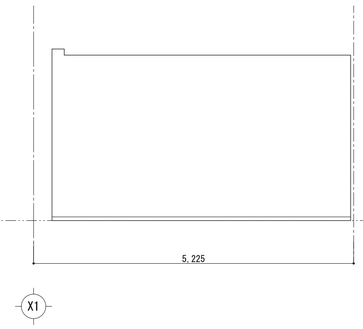

会議室３　展開図　Ｄ面



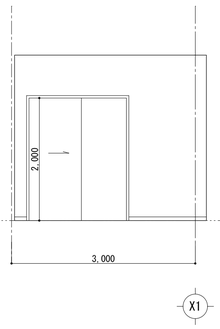

書庫２　展開図　Ａ面



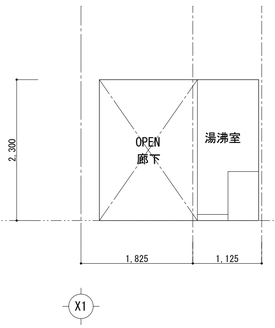

書庫２　展開図　Ｂ面



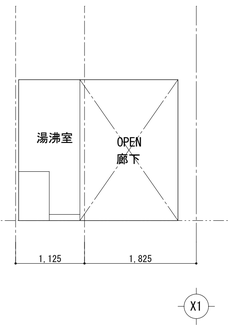

書庫２　展開図　Ｃ面



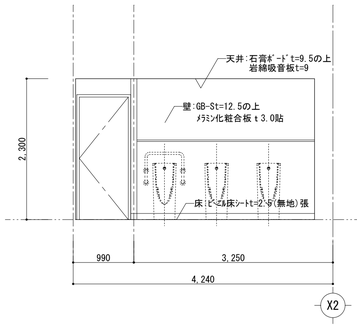

書庫２　展開図　Ｄ面



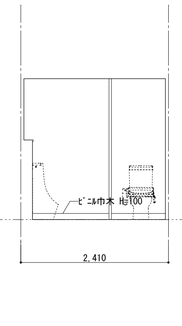

給湯室　展開図　Ａ面



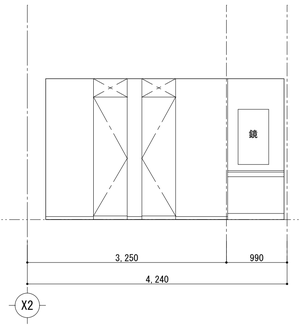

給湯室　展開図　Ｃ面



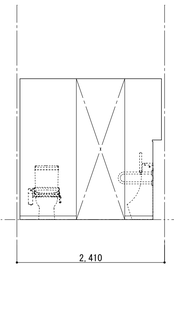

２階男子トイレ　展開図　Ａ面



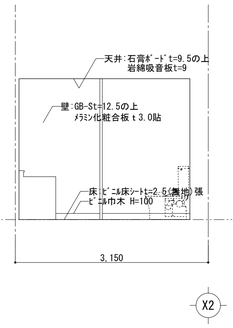

２階男子トイレ　展開図　Ｂ面



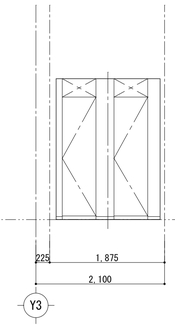

２階男子トイレ　展開図　Ｃ面



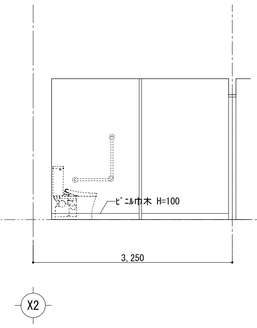

２階男子トイレ　展開図　Ｄ面



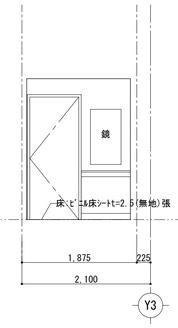

２階女子便所　展開図　Ａ面




２階女子便所　展開図　Ｂ面




２階女子便所　展開図　Ｃ面

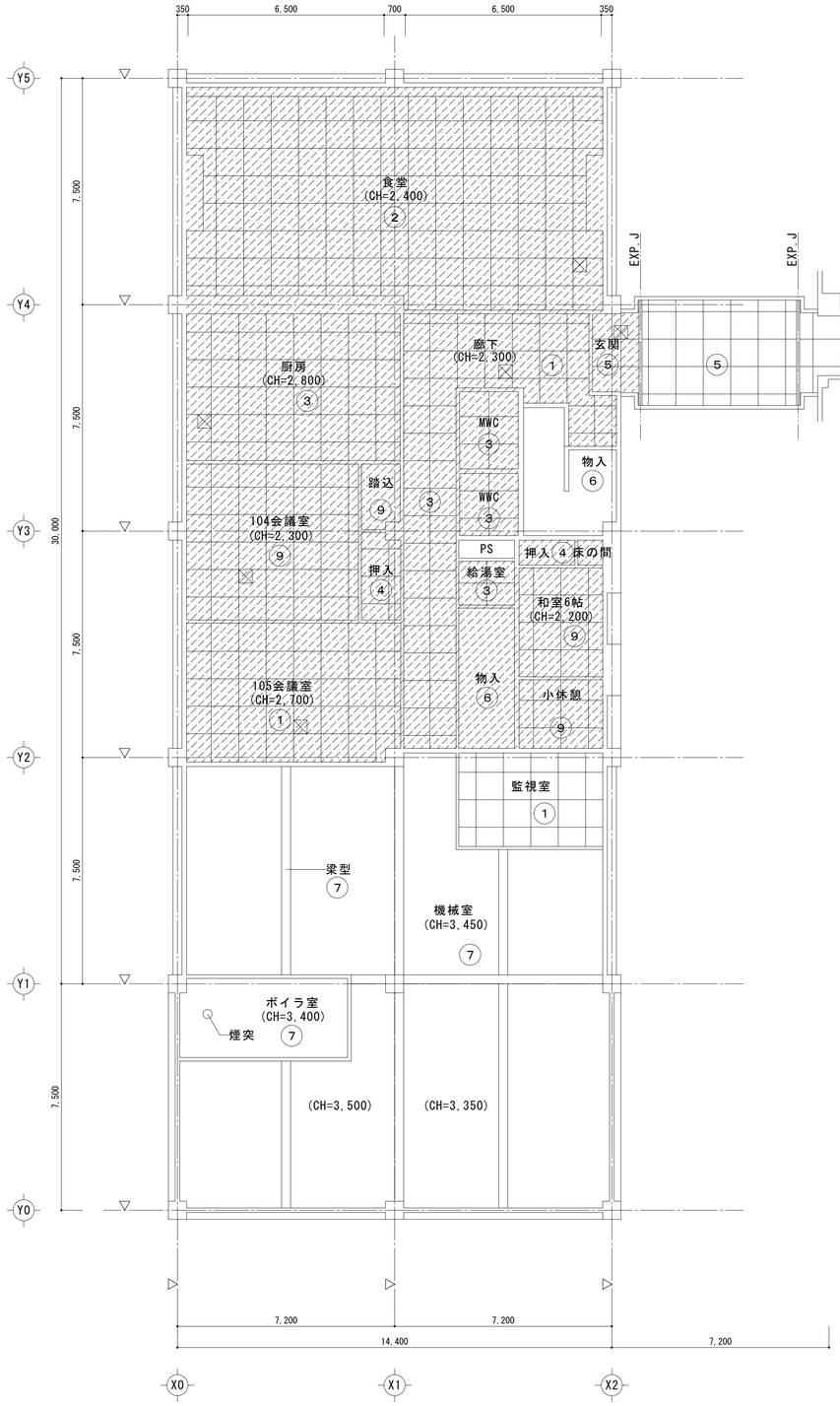



２階女子便所　展開図　Ｄ面

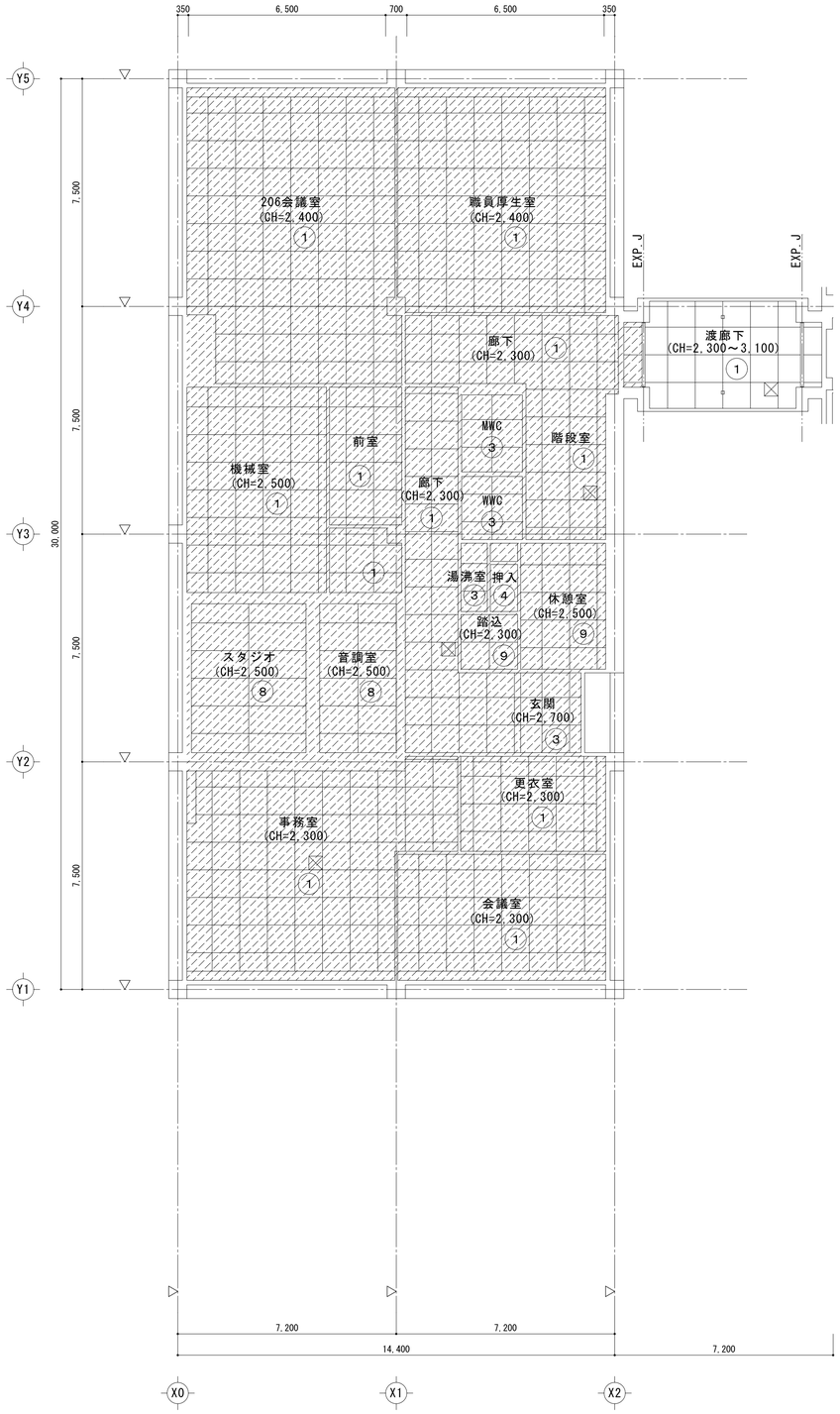
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－２８ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　展開図（５） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File A28_改修展開図5

N




1階天井伏図　1/100




2階天井伏図　1/100

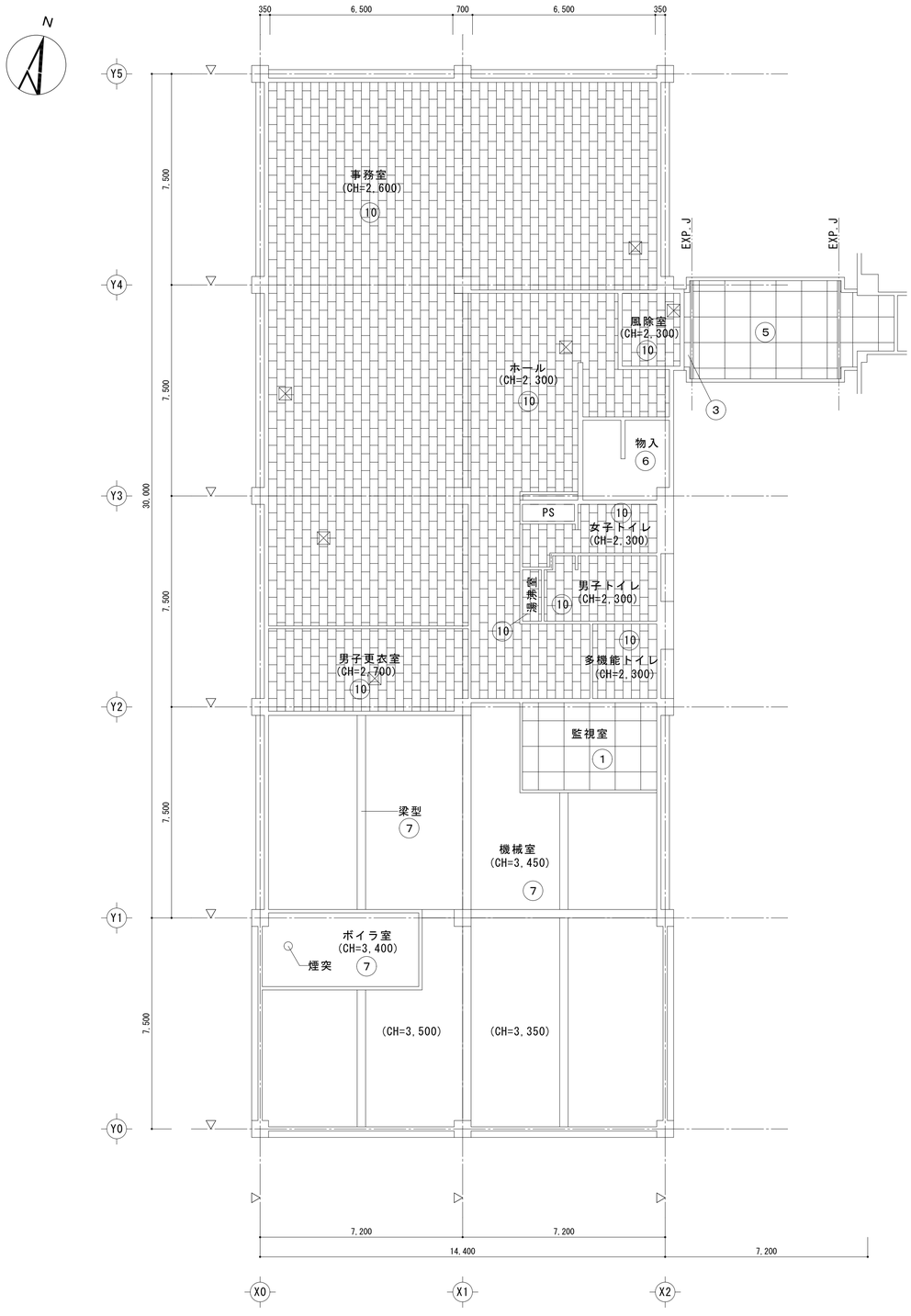
| 凡　例 | |
|---|---|
| 1 | ジプトーン張 |
| 2 | PB底目張 t=9 EP塗装 |
| 3 | ケイカル板 t=4 VP塗装 |
| 4 | ラワンベニヤ t=3 |
| 5 | ケイカル板 t=4 厚吹リシン |
| 6 | コンクリート打放し |
| 7 | 木毛板打込み |
| 8 | 有孔フレキシブルボード t=4 VP塗装 |
| 9 | プリント合板張 |
| | |

⊠　既存天井点検口450角を示す

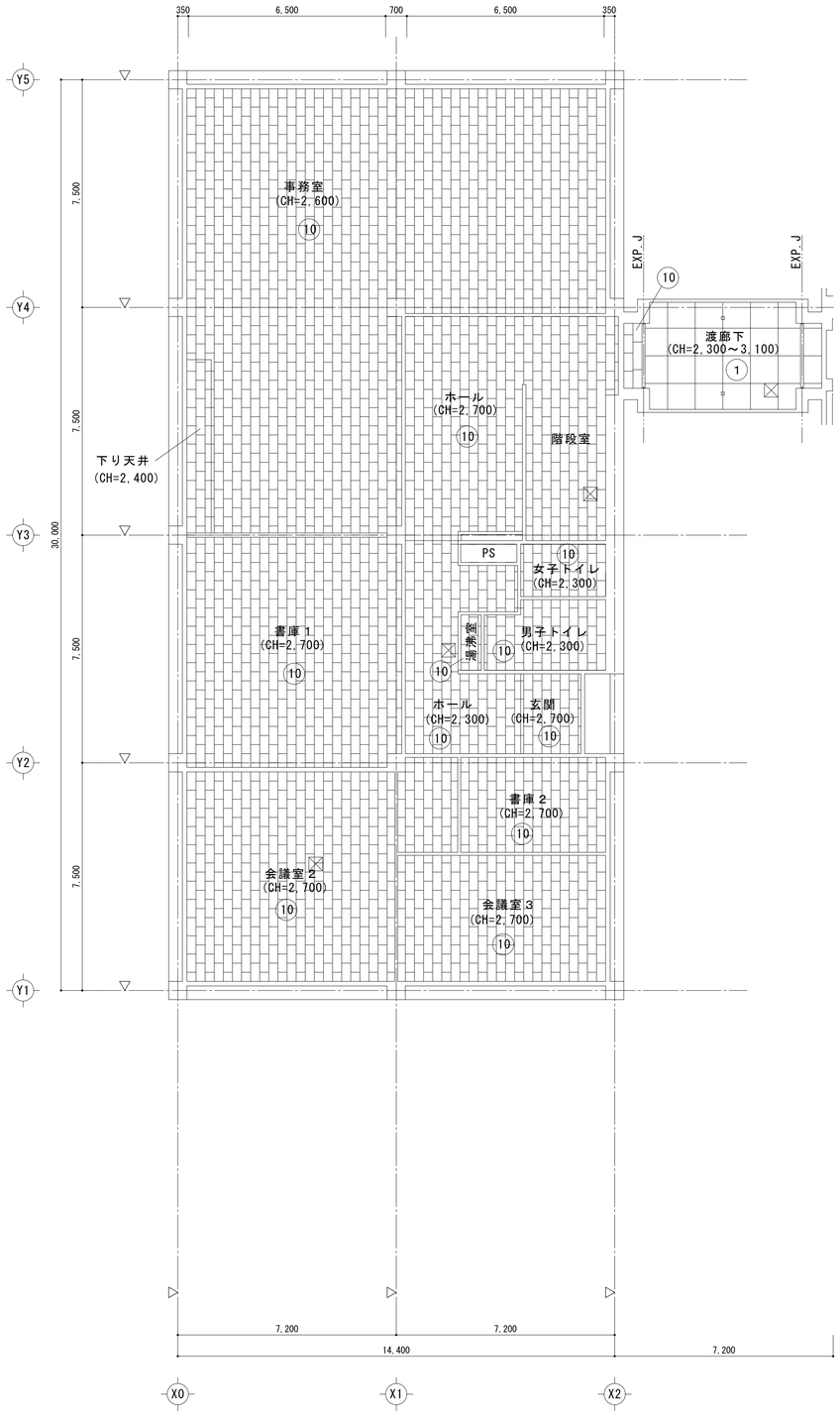
▨　解体撤去範囲を示す

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－２９ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>既存　天井伏図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File A29_既存天井伏図




改修　１階天井伏図　1/100



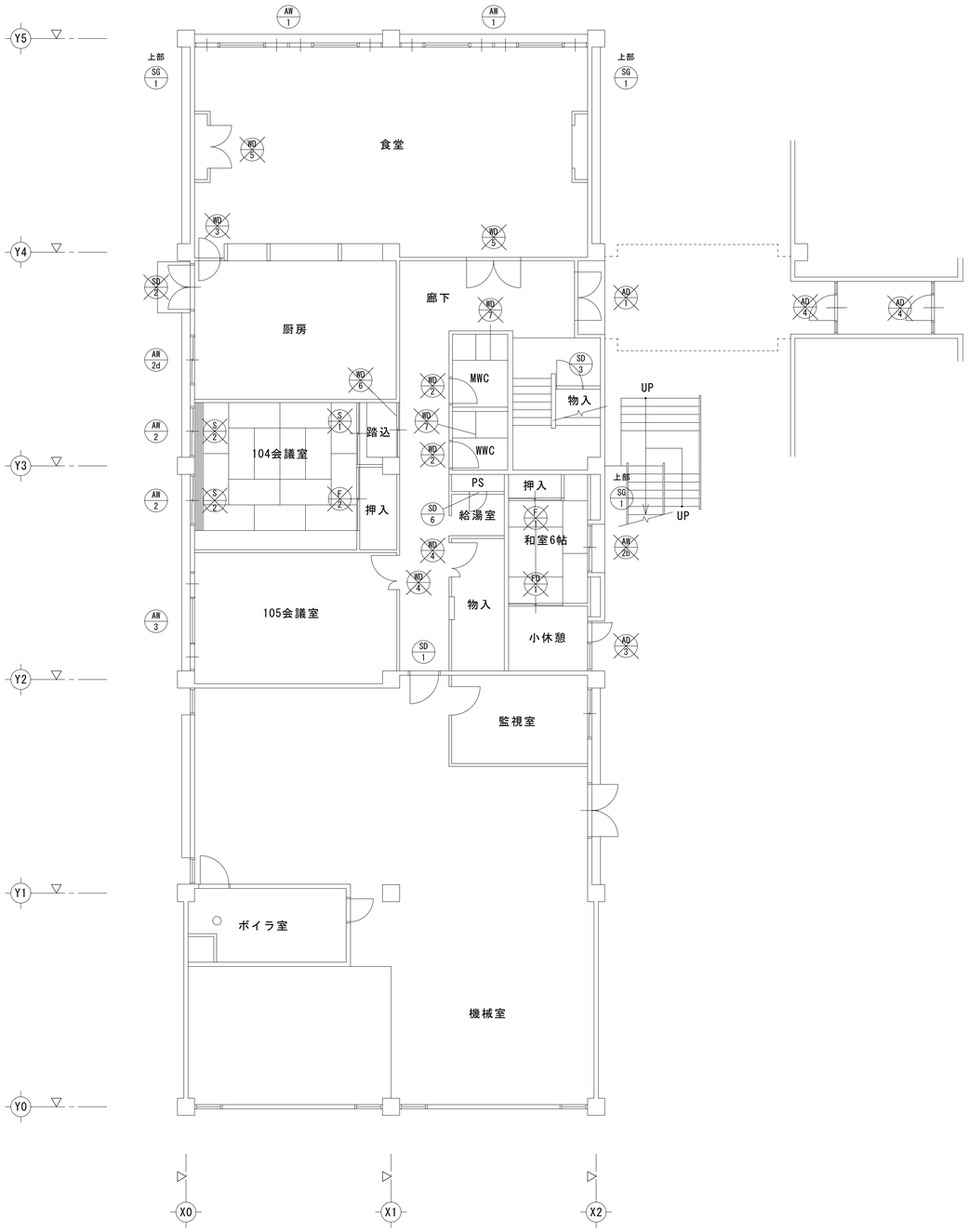

改修　２階天井伏図　1/100

| 凡　例 | | |
|---|---|---|
| 1 | ジプトーン張 | 既存のまま |
| 2 | PB底目張 t=9 EP塗装 | |
| 3 | ケイカル板 t=4 VP塗装 | 撤去新設 |
| 4 | ラワンベニヤ t=3 | |
| 5 | ケイカル板 t=4 厚吹リシン | 既存のまま |
| 6 | コンクリート打放し | 既存のまま |
| 7 | 木毛板打込み | 既存のまま |
| 8 | 有孔フレキシブルボード t=4 VP塗装 | |
| 9 | プリント合板張 | |
| 10 | PB t9.5の上岩綿吸音板ｔ9 | 新設 |

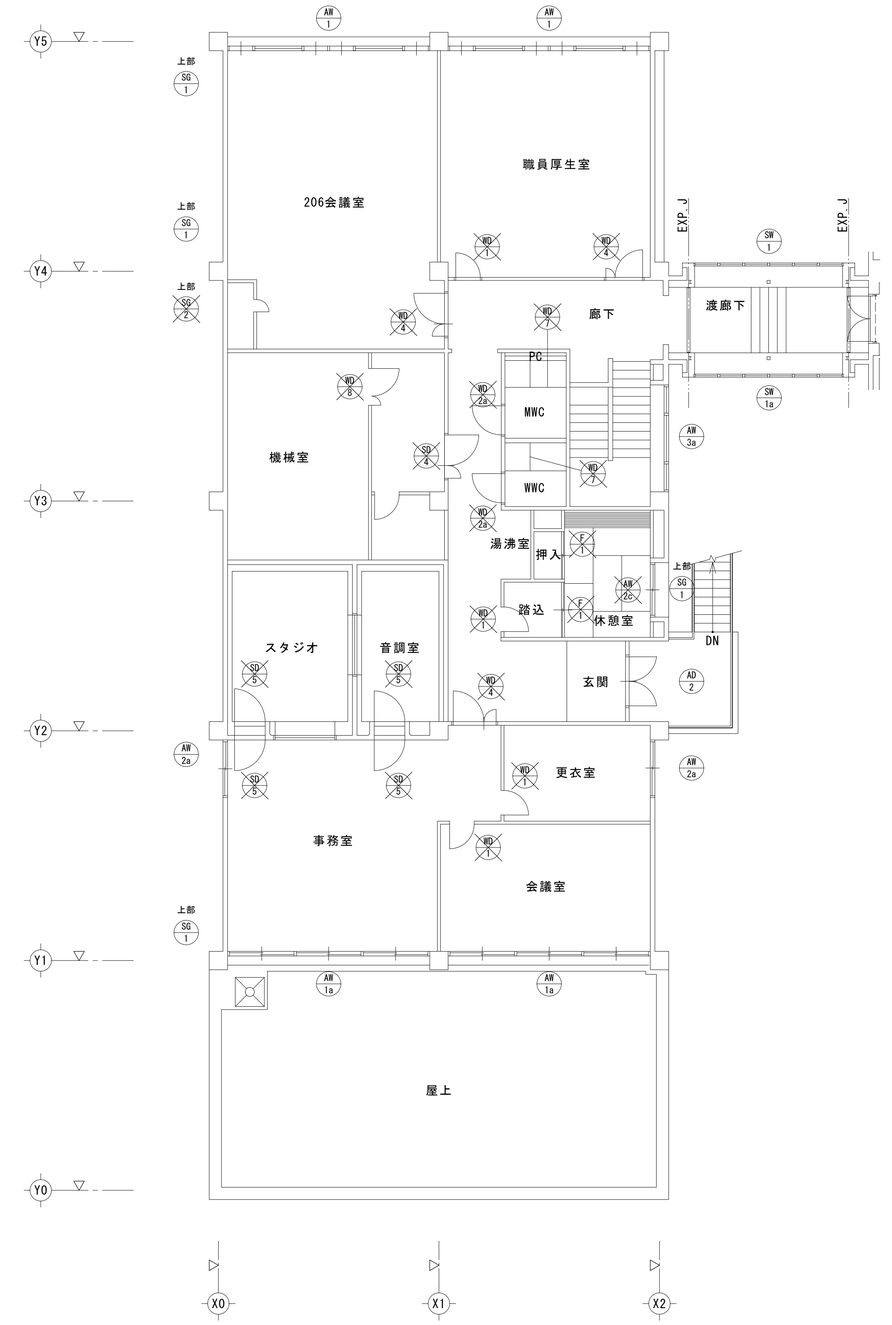
⊠　新設天井点検口450角を示す

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>Ａ－３０ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　天井伏図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File A30_改修天井伏図




1階平面図　1/100




2階平面図　1/100

建具撤去を示す

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－31 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>既存　建具配置図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

| 符合・数量 | AW-1 ＜AW-1a＞ | AW-2＜AW-2a＞＜AW-2b＞＜AW-2c＞＜AW-2d＞ | AW-3 ＜AW-3a＞ | |
|---|---|---|---|---|
| | ４ヶ所＜２カ所＞ | | １ヶ所＜１カ所＞ | |
| 形式・使用箇所 | ２連片引き窓 | 引違い窓 | 片引き窓 | |
| | 1階 食堂､2階 206会議室､職員厚生室＜2階 事務室､会議室＞ | 1階 104会議室 2a:2階 事務室､更衣室 2b:1階 和室6帖 2c:2階 休憩室 2d:1階 厨房 | 1階 105会議室＜2階 階段室＞ | |
| 姿図 | ＜＞内:AW-1a を示す<br>AW 1<br>AW 1a<br>3,215 / 70 / 3,215 / 6,500<br>＜1,660＞ 1,670<br>※網戸新設 ２４ヶ所 | AW 2 x 2<br>AW 2a x 2<br>AW 2b x 1<br>AW 2c x 1<br>AW 2d x 1<br>1,670<br>a:1,660 b:1,670 c:1,650 d:1,670<br>1,670<br>a:1,670 b:1,660 c:1,660 d:1,630<br>※網戸新設 ５ヶ所 | ＜＞内:AW-3a を示す<br>AW 3<br>AW 3a<br>3,370<br>＜1,660＞ 1,670<br>※網戸新設 ４ヶ所 | |
| 寸法・見付・見込 | 枠:70 | 枠:70 | 枠:70 | |
| 材質・仕上 | アルミ 電解着色 | アルミ シルバー | アルミ シルバー | |
| ガラス | フロートガラス（引戸：t=5、FIX部：t=6） | フロートガラス t=5 （１ヶ所線入磨きt=6.8 AW-2a） | AW-3：線入磨きt=6.8 AW-3a：フロートガラス（引戸t=5、FIX部t=6） | |
| 金物 | クレセント、戸車 | カムラッチハンドル、受金物 | | |
| 備考 | 網戸新設 | 網戸新設 | 網戸新設 | |

| 符合・数量 | AD-1 | AD-2 | AD-3 | | SD-1 |
|---|---|---|---|---|---|
| | １ヶ所 | １ヶ所 | １ヶ所 | | １ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | 両開きアルミ扉 1階 廊下 | 両開きアルミドア ランマFIX付 2階 玄関 | 片開きアルミドア 片袖付ランマFIX付 1階 休憩室 | | 片開きスチールドア 1階 機械室 |
| 姿図 | AD 1<br>2,290<br>1FL<br>1,600 | AD 2<br>100 290<br>2,400 2,790<br>1FL<br>1,600 | AD 3<br>100 590<br>1,950 2,640<br>1FL<br>1,670 | | SD 1<br>2,000<br>1FL<br>800 |
| 寸法・見付・見込 | 枠:70 | 枠:70 | 枠:70 | | 枠:86 ／ 扉:36 |
| 材質・仕上 | アルミ製 電解着色 | アクリル樹脂焼付塗装 | アクリル樹脂焼付塗装 | | 枠：スチールOP 扉：スチールOP |
| ガラス | フロートガラスt=5 | ドア部：フロートガラスt=5 欄間部：フロートガラスt=3 | 片袖FIX部分：フロートガラスt=5 ランマ部：フロートガラスt=3 | | ー |
| 金物 | フロアーヒンジ、把手、フランス落し、シリンダー錠 | オートヒンジ、把手、フランス落し、シリンダー錠 | 丁番、モノロック、DC | | オートヒンジ、モノロック、戸当り |
| 備考 | | | | | |

| 符合・数量 | SD-2 | SD-3 | SD-4 | SD-5 | SD-6 |
|---|---|---|---|---|---|
| | １ヶ所 | １ヶ所 | １ヶ所 | ４ヶ所 | １ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | 両開きスチールドア ランマ部スチールガラリ付き 1階 厨房 | 片開きスチールドア 1階 物入 | 親子開きスチールドア 2階 機械室 | 片開きスチールドア（AT） 2階 スタジオ､音響室 | 片開きスチール戸 1階 PS |
| 姿図 | SD 2<br>100 405<br>2,300 2,805<br>1FL<br>1,550 | SD 3<br>1,750<br>1FL<br>800 | SD 4<br>2,000<br>1FL<br>1,200 | SD 5<br>1,800<br>1FL<br>800 | SD 6<br>600<br>600 |
| 寸法・見付・見込 | 枠:86 ／ 扉:40 | 枠:86 ／ 扉:36 | 枠:160 ／ 扉:36 | 枠:86 ／ 扉:40 | 枠:45 ／ 扉:20 |
| 材質・仕上 | 枠：スチール、グラファイト塗装 扉：スチール、グラファイト塗装 | 枠：スチールOP 扉：スチールOP | 枠：スチール、グラファイト塗装 扉：スチール、グラファイト塗装 | 枠：スチール、グラファイト塗装 扉：スチール、グラファイト塗装、ロックウール充填 | 枠：スチール、グラファイト塗装 扉：スチール、グラファイト塗装 |
| ガラス | ー | ー | ー | ー | ー |
| 金物 | 丁番、把手、シリンダー錠、フランス落し、DC | 丁番、モノロック | オートヒンジ、モノロック、戸当り、フランス落し | 丁番、グレモン錠、DC、シリンダー錠（２ヶ所）<br>内部：ロックウール充填 | 丁番 |
| 備考 | | | | | |

| 符合・数量 | SW-1 ＜SW-1a＞ | AD-4 |
|---|---|---|
| | １ヶ所＜１カ所＞ | ２ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | スチール枠 ガラス及びパネルスクリーン 2階 渡廊下＜2階 渡廊下＞ | 片開き扉 両袖FIX 本館 1階 風除室 |
| 姿図 | SW 1<br>SW 1a<br>＜＞内:SW-2a を示す<br>963 50 963 50 963 50 963 50 963<br>4,000<br>758 50 758 50 758 50 758 50 758 50 758 50 760<br>4,800 | AD 4<br>扉のみ撤去<br>2,290<br>1FL<br>フロアヒンジ撤去<br>FIX FIX<br>530 900 530<br>45 45<br>2,050 |
| 寸法・見付・見込 | 枠:100 | 枠:70 |
| 材質・仕上 | 枠：スチール、グラファイト塗装 扉：スチール、グラファイト塗装 | |
| ガラス | フロートガラスt=5 | フロートガラスt=6 |
| 金物 | SW-2aは寸法その他はSW-2に同じ、 印部分のみ排煙窓（オペレーター装置付）とする | フロアーヒンジ、把手、シリンダー錠 |
| 備考 | | |

凡例

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ. | Ａ－３２ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 | 既存 建具表１ | 縮尺 | A1：1/50<br>A3：1/100 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 符合・数量 | WD-1　4ヶ所 | WD-2　＜WD-2a＞　2ヶ所＜2ヶ所＞ | WD-3　1ヶ所 | WD-4　5ヶ所 | WD-5　2ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | 片開きフラッシュドア　2階 職員厚生室、踏込、更衣室、会議室 | 片開きフラッシュドア　1階 男子便所、女子便所＜2階 男子便所、女子便所＞ | 自由開きフラッシュドア　1階 食堂 | 親子開きフラッシュドア　1階 105会議室、物入 2階 職員厚生室、206会議室、館下 | 両開きフラッシュドア　1階 食堂 |
| 姿図 | WD 1<br>2,000<br>1FL<br>800 | WD 2 / WD 2a　＜＞内:WD-2a を示す<br><1,900><br>2,000<br>1FL<br><730><br>750 | WD 3<br>1,960<br>1FL<br>750 | WD 4<br>2,000<br>1FL<br>1,200 | WD 5<br>2,000<br>1FL<br>1,600 |
| 寸法・見付・見込 | 枠:109　/扉:36 | 枠:190＜210＞　/扉:36 | 枠:190　/扉:36 | 枠:109（3ヶ所）、180（3ヶ所）　/扉:36 | 枠:180　/扉:36 |
| 材質・仕上 | 枠:スチールOP　三方枠　/扉:シナベニヤOP | 枠:スチールOP　三方枠　/扉:シナベニヤOP（片面耐水ベニヤOP） | 枠:スチールOP　三方枠　/扉:シナベニヤOP（片面耐水ベニヤOP） | 枠:スチールOP　三方枠　/扉:シナベニヤOP | 枠:スチールOP　三方枠　/扉:シナベニヤOP |
| ガラス | ー | ー | ー | ー | ー |
| 金物 | オートヒンジ、モノロック、戸当り | オートヒンジ、モノロック、戸当り | 自由丁番、把手 | 丁番、モノロック、フランス落し、戸当り | 丁番、モノロック、フランス落し、戸当り |
| 備考 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 符合・数量 | WD-6　1ヶ所 | WD-7　4ヶ所 | WD-8　1ヶ所 | | |
| 形式・使用箇所 | 引違いフラッシュ戸　1階 踏込 | トイレブース　1階 男子便所、女子便所＜2階 男子便所、女子便所＞ | 親子開きフラッシュドア　2階 機械室 | | |
| 姿図 | WD 6<br>1,820<br>1FL<br>1,820 | WD 7<br>900<br>40<br>1,800<br>50<br>100 550 150 100 550 450<br>1,900<br>1FL<br>100 550 150 100 550 450<br>1,900 | WD 8<br>1,960<br>1FL<br>1,200 | | |
| 寸法・見付・見込 | 枠:36 | 枠:40 | 枠:36 | | |
| 材質・仕上 | スチールOP　三方枠 | 耐水ベニヤOP（スクリーン共） | シナベニヤOP | | |
| ガラス | ー | ー | ー | | |
| 金物 | 引手、戸車、レール | ラバトリーヒンジ、ラバトリーラッチ、ステンレス足金物、頭つなぎ金物 | 丁番、フランス落し、モノロック | | |
| 備考 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 符合・数量 | F-1　3ヶ所 | F-2　1ヶ所 | FD-1　1ヶ所 | | |
| 形式・使用箇所 | 引違い襖　1階 和室6帖 2階 休憩室 | 引違い襖　1階 104会議室 | 引違い戸襖　1階 小休憩室 | | |
| 姿図 | F 1<br>1,800<br>1FL<br>1,750 | F 2<br>1,800<br>1FL<br>2,200 | FD 1<br>1,800<br>1FL<br>1,750 | | |
| 寸法・見付・見込 | 枠:21 | 枠:21 | 枠:36 | | |
| 材質・仕上 | クロマガイ　鳥の子紙貼 | クロマガイ　鳥の子紙貼 | クロマガイ　鳥の子紙貼、シナベニヤOP | | |
| ガラス | ー | ー | ー | | |
| 金物 | 引手 | 引手 | 引手 | | |
| 備考 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 符合・数量 | S-1　1ヶ所 | S-2　2ヶ所 | | SG-1　7ヶ所 | SG-2　1ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | 引違い障子　1階 104会議室 | 2段引違い障子　1階 104会議室 | | スチールガラリ　1階 食堂、和室6帖 2階 206会議室、休憩室、事務室 | スチールガラリ　2階 206会議室 |
| 姿図 | S 1<br>1,800<br>1FL<br>2,200 | S 2<br>714<br>36<br>1,690<br>940<br>1,690 | | SG 1<br>130<br>700 | SG 2<br>405<br>1,550 |
| 寸法・見付・見込 | 枠:33 | 枠:30 | | 枠:86 | 枠:86 |
| 材質・仕上 | 杉枠、和紙貼　腰:杉鏡板 | 杉枠、和紙貼 | | 枠:スチール、グラファイト塗装　扉:スチール、グラファイト塗装 | 枠:スチール、グラファイト塗装　扉:スチール、グラファイト塗装 |
| ガラス | ー | ー | | ー | ー |
| 金物 | 引手 | 引手 | | | |
| 備考 | | | | | |

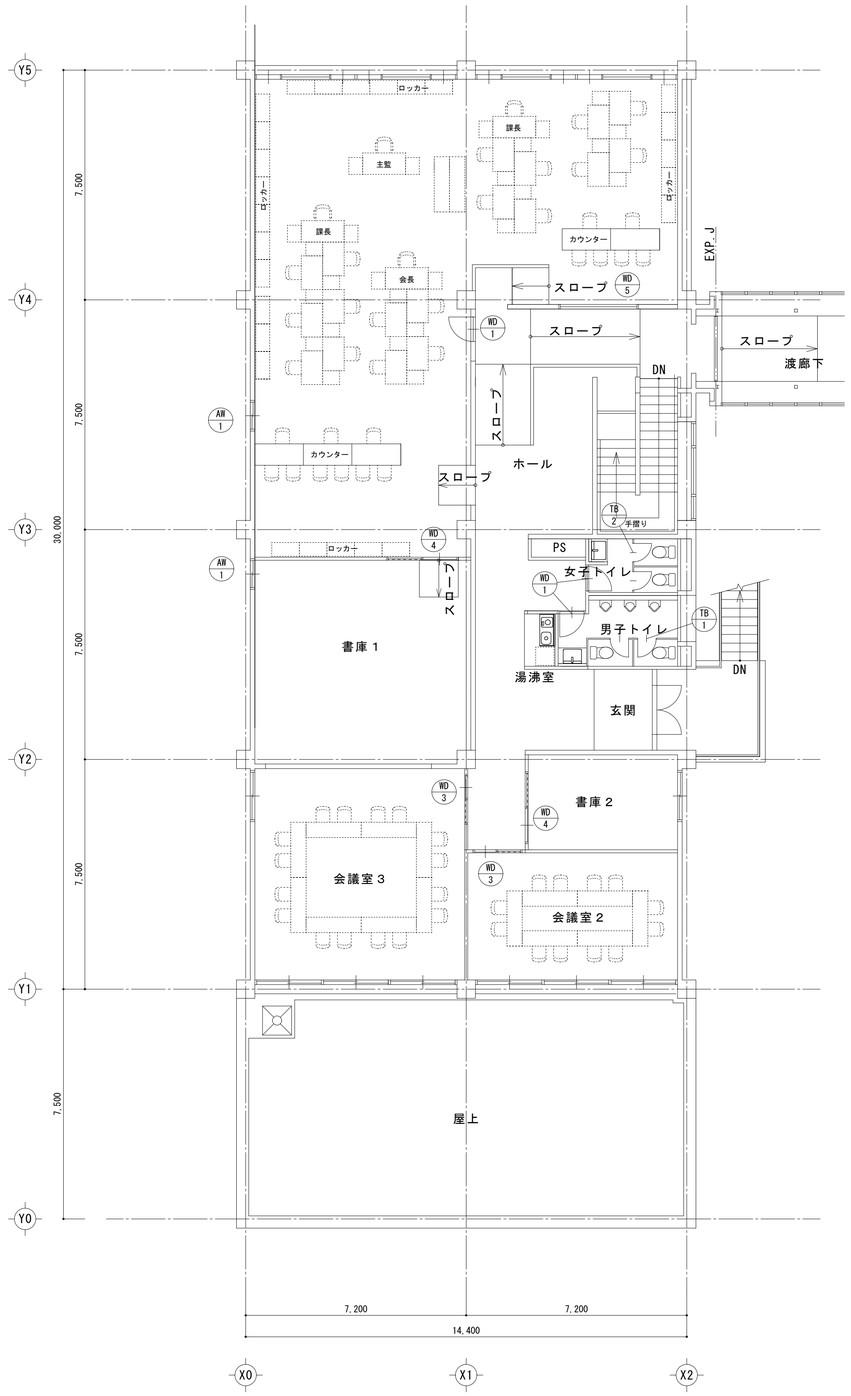
凡例

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－33 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名<br>既存　建具表２ | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

File　A33_既存建具表3



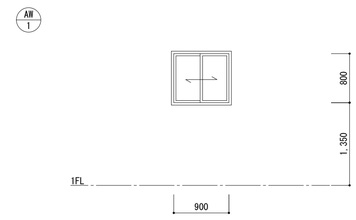
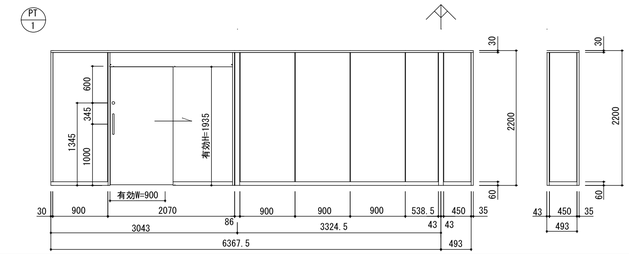
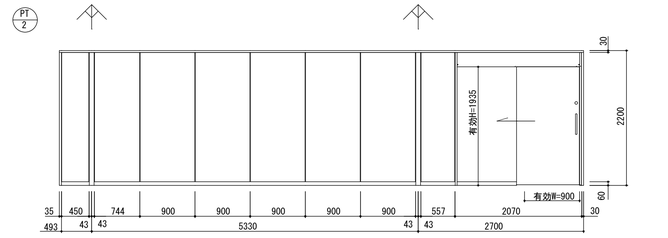
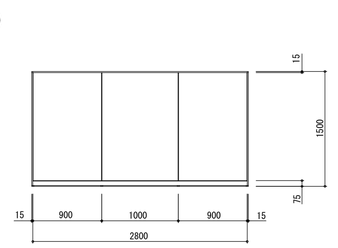

1階平面図　1/100

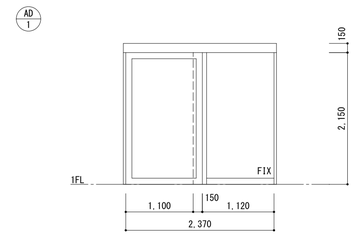
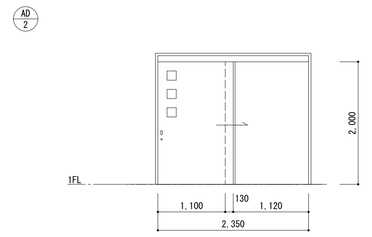
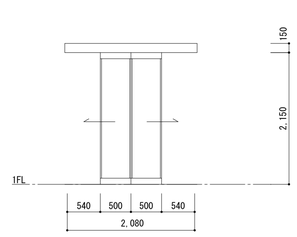


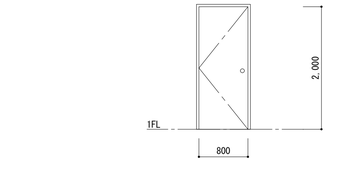
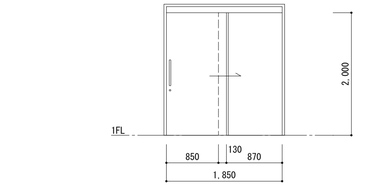
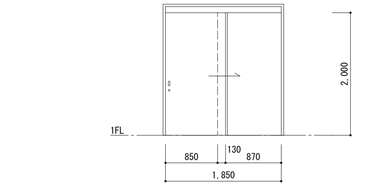
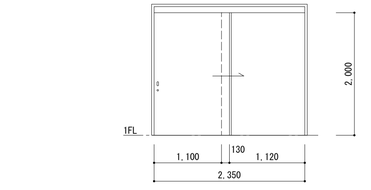
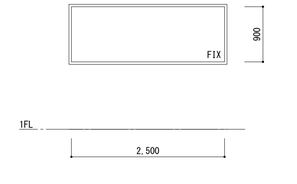

2階平面図　1/100

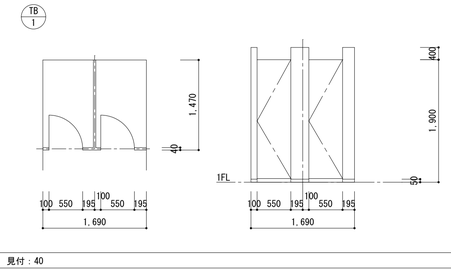
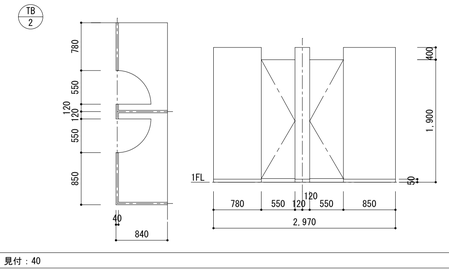
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－34 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　建具配置図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File A34_改修建具表1

| 符合・数量 | AW-1 | PT-1 | PT-2 | PT-3 |
|---|---|---|---|---|
| | 2ヶ所 | 1ヶ所 | 1ヶ所 | 1ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | 片引き窓 2階 事務室 | スチールパーティション 1階 倉庫 | スチールパーティション 1階 会議室 | ローパーティション 1階 事務室 |
| 姿図 |  |  |  |  |
| 寸法・見付・見込 | 枠:70 | 枠:70 /扉:40 | 枠:70 /扉:40 | パネル:50 |
| 材質・仕上 | アルミ 電解着色 | 焼付塗装仕上 | 焼付塗装仕上 | 焼付塗装仕上 |
| ガラス | フロートガラスt=5 | ー | ー | ー |
| 金物 | クレセント、戸車 | 樹脂引手、戸車、レール、吊り戸金物、他付属金物一式 | 樹脂引手、戸車、レール、吊り戸金物、他付属金物一式 | 固定金具、他付属金物一式 |
| 備考 | | | | |

| 符合・数量 | AD-1 | AD-2 | | SUD-1 |
|---|---|---|---|---|
| | 2ヶ所 | 1ヶ所 | | 2ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | FIX付片引き自動ドア 1階 風除室 | 1階 事務室 | | 両引き自動ドア 本館 1階 風除室 |
| 姿図 |  |  | |  |
| 寸法・見付・見込 | 枠:100 片引きエンジンドア | 枠:100 片引きドア | | 枠:100 片引きエンジンドア |
| 材質・仕上 | アルミ製 電解着色 | アルミ製 電解着色 | | SUS製 |
| ガラス | フロートガラス（引戸：t=5、FIX部：t=6） | フロートガラスt=5 | | フロートガラス（引戸：t=10） |
| 金物 | 自動ドア金物、シリンダー錠 | 引手、戸車、レール、吊り戸金物、シリンダー錠 | | 自動ドア金物、シリンダー錠 |
| | エンジン装置 | | | エンジン装置 |
| 備考 | | | | |

| 符合・数量 | WD-1 | WD-2 | WD-3 | WD-4 | WD-5 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 5ヶ所 | 1ヶ所 | 4ヶ所 | 2ヶ所 | 1ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | 片開きフラッシュドア 1階・2階 男子トイレ,女子トイレ ホール | 片引きフラッシュ引き戸 1階 多機能トイレ | 片引きフラッシュ引き戸 1階 男子更衣室 2階 会議室2、3 | 片開きフラッシュドア 2階 書庫1、書庫2 | 嵌め殺し窓 2階 ホール |
| 姿図 |  |  |  |  |  |
| 寸法・見付・見込 | 枠:110 /扉:36 | 枠:110 /扉:36 | 枠:110 /扉:36 | 枠:110 /扉:36 | 枠:110 |
| 材質・仕上 | 枠:スチールSOP 三方枠 /扉:シナベニヤSOP（片面耐水ベニヤSOP） | 枠:スチールSOP 三方枠 /扉:焼付塗装鋼板t=0.6 | 枠:スチールSOP 三方枠 /扉:シナベニヤSOP | 枠:スチールSOP 三方枠 /扉:シナベニヤSOP | 枠:スチールSOP |
| ガラス | ー | ー | ー | ー | フロートガラス t=6 |
| 金物 | 丁番、ドアクローザー、モノロック、戸当り | 大型ドアハンドル、戸車、レール、表示錠、吊り戸金物 | 引手、戸車、レール、表示錠、吊り戸金物 | 引手、戸車、レール、表示錠、吊り戸金物 | |
| 備考 | | | | | |

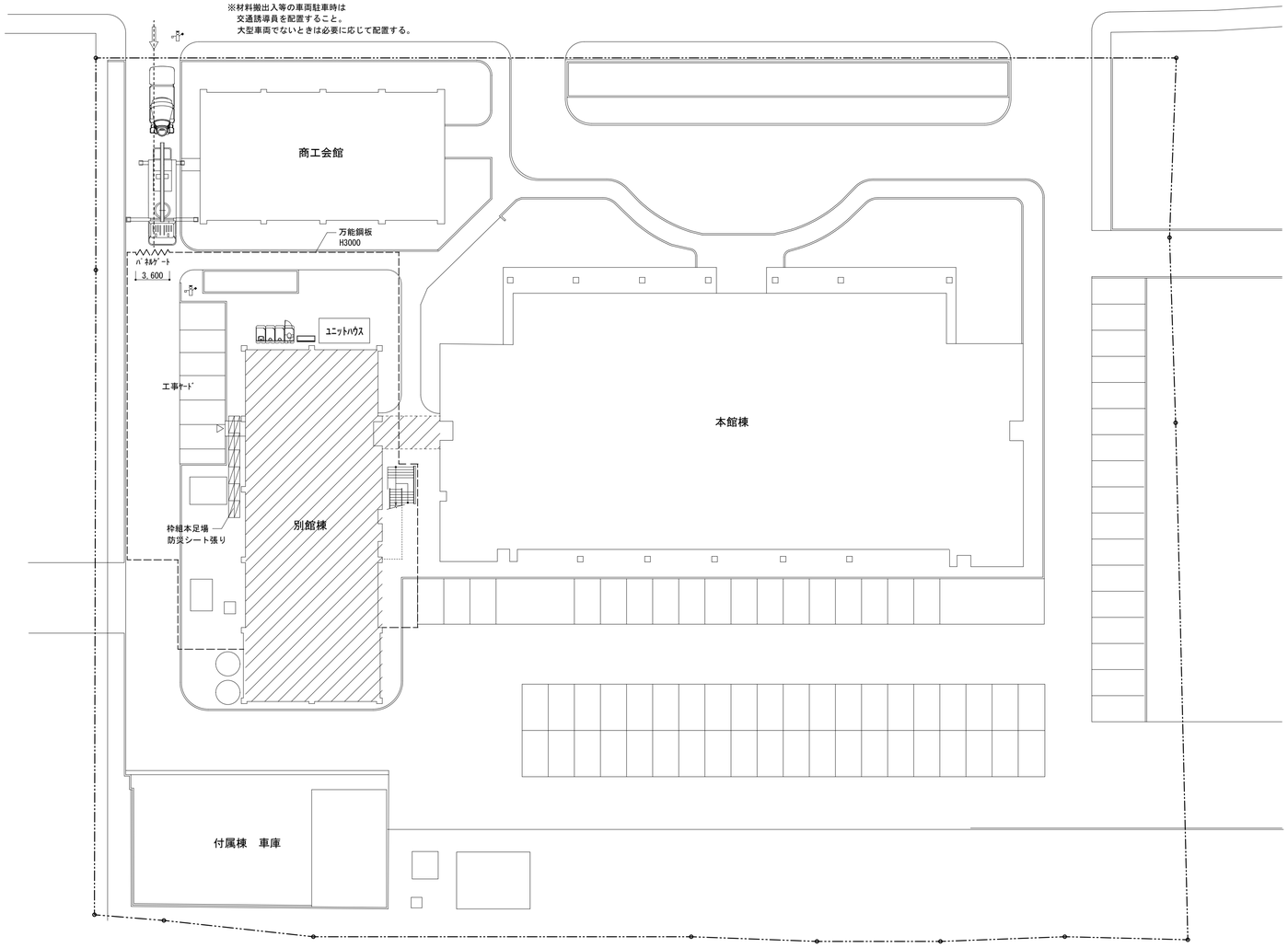
| 符合・数量 | TB-1 | TB-2 |
|---|---|---|
| | 2ヶ所 | 2ヶ所 |
| 形式・使用箇所 | トイレブース 1階・2階 男子トイレ | トイレブース 1階・2階 女子トイレ |
| 姿図 |  |  |
| 寸法・見付・見込 | 見付：40 | 見付：40 |
| 材質・仕上 | 高圧メラミン樹脂化粧板 | 高圧メラミン樹脂化粧板 |
| ガラス | ー | ー |
| 金物 | SUS巾木 表示付スライドロック 戸当り | SUS巾木 表示付スライドロック 戸当り |
| | 非常時外開きドア | 非常時外開きドア |
| 備考 | | |

凡例

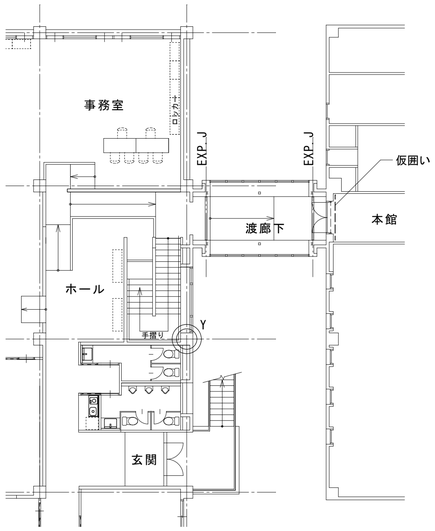
| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | |

| 名称 | Ｎｏ. |
|---|---|
| 竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ａ－３５ |
| 図名 改修 建具表 | 縮尺 A1：1/50 A3：1/100 |

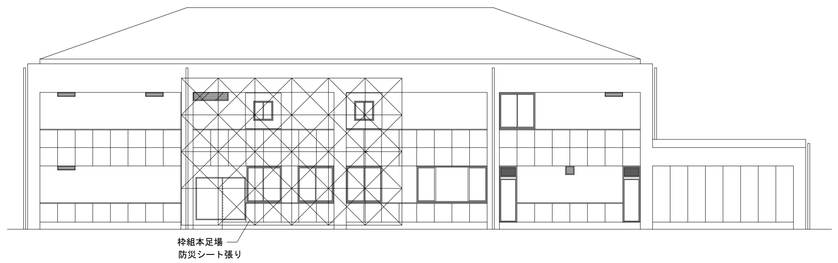
File A35_改修建具表




仮設計画図　1/300




２階平面図　1/150



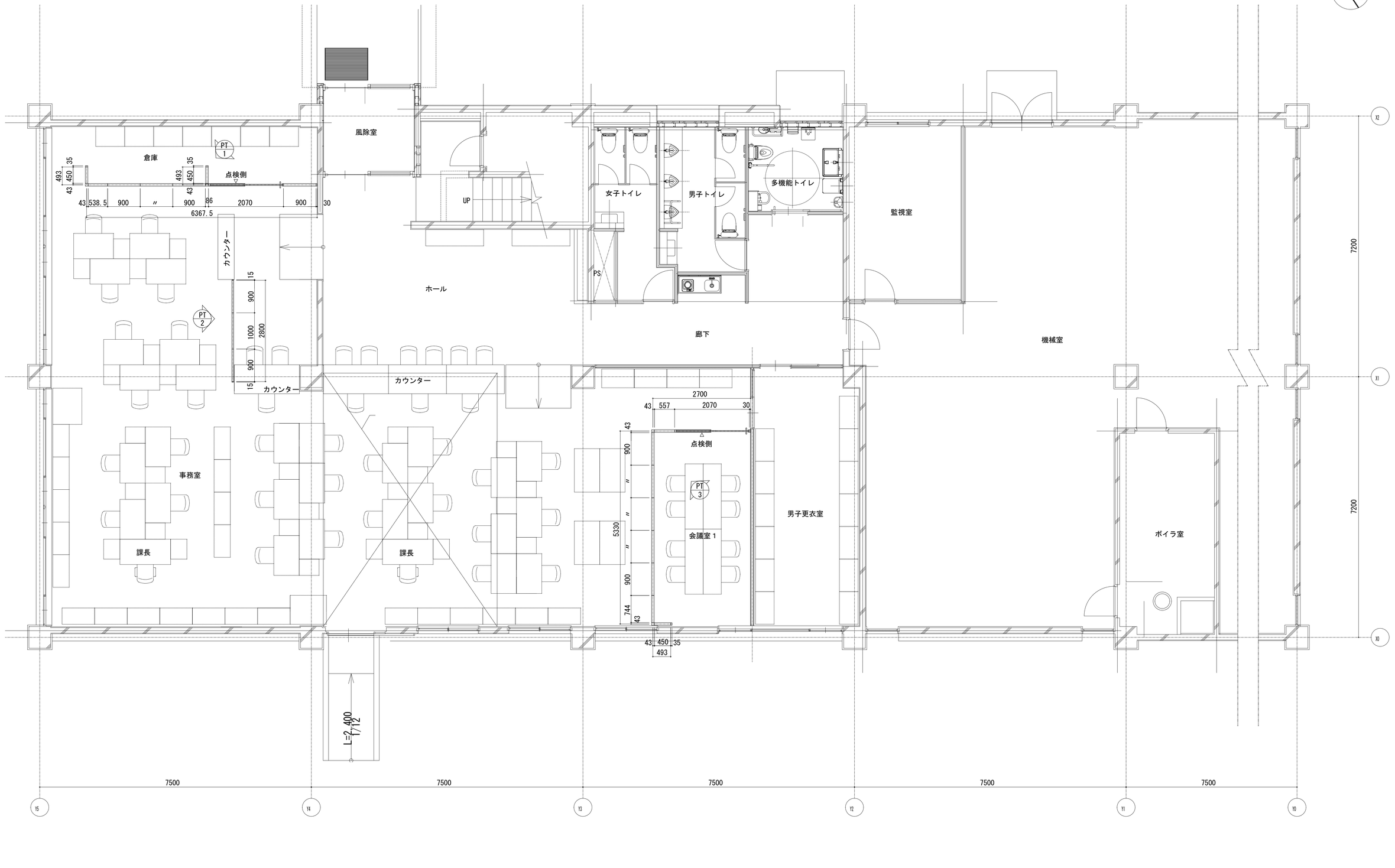

西立面図　1/150

凡例

| | |
|---|---|
| △ 出入口を示す | 工事ヤードを示す |
| 交通誘導員を示す | 枠組本足場を示す |
| 車両進入経路を示す | 改修建物を示す |

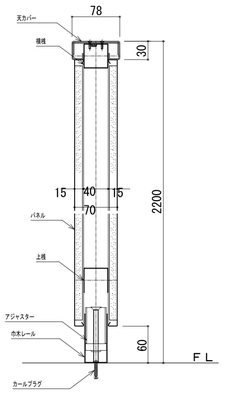
参考図

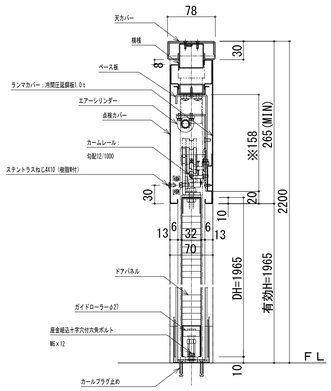
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－３６ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>仮設計画図（参考） | 縮尺<br>A1：1/300 1/150<br>A3：1/600 1/300 |

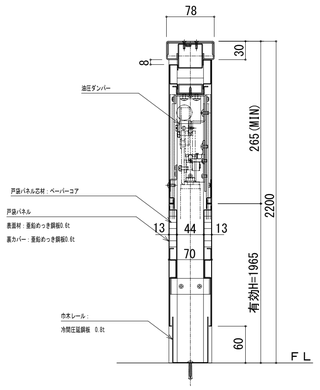



| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| DED068/21640945K001<br>22-06-08/17:41:51 | 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ．<br>Ａ－３７ |
| | | | 構造/設備関係規定<br>への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名<br>可動間仕切配置図 | 縮尺<br>A1：　1/50<br>A3：　1/100 |

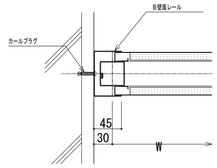
可動間仕切　断面詳細図　　H＝2200　　PT1、PT3

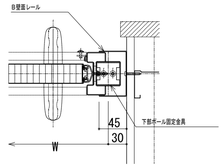


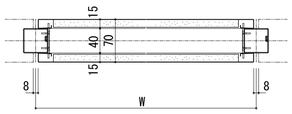

壁面詳細

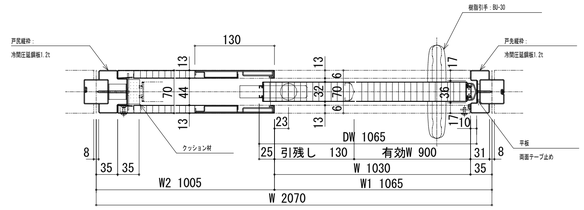


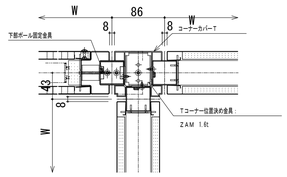

◇仕様表　　（小松ウオール ウルトラスタンドウォールＳＴ同等品）

| 項目 | 部材 | 材料(板厚mm) |
|---|---|---|
| 骨材 | 天カバー | 冷間圧延鋼板 1.6mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 巾木レール | 冷間圧延鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | ボール(支柱)・横桟 | 冷間圧延鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 上桟 | 冷間圧延鋼板 1.0mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 壁面レール | 冷間圧延鋼板 0.8mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | コーナーカバー/コーナーカバーＴ | アルミ押出形材〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | エンドフィニッシュ | 冷間圧延鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| パネル | パネル表面材 | 亜鉛めっき鋼板 0.5mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 芯材 | せっこうボード 12.5mm |
| 自閉式吊戸 | パネル表面材 | 亜鉛めっき鋼板 0.5mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 芯材 | ペーパーコア |
| | ベース板 | 亜鉛めっき鋼板 2.3mm |
| | 点検カバー・ランマカバー | 冷間圧延鋼板 1.0mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 戸先・戸尻縦枠 | 冷間圧延鋼板 1.2mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 戸袋パネル表面材 | 亜鉛めっき鋼板 0.6mm〈指定色焼付塗装仕上〉 |
| | 戸袋パネル芯材 | ペーパーコア |
| | フロントゴム | ポリ塩化ビニル〈ブラック色〉 |
| | カームレール | アルミ押出形材〈アルマイト処理仕上〉 |
| | 自閉装置 | 小松ウオール標準傾斜部品セット |
| | ロック | 美和 POSTE錠/ゴール AD錠 |
| | 引手 | 樹脂引手BU-30 L=340 |

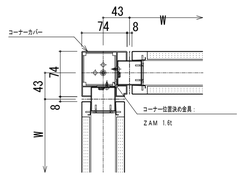


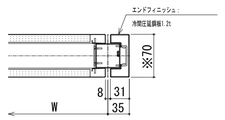

Ｔコーナー詳細



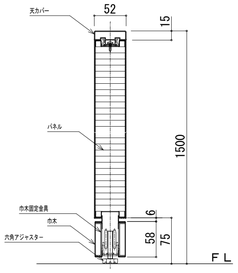

Ｌコーナー詳細

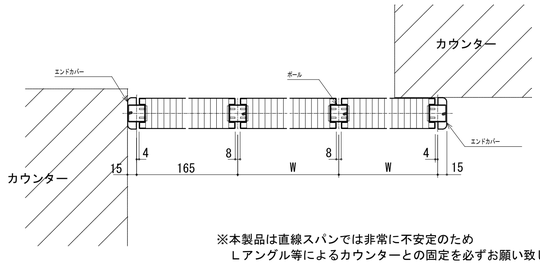



端部詳細




可動間仕切　断面詳細図　　H＝1500　　PT2




※本製品は直線スパンでは非常に不安定のため
　Ｌアングル等によるカウンターとの固定を必ずお願い致します。

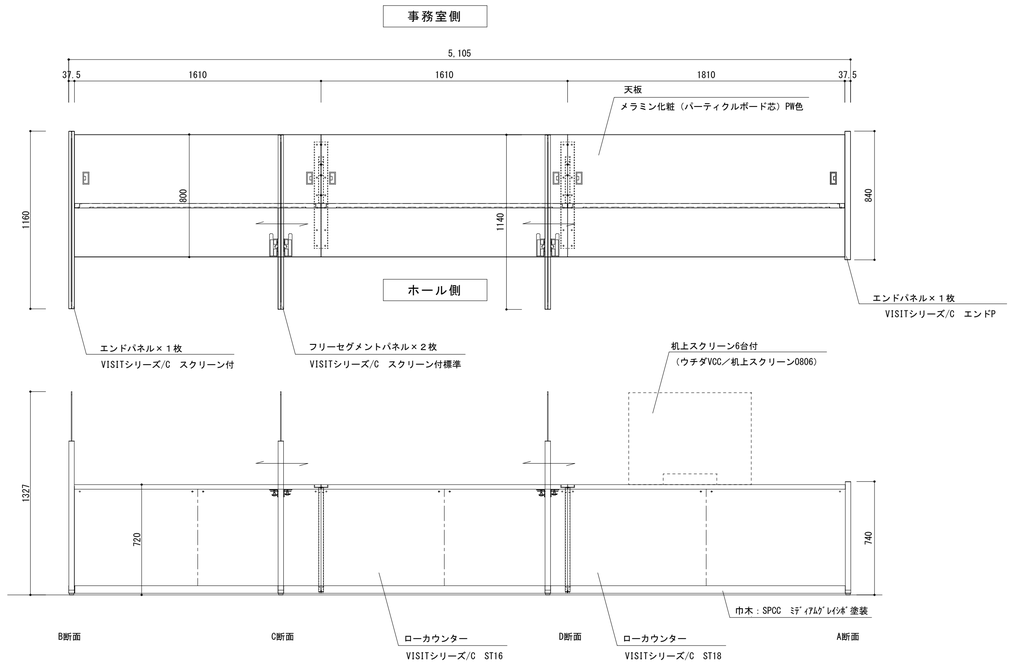
◇仕様表　　（小松ウオール　モールシステム）

| 項　目 | 部　材 | 材　料（板厚mm） |
|---|---|---|
| 骨　材 | 直線ボール（支柱） | 冷間圧延鋼板1.2mm　〈焼付塗装仕上〉 |
| | 天カバー | アルミ押出形材　A6063S-T5　〈焼付塗装仕上〉 |
| | エンドカバー | 冷間圧延鋼板0.8mm　〈焼付塗装仕上〉 |
| | 巾木 | 亜鉛めっき鋼板0.6mm　〈焼付塗装仕上〉 |
| パネル | パネル表面材（両面） | 亜鉛めっき鋼板0.5mm　〈焼付塗装仕上〉 |
| | 芯材 | ペーパーコア |

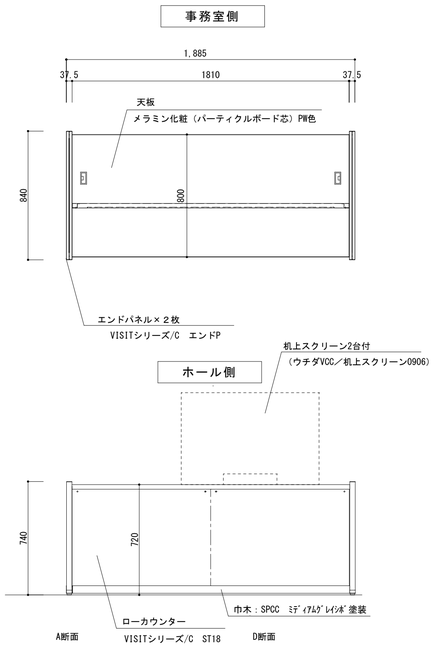
DED068/21640945S001
22-06-08/17:42:30

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ．<br>Ａ－３８ |
| | | | 構造/設備関係規定<br>への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名<br>可動間仕切　断面詳細図 | 縮尺<br>A1：　1/5<br>A3：　1/10 |

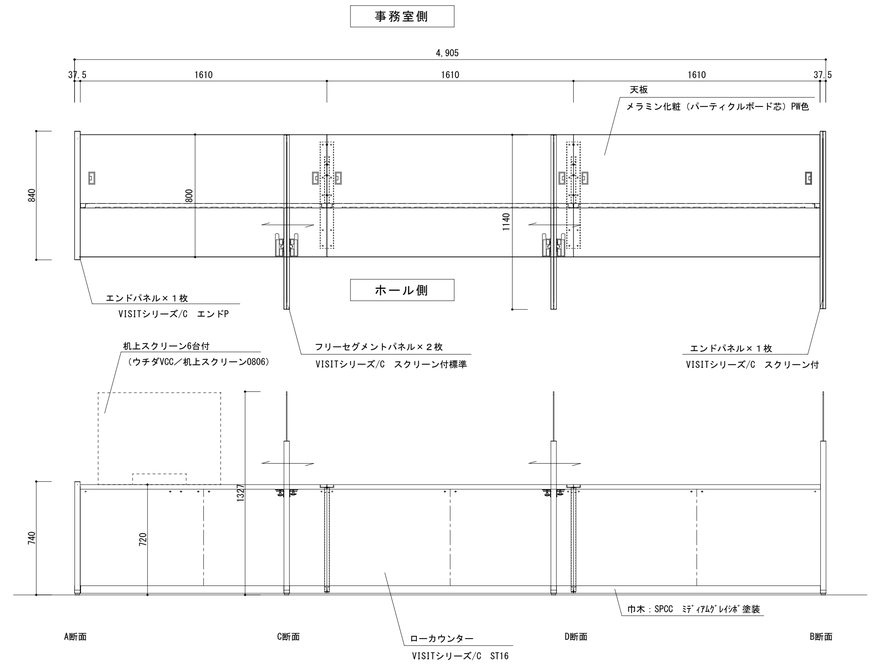
## １階事務室・２階事務室　　受付ローカウンター




１階　事務室

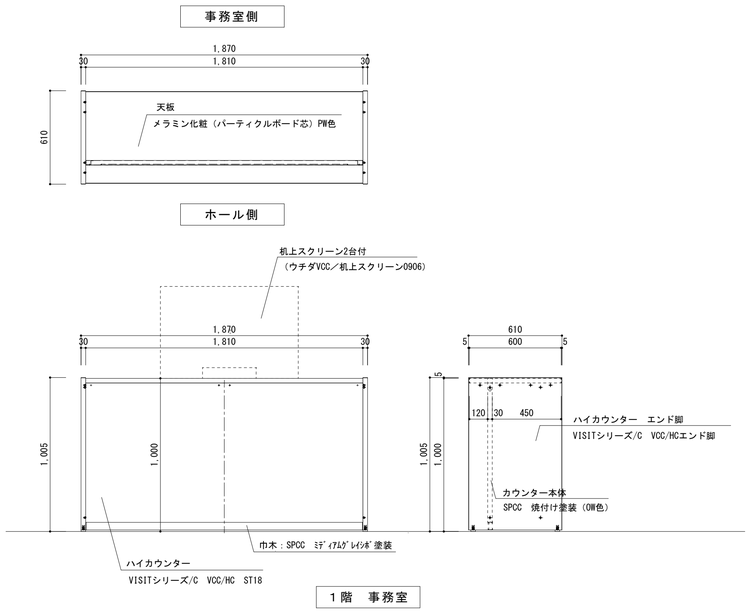



１階　事務室

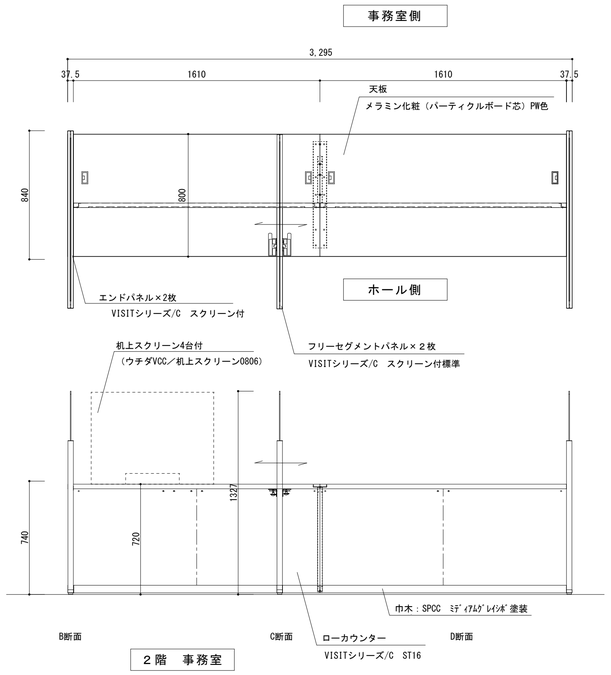



２階　事務室

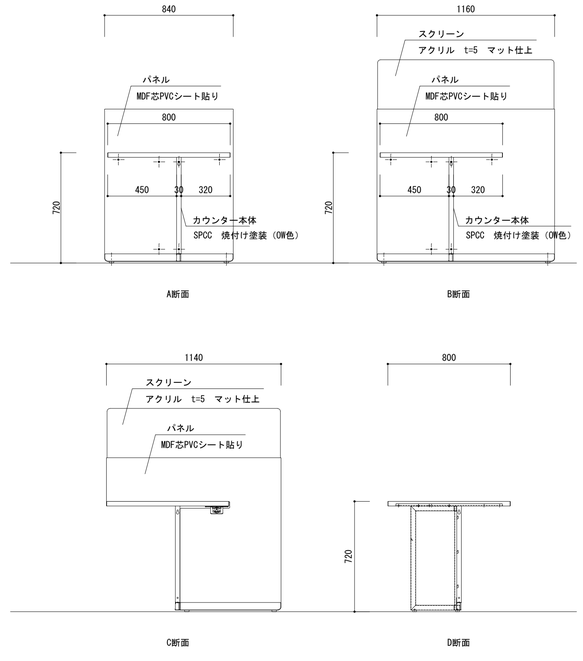
## １階事務室　　受付ハイカウンター




１階　事務室

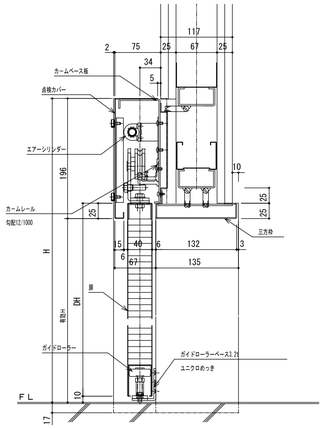


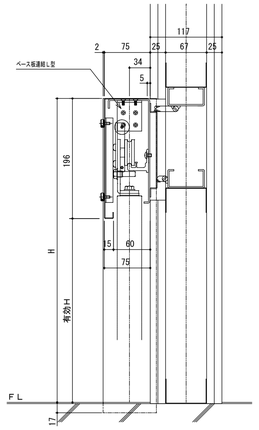

２階　事務室

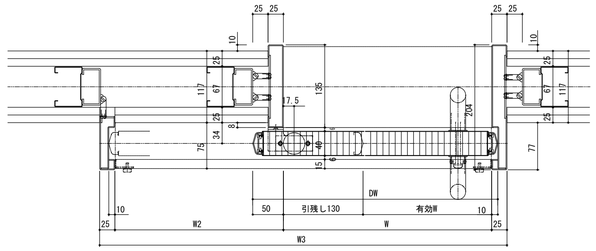



| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ. Ａ－３９ |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 家具詳細図 | 縮尺 A1：1/20 |

## 鋼製引戸　断面詳細図



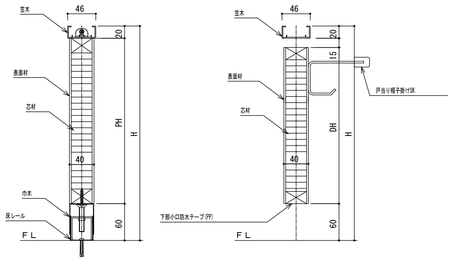




◇仕様表　　（小松ウオール　カームドア外付け枠タイプ）

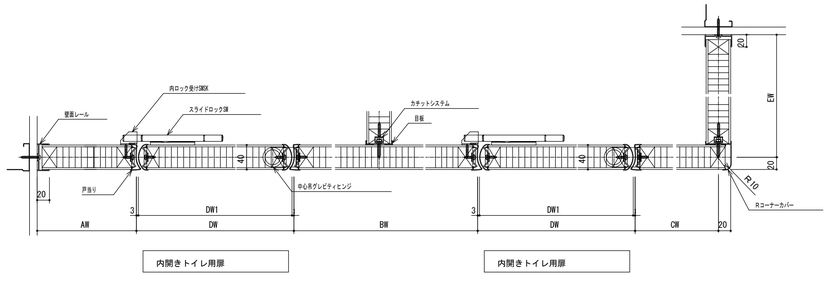
| 項　目 | 部　材 | 材　料（板厚mm） |
|---|---|---|
| 駆動装置 | 駆動方式 | 傾斜レール　制御装置エアダンパ |
| | カームベース板 | 亜鉛めっき鋼板　2.3mm　〈防錆塗装仕上〉 |
| | カームレール | アルミ押出形材　〈アルマイト処理仕上〉 |
| | ハンガー戸車 | 樹脂製戸車　ブラケットはめっき仕上 |
| 枠 | 先付け枠 | 亜鉛めっき鋼板　1.6mm　〈焼付塗装仕上〉 |
| | 点検カバー | 冷間圧延鋼板　1.2mm　〈焼付塗装仕上〉 |
| 扉 | パネル表面材 | 亜鉛めっき鋼板　0.6mm　〈焼付塗装仕上〉 |
| | 芯　材 | ペーパーコア |
| | フロントゴム | ポリ塩化ビニル　〈ブラック色〉 |
| 金物 | ロック | 美和　ＰＯＳＴＥ錠／ゴール　ＡＤ錠 |
| | 取　手 | ステンレス鏡面ハンドルφ25　L=450 |
| 切窓ガラリ | 切窓・ガラリ | アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉 |
| | ガラス押え | ポリ塩化ビニル　対応ガラス厚3～6mm〈グレー色〉 |

## トイレブース　断面詳細図

パネル詳細　　扉詳細




巾木調整範囲：巾木H-10～巾木H+15



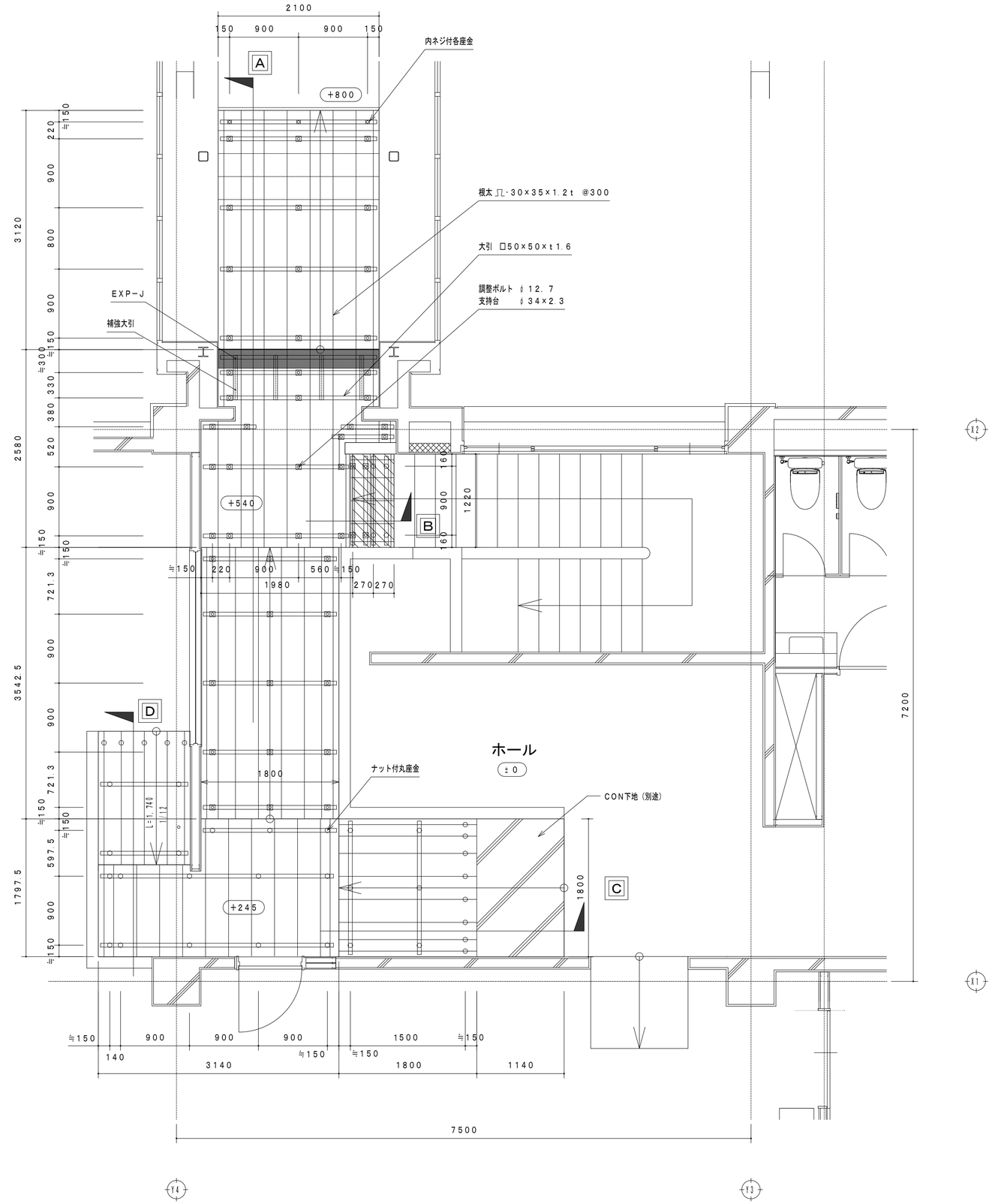

内開きトイレ用扉　　内開きトイレ用扉

◇仕様表　　（小松ウオール　サニティＴＢ－ＧＰＲタイプ）

| 項　目 | 部　材 | 材　料（板厚mm） |
|---|---|---|
| パネル | パネル表面材 | 高圧メラミン樹脂化粧板（下地：MDF） |
| | 芯　材 | ペーパーコア |
| | 目板／戸当り | アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉 |
| 付属品 | 巾木／床レール | ステンレス　0.8mm　〈ヘアライン仕上〉 |
| | 笠木 | アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉 |
| | 壁面レール／コーナーカバー | アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉 |
| | ヒンジ | 中心吊グレビティヒンジ |
| | ロック | スライドロックSM |
| | その他金物 | 戸当り帽子掛けSK |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ．<br>Ａ－４０ |
| | | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>鋼製引戸、トイレブース　断面詳細図 | 縮尺<br>A1：　1/5<br>A3：　1/10 |

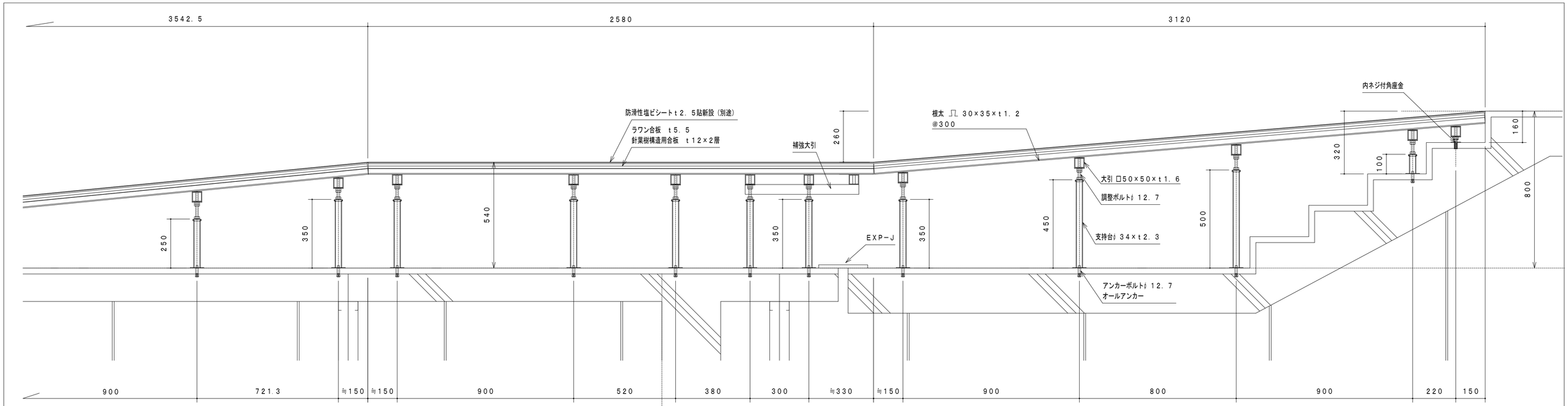
DED068/21640945S001
22-06-08/17:42:30



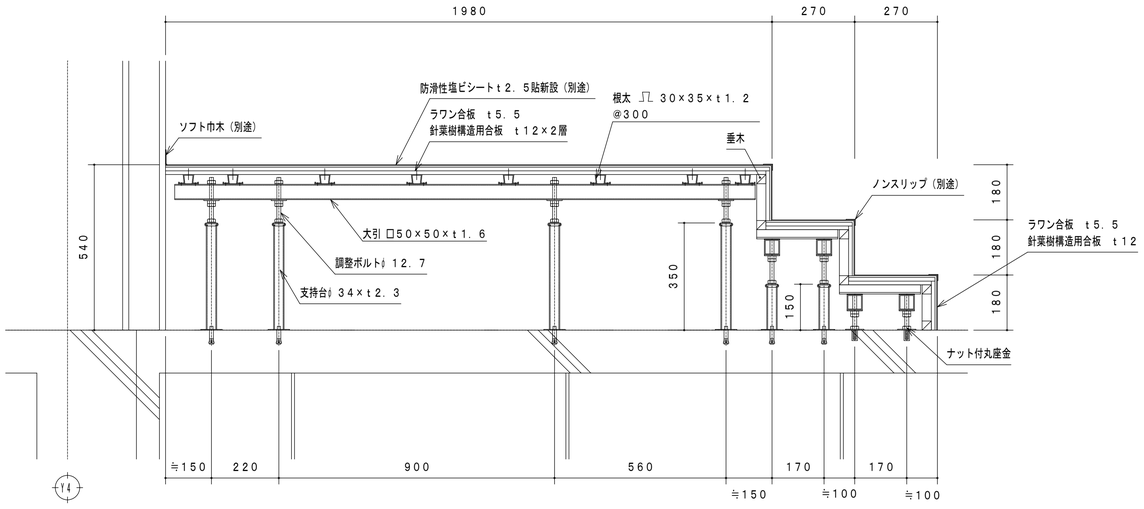

| 室名 | 床 仕 上 材 仕 様 |
|---|---|
| | 長尺塩ビシートｔ2．5貼新設（別途）<br>ラワン合板 ｔ5．5<br>針葉樹構造用合板 ｔ12×2層 |

| 室名 | 鋼 製 床 下 地 仕 様 |
|---|---|
| H＝0～800<br>900・1－50形<br>パウンドゴム無し | 根太 ⎍30×35×t1.2 @300<br>大引 □50×50×t1.6 @900<br>調整ボルト φ12.7<br>支持台 φ34×2.3 @900×900<br>アンカーボルト φ12.7（オールアンカー固定）<br>ナット付丸座金<br>内ネジ付角座金 |

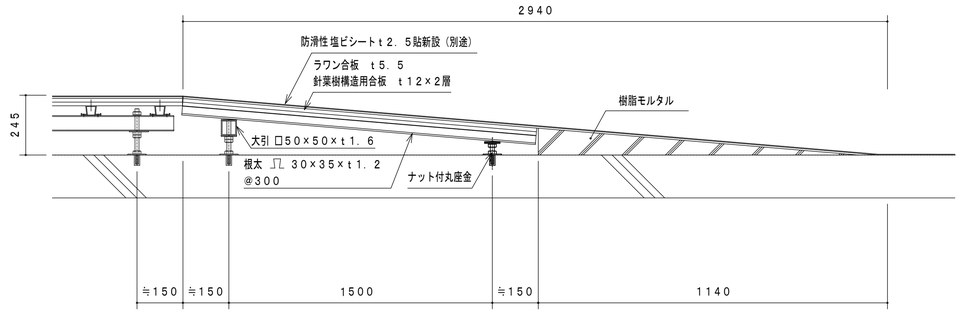
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ1号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第113886号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－41 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名<br>鋼製床詳細図 01 | 縮尺<br>A1：1/30<br>A3：1/60 |



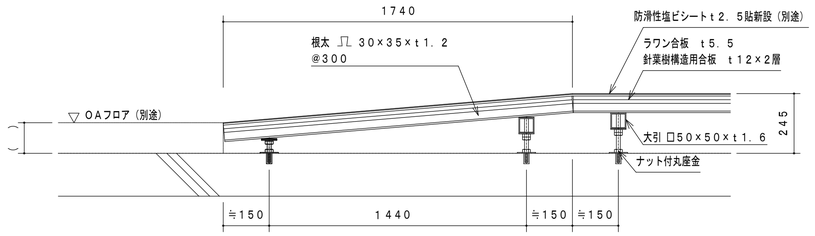

A矢視断面図　S＝1：10




B矢視断面図　S＝1：10

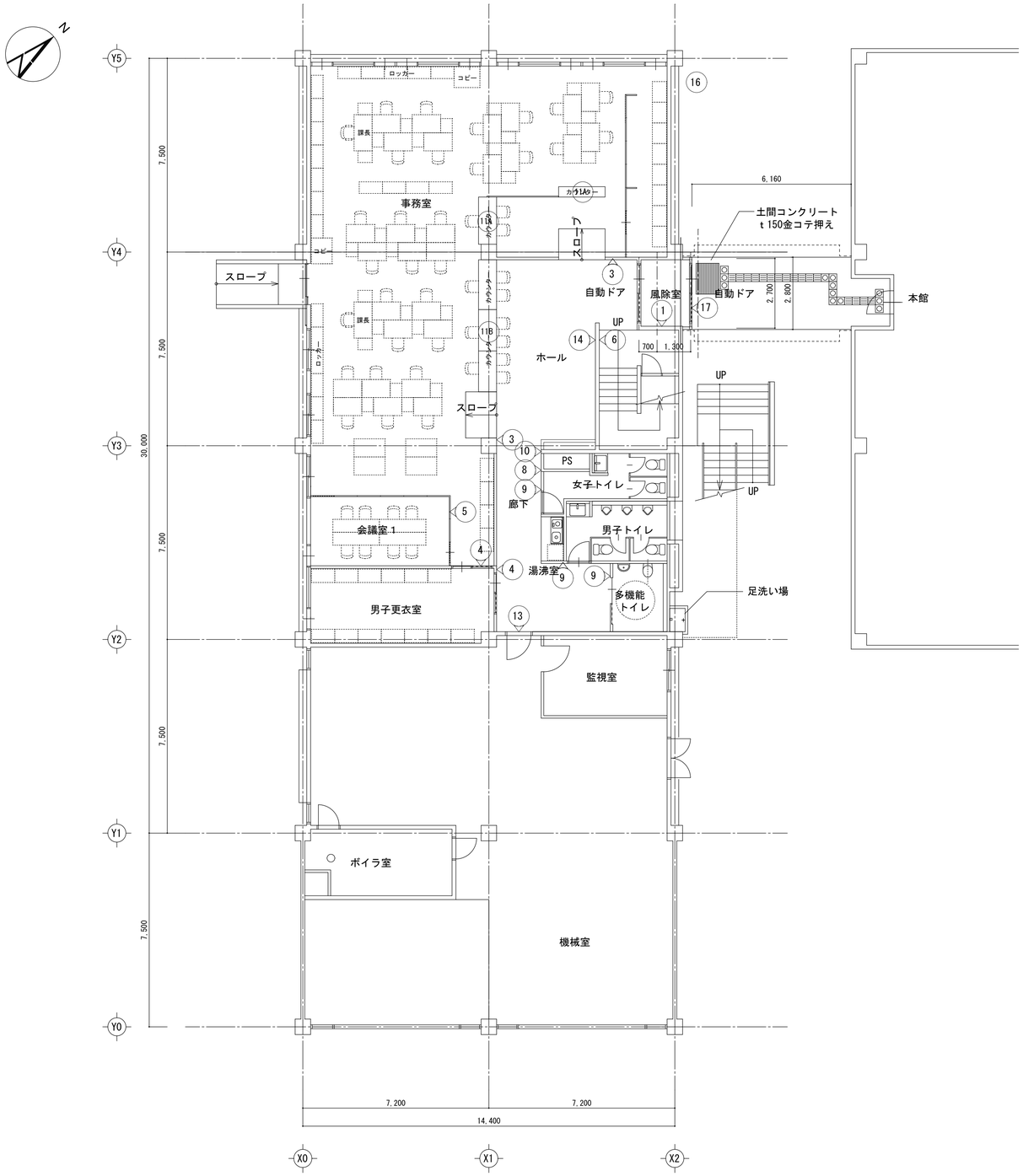



C矢視断面図　S＝1：10

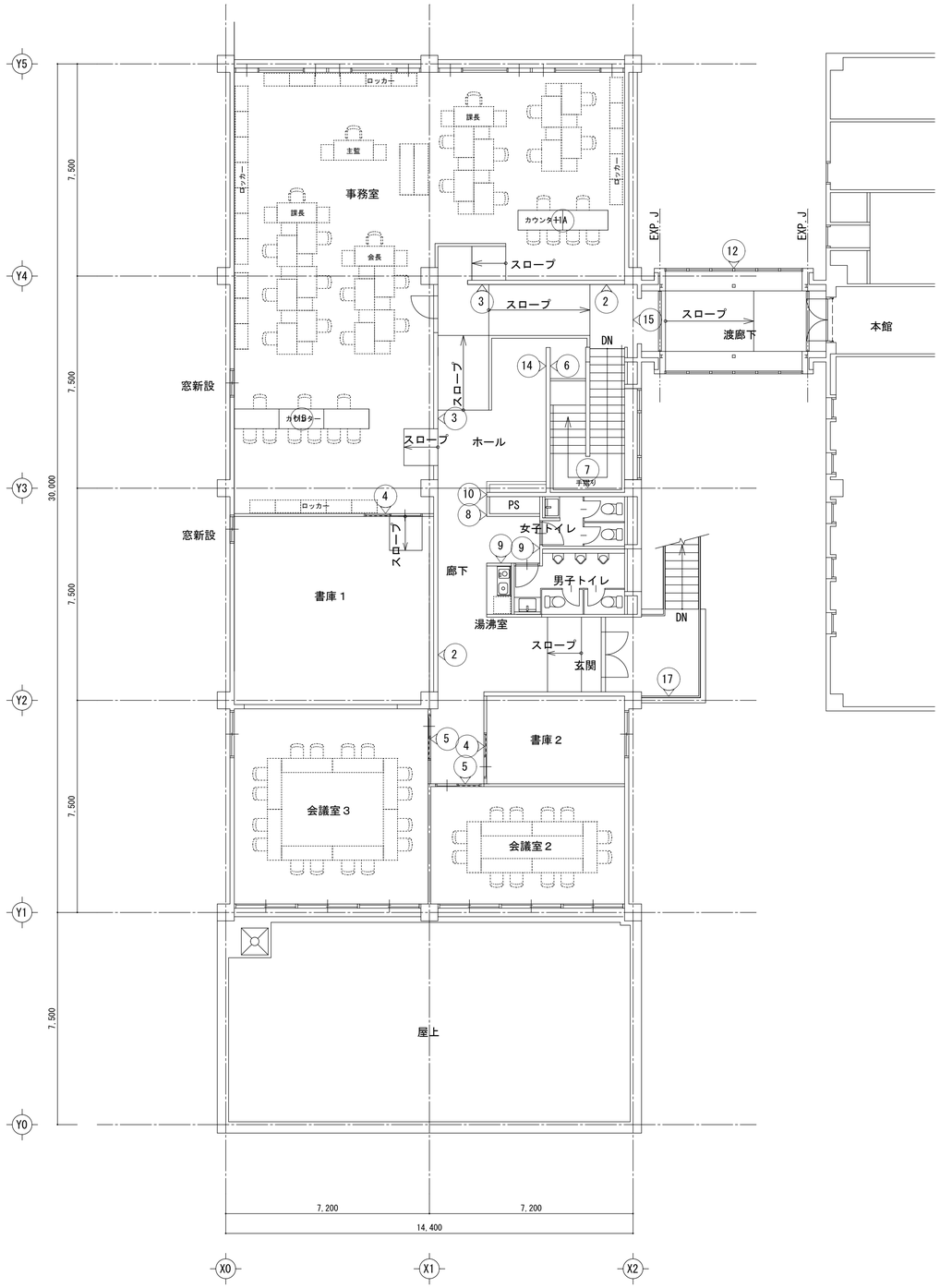



D矢視断面図　S＝1：10

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ1号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第113886号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－42 | |
| | | | | 構造・設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計・設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>鋼製床詳細図　02 | 縮尺<br>A1：1/10<br>A3：1/20 | |




1階平面図

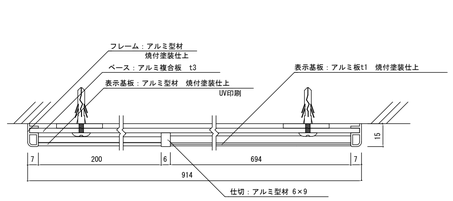


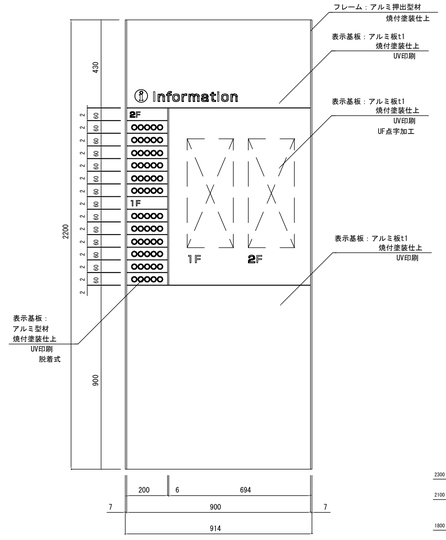

２階平面図

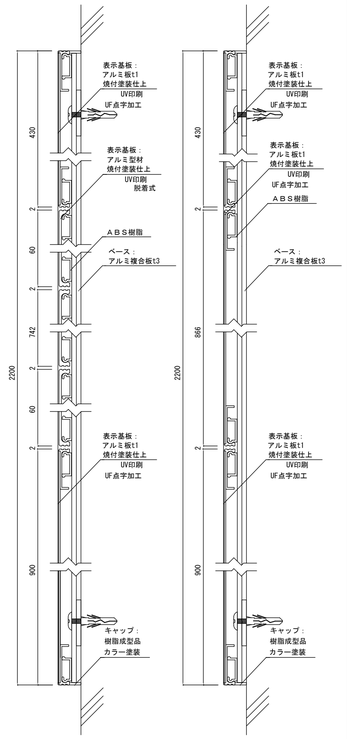
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－４３ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　サインキープラン | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

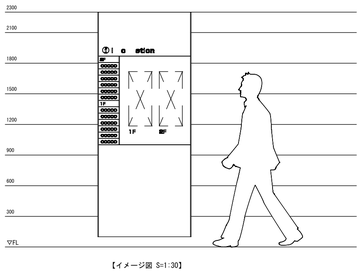
## 1 総合案内板

縮尺 1:2,1:15　数量 1



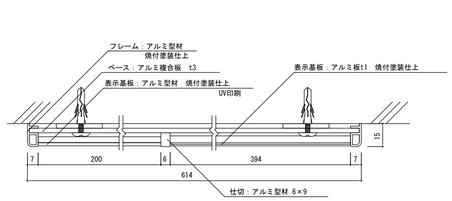



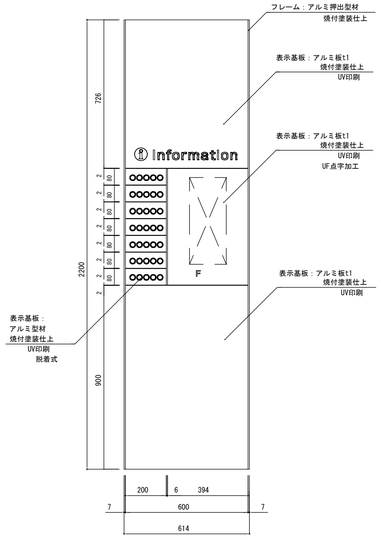



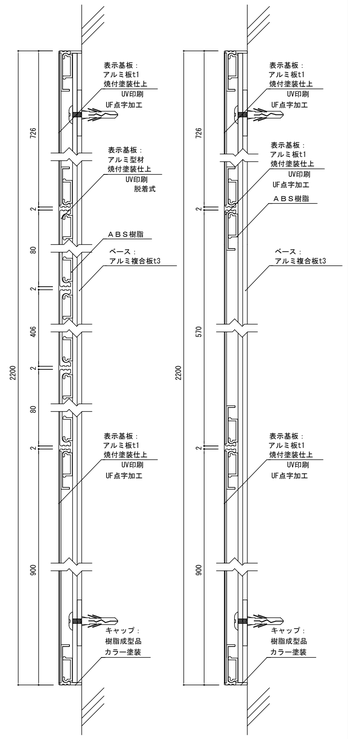

【イメージ図 S=1:30】

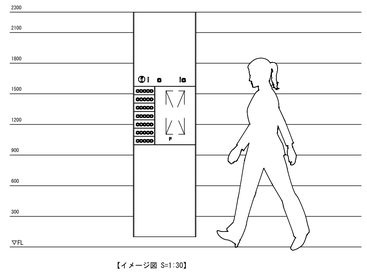
## 2 フロア案内板

縮尺 1:2,1:15　数量 2



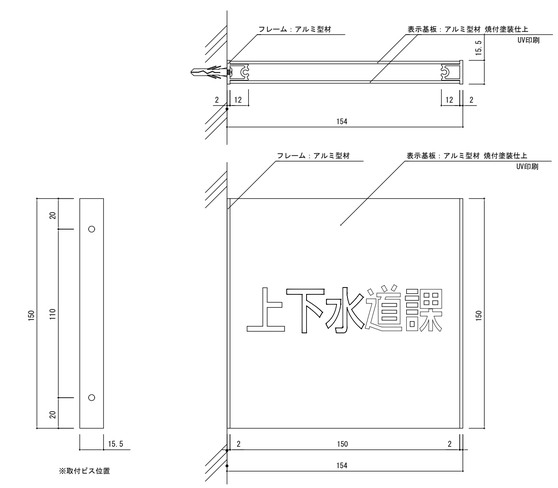




【イメージ図 S=1:30】

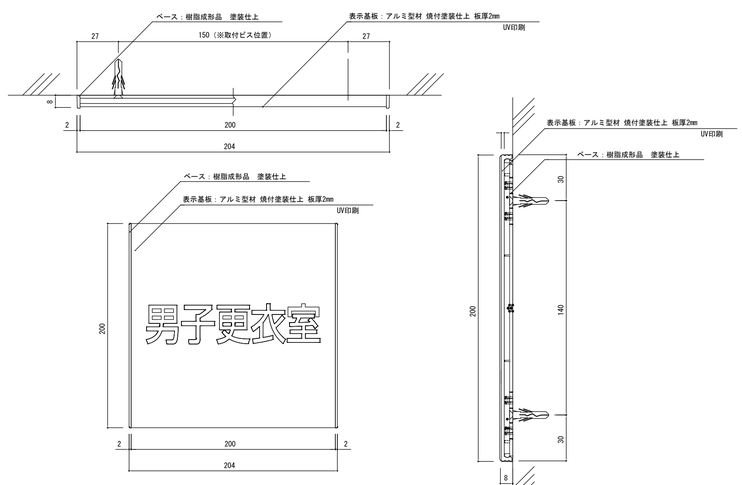
## 3 突出型室名札

縮尺 1:2　数量 4



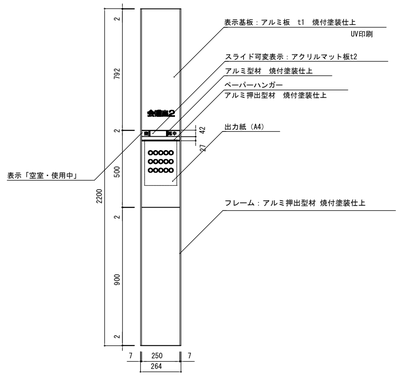

## 4 平付型室名札

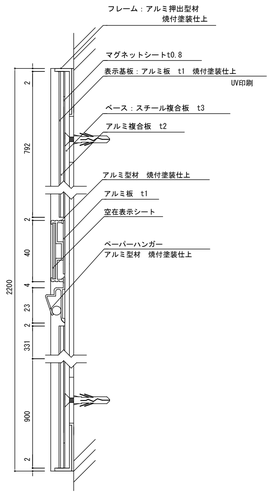
縮尺 1:2,1:3　数量 4

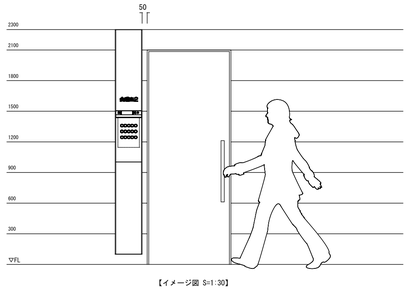



## 5 在空表示付室名札

縮尺 1:2,1:20　数量 3



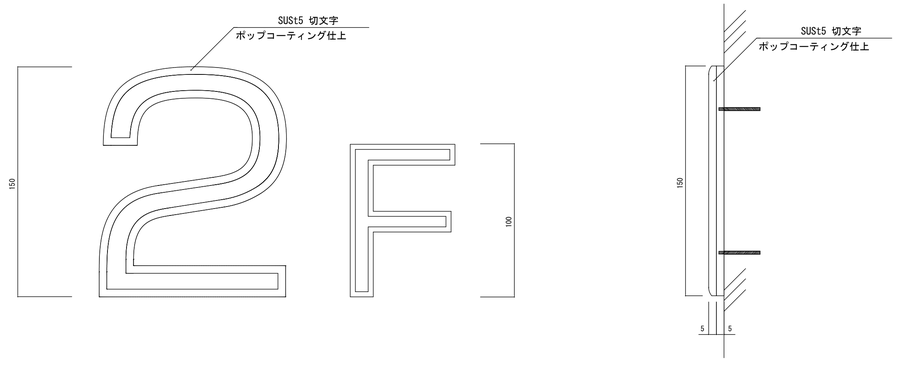




【イメージ図 S=1:30】

## 6 階数表示（当階）

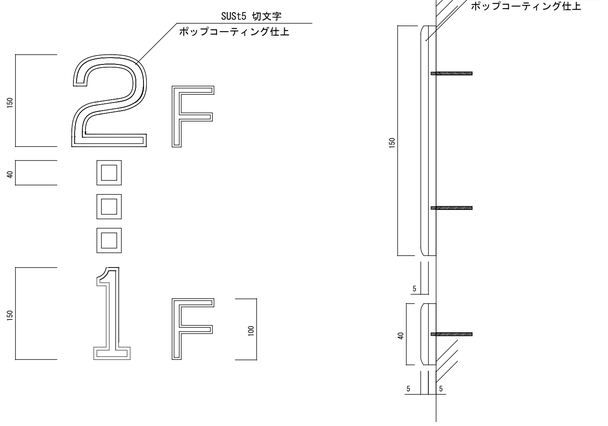
縮尺 1:2　数量 2




| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－４４ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名<br>改修 サイン詳細図 | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

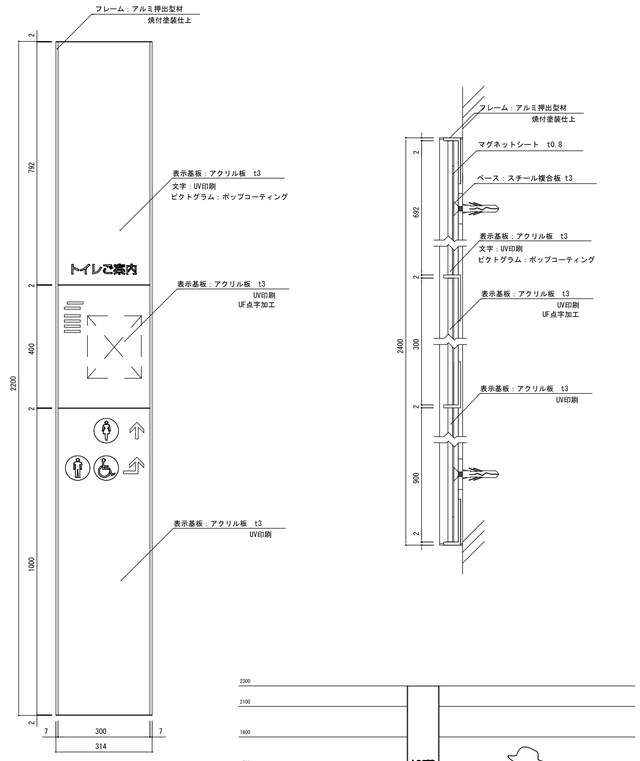
## 7 階数表示（踊場）

縮尺 1:2,1:5　数量 1



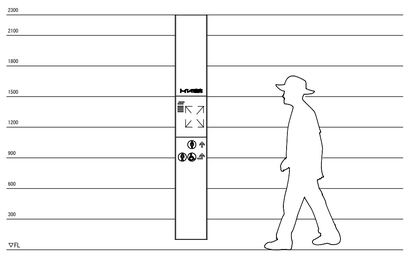

## 8 トイレ点字案内板

縮尺 1:2,1:10　数量 2





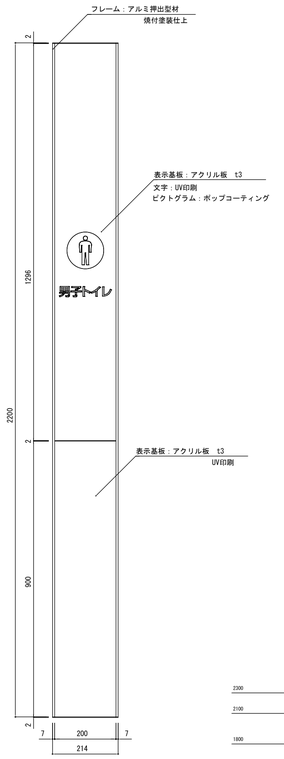


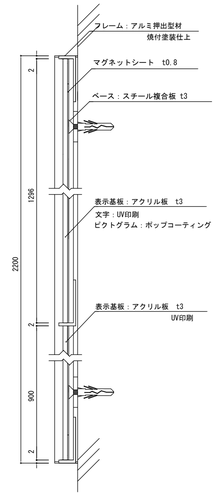


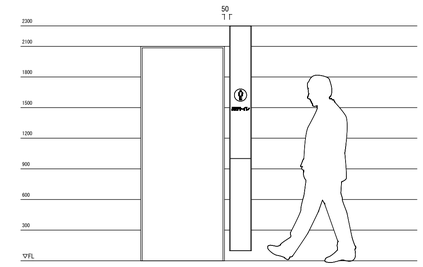

【イメージ図 S=1:30】

## 9 平付型トイレピクトサイン

縮尺 1:2,1:10　数量 5



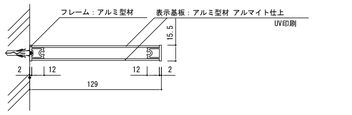



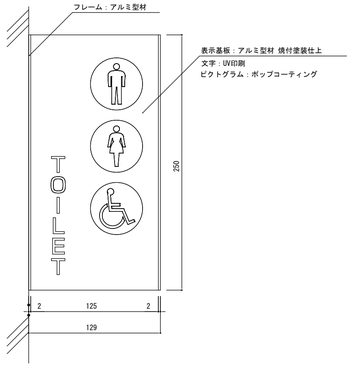




【イメージ図 S=1:30】

## 10 突出型トイレピクトサイン

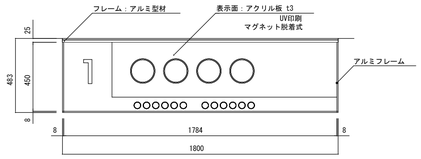
縮尺 1:3　数量 2

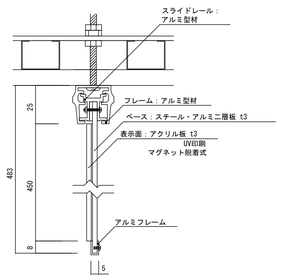


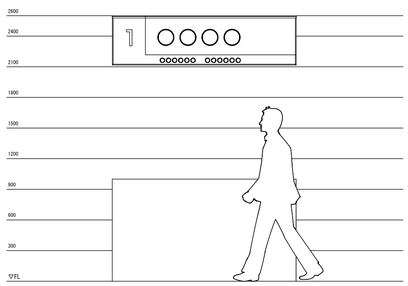




## 11A 天吊サイン

縮尺 1:2,1:20　数量 3



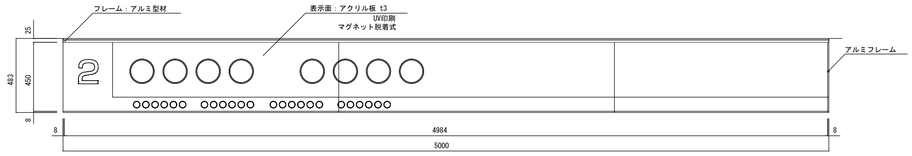



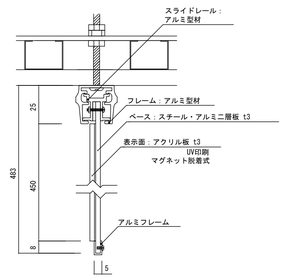




【イメージ図 S=1:30】

## 11B 天吊サイン

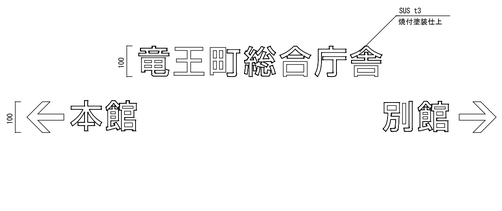
縮尺 1:2,1:20　数量 2

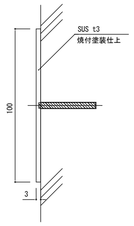



| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ．<br>Ａ－４５ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 改修　サイン詳細図 | 縮尺<br>A1：<br>A3： |

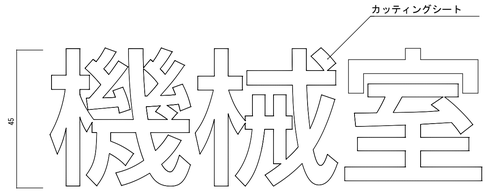
## 12 施設名称サイン　縮尺 1:2,1:5　数量 1



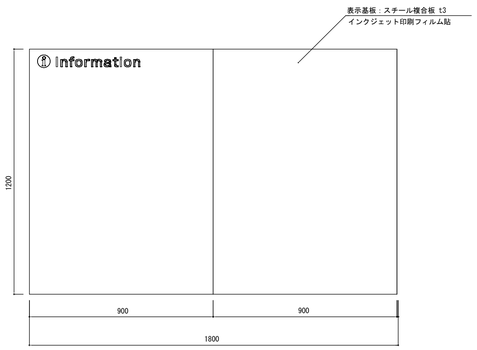




※W寸法は現場にて打合せ

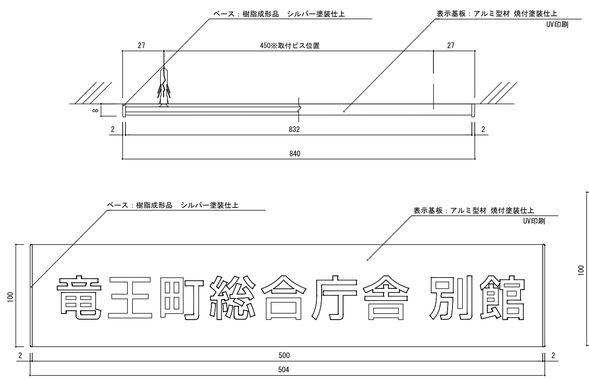
## 13 バックヤードサイン　縮尺 1:1　数量 1

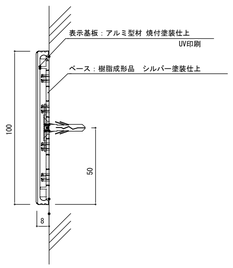



## 14 デザインマグボード　縮尺 1:2,1:15　数量 2

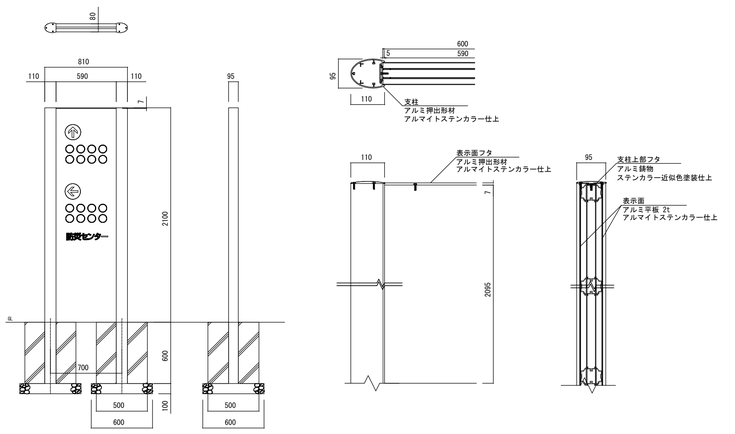


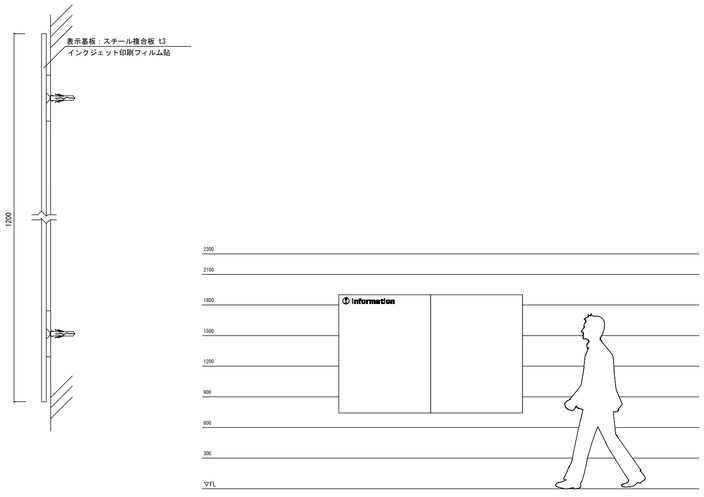

## 15 平付型誘導サイン　縮尺 1:2,1:3　数量 1



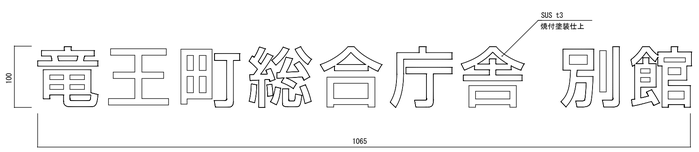

## 16 自立型誘導サイン　縮尺 1:10,1:30　数量 1

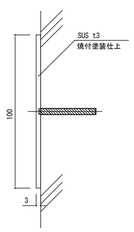



【イメージ図 S=1:30】

## 17 館銘サイン　縮尺 1:2,1:5　数量 2




※W寸法は現場にて打合せ

■サイン特記仕様

［1］使用材料
- a．木材　　：ＶＯＣ商品（ホルムアルデヒド基準Ｆ☆☆☆☆対応）
- b．アルミ　　：ＪＩＳ－Ｈ４１００　Ａ－６０６３　Ｓ－Ｔ５（アルミ押出型材）
- c．アクリル　　：ＪＩＳ－Ｋ－６７１８－１（キャスト板），ＪＩＳ－Ｋ－６７１８－２（押出板）
- d．ステンレス　：ＪＩＳ－Ｇ４３０５　ＳＵＳ３０４、ＨＬ仕上

［2］フォント
- a．書体については、丸ゴシックは「スーラＤＢ」、角ゴシックは「新ゴＭ」を基準とする。
  ※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。

［3］ピクトグラム
- a．図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

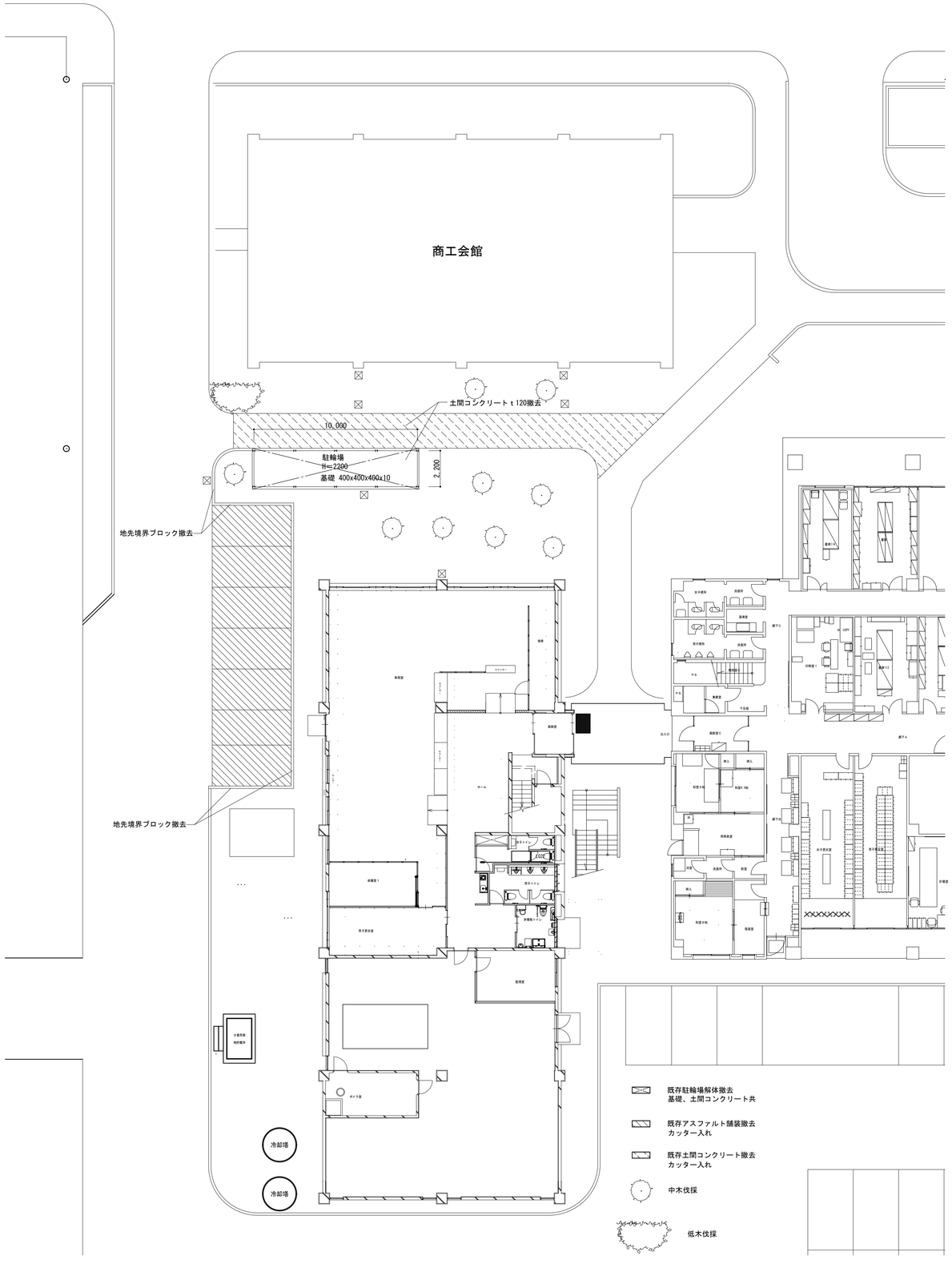
［4］ユニバーサルデザイン
- a．ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
- b．多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているＣＵＤ賛助会員による製作を推奨する。

［5］取付位置・方法
- a．取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
- b．取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
- c．障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

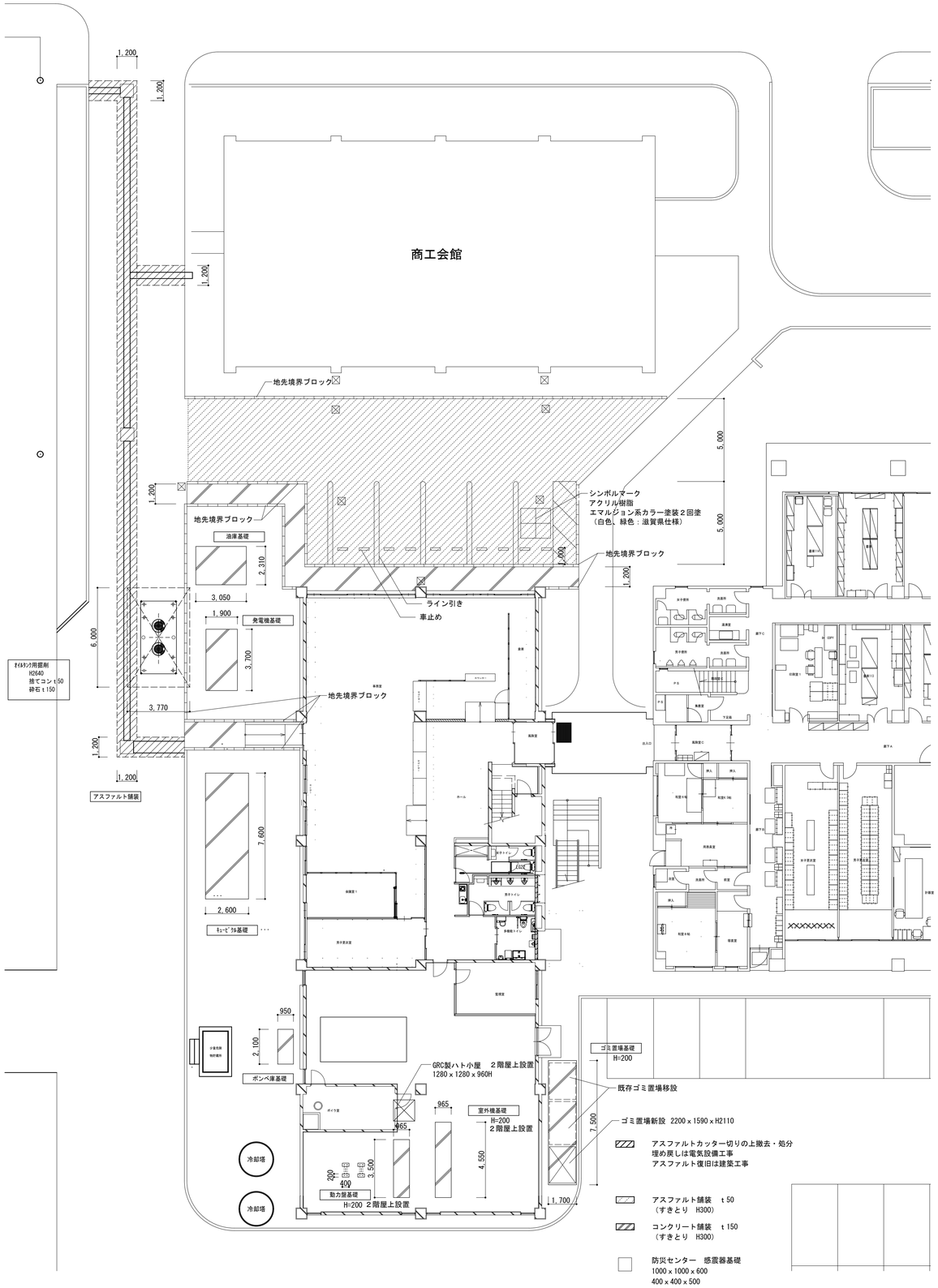
［6］その他
- a．室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
  又、室名札脱着の際には　スライドロック機構、専用吸盤などを利用し
  商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。
- b．サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>Ａ－４６ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>改修　サイン詳細図 | 縮尺<br>A1：<br>A3： |

## 既存　外構配置図　1/150

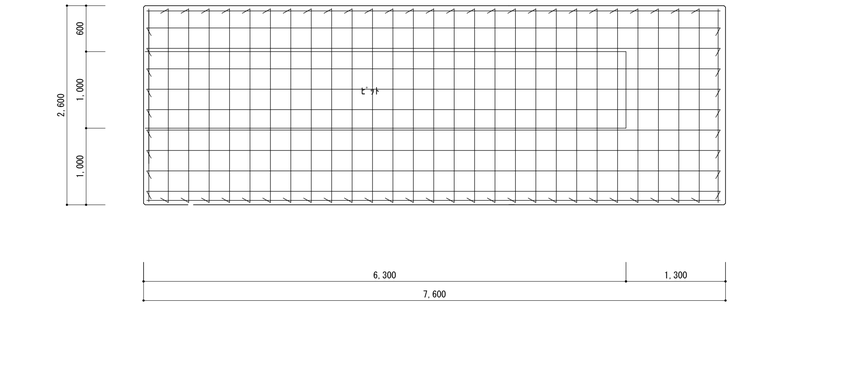


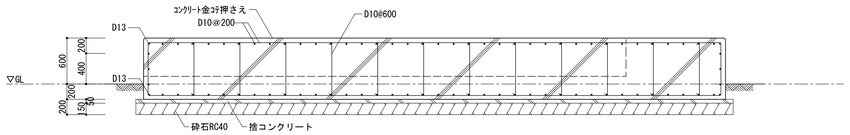

## 改修　外構配置図　1/150




| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>A－４７ | |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>外構詳細図１ | 縮尺<br>A1：1/150<br>A3：1/300 | |

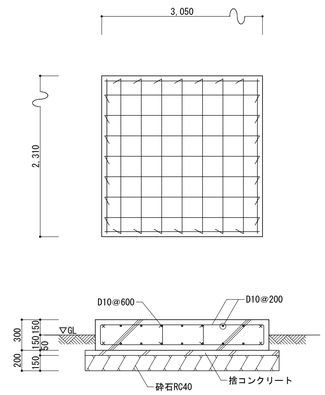
## キュービクル基礎　1/40



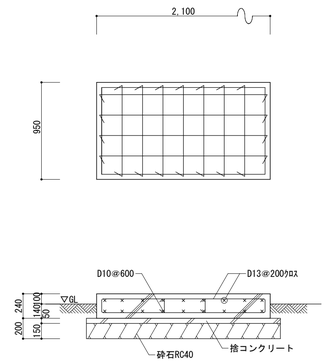

出隅　面木W=20
コンクリート強度＝Fc18（N/mm2）

## 油庫基礎　1/30



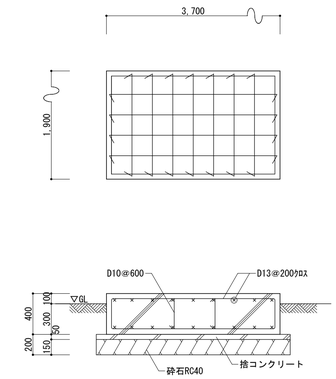

出隅　面木W=20
コンクリート強度＝Fc18（N/mm2）

## ボンベ庫基礎　1/30



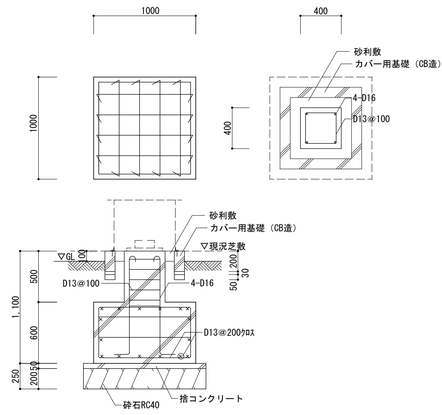

出隅　面木W=20
コンクリート強度＝Fc18（N/mm2）

## 発電機基礎　1/30



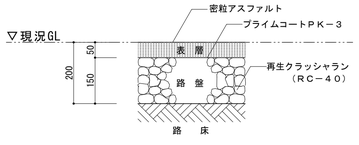

出隅　面木W=20
コンクリート強度＝Fc18（N/mm2）

## 感震器基礎（防災センター前）　1/30

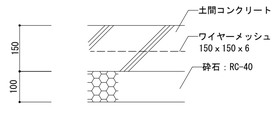



出隅　面木W=20
コンクリート強度＝Fc24（N/mm2）

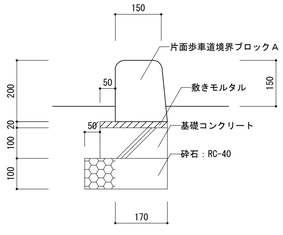
## 密粒度アスファルト舗装　1/10



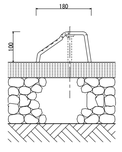

## コンクリート舗装　1/10




## 縁石：歩車道境界ブロックＡ種　1/10




## 車止めブロック　1/10




| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ａ－４８ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>外構詳細図２ | 縮尺<br>A1：図示<br>A3：A1×1/2 |

# 電気設備工事特記仕様書

【工事概要】

1　工事名称　竜王町総合庁舎別館改修工事

2　工事場所　滋賀県蒲生郡竜王町大字小口３番地

3　建物概要

| 建　物　名 | 構　　造 | 階　　数 | 延床面積（ｍ２） | 消防法令別表第一 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 別館 | RC造 | 2階 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4　工事概要　別館の改修工事、及びこれに付随し本庁舎、商工会館に関する改修工事を行う。
重大災害発生時に備え、７２時間は外部からの電源供給無しに非常用電源が稼働出来る様に自家用発電機を新設し、空調機、照明器具、コンセントの一部の発電機回路への変更及び新設、ならびに、これに伴うキュービクル、幹線設備の更新を行う。

5　工事科目　●印をついたものを適用し、各一式とする。

| 工事科目＼建物名称 | 別館 | 本庁舎 | 商工会館 | 屋外 |
|---|---|---|---|---|
| 電灯設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 動力設備 | ● | ○ | ○ | ● |
| 受変電設備 | ○ | ○ | ○ | ● |
| 雷保護設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 電力貯蔵設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発電設備 | ○ | ○ | ○ | ● |
| 構内情報通信網設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 構内交換設備 | ● | ● | ○ | ○ |
| 情報表示設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 映像・音響設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 拡声設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 誘導支援設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| テレビ共同受信設備 | ● | ○ | ○ | ● |
| 監視カメラ設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 駐車場管制設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 防犯・入退室管理設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 自動火災報知設備 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 中央監視制御設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 医療関係設備 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 構内配電線路設備 | ● | ● | ● | ● |
| 構内通信線路設備 | ● | ● | ○ | ● |
| 電波障害調査 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 撤去工事 | ● | ● | ● | ● |

【特記事項】

1　一般事項

1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和元年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和元年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和元年版」による。

2）工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2　特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

| 章 | 項　　目 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 一般事項 | ●設備機材等 | 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。<br>ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 |
| | ●機材の品質・性能証明 | 使用する機材が、（財）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２（ｂ）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することが出来る。<br>ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。 |
| | ○グリーン調達適合品の確認 | グリーン調達適合品の証明を監督職員に提出する。<br>○蛍光灯照明器具　　○ランプ　　○ |
| | ●現場代理人 | 本工事の施工に当たっては、請負契約書第１０条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。 |
| | ●電気工事士 | 契約電力５００ｋＷ以上の場合も、第１種電気工事士による施工を行う。 |
| | ●工事用電力・水その他 | 本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて請負者の負担とする。 |
| | ●官公署への手続き | 官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて請負者の負担とする。 |
| | ●工事用仮設物 | 構内につくることが　※できる　　○できない |
| | ●足場・さん橋類 | 別途建築工事 |
| | ●監督職員事務所 | ※設置しない　　○設置する　（○本工事　　○別途） |
| | ○監督職員事務所に備え付ける図書 | 下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。<br>・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)　・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)<br>・電気設備工事監理指針　・電気設備工事施工チェックシート<br>・建築設備耐震設計施工指針　・工事写真の撮り方(改訂２版)－建築設備編－<br>・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) |
| | ●建設副産物の処理及び建設発生土の処理 | ●建設副産物の処理　○引き渡しを要するもの　〔　　〕<br>右記のほか、現場説明書による。　○再生資源利用を図るもの〔　　〕<br>○特別管理産業廃棄物<br>○ＰＣＢ使用機器　○ＳＦ６ガス使用機器　○ |
| | | ●建設発生土処分　○構外指定地に搬出処理<br>右記のほか、現場説明書による。　○　建築工事特記仕様書による。<br>○構内指示場所に敷き均し<br>●構外搬出適切処理 |
| | | ●再生資源利用促進計画書等の作成・提出　建設副産物において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用促進計画書（建設副産物対策近畿地方連絡協議会）について、施工計画書に含めて提出する。また、実績については再生資源利用促進計画として提出する。 |
| | | １）「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。<br>２）関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書により監督職員に報告する。 |
| | ○アスベスト成形板の処理等 | 施工調査　　アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。<br>・アスベスト成形板使用部位の確認<br>・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認<br>・アスベスト成形板使用数量の確認<br>・施工範囲等の確認 |

| 章 | 項　　目 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 一般事項 | | 確認範囲　※成形板の製造年等の確認　○Ｘ線解析法<br>処理方法　※非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。 |
| | ●工事関係書類 | 監督員の指示による。 |
| | ●履行報告 | 月報　※２部　○３部　　毎月末にメめ、翌月の５日までに提出する。 |
| | ●工事写真 | １）建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂２版）－建築設備編－」による。<br>２）工事完成時、整理の上、１部提出する。<br>３）デジタルカメラで撮影可とする。 |
| | ●完成図書 | 名　称 / 内　容 / 大きさ / 部　数<br>●工事中提出書類 / ○ Ａ４ファイル止め　● 建築工事に合わす / Ａ４版 / １　部<br>●完成図面 / ●背貼り製本（Ａ１版） ○ Ａ４ファイル止め / Ａ1版 / ２　部<br>●施工図面 / ●背貼り製本（Ａ１版） ○ Ａ４ファイル止め / Ａ1版 / ２　部<br>●機器完成図等 / 機器製作図<br>保守指導案内書（機器取説書を含む）<br>機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書 / Ａ４版 / ２　部<br>●諸官庁提出書類 / 副　本 / / １　式<br>●原図 / 完成図面・施工図面 / / １　部<br>●完成写真 / アルバム綴り　● 建築工事に合わす / / ２　部<br>電子納品については、現場説明書による。ＣＡＤデーター等はメディアにて提出（オリジナル及びＳＦＣ）<br>その他、建築工事特記仕様書による。 |
| | ●著作権等 | 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 |
| | ●付属品及び予備品 | 標準仕様書によるほか、別表１による。 |
| 共通事項 | ●耐震施工 | １）設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針　最新版」による。<br>２）下記の設計用水平震度（ＫＨ）により、機器製作図定を行う。<br>設置場所 / ●特定の施設 重要機器 / ●特定の施設 一般機器 / ○一般の施設 重要機器 / ○一般の施設 一般機器<br>上層階、屋上及び塔屋 / ２.０（２.０） / １.５（２.０） / １.５（２.０） / １.０（１.５）<br>中　間　階 / １.５（１.５） / １.０（１.５） / １.０（１.５） / ０.６（１.０）<br>１階及び地下階 / １.０（１.０） / ０.６（１.０） / ０.６（１.０） / ０.４（０.６）<br>設置場所 / ○特定の施設 水槽 / ○一般の施設 水槽<br>上層階、屋上及び塔屋 / ２.０ / １.５<br>中　間　階 / １.５ / １.０<br>１階及び地下階 / １.５ / １.０<br>注１　（　　）内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。<br>注２　設計用鉛直震度は、設計用水平震度の１／２とする。<br>注３　上層階の定義は、６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上階２階。<br>注４　重要機器（水槽類）は、下記による。（水槽類にはオイルタンク等を含む。）<br>●配電盤　○直流電源装置　●自家発電装置　○交換機<br>○電算用電源　○中央監視装置　○ＵＰＳ装置　○自動火災報知装置 |
| | ○風圧力に対する性能 | 建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分<br>Ｖ０（○３０　○３２　○３４）　地表面粗度区分（○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ） |
| | ○風圧力（耐風力） | 建築基準法施行令第８７条に定めるところによる風圧力（耐風力）検討（計算）書を監督職員に提出する。なお、検討（計算）範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。<br>○受雷部システム及び引下げ導線システム　　○太陽光発電装置　　○風力発電装置<br>○テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト　○ |
| | ●電線類 | １）特記なきものは、ＥＭ－ＩＥとする。<br>２）ＥＭ電線、ＥＭケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。<br>ＥＭ－ＣＥＥ－Ｓ / ＪＣＳ４２５８（制御用ケーブル（遮へい付））に準じ、絶縁材及びシースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの<br>ＥＭ－アクセスフロア / ＪＣＳ４５０２（６００Ｖアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル）による６００Ｖアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（ＥＭ－ＥＥ）及び６００Ｖアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル（ＥＭ－ＣＥ）を示す。<br>ＥＭ－ＭＥＥＳ / ＪＣＳ４２７１に準じ、絶縁材及びシースにＪＣＳ規格によるＥＭケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの<br>３）長さ１ｍ以上の通線を行わない配管には、導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。 |
| | ●電線管 | 電　線　管 / ※ＰＦ管　ただし、露出部分は鋼製電線管とする。<br>分電盤等の２次側で第１ボックスまでは（　※　鋼製電線管　○ＰＦ管）とする。<br>○ねじなし電線管 |
| | | １）雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は厚鋼電線管とする。<br>２）スラブ厚の１／４を越える外径の配管及び（ＰＦ２２）又は（３１）相当を超えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 |
| | 最上階の埋込配管 | 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。 |
| | | 屋外及び屋内の露出配管は塗装（指定色塗装）を行う。 |
| | ●電線本数、管路等 | 分電盤、制御盤、端子盤等の２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。 |
| | ●ボックス | ＰＦ管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。 |
| | ○予備配管 | 分電盤の予備の配線用遮断器が４個以下の場合（２５）を１本、５個以上の場合（２５）を２本天井内まで立上げる。ケーブルラックの防火貫通部に（５１）を１本以上立上げる。 |
| | ●フラッシュプレート | 和　室 / ※樹脂製　○金属製（※新金属製　○ステンレス製）<br>その他 / ○樹脂製　※金属製（※新金属製　○ステンレス製） |
| | ○フロアプレート・ベース | 水平高低調整式（空転防止リング付、○Ａフロアー部分を除く）とする。<br>※砲金製　○アルミ合金製 |
| | ●機器 | 寸　法 / 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。<br>接　続 / 電動機への接続は、本工事とする。<br>アンカーボルト / アンカーボルト及びナットは、下記による。<br>屋外・多湿室等　（※溶融亜鉛メッキ　　○ＳＵＳ）<br>その他　（※一般品　　○　　） |

| 章 | 項　　目 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 共通事項 | ●機器内配線等 | 下記の機器内配線及びケーブルには、ＥＭ電線及びＥＭケーブルを使用する。<br>ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。<br>●分電盤　○ＯＡ盤　○実験盤　○開閉器箱　○制御盤<br>●キュービクル式配電盤　○直流電源装置　○交流無停電電源装置（ＵＰＳ）<br>○ |
| | ●はつり | １）既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。<br>２）復旧はモルタル補修までとする。 |
| | ●再使用機器 | 取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり分部は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。 |
| | ●その他 | 屋外の盤類・開閉器箱　※~~ＳＵＳ~~　●鋼板製<br>プルボックス　※ＳＵＳ　○鋼板製 |
| 電灯設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付 |
| | ●電気方式 | 幹線　●単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ　○直流２線式　１００Ｖ<br>分岐　●単相２線式　●１００Ｖ　○２００Ｖ<br>○直流２線式　１００Ｖ |
| | ●照明器具 | ●照明器具姿図参照　　○ 照明器具リスト参照 |
| | ○照明制御による効果の評価 | 社団法人日本照明器具工業会技術資料１３０「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。 |
| | ○照明制御装置　（グ） | 照明制御装置の各センサー設定は、監督職員の指示による。センサー設定器を附属させる。 |
| | ○多重伝送制御システム | 多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。 |
| | ●ＲＰ又はＭＰ形照明器具 | 標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、ＳＵＳを含む複数の材料が適用されている場合は、ＳＵＳを適用する。 |
| | ●その他 | ●予備球について、ＬＥＤ照明の場合は、不要とする。<br>●発電機回路照明器具には、反射板に赤色シール（φ１０ｍｍ程度）を貼ること。<br>●発電機回路コンセントは赤色とし、発電機回路に切り替える既設コンセントも赤色に交換する。 |
| | ●フロアコンセント | ○引出し形　○飛び出し形　○内部固定形　○外部固定形　●○Ａフロアー用<br>●発電機回路となるＯＡタップには赤色シール（φ１０ｍｍ程度）を貼ること。 |
| | ●非常用照明の形式 | ●電池内蔵形　　○電池別置形 |
| | ●分電盤等 | 本工事の分電盤、ＯＡ盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、ＪＩＳ Ｃ ８２０１－２－１「回路遮断器」、同付属書ＸＣ「電灯分電盤用協約形回路遮断器」による。特記なき場合、分岐に用いる２極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、１極サイズのものとする。<br>○ＯＡ盤の端子部に　○通気口　○冷却ファン　を設ける |
| 動力設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　○機器取付 |
| | ●電気方式 | 幹線　●三相３線式　２００Ｖ　○<br>分岐　●三相３線式　２００Ｖ　○ |
| | ○制御盤 | 単位ユニットの電流計は負荷端子の手前に接続する。制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 |
| | ○監視方法 | ○警報盤による代表監視　○中央監視制御装置による監視 |
| | ○インターロック | 自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、空調機を停止させる。 |
| | ○インバータ装置の規約効率 | 三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。<br>電動機出力（ｋＷ） / 0.4 / 0.75 / 1.5 / 2.2 / 3.7 / 5.5 / 7.5<br>ｲﾝﾊﾞｰﾀ効率（％） / 85.0 / 87.0 / 88.5 / 89.5 / 90.0 / 90.5 / 91.0<br>電動機出力（ｋＷ） / 11 / 15 / 18.5 / 22 / 30 / 37 / 45<br>ｲﾝﾊﾞｰﾀ効率（％） / 91.5 / 92.0 / 92.5 / 93.0 / 93.5 / 94.0 / 94.5<br>備考）１）電動機の供給電圧は１００Ｖ又は２００Ｖとする。<br>２）インバータ効率は、１００％負荷時の値とする。 |
| 受変電設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付 |
| | ●電気方式 | 高圧　三相３線式　６ｋＶ<br>低圧　●三相３線式２００Ｖ　●単相３線式１００Ｖ／２００Ｖ<br>○三相３線式　Ｖ　○三相４線式　Ｖ／　Ｖ |
| | ●配電盤形式 | ○屋内キュービクル式配電盤　●屋外キュービクル式配電盤　○開放形配電盤<br>○高圧スイッチギア（　　）　○変圧器盤　○コンデンサ盤<br>○低圧スイッチギア　○系統連系保護制御盤 |
| | ●変圧器の規格 | 変圧器の規格は次による。<br>ただし、スコット結線変圧器、モールド変圧器でＨ絶縁材料を使用するものは除く。<br>●油入変圧器　単相・三相　ＪＥＭ １４８２・ＪＩＳ Ｃ ４３０４（グ）<br>○モールド変圧器（絶縁種別　Ｆ）　単相・三相　ＪＥＭ １４８３・ＪＩＳ Ｃ ４３０６（グ） |
| | ●監視方式 | ●警報盤による代表監視　○中央監視制御装置による監視 |
| | ●基礎 | ○本工事　●別途工事　○既設 |
| | ●付属品等 | 盤内に予備限流ヒューズを収納する。 |
| | ●その他 | ●低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。<br>●低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。<br>●低圧配電盤に内部点検空間を設ける。（幅６００ｍｍ以上・高さ１，８００ｍｍ以上）<br>●充電標示器は、断路器の１次側の適切な場所に設ける。<br>●撤去する変圧器、コンデンサについてＰＣＢの有無を確認し、報告する。 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｚ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>E－1 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 電気設備工事特機仕様書（１） | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

File $f

| 章 | 項目 | 特記事項 | | |
|---|---|---|---|---|
| 雷保護設備 | ○工事範囲 | ○外部雷保護システム（○受雷部システム　○引下げ導線システム　○接地システム）<br>○内部雷保護システム | | |
| | ○保護レベル | ○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ | | |
| | ○受雷部システム | 突針支持管 | ※鋼製　○ステンレス製 | |
| | ○接地システム | ○A型接地極（○板状接地極　○垂直接地極　○放射状接地極）<br>○B型接地極（○環状接地極　○網状接地極） | | |
| 電力貯蔵設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | | |
| | ○直流電源装置 | 用途　○建築基準法用　○消防法用　○受変電設備専用<br>その他　○過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、９０Ｖとする。 | | |
| | ○交流無停電電源装置（ＵＰＳ） | 用途　（　　）<br>方式　○一般形　○簡易形 | | |
| 発電設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付 | | |
| | ●形式 | ○オープン形　○簡易形　●キュービクル | | |
| | ●連続運転可能時間 | ○１０時間（乙）　●７２時間（甲）　● 低騒音７５dBタイプ | | |
| | ●発電機 | 電気方式　三相３線式<br>電　圧　●２１０Ｖ　○６．６ｋＶ　○４１５Ｖ<br>定格出力　３３０ｋＶＡ以上　力率　０．８ | | |
| | ●原動機 | 種　別　○ガスタービン　●ディーゼル機関　○ガスエンジン<br>○マイクロガスタービン　○燃料電池　○コージェネレーション<br>定格出力　ｋＷ（　　ＰＳ）以上<br>始動方式　●電気式　○空気式<br>冷却方式　●ラジエーター式　○水槽循環式 | | |
| | ●燃料 | 種類　●重油　○軽油　○灯油　○ガス（　　）<br>●燃料小出槽　１９５０ℓ<br>○主燃料槽　　ℓ | | |
| | ●監視方式 | ※警報盤による代表監視　○中央監視盤による監視 | | |
| | ○太陽光発電装置（Ｇ） | 太陽電池 | アレイ設置可能建築面積 | 公称最大出力　ｋＷ以上<br>ｍ２以下（長辺　ｍ×短辺　ｍ） |
| | | 系統連系 | ○受動　○能動 | |
| | | パワーコンディショナ出力 | 相　線式　Ｖ | ｋＷ以上 |
| | | 逆潮流 | ○有　※無 | |
| | ●その他 | 発電機に接続する負荷が確定した時点で、容量が発電機の接続許容範囲であるかを再確認する事。<br>引渡時にはオイルタンクを満タン状態で引き渡す事。<br>発電機、油庫と他の工作物との離隔、消防届出書については、当該仕様書の末尾を参照のこと。 | | |
| | ●外部移報 | ※有　○無 | | |
| 構内情報通信網設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　○機器取付 | | |
| | ●施工方法 | ●金属管配線　●ケーブル配線　●合成樹脂管配線 | | |
| 構内交換設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付（※ 下記工事内容参照） | | |
| | ●保安器用接地 | ※本工事　○別途工事 | | |
| | ●形式 | ●電子交換機　○ボタン電話装置 | | |
| | ●電話機への配線 | 図示による。 | | |
| | ※ 工事内容 | 電話機、ＰＨＳアンテナは本庁舎のものも含めてすべて交換する。<br>多機能電話機（８０台）、一般電話機（１００台）の更新場所と台数は、監督職員の指示によるものとする。<br>また撤去した機器の処分方法についても監督職員の指示によるものとする。 | | |
| 情報表示設備 | ○工事種類 | ○マルチサイン装置　○出退表示設備　○時刻表示設備 | | |
| | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | | |
| | ○親時計及び付属装置 | ○ＣＲ　－Ｐ　Ｍ　○ＣＷ　－Ｐ　Ｍ<br>○プログラムタイマ（○カード式　○キー式　○　　） | | |
| | ○子時計 | 特記なきものは　※ＳＷＡ３３－ＧＰＢ２　○ | | |
| 映像音響設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | | |
| | ○施工方法 | ○金属管配線　○ケーブル配線　○合成樹脂管配線 | | |
| 拡声設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | | |
| | ○増幅器 | 用途 | ○全館放送用（※一般放送　○非常放送） | ○ローカル放送用 |
| | | 形式 | ○卓上形　○ラック組込形 | ○卓上形　○ラック組込形 |
| | | 定格出力 | Ｈｉ形　Ｗ以上 | Ｈｉ形　Ｗ以上 |
| | | 出力制御盤 | ※有　回線　○無 | ※有　回線　○無 |
| | | 付加機能 | ○リモコン機能　○コールサイン機能<br>○モニター機能 | ○リモコン機能　○コールサイン機能<br>○モニター機能 |
| | | ○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。 | | |
| | ○マイクロホン | ○卓上形　台　○ハンド形　台　○ | | |
| | ●スピーカ | 特記なきものは　※ＳＣ６Ｈｉ－１Ｖ３－Ｍ　○ | | |
| 誘導支援設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付 | | |
| | ●工事内容 | ○音声誘導装置　検出方式　（○磁気式　○無線式　○画像認識） | | |
| | | ○インターホン | ○電話式　○相互式 | |
| | | ●テレビインターホン | ●カラー　○白黒 | |
| | | ○外部受付用インターホン | ○カラー　○白黒 | |
| | | ●トイレ等呼出し装置 | １窓　呼出しボタン<br>○壁付ボタン　（プルスイッチの長さは、０．２ｍ以上とする）<br>●壁付握りボタン（握りボタンの長さは、１．２ｍ以上とする） | |
| | | ○受付呼出し装置　○誘導音 | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | |
|---|---|---|---|
| テレビ共同受信設備 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付 | |
| | ○アンテナ | ○ＶＨＦ用　○ＵＨＦ用　○ＢＳ用　○ＣＳ用<br>○ＡＭ用　○ＦＭ用　○ＣＡＴＶ | |
| | ○アンテナマスト | ○壁面取付形　○自立形<br>鋼管のアンテナマスト及びその支持材等は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 | |
| | ○電界強度測定 | 電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。<br>測定チャンネルは、監督職員と協議する。 | |
| 監視カメラ設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | |
| | ○画像 | ○カラー　○白黒 | |
| 駐車場管制設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | |
| | ○車両検出方式 | ○ループコイル方式　○光線方式 | |
| 防犯・入退室管理設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | |
| | ○工事種別 | ○機械警備用配管<br>○防犯装置　○入退室管理制御装置 | |
| 自動火災報知設備 | ●自動火災報知装置 | ●工事範囲　●配管　●配線　●機器取付 | |
| | | ●電気方式 | ＤＣ２４Ｖ　ただし、位置表示灯及び消火ポンプ運転表示は　ＡＣ２４Ｖ |
| | | ○受信機 | ○　形　級　回線<br>○壁掛形　○自立形<br>○単独形　○複合形<br>○副受信機　窓<br>○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。 |
| | | ●消火ポンプ始動 | ※消火栓箱内押ボタン<br>○発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。） |
| | | ●機器収容箱 | ●消火栓一体形　○単独形 |
| | ○自動閉鎖装置 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | | ○連動制御器 | 回線　【予備電源（蓄電池）内蔵】<br>○単独　○自火報受信機と一体<br>○ダンパ等（全数）復帰用の予備電源容量を持つこと。 |
| | | ○自動閉鎖装置 | ○防火戸用【ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下電磁式またはラッチ式】<br>○防煙ダンパ用<br>【別途工事　瞬時通電式又は電動式　ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下<br>遠方復帰機構（電動式）ＤＣ２４Ｖ　０．７Ａ以下】<br>○防火シャッター用<br>【別途工事　ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下】 |
| | ○非常警報装置 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | | ○電気方式 | ＤＣ２４Ｖ |
| | | ○電源装置 | ※非常電源（蓄電池）　○自動火災報知設備と兼用 |
| | ○ガス漏れ火災警報装置 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 |
| | | ○受信機 | ○　形　級　回線（○壁掛形　○自立形）<br>（○単独形　○自火報受信機と一体）<br>（ガスの種類　※都市ガス（１３Ａ）　○液化石油ガス） |
| | ○誘警報表示 | 受信機に誘警報表示窓（　窓）を設ける。 | |
| 中央監視制御設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | |
| | ○監視方式 | ○警報盤　○監視制御装置 | |
| | ○蓄電池容量 | ※標準仕様書による　○３０分間以上 | |
| 医療関係設備 | ○工事範囲 | ○配管　○配線　○機器取付 | |
| | ○非接地電源用分電盤 | キャビネット | ※鋼製　○ステンレス製 |
| | ○ナースコール装置 | トイレ及び浴室等の呼出押ボタン | ○防滴　○防湿 |
| | ○その他 | ○オプション等の試験は、監督職員の指示による。 | |
| 構内配電線路 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　●機器取付 | |
| | ●電気方式 | 高圧 | ○三相３線式　６ｋＶ |
| | | 低圧 | ●三相３線式　２００Ｖ　○<br>●単相３線式　１００／２００Ｖ<br>○単２線式　（○１００Ｖ　○２００Ｖ） |
| | ●ふ設方式 | ●地中線<br>● 露出配管<br>○架空線 | ●管路式　※波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ）<br>○ポリエチレン被覆管（ＰＬＰ）<br>○<br>埋設深さ　特記なきものはＧＬ(舗装がある場合は、舗装下面)－３００ｍｍ以下とする。<br>電柱　○コンクリートポール　○鋼管ポール |
| | ○区分開閉器 | ●高圧負荷開閉器 | ７，２ｋＶ　● ２００Ａ　○ ３００Ａ |
| | | 用途 | ●架空引込用　○地中引込用 |
| | | 構造 | ○耐中塩じん用　○耐重塩じん用 |
| | | 形式 | ●引外し装置付き（ＤＧＲ形）　○引外し装置なし　●避雷器内蔵<br>●制御電源用変圧器内蔵 |
| | ●マンホール及びハンドホール | 構造・寸法　※標準図による　●図示による。<br>蓋の文字　※蓋の用途表示は電力とする。　●必要に応じ埋設表示ピン（又は杭）を施設する。<br>ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。<br>ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。 | |
| | ●余長 | 高圧ケーブルは、マンホール、ハンドホール、又はキュービクル内等の１ヶ所で３ｍ余長をとる。 | |
| | ●導子、高圧ケーブル端末処理 | ●一般用　○耐塩用　○重耐塩用 | |
| | ○避雷器 | ○屋外形　○耐塩形 | |
| | ●装柱材 | ●一般用　○耐塩形 | |
| | ○外灯 | 基礎　※本工事　○別途工事<br>○外灯ポールの材質が鋼製（ＳＰＣ）の場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。 | |
| | ●標識シート | 外灯回路以外に設ける。また、２倍長とする。 | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | | |
|---|---|---|---|---|
| 構内通信線路 | ●工事範囲 | ●配管　●配線　○機器取付 | | |
| | ●ふ設方式 | ●地中線 | ●管路式 | ※波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ）<br>○ポリエチレン被覆管（ＰＬＰ）<br>○ |
| | | | 埋設深さ | 特記なきものはＧＬ(舗装がある場合は、舗装（表層）下面)－３００ｍｍ以下とする。 |
| | | ○架空線 | 電柱 | ※遠心力プレストレストコンクリートポール |
| | ●マンホール及びハンドホール | 構造、寸法は　（※標準図　●図示）による。<br>蓋の用途表示は　（※通信　○　）とする。 | | |
| | ●標識シート | 引込み管路に設ける。 | | |
| 章 | 項目 | 特記事項 | | |
| 電波障害調査 | ○調査範囲 | ※測定のみ　○対策工事実施設計書作成まで | | |
| | ○測定時期 | 工事前・工事中・完成後 | | |
| | ○測定箇所 | 箇所 | | |
| | ○測定内容 | 受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。 | | |

不当介入の防止

建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について、（「不当介入に関する通報制度」の徹底について）

１ 受注者は、暴力団員等（暴力団の構成員及び暴力団関係者、その他町発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求又は業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。

２ 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別記様式第１号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、受注者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行うものとする。

３ 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

発電機、油庫と他の工作物との離隔、消防届出書について

１。キュービクルと建築物とは３ｍ以上離す。ただし建築物の壁が開口の無い耐火建築物であれば３ｍ以下でもかまわない。
２。発電機と建築物とは３ｍ以上離す。ただし建築物の壁が開口の無い耐火建築物であれば３ｍ以下でもかまわない。
３。キュービクルと発電機の間も３ｍ以上離す。
４。発電機と燃料小出し槽の間は１ｍ以上離す。
５。地下オイルタンクと燃料小出し槽を結ぶオイル配管の埋設については、経年沈下しない措置を行うこと。
６。消防署への届出関係
- キュービクル　＝ 変電設備設置届出書
- 発電機　＝ 発電設備設置届出書
- 地下式オイルタンク　＝ 危険物設置届出書
- 燃料小出し槽（油庫）＝ 少量危険物設置届出書
- 既設発電機の設置届出書（設置場所の変更）
- 消火ポンプ設置届出書　（非常電源位置の変更）　←　機械設備工事で行う。
- 排煙機設置届出書　（　同上　）　←　機械設備工事で行う。

７。消防検査
- 上記６項の内容については消防検査を実施する。
- 地下式オイルタンクについては中間検査（オイルタンク据付時）と完了検査（埋戻し完了時）を行う。

使用機材等指定表

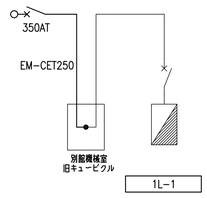
| 機材名 | 製造業者名 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 電線管・付属品 | ＪＩＳ規格品 | | | | |
| 電線・ケーブル | ＪＩＳ又はＪＣＳ規格品 及び耐火・耐熱電線認定業務委員会の認定を受けている旨の表示（ＪＣＭＡ）をしたもの | | | | |
| 配線器具類 | パナソニック | 東芝ライテック | 星和電機 | 神保電気 | 寺田電機製作所 |
| 照明器具 | パナソニック | 東芝ライテック | 三菱電機照明 | 星和電機 | 岩崎電気 |
| 受変電盤 | 新岩村電機 | 名神電機 | 大正電機製造 | 堺陽明星 | 東洋電機製造 |
| 分電盤・端子盤 | 新岩村電機 | 名神電機 | 大正電機製造 | 日東工業 | パナソニック |
| 電話機・交換機 | 日本電気 | 沖電気工業 | 富士通 | 日立製作所 | |
| 放送機器 | 既存品メーカー | | | | |
| テレビ共聴機器 | ＤＸアンテナ | マスプロ電工 | | | |
| 防災機器 | 既存品メーカー | | | | |
| ハンドホール | ｱｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ工業 | ケイコン | 光栄 | コーワ | 平和ｺﾝｸﾘｰﾄ工業 |
| 同上鉄蓋 | カネソウ | 福西鋳物 | 北勢工業 | | |
| 高圧気中開閉器 | 戸上電機製作所 | 東芝 | 三菱電機 | ｴﾅｼﾞｰｻﾎﾟｰﾄ | |
| 変圧器 | 三菱電機 | 東芝 | ダイヘン | | |
| ｺﾝﾃﾞﾝｻ・ﾘｱｸﾄﾙ | 指月電機製作所 | 東芝 | ニチコン | パナソニック | |
| 発電機 | 東洋電機製造（町内に事業所を有する業者） | | | | |
| コンクリート柱 | ダイニチ | 日本ｺﾝｸﾘｰﾄ工業 | 日本ﾈｯﾄﾜｰｸｻﾎﾟｰﾄ | 三谷セキサン | |
| 鋼管柱 | 日鐵住金建材 | 日本ﾈｯﾄﾜｰｸｻﾎﾟｰﾄ | パナソニック | 丸一鋼管 | ヨシモトポール |
| | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｚ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称　竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.　E－2 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名　電気設備工事特機仕様書（２） | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

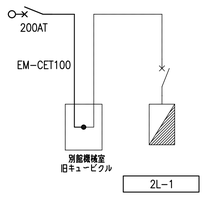
File $f

## 一般電灯回路

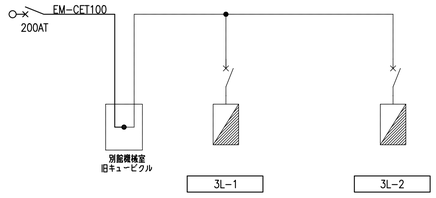
### L101 1Φ3W 210V／105V



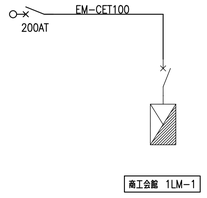

### L102 1Φ3W 210V／105V



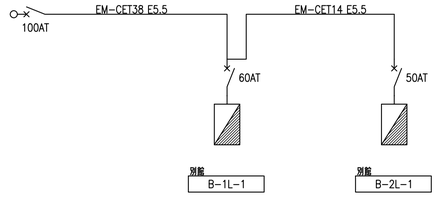

### L103 1Φ3W 210V／105V



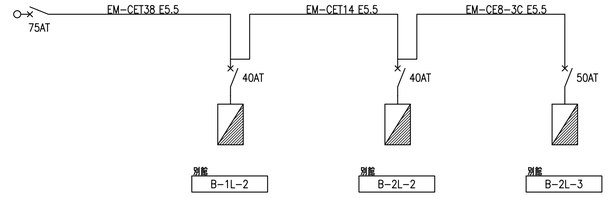

### L104 1Φ3W 210V／105V




### L105 1Φ3W 210V／105V

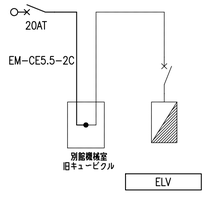



### L106 1Φ3W 210V／105V

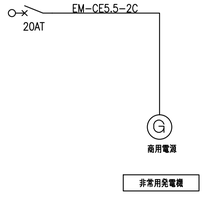



## 一般電灯回路

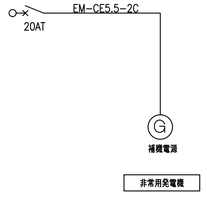
### L109 1Φ2W 105V




### L110 1Φ2W 210V

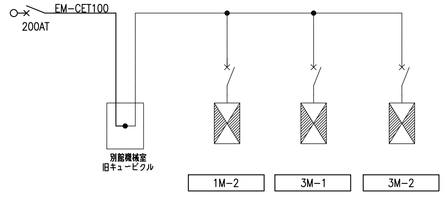



### L111 1Φ2W 210V

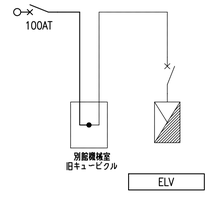



## 一般動力回路

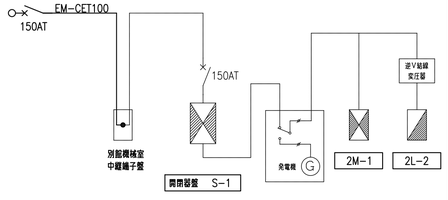
### M101 3Φ3W 210V




### M102 3Φ3W 210V

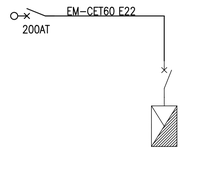



### M103 3Φ3W 210V

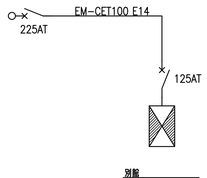



## 一般動力回路

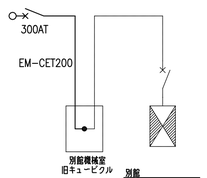
### M104 3Φ3W 210V



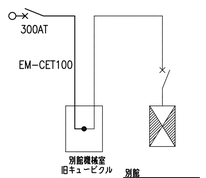

### M105 3Φ3W 210V



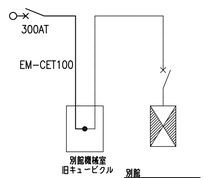

### M106 3Φ3W 210V



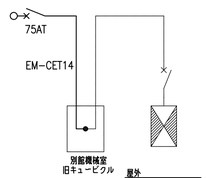

### M107 3Φ3W 210V




### M108 3Φ3W 210V

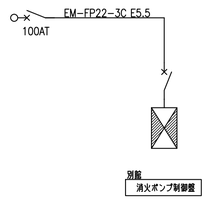



### M109 3Φ3W 210V

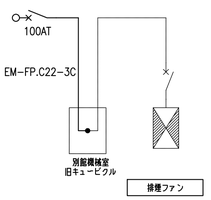



## 保安動力回路

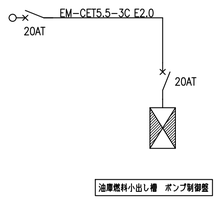
### MG01 3Φ3W 210V



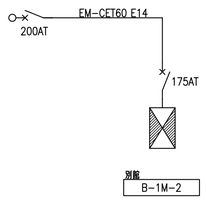

### MG02 3Φ3W 210V




### MG05 3Φ3W 210V

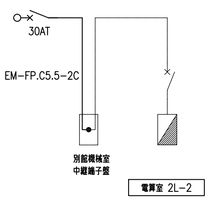



### MG08 3Φ3W 210V

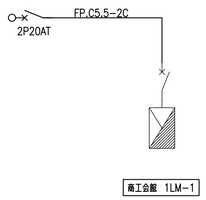



## 保安電灯回路

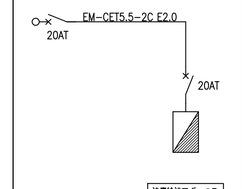
### LG11 1Φ2W 105V（非常照明電源）




### LG12 1Φ2W 105V（非常照明電源）

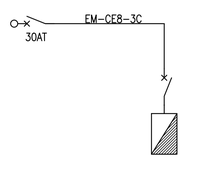



### LG14 1Φ3W 210V／105V

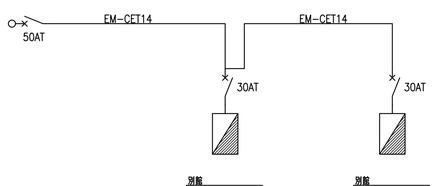



## 保安電灯回路

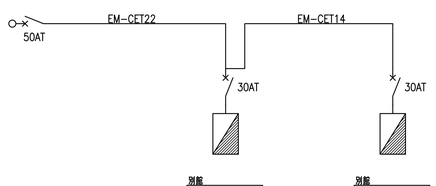
### LG21 1Φ3W 210V／105V



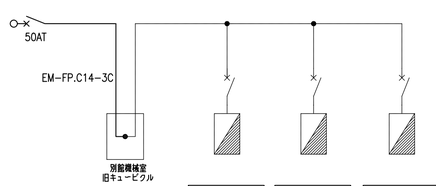

### LG22 1Φ3W 210V／105V




### LG23 1Φ3W 210V／105V

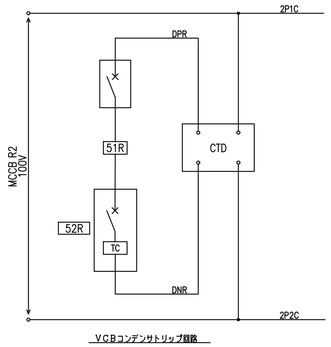



### LG24 1Φ3W 210V／105V（非常照明電源）

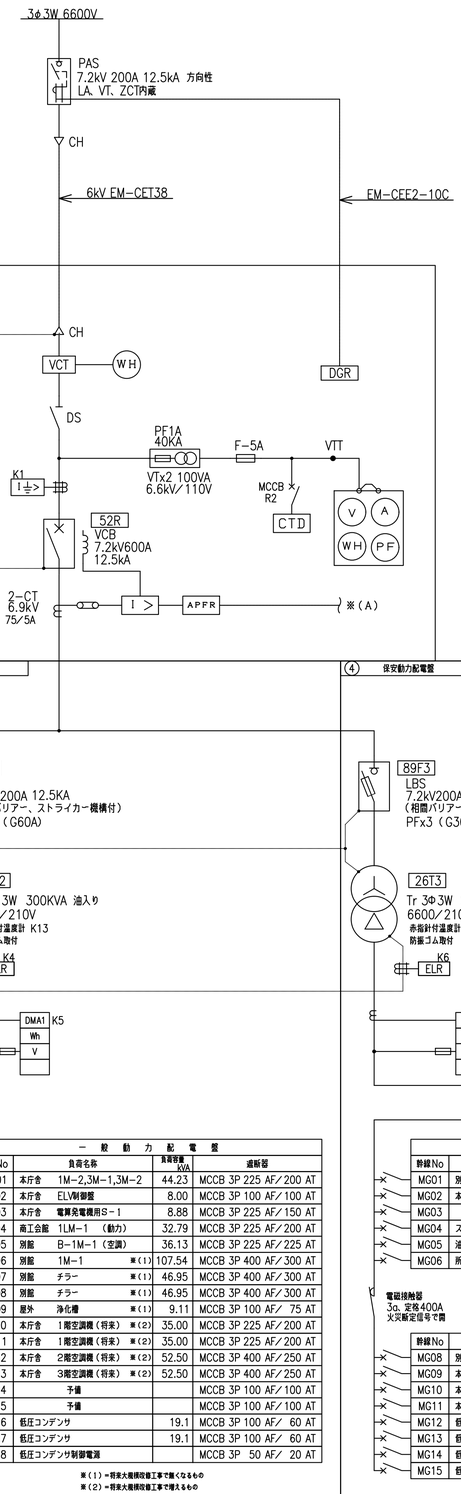


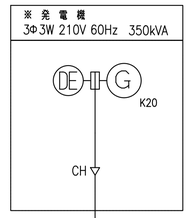

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－3 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 幹線系統図 | 縮尺 A1：N/S<br>A3：N/S |

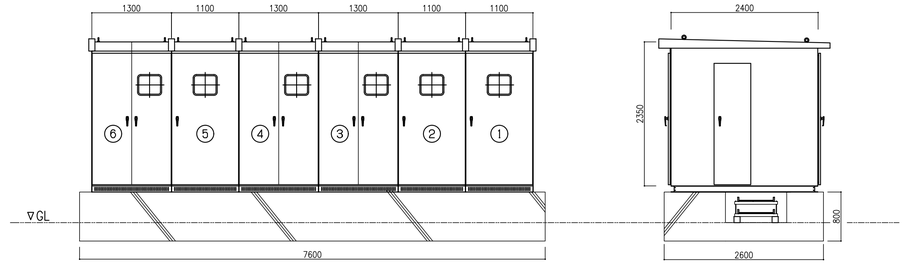
File $f




VCBコンデンサトリップ回路




キュービクル参考姿図

| 警報No | 個別警報名称 | 警報No | 警報名称 |
|---|---|---|---|
| K1 | 高圧地絡（受電） | K11 | ΔΔ変圧器（右） 過電流 |
| K2 | 電灯変圧器 過電 | K12 | 電灯変圧器 温度上昇 |
| K3 | 電灯変圧器 過電流 | K13 | 動力変圧器（一般） 温度上昇 |
| K4 | 動力変圧器（一般） 過電 | K14 | 動力変圧器（保安） 温度上昇 |
| K5 | 動力変圧器（一般） 過電流 | K15 | ΔΔ変圧器 温度上昇 |
| K6 | 動力変圧器（保安） 過電 | K16 | SC-1 異常 |
| K7 | 動力変圧器（保安） 過電流 | K17 | SR-2 異常 |
| K8 | ΔΔ変圧器（左） 過電 | K18 | SR-3 異常 |
| K9 | ΔΔ変圧器（左） 過電流 | K19 | SR-4 異常 |
| K10 | ΔΔ変圧器（右） 過電 | K20 | SR-5 異常 |

※ 上記K1~K20の一括警報を遠方出力する。

（注記）

1. 鋼板製屋外型6面体、図示する寸法は参考寸法とする。
2. 仕様はメーカー標準仕様を基本とするが、下記については対応を行うものとする。
   - 感電の恐れのある構造のものは、感電防止の措置（アクリル板等）を施す。
   - 盤内照明、換気扇（サーモ式、自動・手動切替式）を設け、外部開口部には、防虫網を設ける。
   - 電力量計等計器類はマルチメーターとする。
   - 変圧器用防振ゴムを設ける。
   - B種接地を前面からクランプメーターで測定可能な様にする事。
   - 扉表面に危険物表示板を取り付ける事。
3. コンデンサはリアクトル一体型、放電コイル付とする。
4. 予備品　フック棒×1、ヒューズ＝100%
5. 立会いに関する費用、及び各種試験、検査費用も本工事に含むものとする。
6. 消火器（ABC10型）収納面に入れ設置）は建築工事とする。
7. 外気温を考慮し、適切に換気扇（サーモ発停）を取り付けること。

② 一般電灯配電盤

③ 一般動力配電盤

④ 保安動力配電盤

⑤ 保安電灯配電盤

⑥ コンデンサ盤

89F1
LBS
7.2kV200A 12.5KA
（相間バリアー、ストライカー機構付）
PFx2（G60A）

26T1
Tr 1Φ3W 150KVA 油入り
6600/210V-105V
赤指針付温度計 K12
防振ゴム取付

K2 ELR

DMA1 K3
Wh
V

89F2
LBS
7.2kV200A 12.5KA
（相間バリアー、ストライカー機構付）
PFx3（G60A）

26T2
Tr 3Φ3W 300KVA 油入り
6600/210V
赤指針付温度計 K13
防振ゴム取付

K4 ELR

DMA1 K5
Wh
V

89F3
LBS
7.2kV200A 12.5KA
（相間バリアー、ストライカー機構付）
PFx3（G30A）

26T3
Tr 3Φ3W 200KVA 油入り
6600/210V
赤指針付温度計 K14
防振ゴム取付

K6 ELR

DMA1 K7
Wh
V

26T4
Tr 3Φ3W 100KVA 油入り
210V-105V-105V
赤指針付温度計 K15
防振ゴム取付

K8 ELR　K10 ELR

K9 DMA1
Wh
V

ED

DMA1 K11
Wh
V

| 一 般 電 灯 配 電 盤 | | | |
|---|---|---|---|
| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 kVA | 遮断器 |
| L101 | 本庁舎 1L-1 | | MCCB 3P 400 AF/350 AT |
| L102 | 本庁舎 2L-1 | | MCCB 3P 225 AF/200 AT |
| L103 | 本庁舎 3L-1,3L-2 | | MCCB 3P 225 AF/200 AT |
| L104 | 商工会館 1LM-1（電灯） | | MCCB 3P 225 AF/200 AT |
| L105 | 別館 B-1L-1,B-2L-1 | 16.30 | MCCB 3P 100 AF/100 AT |
| L106 | 別館 B-1L-2,2L-2,2L-3 | 9.48 | MCCB 3P 100 AF/ 75 AT |
| L107 | 予備 | | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |
| L108 | 予備 | | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |
| L109 | 本庁舎 ELV制御盤 | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| L110 | 非常用発電機 商用電源（200V） | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| L111 | 非常用発電機 補機電源（200V） | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| L112 | HGR電源 | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| L113 | LGR電源 | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |

| 一 般 動 力 配 電 盤 | | | |
|---|---|---|---|
| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 kVA | 遮断器 |
| M101 | 本庁舎 1M-2,3M-1,3M-2 | 44.23 | MCCB 3P 225 AF/200 AT |
| M102 | 本庁舎 ELV制御盤 | 8.00 | MCCB 3P 100 AF/100 AT |
| M103 | 本庁舎 電算発電機用S-1 | 8.88 | MCCB 3P 225 AF/150 AT |
| M104 | 商工会館 1LM-1 （動力） | 32.79 | MCCB 3P 225 AF/200 AT |
| M105 | 別館 B-1M-1（空調） | 36.13 | MCCB 3P 225 AF/225 AT |
| M106 | 別館 1M-1 ※(1) | 107.54 | MCCB 3P 400 AF/300 AT |
| M107 | 別館 チラー ※(1) | 46.95 | MCCB 3P 400 AF/300 AT |
| M108 | 別館 チラー ※(1) | 46.95 | MCCB 3P 400 AF/300 AT |
| M109 | 屋外 浄化槽 ※(1) | 9.11 | MCCB 3P 100 AF/ 75 AT |
| M110 | 本庁舎 1階空調機（将来） ※(2) | 35.00 | MCCB 3P 225 AF/200 AT |
| M111 | 本庁舎 1階空調機（将来） ※(2) | 35.00 | MCCB 3P 225 AF/200 AT |
| M112 | 本庁舎 2階空調機（将来） ※(2) | 52.50 | MCCB 3P 400 AF/250 AT |
| M113 | 本庁舎 3階空調機（将来） ※(2) | 52.50 | MCCB 3P 400 AF/250 AT |
| M114 | 予備 | | MCCB 3P 100 AF/100 AT |
| M115 | 予備 | | MCCB 3P 100 AF/100 AT |
| M116 | 低圧コンデンサ | 19.1 | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |
| M117 | 低圧コンデンサ | 19.1 | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |
| M118 | 低圧コンデンサ制御電源 | | MCCB 3P 50 AF/ 20 AT |

※(1)＝将来大規模改修工事で無くなるもの
※(2)＝将来大規模改修工事で増えるもの

| 保 安 動 力 配 電 盤 | | | |
|---|---|---|---|
| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 kVA | 遮断器 |
| MG01 | 別館 消火ポンプ制御盤 | 8.82 | MCCB 3P 100 AF/100 AT |
| MG02 | 本庁舎 排煙ファン制御盤（3階） | 12.94 | MCCB 3P 225 AF/125 AT |
| MG03 | 予備 | | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |
| MG04 | スコット変圧器 | | MCCB 3P 400 AF/400 AT |
| MG05 | 油庫 燃料小出し槽ポンプ制御盤 | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| MG06 | 所内電源 | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |

電磁接触器
3a、定格400A
火災感定信号で開

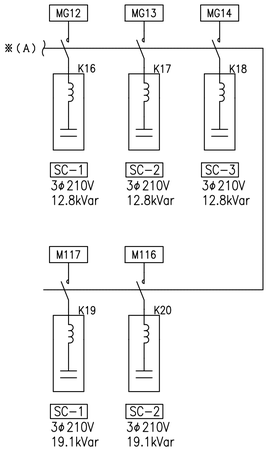
| 保 安 動 力 配 電 盤 | | | |
|---|---|---|---|
| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 kVA | 遮断器 |
| MG08 | 別館 B-1M-2（空調） | 26.05 | MCCB 3P 225 AF/200 AT |
| MG09 | 本庁舎 1階空調機（将来用）※(2) | 30.00 | MCCB 3P 225 AF/175 AT |
| MG10 | 本庁舎 2階空調機（将来用）※(2) | 22.50 | MCCB 3P 225 AF/125 AT |
| MG11 | 本庁舎 3階空調機（将来用）※(2) | 22.50 | MCCB 3P 225 AF/125 AT |
| MG12 | 低圧コンデンサ | 12.8 | MCCB 2P 50 AF/ 40 AT |
| MG13 | 低圧コンデンサ | 12.8 | MCCB 3P 50 AF/ 40 AT |
| MG14 | 低圧コンデンサ | 12.8 | MCCB 3P 50 AF/ 40 AT |
| MG15 | 低圧コンデンサ制御電源 | | MCCB 3P 50 AF/ 20 AT |

※(2)＝将来大規模改修工事で増えるもの

| 保 安 電 灯 配 電 盤 | | | |
|---|---|---|---|
| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 kVA | 遮断器 |
| LG11 | 本庁舎 電算室 2L-2 非常照明 | 1.00 | MCCB 2P 50 AF/ 30 AT |
| LG12 | 商工会館 LM-1 非常照明 | 1.00 | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| LG13 | 本庁舎 1L-1（将来） ※(2) | 18.00 | MCCB 3P 100 AF/100 AT |
| LG14 | 油庫給油口ボックス | | MCCB 3P 50 AF/ 20 AT |

| 保 安 電 灯 配 電 盤 | | | |
|---|---|---|---|
| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 kVA | 遮断器 |
| LG21 | 本庁舎 1階 電話機器用分電盤 | 3.0 | MCCB 3P 50 AF/ 30 AT |
| LG22 | 別館 B-1L-1,B-2L-1 | 3.36 | MCCB 3P 50 AF/ 30 AT |
| LG23 | 別館 B-1L-2,B-2L-2 | 9.68 | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |
| LG24 | 本庁舎 1L-1,2L-1,3L-1 非常無停 | 6.40 | MCCB 3P 50 AF/ 50 AT |
| LG25 | 本庁舎 2L-1 （将来）※(2) | 12.00 | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |
| LG26 | 本庁舎 3L-1,3L-2（将来）※(2) | 12.00 | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |

※(2)＝将来大規模改修工事で増えるもの



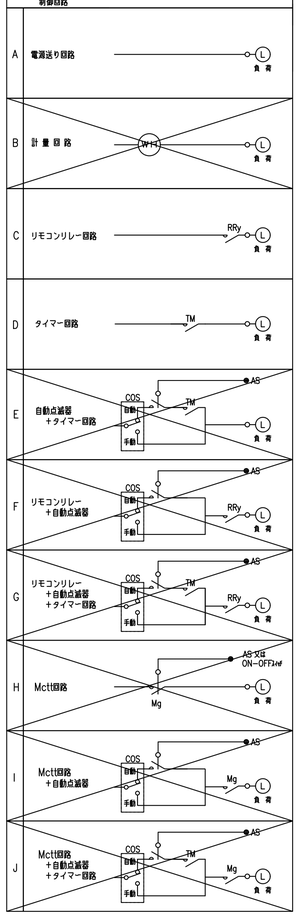

EA EB ED ELB Ep Ec

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－4 |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 図名 | キュービクル単線結線図 | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

File $f

| 主開閉器 | | | |
|---|---|---|---|
| M1 | MCCB 1P 50AF 20AT | | |
| M2 | MCCB 3P225AF125AT | | |
| M3 | MCCB 3P100AF 100AT | | |
| M4 | MCCB 2P 50AF 20AT 協約型 | | |
| E1 | ELCB 2P 50AF 20AT 協約型 | | |
| E2 | ELCB 2P 50AF 30AT 協約型 | | |
| E3 | ELCB 3P 50AF 20AT | | |
| E4 | ELCB 3P 50AF 30AT | | |
| E5 | ELCB 3P 50AF 40AT | | |
| E6 | ELCB 3P 50AF 50AT | | |
| E7 | ELCB 3P100AF 60AT | | |

制御回路




## 電灯分電盤 Ｂ－１Ｌ－１

| | |
|---|---|
| 盤名称 | 電灯盤 B−1L−1 （一般回路） |
| 盤形式 | 屋内自立型 |
| 幹線接続（分岐幹線） | 上方 ・ 下方 （ 上方 ・ 下方 ） |
| 盤設置場所 | 通路PS |

L105
EM−CET38
漏電警報出力
EM−CET14
電灯盤 B−2L−1 （一般回路）
MCCB3P
100AF／75AT

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | | Ry番号 | 制御 | 結線 | 盤番号 | 回路番号 | 回路番号 | 盤番号 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | | 負荷容量(W) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100V 電灯系 | 63 | 倉庫 | 電灯 | R1 | C | | M4 | 101 | 102 | M4 | | C | R7 | 事務室 | 電灯 | 172 |
| | 43 | 事務室 | 電灯 | R2 | C | | | | | | | C | R8 | 会議室1 | 電灯 | 43 |
| | 86 | 事務室 | 電灯 | R3 | C | | | | | | | C | R9 | ホール | 電灯 | 36 |
| | 129 | 事務室 | 電灯 | R4 | C | | | | | | | C | R10 | ホール | 電灯 | 24 |
| | 129 | 事務室 | 電灯 | R5 | C | | | | | | | C | R11 | ホール | 電灯 | 72 |
| | 129 | 事務室 | 電灯 | R6 | C | | | | | | | C | R12 | ホール | 電灯 | 60 |
| | 632 | 監視室、男子更衣室、他 | 電灯 | | A | | M4 | 103 | 104 | M4 | | D | | 1階ホール、2階ホール | 常夜灯 | |
| コンセント系 | 600 | ホール、男子更衣室他 | コンセント | | A | | M4 | 301 | 302 | M4 | | A | | 自販機用 | コンセント | 600 |
| | 600 | 自販機用 | コンセント | | A | | M4 | 303 | 304 | M4 | | A | | 事務室（壁） | コンセント | 400 |
| | 300 | 事務室（壁） | コンセント | | A | | M4 | 305 | 306 | M4 | | A | | テレビブースター盤用 | コンセント | 100 |
| | 350 | エアコン室内機電源 | | | A | | M4 | 309 | 310 | M4 | | A | | 自販機用 | コンセント | 600 |
| | 600 | 自販機用 | コンセント | | A | | M4 | 311 | 312 | M4 | | A | | 駐車場投光器 | | |
| | 600 | 湯沸かし | コンセント | | A | | E1 | 501 | 502 | E2 | | A | 200V | IH | コンセント | 3000 |
| 換気系 | 50 | 事務室 | 換気扇 | R71 | C | | M4 | F1 | F2 | M4 | | C | R74 | 事務室 | 換気扇 | 50 |
| | 50 | 事務室 | 換気扇 | R72 | C | | | | | | | C | R75 | 会議室1 | 換気扇 | 50 |
| | 50 | 予備 | | R73 | C | | | | | | | C | R76 | 予備 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 電灯 | 1.62 | kW ÷ 0.95 | = | 1.70 kVA |
| | コンセント | 7.85 | kW ÷ 0.95 | = | 8.26 kVA |
| | 空調・換気 | 0.25 | kW ÷ 0.95 | = | 0.26 kVA |
| 負荷容量集計 | 計 | | | | 10.56 kVA |

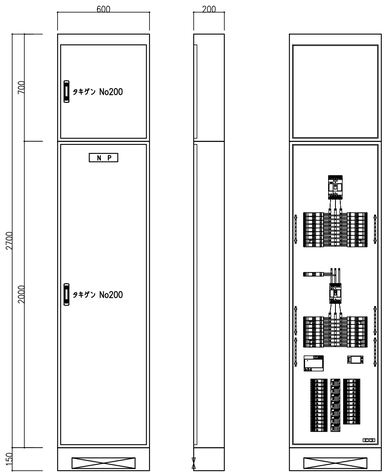
| 盤名称 | 電灯盤 B−1L−1 （発電機回路） |
|---|---|

LG22
EM−CET14
漏電警報出力
EM−CET14
電灯盤 B−2L−1 （発電機回路）
MCCB3P
50AF／30AT

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | Ry番号 | 制御 | 結線 | 盤番号 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100V | | 誘導灯 | | A | | M4 | GA |

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | | Ry番号 | 制御 | 結線 | 盤番号 | 回路番号 | 回路番号 | 盤番号 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | | 負荷容量(W) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100V 電灯系 | 43 | 事務室 | 電灯 | R41 | C | | M4 | G01 | G02 | M4 | | C | R45 | 事務室 | 電灯 | 129 |
| | 86 | 事務室 | 電灯 | R42 | C | | | | | | | C | R46 | 会議室1 | 電灯 | 43 |
| | 129 | 事務室 | 電灯 | R43 | C | | | | | | | C | R47 | ホール | 電灯 | 36 |
| | 129 | 事務室 | 電灯 | R44 | C | | | | | | | C | R48 | ホール | 電灯 | 24 |
| | | 非常兼用照明バッテリー電源 | | | A | | | | | | | A | | 男子更衣室 | 電灯 | 21 |
| | | | | | | | | | | | | A | | 非常兼用照明バッテリー電源 | | |
| | 262 | 男子、女子トイレ、湯沸し | 電灯 | | A | | E1 | G03 | G04 | E1 | | A | | 多機能トイレ | 電灯 | 98 |
| | | 非常照明 | 電灯 | | A | | M4 | G05 | G06 | M4 | | A | | 伝送ユニット電源 | | 100 |
| | 100 | リモコントランス電源 | | | A | | M4 | G07 | G08 | M4 | | A | | 予備 | | |
| コンセント系 | 200 | 端子盤（B−1T−1） | コンセント | | A | | M4 | G31 | G32 | M4 | | A | | 端子盤（B−1T−2） | コンセント | 300 |
| | 200 | 自動ドア 電源 | | | A | | M4 | G33 | G34 | M4 | | A | | エアコン室内機電源 | | 200 |
| | 800 | 女子トイレ | コンセント | | A | | E1 | G51 | G52 | E1 | | A | | 男子トイレ | コンセント | 800 |
| | 600 | 多機能トイレ | コンセント | | A | | E1 | G53 | G54 | E1 | | A | | 予備 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 電灯 | 0.92 | kW ÷ 0.95 | = | 0.97 kVA |
| | コンセント | 2.90 | kW ÷ 0.95 | = | 3.05 kVA |
| | 空調・換気 | | kW ÷ 0.95 | = | kVA |
| 負荷容量集計 | 計 | | | | 3.92 kVA |




| 仕様 | 鋼板製壁内自立型 | | | | | その他 | フル2線式伝送ユニット | x 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般回路主幹 | MCCB | 3P | 100AF | 60AT | x 1 | | リモコントランス | x 1 |
| 一般回路分岐 | MCCB | 2P | 50AF | 20AT | x 14 | | T／U | x 7 |
| | ELCB | 2P | 50AF | 20AT | x 2 | | リモコンリレー | x 26 |
| 保安回路主幹 | MCCB | 3P | 50AF | 30AT | x 1 | | 24hタイマー | x 1 |
| 保安回路分岐 | MCCB | 2P | 50AF | 20AT | x 11 | | | |
| | ELCB | 2P | 50AF | 20AT | x 6 | | | |

## 電灯分電盤電灯分電盤 Ｂ－１Ｌ－２

| | |
|---|---|
| 盤名称 | 電灯盤 B−1L−2 （一般回路） |
| 盤形式 | 屋内自立型 |
| 幹線接続（分岐幹線） | 上方 ・ 下方 （ 上方 ・ 下方 ） |
| 盤設置場所 | 事務室 |

L106
EM−CET38
漏電警報出力
EM−CET14
電灯盤 B−2L−2 （一般回路）
MCCB3P
50AF／40AT

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | | Ry番号 | 制御 | 結線 | 盤番号 | 回路番号 | 回路番号 | 盤番号 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | | 負荷容量(W) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コンセント系 | 400 | 事務室OA床 | コンセント | | A | | M4 | C01 | C02 | M4 | | A | | 事務室OA床 | コンセント | 600 |
| | 400 | 事務室OA床 | コンセント | | A | | M4 | C03 | C04 | M4 | | A | | 事務室OA床 | コンセント | 400 |
| | 600 | 事務室OA床 | コンセント | | A | | M4 | C05 | C06 | M4 | | A | | 事務室OA床 | コンセント | 400 |
| | 600 | 事務室OA床 | コンセント | | A | | M4 | C07 | C08 | M4 | | A | | 予備 | | |
| | | 予備 | | | A | | M4 | C09 | C10 | M4 | | A | | 予備 | | |
| | | 予備 | | | A | | M4 | C11 | C12 | M4 | | A | | 予備 | | |
| | | 予備 | | | A | | M4 | C13 | C14 | M4 | | A | | 予備 | | |

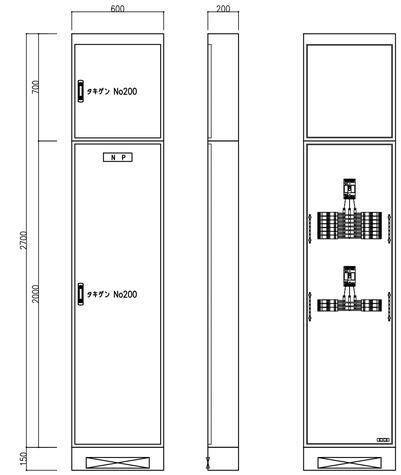
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | コンセント | 3.80 | kW ÷ 0.95 | = | 4.0 kVA |
| 負荷容量集計 | 計 | | | | 4.0 kVA |

| 盤名称 | 電灯盤 B−1L−2 （発電機回路） |
|---|---|

LG23
EM−CET14
漏電警報出力
EM−CET14
電灯盤 B−2L−2 （発電機回路）
MCCB3P
50AF／30AT

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | | Ry番号 | 制御 | 結線 | 盤番号 | 回路番号 | 回路番号 | 盤番号 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | | 負荷容量(W) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コンセント系 | 400 | 事務室OA床 | コンセント | | A | | M4 | GC1 | GC2 | M4 | | A | | 事務室OA床 | コンセント | 400 |
| | 400 | 事務室OA床 | コンセント | | A | | M4 | GC3 | GC4 | M4 | | A | | 事務室OA床 | コンセント | 400 |
| | 1500 | 事務室コピー機 | コンセント | | A | | M4 | GC5 | GC6 | M4 | | A | | 事務室コピー機 | コンセント | 1500 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | コンセント | 4.60 | kW ÷ 0.95 | = | 4.84 kVA |
| 負荷容量集計 | 計 | | | | 4.84 kVA |




| 仕様 | 鋼板製壁内自立型 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般回路主幹 | MCCB | 3P | 50AF | 40AT | x 1 |
| 一般回路分岐 | MCCB | 2P | 50AF | 20AT | x 14 |
| 保安回路主幹 | MCCB | 3P | 50AF | 30AT | x 1 |
| 保安回路分岐 | MCCB | 2P | 50AF | 20AT | x 6 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） |

| 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. | E − 5 |
|---|---|---|---|
| 図名 | 分電盤結線図ー１ | 縮尺 | A1：N/S<br>A3：N/S |

File $f

## 電灯分電盤　Ｂ－２Ｌ－１

| | |
|---|---|
| 盤　名　称 | 電灯盤 B-2L-1 （一般回路） |
| 盤　形　式 | 屋内自立型 |
| 幹線接続（分岐幹線） | 上方 ・ 下方 （ 上方 ・ 下方 ） |
| 盤 設 置 場 所 | 通路PS |

L105-1
EM-CET14
MCCB3P
50AF／50AT

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | Ry番号 | 制御 | 結線 | 遮断器 | 回路番号 | 回路番号 | 遮断器 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | 負荷容量(W) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100V 電灯系 | 129 | 事務室 電灯 | R21 | C | | M4 | 101 | 102 | M4 | | C | R25 | 事務室 電灯 | 129 |
| | 86 | 事務室 電灯 | R22 | C | | | | | | | C | R26 | 事務室 電灯 | 129 |
| | 129 | 事務室 電灯 | R23 | C | | | | | | | C | R27 | 書庫1 電灯 | 84 |
| | 129 | 事務室 電灯 | R24 | C | | | | | | | C | R28 | 予備 | |
| | | | | | | | | | | | C | R29 | ホール 電灯 | 60 |
| | | | | | | | | | | | C | R30 | ホール 電灯 | 84 |
| | | | | | | | | | | | C | R31 | ホール 電灯 | 48 |
| | | | | | | | | | | | C | R32 | 書庫2 電灯 | 84 |
| | 172 | 会議室（3） 電灯 | R33 | C | | M4 | 103 | 104 | M4 | | A | | 予備 | |
| | 129 | 会議室（2） 電灯 | R34 | C | | | | | | | | | | |
| | 129 | 会議室（2） 電灯 | R35 | C | | | | | | | | | | |
| ｺﾝｾﾝﾄ系 | 500 | ホール、他 コンセント | | A | | M4 | 301 | 302 | M4 | | A | | 事務室（壁） コンセント | 400 |
| | 300 | 事務室（壁） コンセント | | A | | M4 | 303 | 304 | M4 | | A | | 書庫1 コンセント | 300 |
| | 100 | テレビブースター盤用 コンセント | | A | | M4 | 305 | 306 | M4 | | A | | エアコン室内機電源 | 350 |
| | | 予備 | | A | | M4 | 307 | 308 | M4 | | A | | 予備 | |
| | 600 | 湯沸かし コンセント | | A | | E1 | 501 | 502 | E2 | | A | 200V | ＩＨ コンセント | 3000 |
| 換気系 | 50 | 事務室 換気扇 | R77 | C | | M4 | F1 | F2 | M4 | | C | R81 | 会議室（2） 換気扇 | 50 |
| | 50 | 事務室 換気扇 | R78 | C | | | | | | | C | R82 | 会議室（3） 換気扇 | 50 |
| | 50 | 事務室 換気扇 | R79 | C | | | | | | | C | R83 | 書庫2 換気扇 | 50 |
| | 50 | 書庫1 換気扇 | R80 | C | | | | | | | C | R84 | 予備 | |

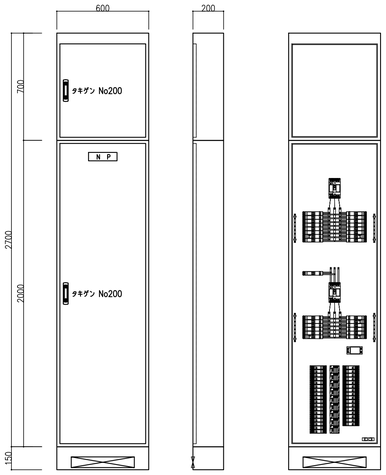
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 電　灯 | 1.56 | kW ÷ 0.95 | = | 1.65 kVA |
| | コンセント | 5.30 | kW ÷ 0.95 | = | 5.58 kVA |
| | 空調・換気 | 0.35 | kW ÷ 0.95 | = | 0.37 kVA |
| 負荷容量集計 | 計 | | | | 7.60 kVA |

| | |
|---|---|
| 盤　名　称 | 電灯盤 B-2L-1 （発電機回路） |

EM-CET14
MCCB3P
50AF／30AT

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | Ry番号 | 制御 | 結線 | 遮断器 | 回路番号 | 回路番号 | 遮断器 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | 負荷容量(W) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100V | | 階段誘導灯 | | A | | M4 | GA | | | | | | | |
| 100V 電灯系 | 129 | 事務室 電灯 | R51 | C | | M4 | G01 | G02 | M4 | | C | R55 | ホール 電灯 | 36 |
| | 129 | 事務室 電灯 | R52 | C | | | | | | | C | R56 | ホール 電灯 | 72 |
| | 129 | 事務室 電灯 | R53 | C | | | | | | | C | R57 | 前室 電灯 | 43 |
| | 129 | 事務室 電灯 | R54 | C | | | | | | | C | R58 | 会議室（2） 電灯 | 129 |
| | 38 | 階段ダウンライト | | A | | | | | | | C | R59 | 会議室（3） 電灯 | 86 |
| | | 非常兼用照明バッテリー電源 | | A | | | | | | | C | R60 | 書庫（1） 電灯 | 42 |
| | | | | | | | | | | | C | R61 | 書庫（2） 電灯 | 42 |
| | | | | | | | | | | | A | | 非常兼用照明バッテリー電源 | |
| | | 非常照明 | | A | | M4 | G03 | G04 | E1 | | A | | 男子、女子トイレ、湿流し 電灯 | 262 |
| | 100 | リモコントランス電源 | | A | | M4 | G05 | G06 | M4 | | A | | 予備 | |
| ｺﾝｾﾝﾄ系 | 200 | 端子盤（B-2T-1） コンセント | | A | | M4 | G31 | G32 | M4 | | A | | 端子盤（B-2T-2） コンセント | 200 |
| | 200 | 端子盤（B-2T-3） コンセント | | A | | M4 | G33 | G34 | M4 | | A | | エアコン室内機電源 | 200 |
| | 800 | 女子トイレ コンセント | | A | | E1 | G51 | G52 | E1 | | A | | 男子トイレ コンセント | 800 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 電　灯 | 1.24 | kW ÷ 0.95 | = | 1.31 kVA |
| | コンセント | 2.20 | kW ÷ 0.95 | = | 2.32 kVA |
| | 空調・換気 | | kW ÷ 0.95 | = | kVA |
| 負荷容量集計 | 計 | | | | 3.63 kVA |




| 仕様 | 鋼板製屋内自立型 | | | | | その他 | リモコントランス | x 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般回路主幹 | MCCB | 3P | 50 AF | 50 AT | x 1 | | T／U | x 9 |
| 一般回路分岐 | MCCB | 2P | 50 AF | 20 AT | x 14 | | リモコンリレー | x 34 |
| | ELCB | 2P | 50 AF | 20 AT | x 2 | | | |
| 保安回路主幹 | MCCB | 3P | 50 AF | 30 AT | x 1 | | | |
| 保安回路分岐 | MCCB | 2P | 50 AF | 20 AT | x 9 | | | |
| | ELCB | 2P | 50 AF | 20 AT | x 3 | | | |

## 電灯分電盤　Ｂ－２Ｌ－２

| | |
|---|---|
| 盤　名　称 | 電灯盤 B-2L-2 （一般回路） |
| 盤　形　式 | 屋内自立型 |
| 幹線接続（分岐幹線） | 上方 ・ 下方 （ 上方 ・ 下方 ） |
| 盤 設 置 場 所 | 事務室 |

EM-CET14
EM-CET14　既設電灯盤 B-2L-3 （一般回路）
MCCB3P
50AF／40AT

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | Ry番号 | 制御 | 結線 | 遮断器 | 回路番号 | 回路番号 | 遮断器 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | 負荷容量(W) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｺﾝｾﾝﾄ系 | 400 | 事務室ＯＡ床 コンセント | | A | | M4 | C01 | C02 | M4 | | A | | 事務室ＯＡ床 コンセント | 400 |
| | 400 | 事務室ＯＡ床 コンセント | | A | | M4 | C03 | C04 | M4 | | A | | 事務室ＯＡ床 コンセント | 400 |
| | 400 | 事務室ＯＡ床 コンセント | | A | | M4 | C05 | C06 | M4 | | A | | 事務室ＯＡ床 コンセント | 400 |
| | 400 | 事務室ＯＡ床 コンセント | | A | | M4 | C07 | C08 | M4 | | A | | 事務室ＯＡ床 コンセント | 400 |
| | | 予備 | | A | | M4 | C11 | C12 | M4 | | A | | 予備 | |
| | | 予備 | | A | | M4 | C13 | C14 | M4 | | A | | 予備 | |

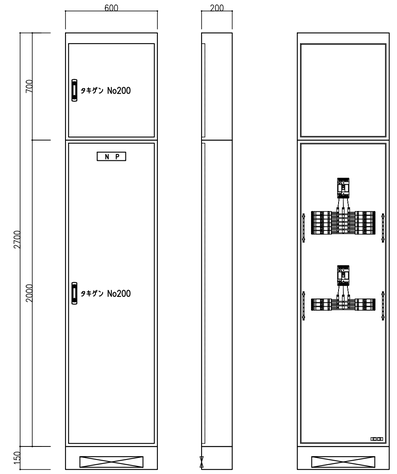
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | コンセント | 3.20 | kW ÷ 0.95 | = | 3.37 kVA |
| 負荷容量集計 | 計 | | | | 3.37 kVA |

| | |
|---|---|
| 盤　名　称 | 電灯盤 B-2L-2 （発電機回路） |

EM-CET14
MCCB3P
50AF／30AT

| 電圧 | 負荷容量(W) | 負荷名称 | Ry番号 | 制御 | 結線 | 遮断器 | 回路番号 | 回路番号 | 遮断器 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | 負荷容量(W) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ｺﾝｾﾝﾄ系 | 400 | 事務室ＯＡ床 コンセント | | A | | M4 | GC1 | GC2 | M4 | | A | | 事務室ＯＡ床 コンセント | 400 |
| | 400 | 事務室ＯＡ床 コンセント | | A | | M4 | GC3 | GC4 | M4 | | A | | 事務室ＯＡ床 コンセント | 400 |
| | 1500 | 事務室コピー機 コンセント | | A | | M4 | GC5 | GC6 | M4 | | A | | 事務室コピー機 コンセント | 1500 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | コンセント | 4.60 | kW ÷ 0.95 | = | 4.84 kVA |
| 負荷容量集計 | 計 | | | | 4.84 kVA |




| 仕様 | 鋼板製屋内自立型 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般回路主幹 | MCCB | 3P | 50 AF | 40 AT | x 1 |
| 一般回路分岐 | MCCB | 2P | 50 AF | 20 AT | x 12 |
| 保安回路主幹 | MCCB | 3P | 50 AF | 30 AT | x 1 |
| 保安回路分岐 | MCCB | 2P | 50 AF | 20 AT | x 6 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－6 |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 分電盤結線図－２ | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

File $f

## ＰＢＸ用分電盤

| | |
|---|---|
| 盤　　名　　称 | ＰＢＸ用分電盤　（発電機回路） |
| 盤　　形　　式 | 屋内壁掛け型 |
| 幹線接続（分岐幹線） | 上方 ・ 下方　（ 上方 ・ 下方 ） |
| 盤 設 置 場 所 | 本館１階印刷室 |

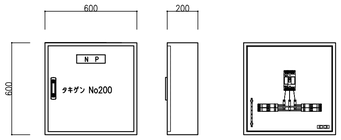
EM-CET14

MCCB3P
50AF／30AT

| 電圧 | 負荷容量（W） | 負荷名称 | Ry番号 | 制御 | 結線 | 遮断器 | 回路番号 | 回路番号 | 遮断器 | 結線 | 制御 | Ry番号 | 負荷名称 | 負荷容量（W） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コンセント系 | 400 | ＰＢＸ電源 | | A | —— | M4 | C01 | C02 | M4 | —— | A | | ＰＢＸ電源 | 400 |
| | 200 | 電話機器用　コンセント | | A | —— | M4 | C03 | C04 | M4 | —— | A | | 電話機器用　コンセント | 200 |

コンセント　1.20　kW ÷ 0.95 ＝　1.26　kVA

負荷容量集計　　計　　1.26　kVA

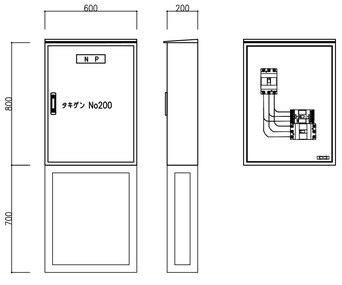



| 仕様 | 鋼板製屋内壁掛け | | |
|---|---|---|---|
| 主幹 | MCCB　3P　50AF　30AT | | x 1 |
| 分岐 | MCCB　2P　50AF　20AT | | x 4 |

## 動力分電盤　Ｂ－１Ｍ－１

| | |
|---|---|
| 盤　　名　　称 | 動力盤　B-1M-1　（一般回路） |
| 盤　　形　　式 | 屋外壁掛け型 |
| 幹線接続（分岐幹線） | 上方 ・ 下方　（ 上方 ・ 下方 ） |
| 盤 設 置 場 所 | 屋外 |

| 主回路結線 | 回路番号 | 電圧（Ｖ） | 分岐遮断器 | 負荷名称 | 負荷容量（kW） |
|---|---|---|---|---|---|
| MCCB 3P 225AF200AT | 1 | 200 | ELCB 3P 100 AF 100 AT | 別館空調室外機　MAC450 | 13.00 |
| | 2 | 200 | ELCB 3P 225 AF 150 AT | 別館空調室外機　MAC670 | 20.60 |

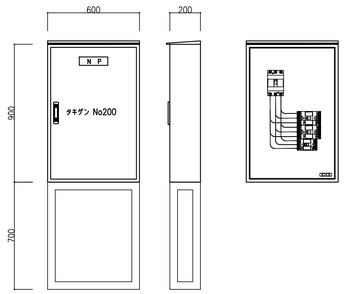



| 仕様 | 鋼板製屋外防水型　壁掛け | | |
|---|---|---|---|
| 主幹 | MCCB　3P　225AF 200AT | | x 1 |
| 分岐 | ELCB　3P　225AF 150AT | | x 1 |
| | ELCB　3P　100AF 100AT | | x 1 |

## 動力分電盤　Ｂ－１Ｍ－２

| | |
|---|---|
| 盤　　名　　称 | 動力盤　B-1M-2　（発電機回路） |
| 盤　　形　　式 | 屋外壁掛け型 |
| 幹線接続（分岐幹線） | 上方 ・ 下方　（ 上方 ・ 下方 ） |
| 盤 設 置 場 所 | 屋外 |

| 主回路結線 | 回路番号 | 電圧（Ｖ） | 分岐遮断器 | 負荷名称 | 負荷容量（kW） |
|---|---|---|---|---|---|
| MCCB 3P 225AF175AT | 1 | 200 | ELCB 3P 100 AF 75 AT | 別館空調室外機　ACP335 | 9.11 |
| | 2 | 200 | ELCB 3P 50 AF 40 AT | 別館空調室外機　ACP224 | 5.64 |
| | 3 | 200 | ELCB 3P 100 AF 75 AT | 別館空調室外機　MAC335 | 9.11 |



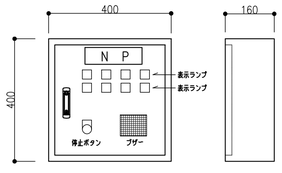

| 仕様 | 鋼板製屋外防水型　壁掛け | | |
|---|---|---|---|
| 主幹 | MCCB　3P　225AF 175AT | | x 1 |
| 分岐 | ELCB　3P　100AF　75AT | | x 2 |
| | ELCB　3P　50AF　40AT | | x 1 |

## 自販機用電力量計盤



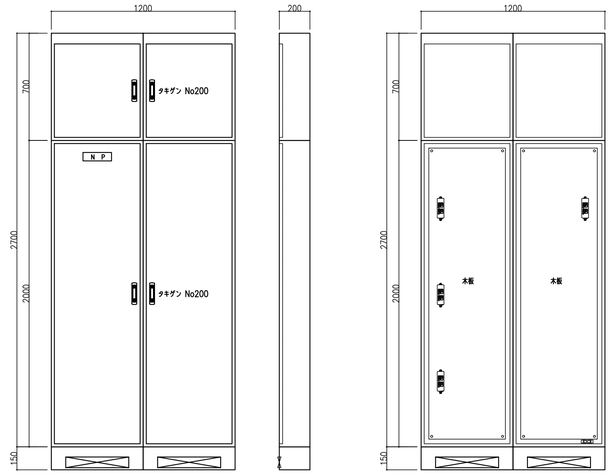

| 仕様 | 鋼板製屋内壁掛け型 |
|---|---|
| | 電力量計（単相2線式１００Ｖ、検定付き） |
| | x4個　実装 |

## 警報盤




| 仕様 | 鋼板製屋内壁掛け型 |
|---|---|
| 表示内容 | キュービクル一括警報 |
| | 非常発電機　一括警報 |
| | 油槽ポンプ故障・油面一括警報 |
| | B-1L-1（一般）系統漏電 |
| | B-1L-1（保安）系統漏電 |
| | B-1L-2（一般）系統漏電 |
| | B-1L-2（保安）系統漏電 |

## 端子盤　　Ｂ－１Ｔ－１




| 仕様 | 鋼板製屋内自立型 |
|---|---|
| | 木板ベース |
| | ＯＡコンセント（抜止め２個口）ｘ４個　実装 |

## 端子盤　　Ｂ－２Ｔ－１




| 仕様 | 鋼板製屋内自立型 |
|---|---|
| | 木板ベース |
| | ＯＡコンセント（抜止め２個口）ｘ４個　実装 |

## Ａ－１Ｔ－１




| 仕様 | 鋼板製屋内壁掛け型 |
|---|---|
| | 木板ベース |
| | ＯＡコンセント（抜止め２個口）ｘ２個　実装 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－7 |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 分電盤結線図ー３ | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

File $f

3φ3W 6600V

PAS
方向性 LA、VT内蔵
7.2kV 300A 12.5kA

CH

6kV EM.CET38（PE82、FEP80）

## 高圧受電盤

VCT　WH

V

52R
VCB
7.2kV600A 12.5kA

KW　PF

2-CT　I>　A

PCx3
PF30A

PCx3
PF30A

6600V
50kVar

6600V
50kVar

## 既設発電機

3φ210V
40KVA

## 電灯配電盤 No1

89F2
LBS
7.2kV100A 12.5KA
PFx3

26T1
Tr 1φ3W 100KVA 油入り
6600/210V-105V

EL
ZCT

2-CT　A　V

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| L101 | 3L-1,3L-2 | | MCCB 3P 225 AF/ 200 AT |
| L102 | 1L-2 | | MCCB 3P 225 AF/ 125 AT |
| L103 | 商工会館 1LM-1 | | MCCB 3P 225 AF/ 200 AT |
| L104 | 2LM-1（有線） | | MCCB 3P 100 AF/ 75 AT |
| L105 | 交換器電源 | | MCCB 3P 100 AF/ 100 AT |

EA　EB　Ep　Ec

## 電灯配電盤 No2

89F2
LBS
7.2kV100A 12.5KA
PFx3

26T2
Tr 1φ3W 100KVA 油入り
6600/210V-105V

EL
ZCT

2-CT　A　V

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| L201 | 1L-1 | | MCCB 3P 400 AF/ 350 AT |
| L202 | 2L-1 | | MCCB 3P 225 AF/ 200 AT |
| L203 | | | MCCB 3P 100 AF/ 100 AT |
| L204 | ELV | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| L205 | | | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |
| L206 | 県・衛星電話 | | MCCB 2P 50 AF/ 30 AT |
| | HGR電源 | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| | LGR電源 | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| | 所内電源 | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |

## 動力配電盤

89F2
LBS
7.2kV100A 12.5KA
PFx3

26T3
Tr 3φ3W 300KVA 油入り
6600/210V
赤指針付温度計

EL
ZCT

2-CT　A　V

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| M101 | チラー | | MCCB 3P 400 AF/ 300 AT |
| M102 | チラー | | MCCB 3P 400 AF/ 300 AT |
| M103 | 浄化槽 | | MCCB 3P 100 AF/ 75 AT |
| M104 | ELV | | MCCB 3P 100 AF/ 100 AT |
| M105 | 予備 | | MCCB 3P 100 AF/ 100 AT |
| M106 | 1M-1 | | MCCB 3P 400 AF/ 300 AT |
| M107 | 発電機（一次側） | | MCCB 3P 225 AF/ 150 AT |
| M108 | 1M-2,3M-1<br>3M-2 | | MCCB 3P 225 AF/ 200 AT |
| M109 | 2LM-有 | | MCCB 3P 225 AF/ 150 AT |
| M110 | 商工会館 1LM-1 | | MCCB 3P 225 AF/ 200 AT |

2-CT　DA　V

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| MG1 | 1M-1（消火P） | 7.6 | MCCB 3P 100 AF/ 100 AT |
| MG2 | 排煙ファン | 11.0 | MCCB 3P 100 AF/ 100 AT |
| MG3 | スコットTr 一次側 | 11.0 | MCCB 3P 100 AF/ 75 AT |

## 保安配電盤

26T3
20KVA 油入り
3φ210V/210V-105V

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| LG11 | 1L-1, 2L-1<br>3L-1 （非常灯） | | MCCB 3P 50 AF/ 50 AT |

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| LG21 | 1L-2 （非常灯） | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |
| LG22 | 商工会館 1LM-1 （非常灯） | | MCCB 2P 50 AF/ 20 AT |

EM-FP 5.5SQ-2C （E25）

EM-CET100（E75）

EM-CET22 E22（E75）

## 電灯動力配電盤

保安電灯負荷

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| LG23 | 電算室 2L-2 | 1.0 | MCCB 2P 50 AF/ 30 AT |

動力負荷

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| M111 | 間閉基盤 S-1 | | MCCB 3P 225 AF/150 AT |

電灯負荷

| 幹線No | 負荷名称 | 負荷容量 KVA | 遮断器 |
|---|---|---|---|
| L207 | 2L-3 | | MCCB 3P 100 AF/ 60 AT |

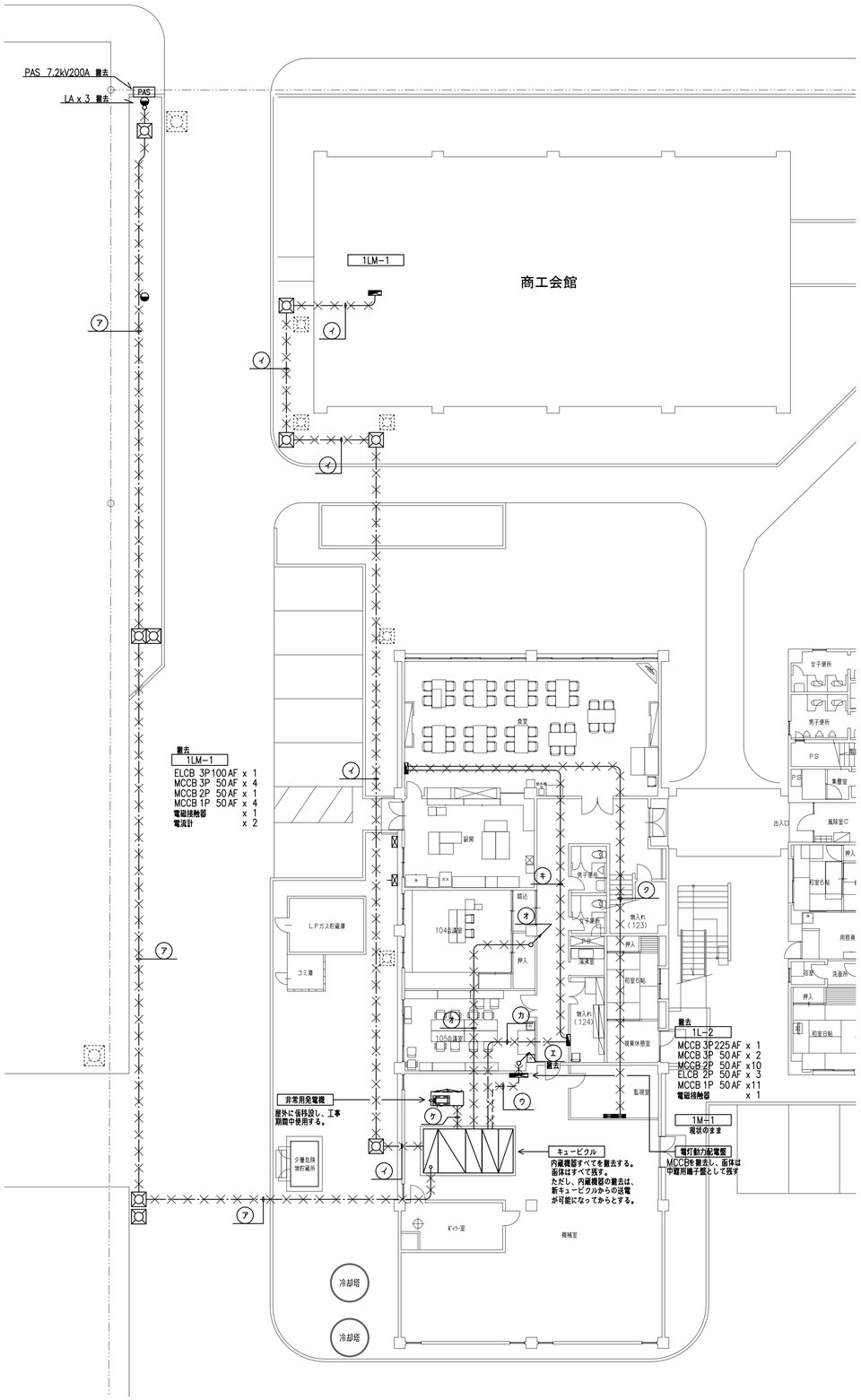
EA

1．函体は残し、内蔵機器類はすべて撤去する。
2．変圧器の冷却油については検査機関にてＰＣＢの有無を検査し、試験結果報告書を提出する事。

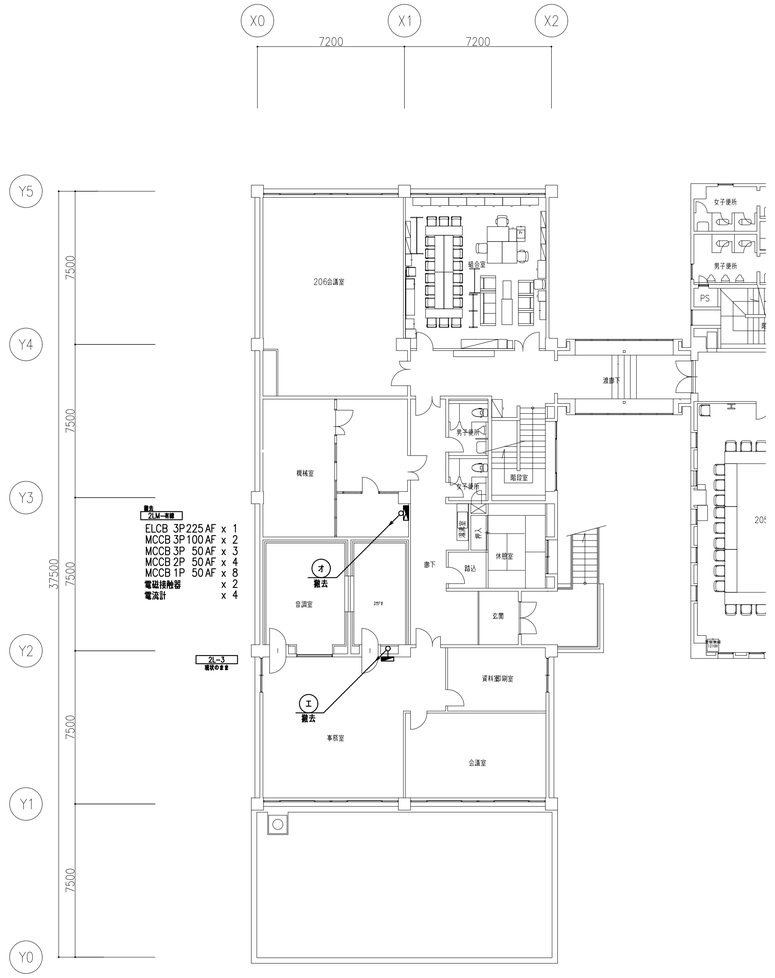
| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－8 |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 | 撤去キュービクル単線結線図 | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

File $f

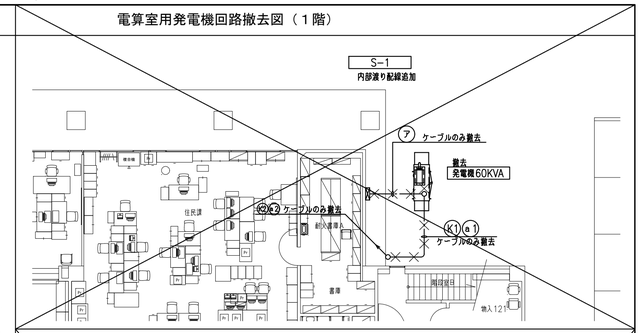
## 別館１階撤去図



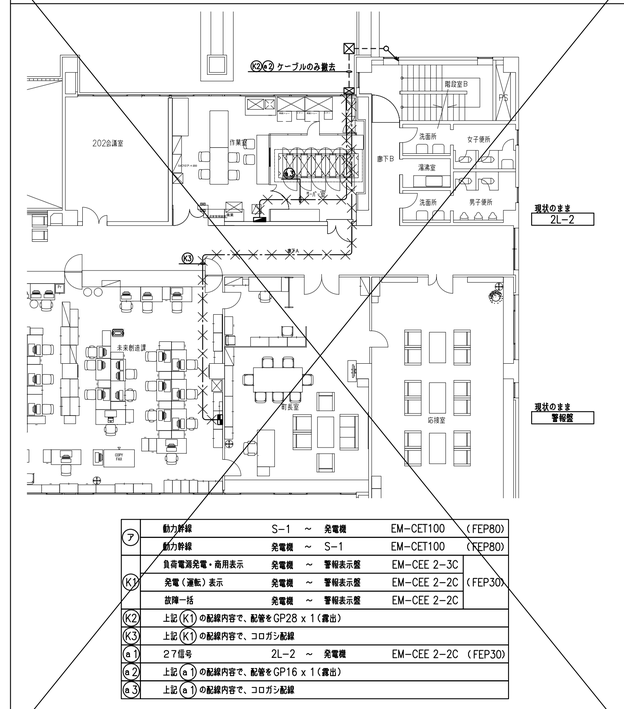

## 別館２階撤去図




## 電算室用発電機回路撤去図（１階）




## 電算室用発電機回路撤去図（２階）



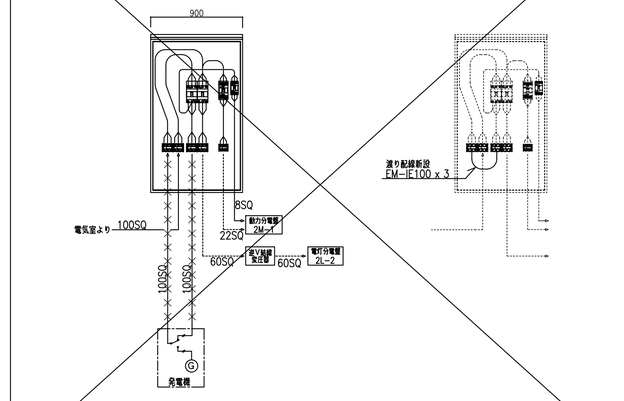

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ア | 動力幹線 | S−1 | ～ 発電機 | EM−CET100 | (FEP80) |
| | 動力幹線 | 発電機 | ～ S−1 | EM−CET100 | (FEP80) |
| K1 | 負荷電源発電・商用表示 | 発電機 | ～ 警報表示盤 | EM−CEE 2−3C | (FEP30) |
| | 発電（運転）表示 | 発電機 | ～ 警報表示盤 | EM−CEE 2−2C | |
| | 故障一括 | 発電機 | ～ 警報表示盤 | EM−CEE 2−2C | |
| K2 | 上記(K1)の配線内容で、配管をGP28 x 1（露出） | | | | |
| K3 | 上記(K1)の配線内容で、コロガシ配線 | | | | |
| a1 | 27信号 | 2L−2 | ～ 発電機 | EM−CEE 2−2C | (FEP30) |
| a2 | 上記(a1)の配線内容で、配管をGP16 x 1（露出） | | | | |
| a3 | 上記(a1)の配線内容で、コロガシ配線 | | | | |

## 別館撤去凡例

撤去凡例

| 記号 | 用途・線種・配管サイズ | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ア | 高圧引込 | 6kV CVT38 | (70) | ケーブルのみ撤去 |
| | SOG制御 | CVV 3.5SQ−5C | (28) | 〃 |
| | SOG 100V電源 | CW−S 2SQ−2C | (28) | 〃 |
| イ | 商工会館 電灯幹線 | CV100SQ−3C | (70) | 〃 |
| | 商工会館 動力幹線 | CV 60SQ−3C E22 | (54) | 〃 |
| | 商工会館 非常灯 | FP5.5SQ−3C | (28) | 〃 |
| ウ | 電算室用動力電源 | EM−CET100 E22 | (E75) | 配管、ケーブル共に撤去 |
| | 電算室用非常灯電源 | EM−FP5.5SQ−2C | (E25) | 〃 |
| | 別館 2L−3 電灯幹線 | EM−CET14 | (E39) | 〃 |
| エ | 別館 2L−3 電灯幹線 | EM−CET14 E5.5 | (E39) | 〃 |
| オ | 別館 2LM−有線電灯幹線 | IV 22SQ x 3 | (E39) | 〃 |
| | 別館 2LM−有線動力幹線 | IV 60SQ x 3 E14 | (E51) | 〃 |
| カ | 別館 1L−2 電灯幹線 | CV60SQ−3C E14 | (GP54) | ケーブルのみ撤去 |
| | 別館 1L−2 非常灯電源 | FP5.5SQ−3C | (GP28) | 〃 |
| キ | 別館 1LM−1 電灯幹線 | CV14−3C E5.5 | (E31) | 配管、ケーブル共に撤去 |
| ク | 別館 1LM−1 動力幹線 | CV5.5SQ−3C | (E25) | 〃 |
| ケ | 非常用発電機（一次側） | CV60SQ−3C E14 | (GP54) | ケーブルのみ撤去 |
| | 非常用発電機（二次側） | FP60SQ−3C | (GP54) | 〃 |

## 開閉器盤Ｓ－１　改修図




| | | | |
|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | |
| | | | |

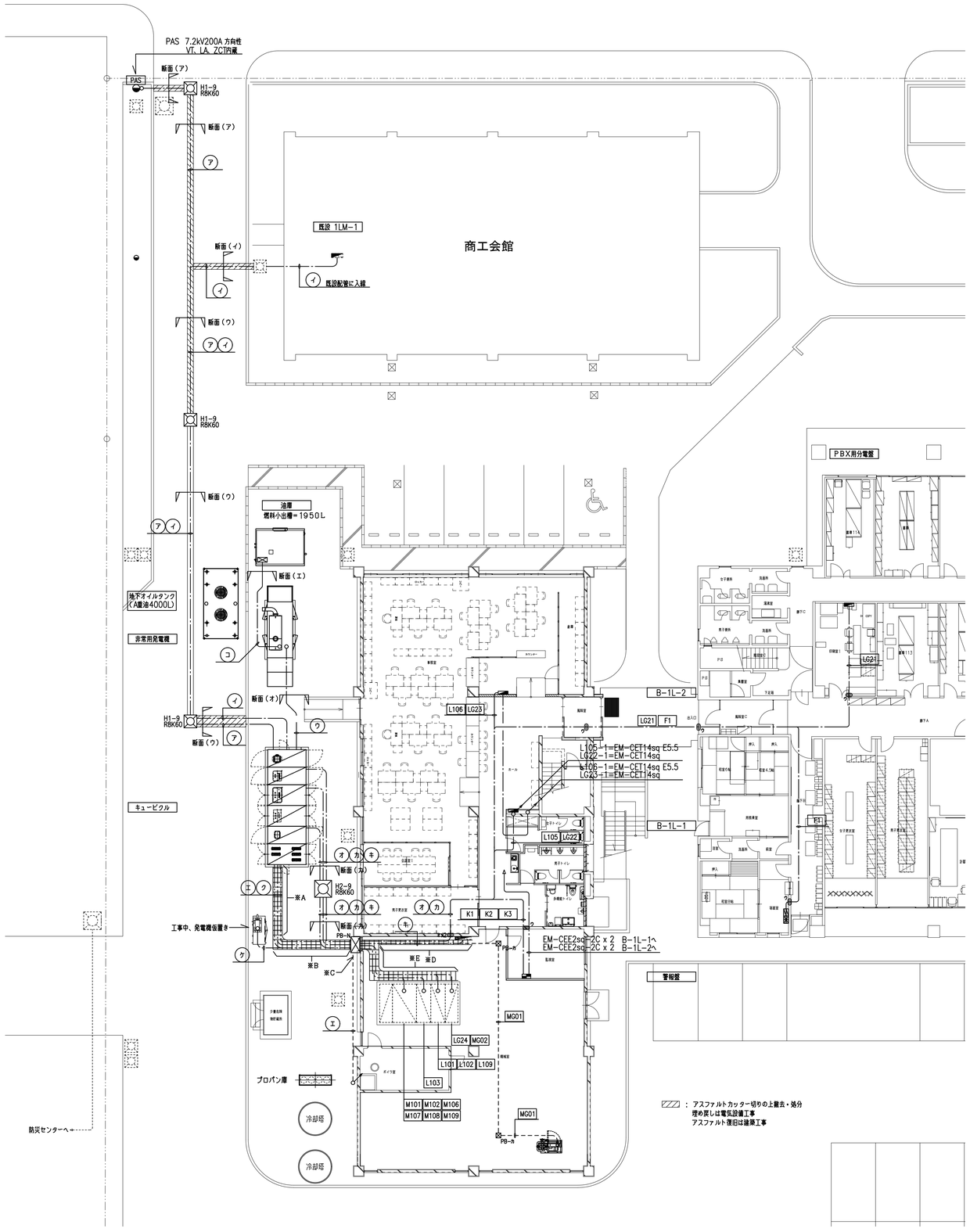
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 |
| 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 受変電、幹線設備撤去平面図 |

No. E－9

縮尺
A1：1/150
A3：1/300

File $f

## 1階改修図




## 凡例

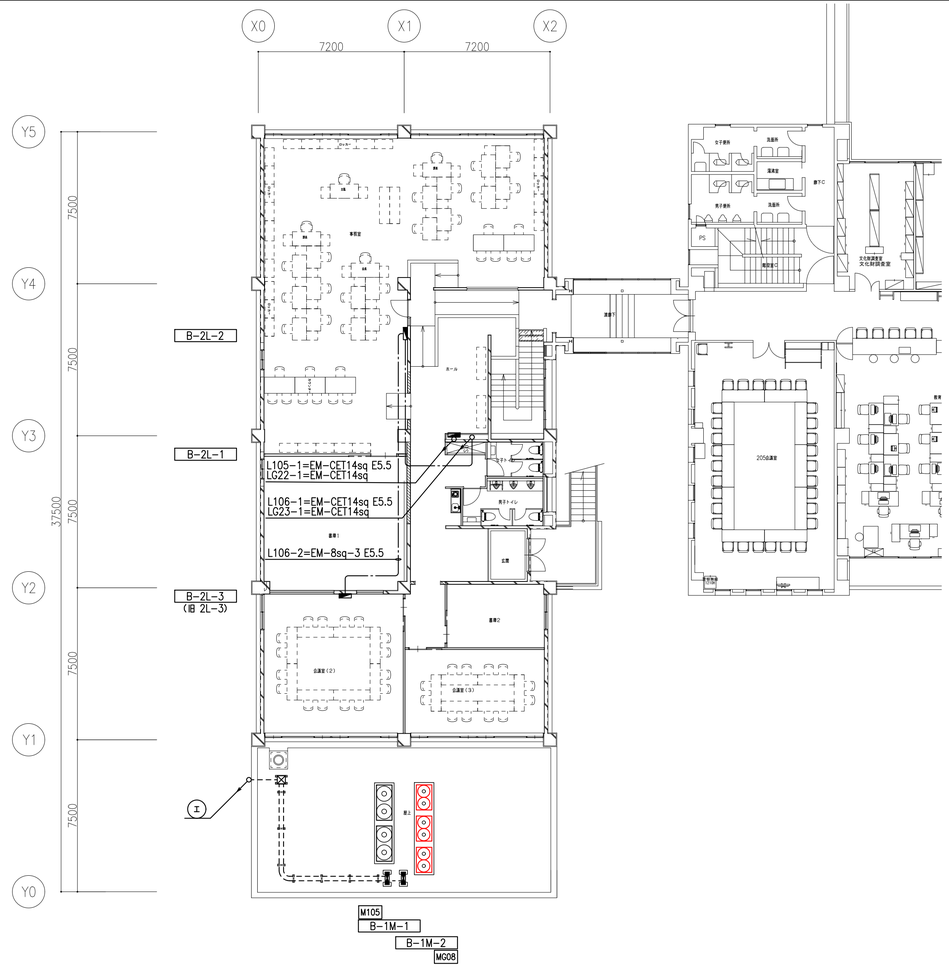
凡例

| | 記号 | 負荷名称 | ケーブルサイズ | 配管サイズ 屋外露出 | 屋内露出 | 屋内隠蔽 | その他箇所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | | 高圧引込 | 6kV EM-CET38sq | ZGP82 | | | FEP80 |
| | | DGR制御 | EM-CEE2sq-10C | ZGP28 | | | FEP30 |
| イ | L104 | 商工会館電灯幹線 | EM-CET100sq | | | | FEP80 |
| | M104 | 商工会館動力幹線 | EM-CET60sq E22 | | | | FEP65 |
| | LG12 | 商工会館非常灯 | EM-FP5.5sq-2C | | | | FEP30 |
| ウ | | 発電機主回路 | EM-CE200sq-1Cx3 x 3 | | | | FEP200 |
| | L110 | 発電機商用電源 | EM-FP2sq-2C | | | | FEP65 |
| | L111 | 発電機補機電源 | EM-FP2sq-2C | | | | |
| | | 発電機接地 | EM-IE60sq | | | | |
| | | 発電機一括警報 | EM-CEE2sq-4C | | | | FEP30 |
| | ※ 発電機と油庫内設置のポンプ制御盤、給油口ボックス間の配管・配線、及び給油ボックスと地下オイルタンク間のオイル配管については、別図（配管系統図）を参照のこと。 | | | | | | |
| エ | M105 | B-1M-1 | EM-CET100sq E14 | ケーブルラック ZGP82 | | | |
| | MG08 | B-1M-2 | EM-CET60sq E14 | ケーブルラック ZGP70 | | コロガシ | |
| オ | L105 | B-1L-1系統 | EM-CET38sq E5.5 | ケーブルラック | ケーブルラック | コロガシ | FEP50 |
| | L106 | B-1L-2系統 | EM-CET38sq E5.5 | ケーブルラック | ケーブルラック | コロガシ | FEP50 |
| | LG22 | B-1L-1系統 | EM-CET14sq | ケーブルラック | ケーブルラック | コロガシ | FEP40 |
| | LG23 | B-1L-2系統 | EM-CET22sq | ケーブルラック | ケーブルラック | コロガシ | FEP50 |
| | LG21 | PBX用分電盤 | EM-CE8sq-3C E5.5 | ケーブルラック | ケーブルラック E31 | コロガシ | FEP40 |
| カ | K1 | キュービクル一括警報 | EM-CEE2sq-2C | ケーブルラック | ケーブルラック | コロガシ | FEP40 |
| | K2 | 発電機 一括警報 | EM-CEE2sq-2C | ケーブルラック | ケーブルラック | コロガシ | |
| | K3 | 油庫ポンプ制御盤警報 | EM-CEE2sq-2C | ケーブルラック | ケーブルラック | コロガシ | |
| | F1 | 火災感定信号 | EM-FP2sq-2C | ケーブルラック | ケーブルラック | コロガシ | |
| キ | M103 | 開閉器盤S-1 | EM-CET100sq E8 | ケーブルラック | ケーブルラック | | FEP80 |
| | LG11 | 電算室 2L-2 非常灯 | EM-FP5.5sq-2C | ケーブルラック | ケーブルラック | | FEP30 |
| | MG01 | 消火ポンプ | EM-FP22sq-3C E5.5 | ケーブルラック | ケーブルラック E51 | | FEP50 |

| | 記号 | 負荷名称 | ケーブルサイズ | 配管サイズ 屋外露出 | 屋内露出 | 屋内隠蔽 | その他箇所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ク | L101 | 1L-1 | EM-CET250sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | 引ｷｬﾋﾞﾃﾙ配内で既設幹線と接続 |
| | L102 | 2l-1 | EM-CET100sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| | L103 | 3L-1、3L-2 | EM-CET100sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| | L109 | エレベーター | EM-CE5.5sq-2C | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| ケ | M101 | 1M-2,3M-1,3M-2 | EM-CET100sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| | M102 | エレベーター | EM-CET14sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| | M106 | 1M-1 | EM-CET200sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| | M107 | チラー R-1 | EM-CET100sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| | M108 | チラー R-2 | EM-CET100sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| | M109 | 浄化槽 | EM-CET14sq | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| シ | | 仮設発電機（一次側） | EM-CET60sq E14 | ケーブルラック | ケーブルラック | | |
| | | 仮設発電機（二次側） | EM-FP60sq-3C | ケーブルラック | ケーブルラック | | ↓ |
| コ | MG05 | 油庫ポンプ制御盤 | EM-FP2sq-3C E2.0 | | | | FEP40 |
| | LG14 | 油庫 給油口ボックス | EM-FP2sq-2C E2.0 | | | | |
| | | 油庫ポンプ制御盤警報 | EM-CEE2sq-4C | | | | FEP30 |

| | | |
|---|---|---|
| ⊠ PB-E | プルボックス | SUS製 300x300x300 （防水仕様） |
| ⊠ PB-N | プルボックス | SUS製 1000x1000x600（防水仕様） |
| ⊠ PB-カ | プルボックス | 鋼板製 400x400x200 （錆止め仕上げ） |
| 露出取付箇所は指定色仕上げとする。 | | |
| ▨ ₀ | コア貫通（Φ50）のうえ、認定工法による防火区画処理 | |
| ▨ ₈ | コア貫通（Φ75）のうえ、認定工法による防火区画処理 | |
| ※A | ケーブルラック H:100 x W:600 x 2段 Z35 カバー共（上段のみ） | |
| ※B | ケーブルラック H:100 x W:600 x 1段 Z35 カバー共 | |
| ※C | ケーブルラック H:100 x W:800 x 1段 Z35 カバー共 | |
| ※D | ケーブルラック H: 75 x W:300 x 1段 ZM | |
| ※E | ケーブルラック H: 75 x W:600 x 1段 ZM | |

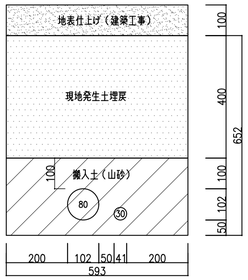
## 2階改修図



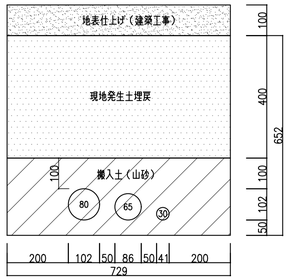

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録 大臣（ ） | 構造設計 一級建築士登録 交付番号（ ） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－10 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録 大臣（ ） | 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（ ） | | 図名 | 受変電、幹線設備改修平面図 | 縮尺 A1：1/150 A3：1/300 |

File $f

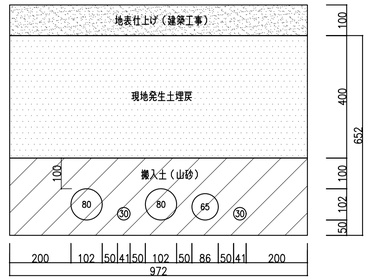
## 断面一（ア）



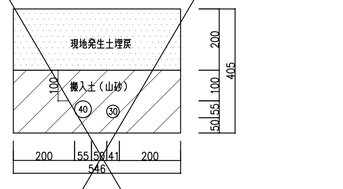

## 断面一（イ）



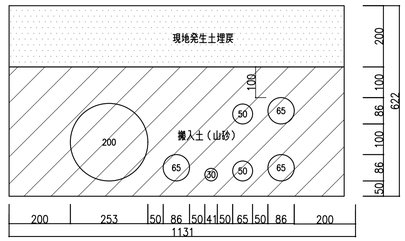

## 断面一（ウ）



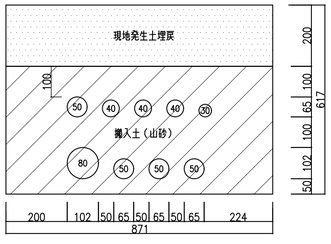

## 断面一（エ）



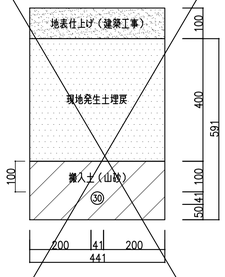

## 断面一（オ）



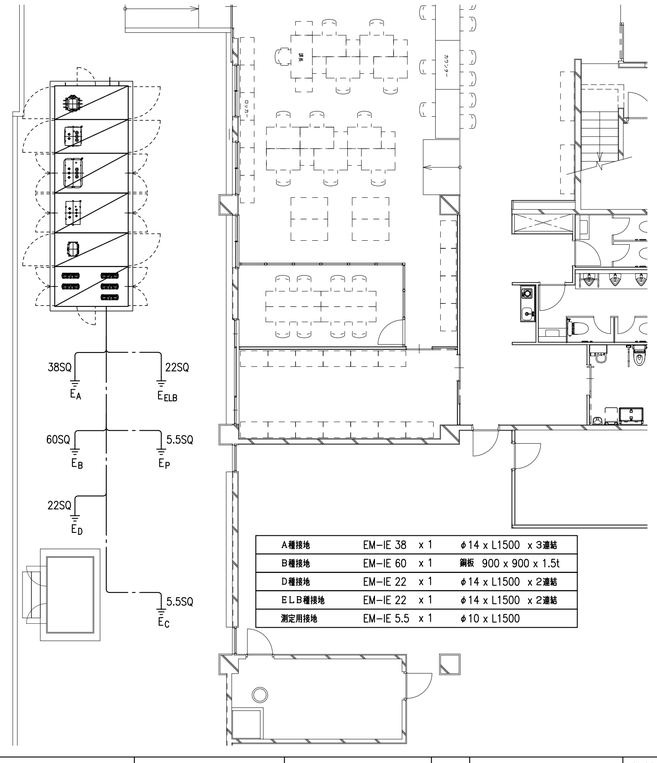

## 断面一（カ）




## 断面一（キ）




## 接地工事　S=1:100




| | | |
|---|---|---|
| A種接地 | EM-IE 38　x 1 | φ14 x L1500　x 3連結 |
| B種接地 | EM-IE 60　x 1 | 銅板　900 x 900 x 1.5t |
| D種接地 | EM-IE 22　x 1 | φ14 x L1500　x 2連結 |
| ELB種接地 | EM-IE 22　x 1 | φ14 x L1500　x 2連結 |
| 測定用接地 | EM-IE 5.5　x 1 | φ10 x L1500 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. | E - 11 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 幹線設備根切り断面図<br>接地工事図 | 縮尺 | A1：1/10　1/100<br>A3：1/20　1/200 |

File $f

## 1 機器仕様 NOT

1.一般事項

1-1 種　類
日本内燃力発電設備協会の認定する40秒始動、長時間形(定格：1時間超)
キュービクル式(日本内燃力発電設備協会発行の消防認定証票付とする)

1-2 適用規格
(a)日本工業規格(JIS)
(b)日本電気規格調査会標準規格(JEC)
(c)日本電機工業会標準規格(JEM)
(d)電気設備技術基準
(e)消防法

1-3 使用条件
設置場所　地上○階(屋外)
温　　度　-5℃～40℃
湿　　度　85%RH以下
騒　　音　機側1mで約75dB(A)以下(4方向平均値)
(防音パッケージ内蔵形)

2.機器構成

| | |
|---|---|
| 発電機 | 1台　(参考品番　KT-400CL) |
| ディーゼル機関及び付属機器 | 1式 |
| 防音パッケージ | 1基 |
| 発電機盤 | 1面 |
| 始動用蓄電池設備 | 1式 |
| 燃料小出槽 | 1式 |

(1)発電機

| | |
|---|---|
| 台　　数 | 1台 |
| 形　　式 | 横軸回転界磁形三相交流同期発電機 |
| 定格出力 | 350kVA |
| 出力電圧 | 210V |
| 周 波 数 | 60Hz |
| 力　　率 | 0.8 遅れ |
| 回 転 数 | 1800min$^{-1}$ |
| 相　　数 | 3相 3線 |
| 極　　数 | 4極 |
| 励磁方式 | ブラシレス方式 |
| 絶縁種別 | H種 |
| 定　　格 | 連続 |
| 保護方式 | 開放形(IP00) |
| 冷却方式 | 自由通風形(IC01) |
| 電圧変動率 | 瞬時-30%以内<br>整定±2.0%以内 |
| 逆相電流 | 15%以内 |
| 塗装色 | メーカー標準塗装 |

(2)ディーゼル機関

| | |
|---|---|
| 台　　数 | 1台 |
| 形　　式 | 立形直列水冷4サイクルディーゼル機関 |
| 出　　力 | 346kW |
| 回 転 数 | 1800min$^{-1}$ |
| 燃　　料 | A重油 |
| 燃料消費量 | 77L/h(330kW定格時) |
| 燃料方式 | 別置タンク方式(1950L) |
| 始動方式 | 電気式(セルモータ式) |
| 始動時間 | 40秒以内 |
| 冷却方式 | ラジエータ冷却方式<br>ラジエータ風量：375m$^3$/min |
| 冷却水量 | 66.0L |
| 潤滑油量 | 38L(全量)(第4石油類) |
| 防振装置 | ゴム防振 |
| 速度整定率 | 5%以内 |
| 瞬時速度変動率 | 10%以内 |
| 塗装色 | メーカー標準塗装 |

(3)防音パッケージ

| | |
|---|---|
| 台　　数 | 1基 |
| 形　　式 | 吸音遮蔽式 |
| 構　　造 | 鋼板製溶接構造 |
| 搭載機器 | 排気消音器 |
| 性　　能 | 機側1mで約75dB(A)以下<br>4方向エネルギー平均値※半自由音場下による |
| 塗装色 | メーカー標準塗装 |

(4)発電機盤

| | |
|---|---|
| 台　　数 | 1面 |
| 形　　式 | 屋内鋼板製閉鎖形(搭載盤) |
| 遮 断 器 | 1-MCCB |
| 操作方式 | 自動及び手動操作方式 |
| 制御電源 | DC24V電源(始動用蓄電池より供給) |
| 保守機能 | 自動保守運転のインターバル設定は1，2，3，4週間設定可能とし、運転時間は1，3，5分を選択できること。<br>またエコモードとして、一週間に1回、8秒間運転が出来ること。 |

充電器

| | |
|---|---|
| 型　　式 | 自動充電式 |
| 入力電圧 | 単相・210V・60Hz |
| 出力電源 | DC24V |
| 予備品 | ヒューズ実数分 |
| 塗装色 | メーカー標準塗装 |

(5)始動用蓄電池設備

| | |
|---|---|
| 型　　式 | 制御弁式鉛蓄電池(REH) |
| 容　　量 | 140Ah(70Ah × 2)(連続始動回数：3回以上) |
| 電　　圧 | 24V |

(6)燃料小出槽

| | |
|---|---|
| 形　　式 | 鋼板溶接製角形(キュービクル式) |
| 容　　量 | 1950L |
| 付属品 | フロートスイッチ、直読式液面計<br>ウィングポンプ25A、架台 |
| 塗装色 | メーカー標準塗装 |

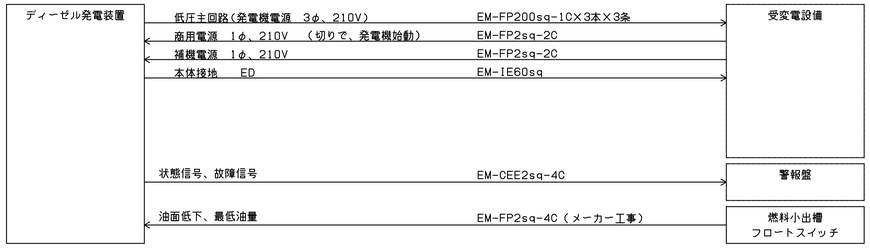
## 2 保護装置 NOT

| | 故障 | 機関停止 | 遮断器開放 | 警報装置 警報 | 警報装置 表示 | 中央監視 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 重故障 | 潤滑油油圧低下 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○一括 |
| | 冷却水温度上昇 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 過回転 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 始動渋滞 | ○ | — | ○ | ○ | |
| | 過電流 | × | ○ | ○ | ○ | |
| | 緊急停止 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 燃料小出槽最低油量 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | | | |
| 軽故障 | 燃料小出槽油面低下 | × | × | ○ | ○ | |
| | | | | | | |

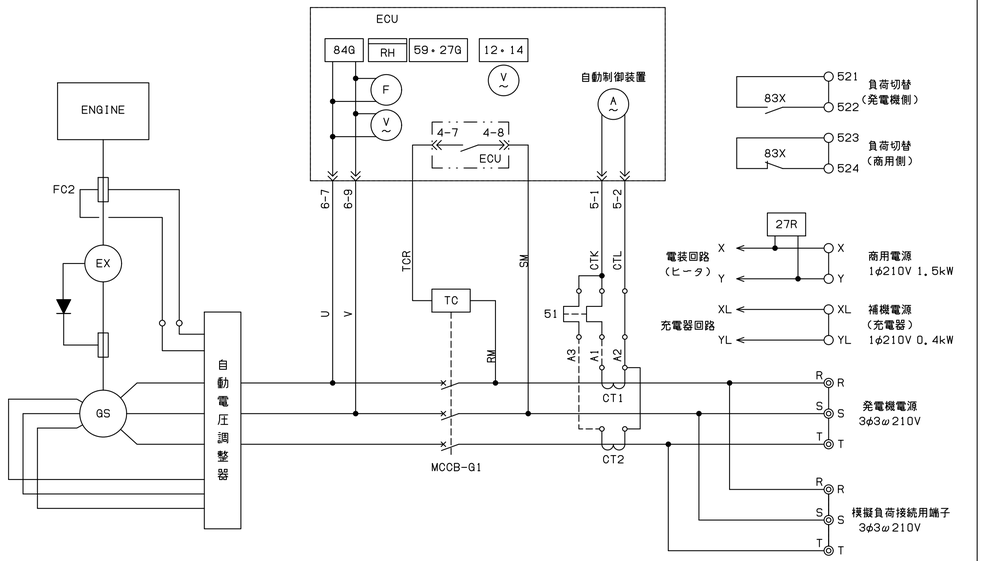
## 3 外部信号取合い NOT

| 項目 | 信号出力先 受変電設備 | 信号出力先 警報盤 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 発電 | ○ | ○ | 運転信号 |
| 故障一括 | ○ | ○ | |
| 負荷切替(発電機側) | ○ | — | 切替器制御用 |
| 負荷切替(商用側) | ○ | — | 切替器制御用 |

## 4 配線系統図 NOT




## 5 単線結線図 NOT

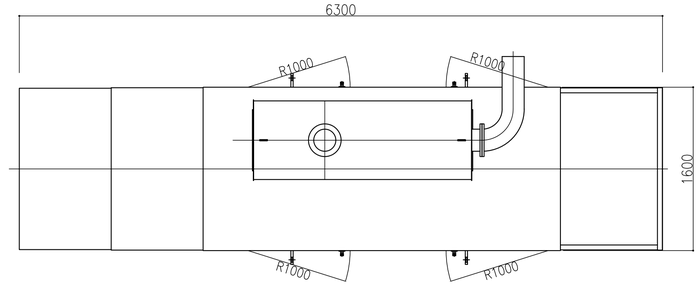


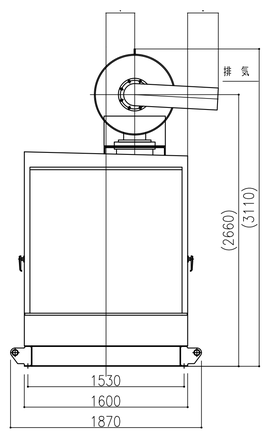

## 6 機器外形図 A1:1/30 A3:1/60

乾燥質量：約6600kg
整備質量：約6840kg
騒音値機側1m平均75dB

※使用鋼材

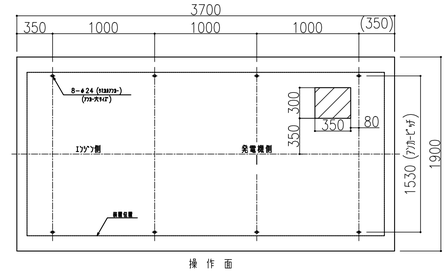
| | 板厚 | 材質 |
|---|---|---|
| ｷｭｰﾋﾞｸﾙ | t3.2 | SEHC |
| ｺﾓﾝﾍﾞｰｽ | t6 | SS400 |



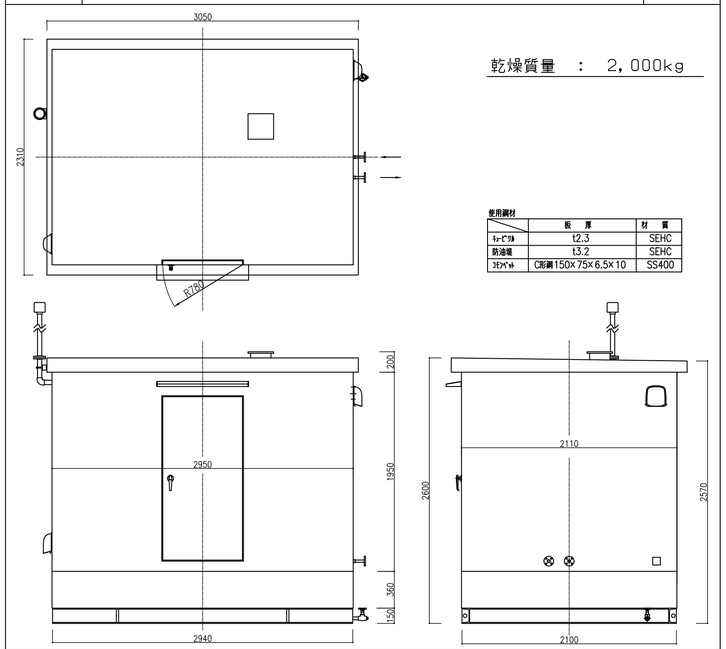




発電機下部は、油配管の損傷等が発生した時に漏れ出した油を受けられる様にする事。

## 7 基礎及び電線立上り位置図 A1:1/30 A3:1/60




## 8 1950L 燃料キュービクルタンク外形図 A1:1/30 A3:1/60




| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣(　　) | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号(　　) | |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣(　　) | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号(　　) | |

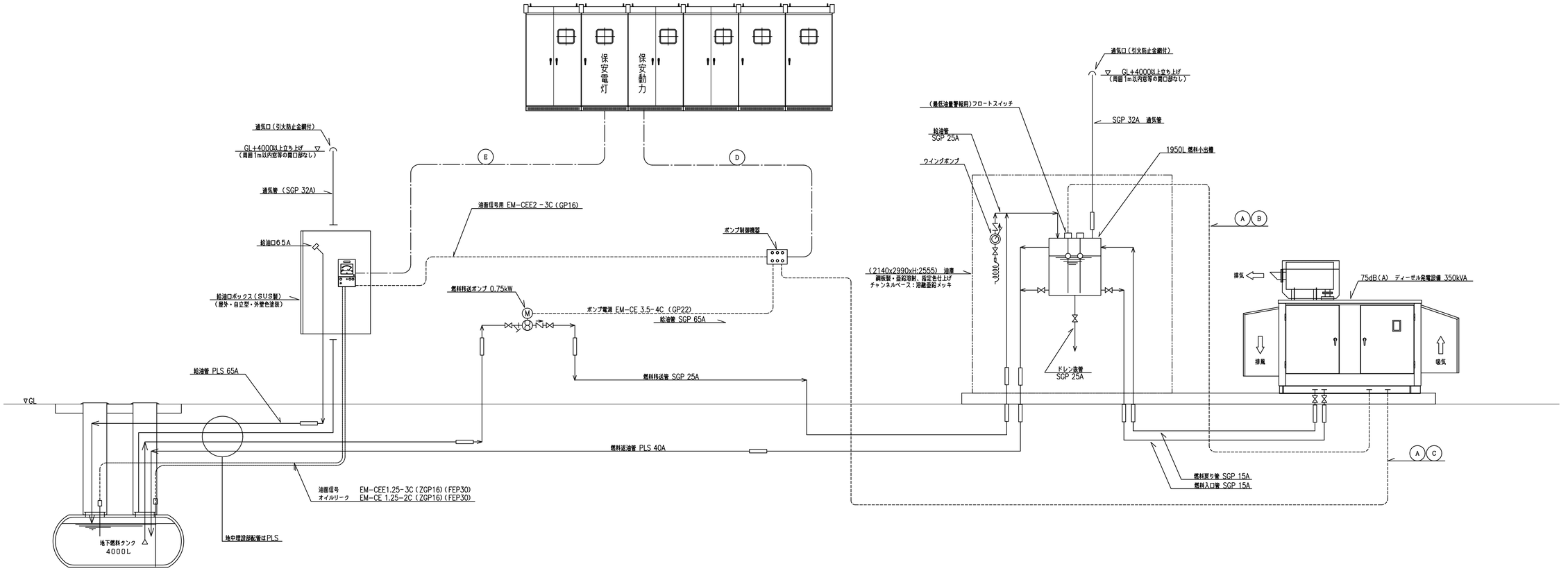
名称　竜王町総合庁舎別館改修工事
No.　E－12
図名　発電機設備仕様・参考姿図
縮尺　A1：N/S　A3：N/S

File 3f

配管系統図

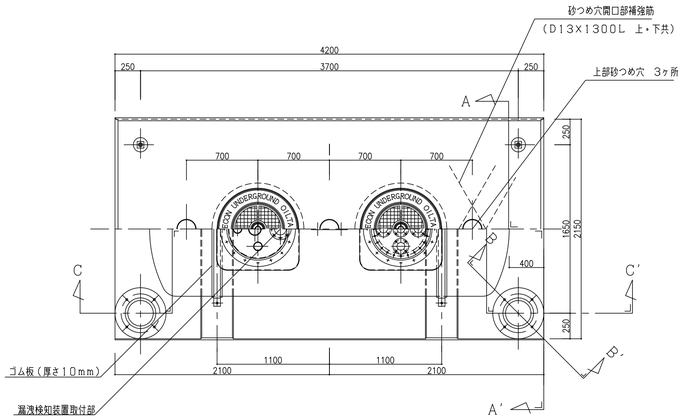
配線リスト

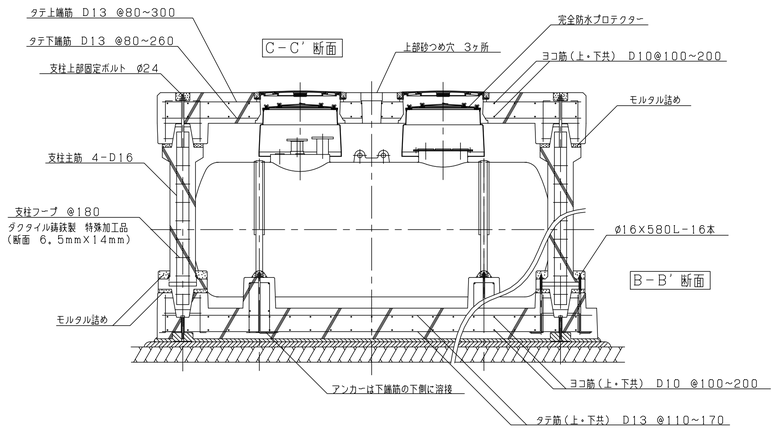
| 番号 | 発 | 至 | 配線 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| A | フロートスイッチ（燃料小出槽） | ポンプ制御盤 | EM-CEE 2 -6C　（GP22） | ポンプ発停信号用 |
| B | フロートスイッチ（燃料小出槽） | 発電装置 | EM-CEE 2 -2C　（GP16） | 最低油量警報用（予備） |
| C | ポンプ制御装置 （燃料小出槽） | 監視室警報盤 | EM-CEE 2 -2C　（GP22） | ポンプ故障、油面警報一括信号 |
| D | 保安動力配電盤 | ポンプ制御盤 | EM-CE5.5-3C E2.0（GP22） | ポンプ電源（ポンプ制御盤） |
| E | 保安電灯配電盤 | 油庫　給油口ボックス | EM-CE5.5-2C E2.0（GP22） | 油庫照明他電源 |

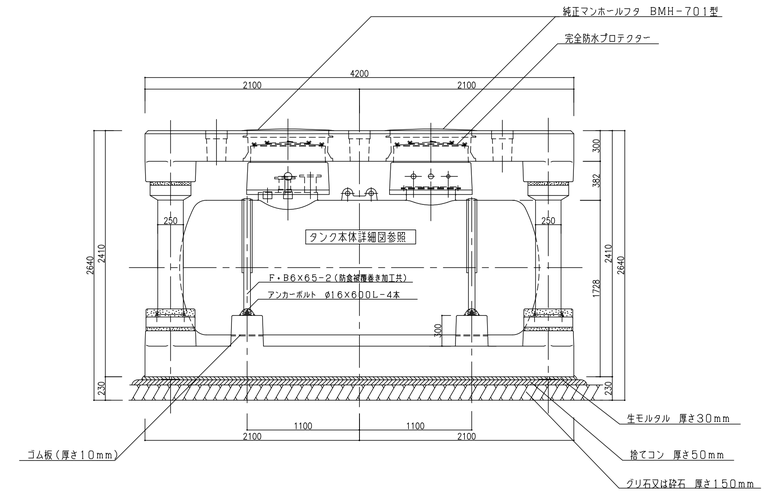


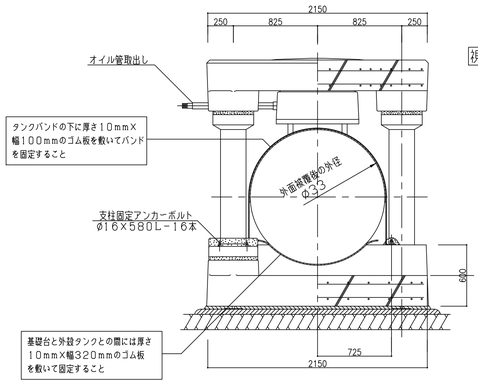

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>E - 13 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 発電機・油庫・地下オイルタンク参考系統図 | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

File $f



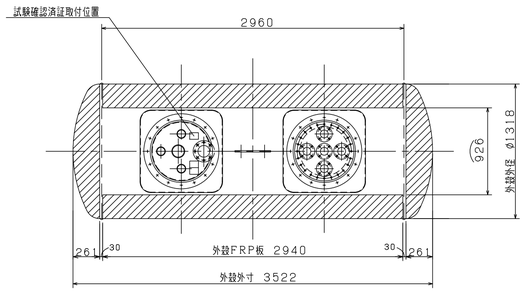



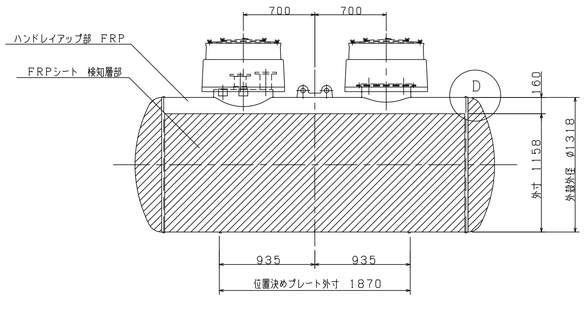

重 量 表

| | ton |
|---|---|
| 基礎コンクリートパーツ単体重量 | 7.7 |
| 上部コンクリートパーツ単体重量 | 6.3 |
| 支柱 1本の重量 | 0.27 |
| タンク本体重量 | 0.96 |
| 基礎パーツにタンクをセットした重量 | 3.66 |

SF二重殻タンク 4000型 プレコン地下タンク設備 1/40 SDB020

## 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク 二重殻(外殻)施工構造図

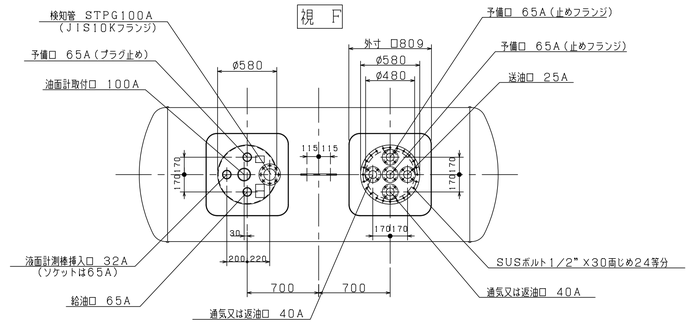


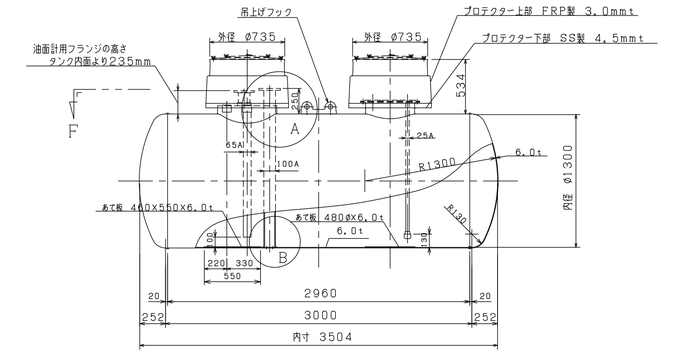



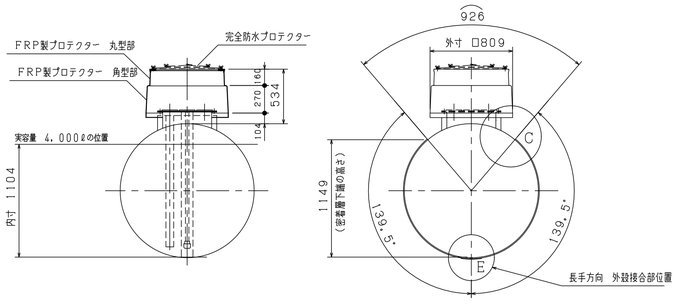

| | |
|---|---|
| 空 間 容 積 | 415L (415/4415=9.4%) |
| タンク実容量 | (4415-415) 4,000L |

タンク本体(内殻)材質 JISG3101 SS400(胴板及び鏡板共)

## 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク タンク本体図(内殻)



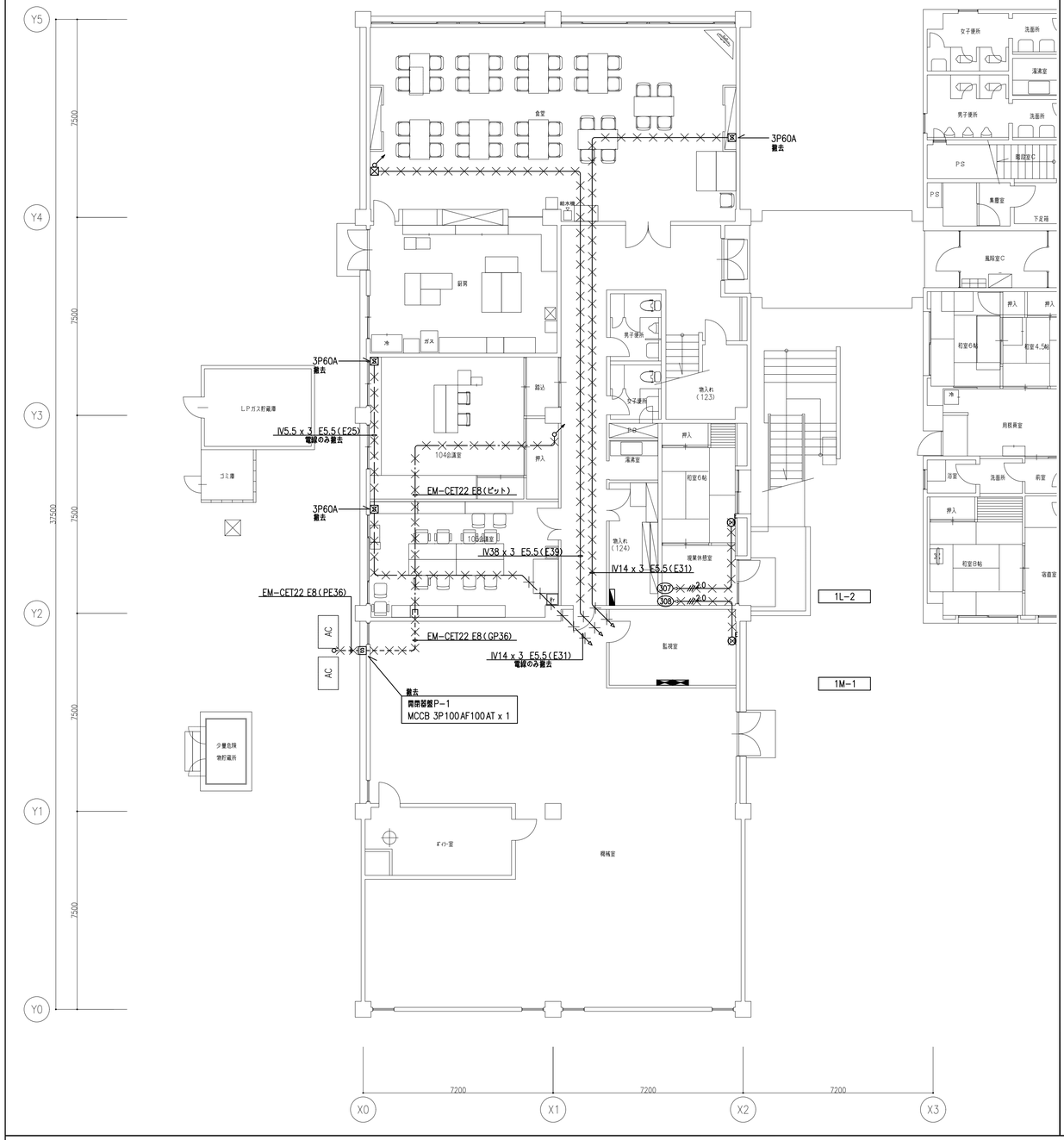



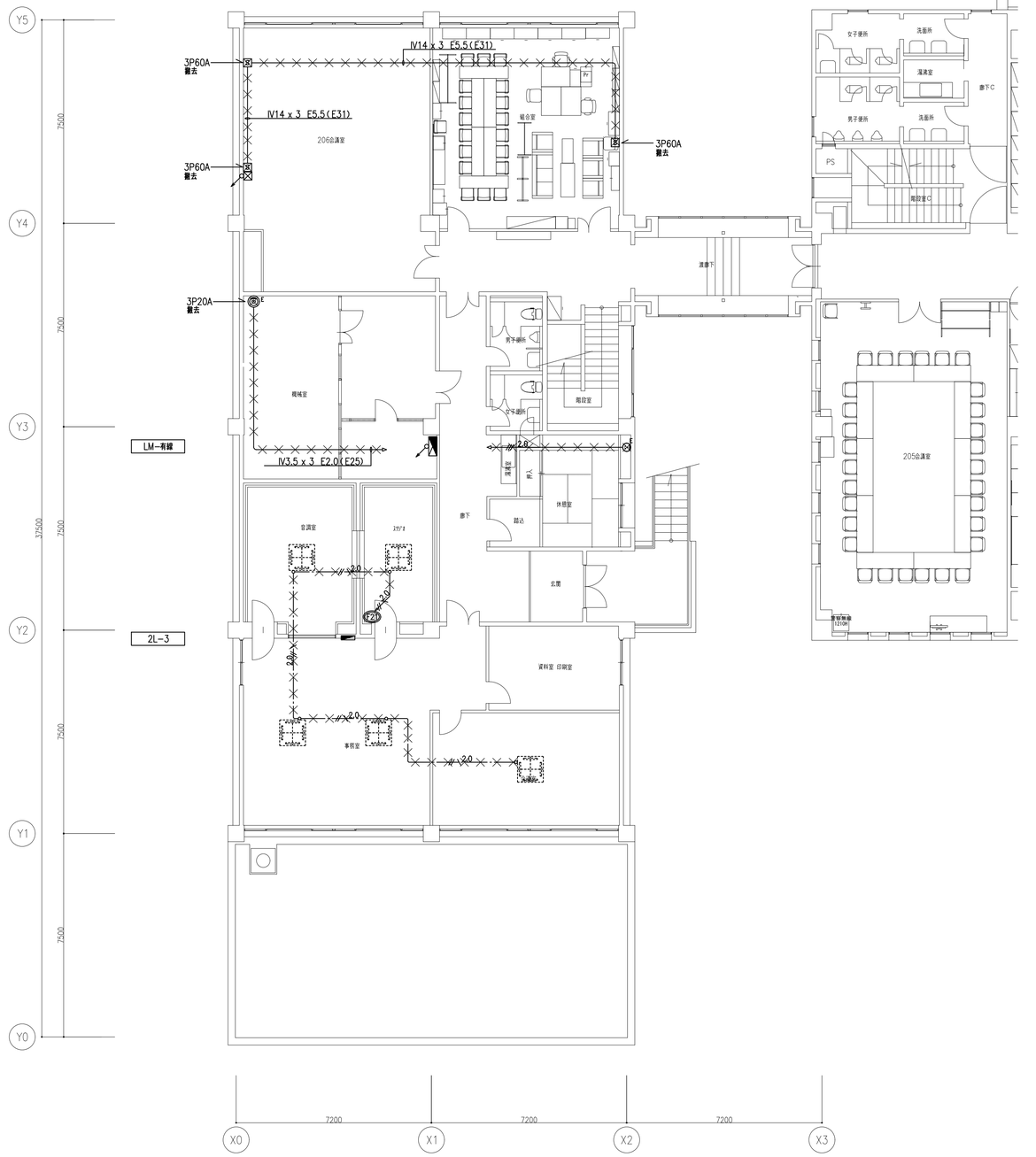

| 株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第タ39号 | 坂橋 晶一 一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録 大臣( ) | 構造設計 一級建築士登録 交付番号( ) | | 名称 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E-14 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録 大臣( ) | 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号( ) | | 図名 地下オイルタンク仕様図 | 縮尺 A1:1/30 A3:1/60 |

File $f

## 1階撤去図




## 2階撤去図



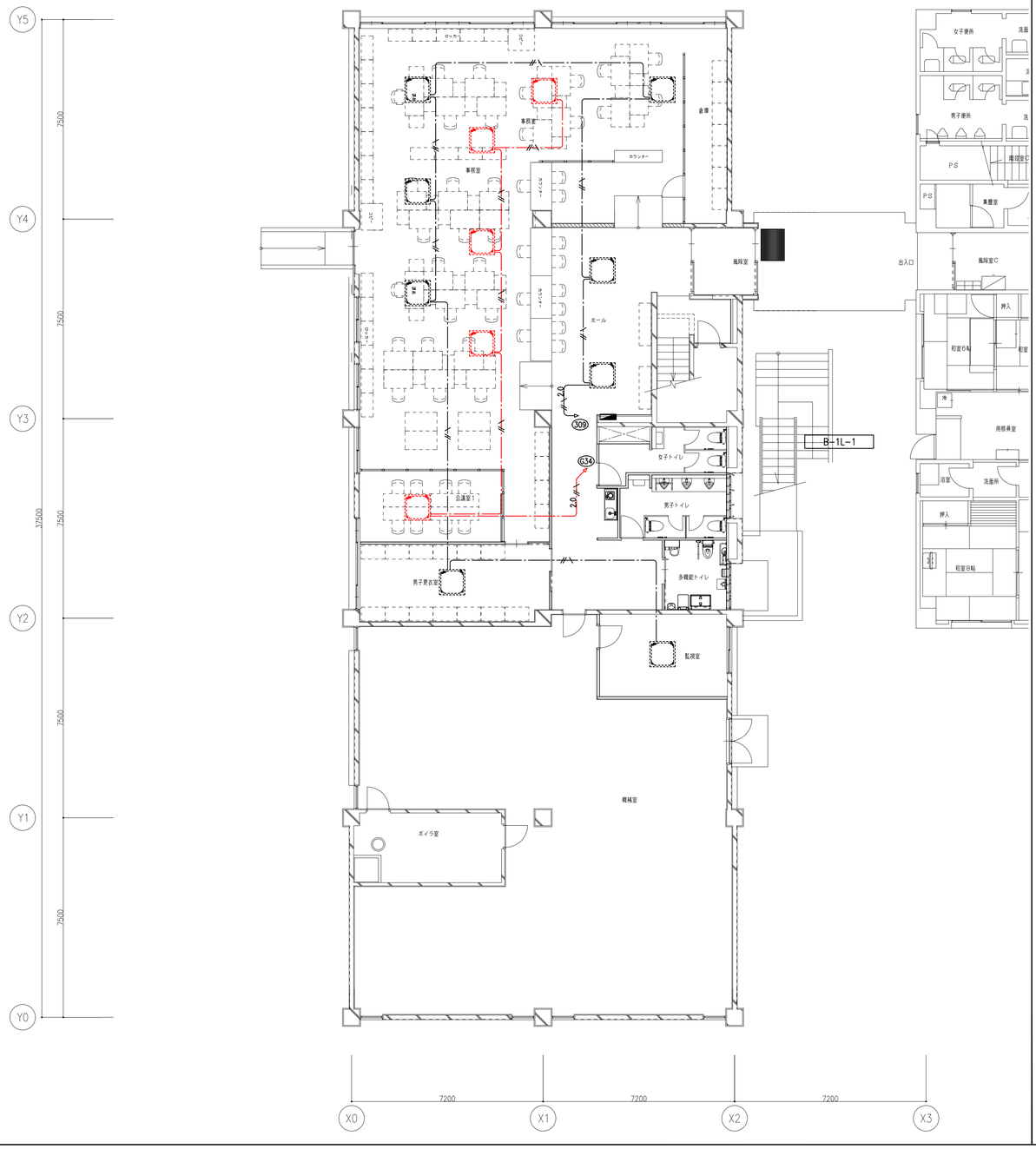

凡例

| 特記無き配管・配線は下記による。 | |
|---|---|
| 2.0 | IV 2.0 x 3 (E19) 電線のみ撤去 |
| 2.0 | EM-EEF2.0-3C (PF22) |
| PF配管は壁面のみ、2重天井内はころがし配線。 | |

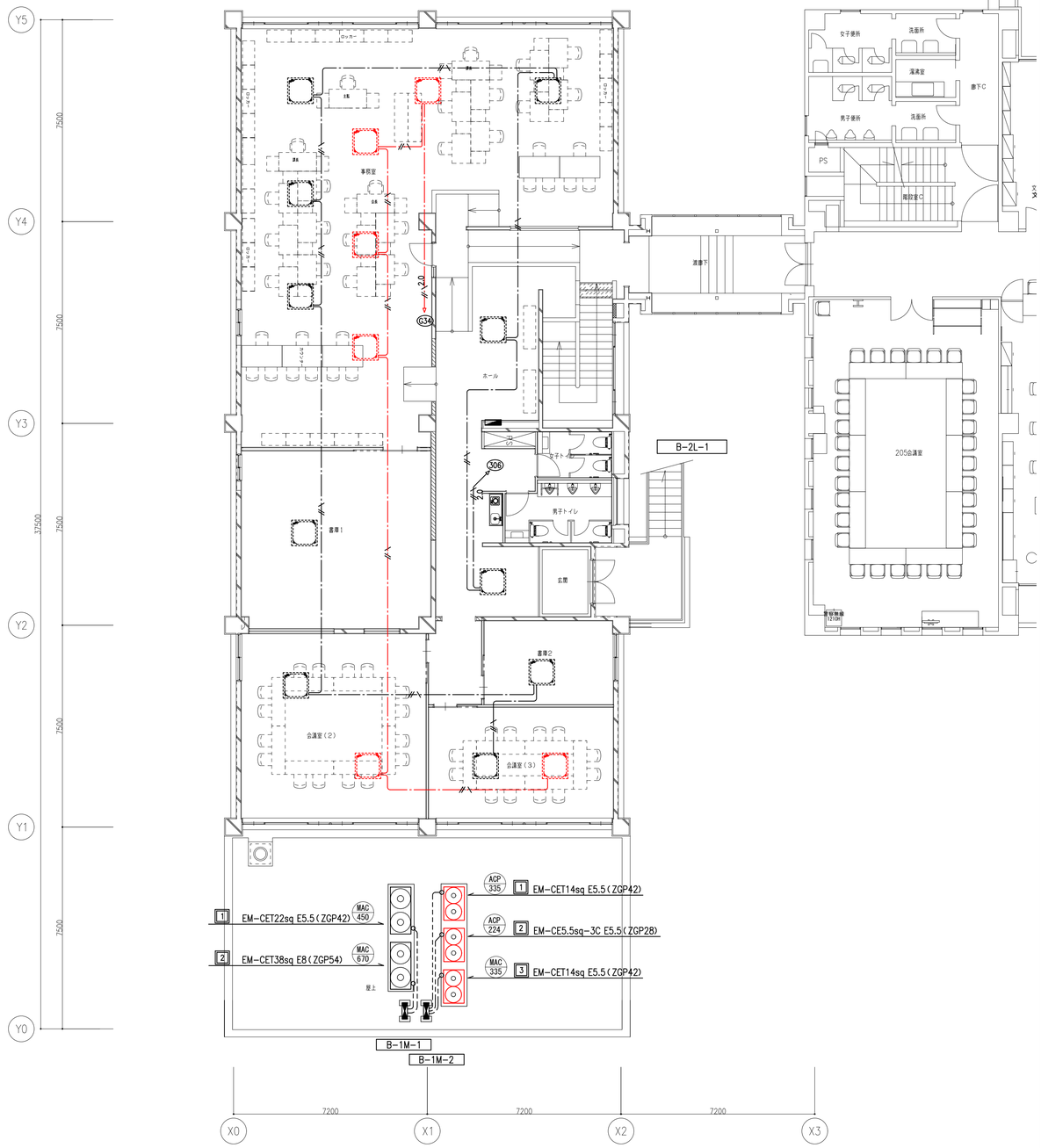
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－15 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 | 動力設備撤去図 | 縮尺 A1：1/100 A3：1/200 |

File $f

## １階改修図




## ２階改修図



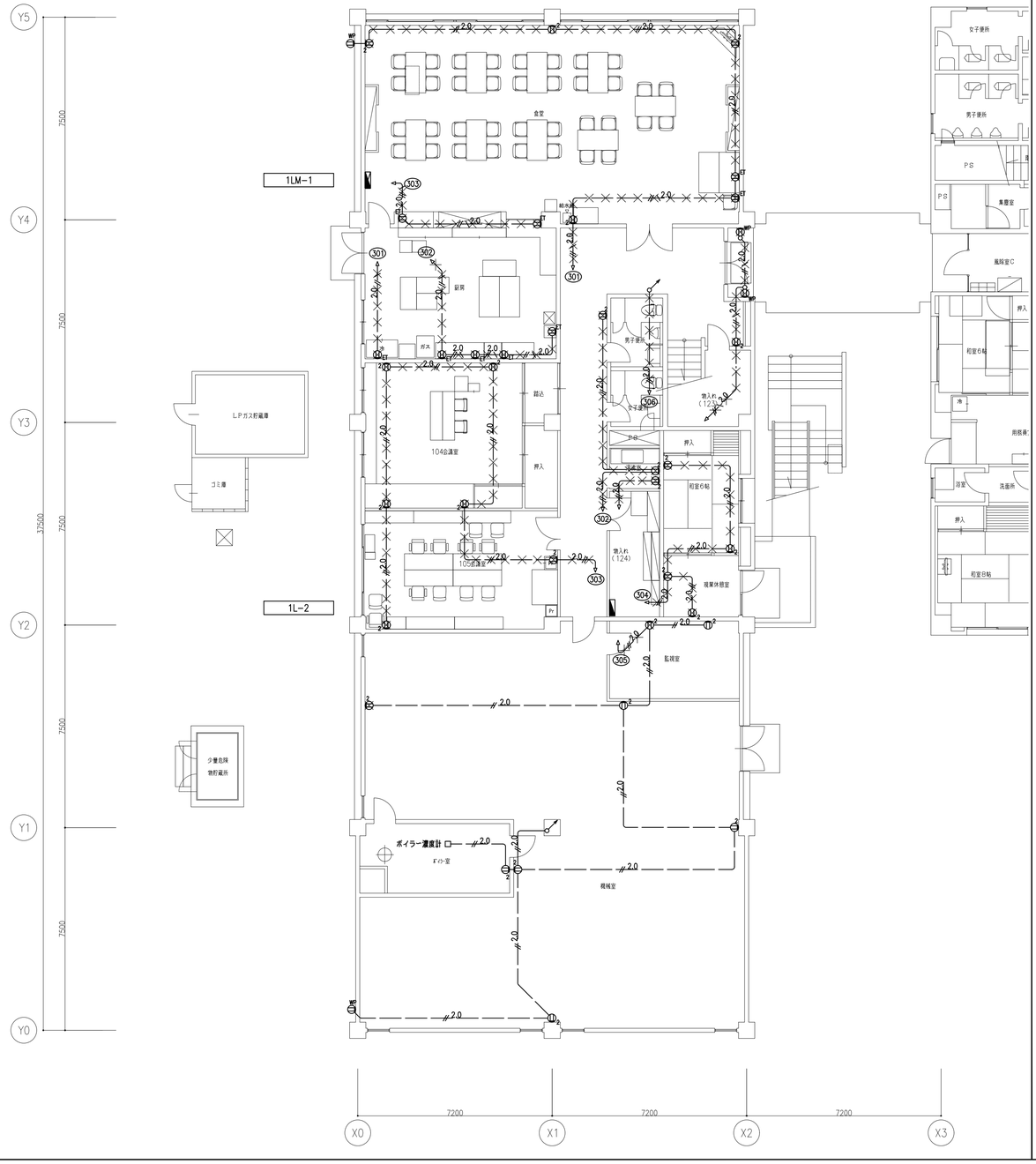

凡例

| 特記無き配管・配線は下記による。 | | |
|---|---|---|
| ―//― | EM-EEF1.6-3C | （PF22） |
| ―//―2.0 | EM-EEF2.0-3C | （PF22） |
| ＰＦ配管は壁面のみとし、２重天井内はころがし配線とする。 | | |

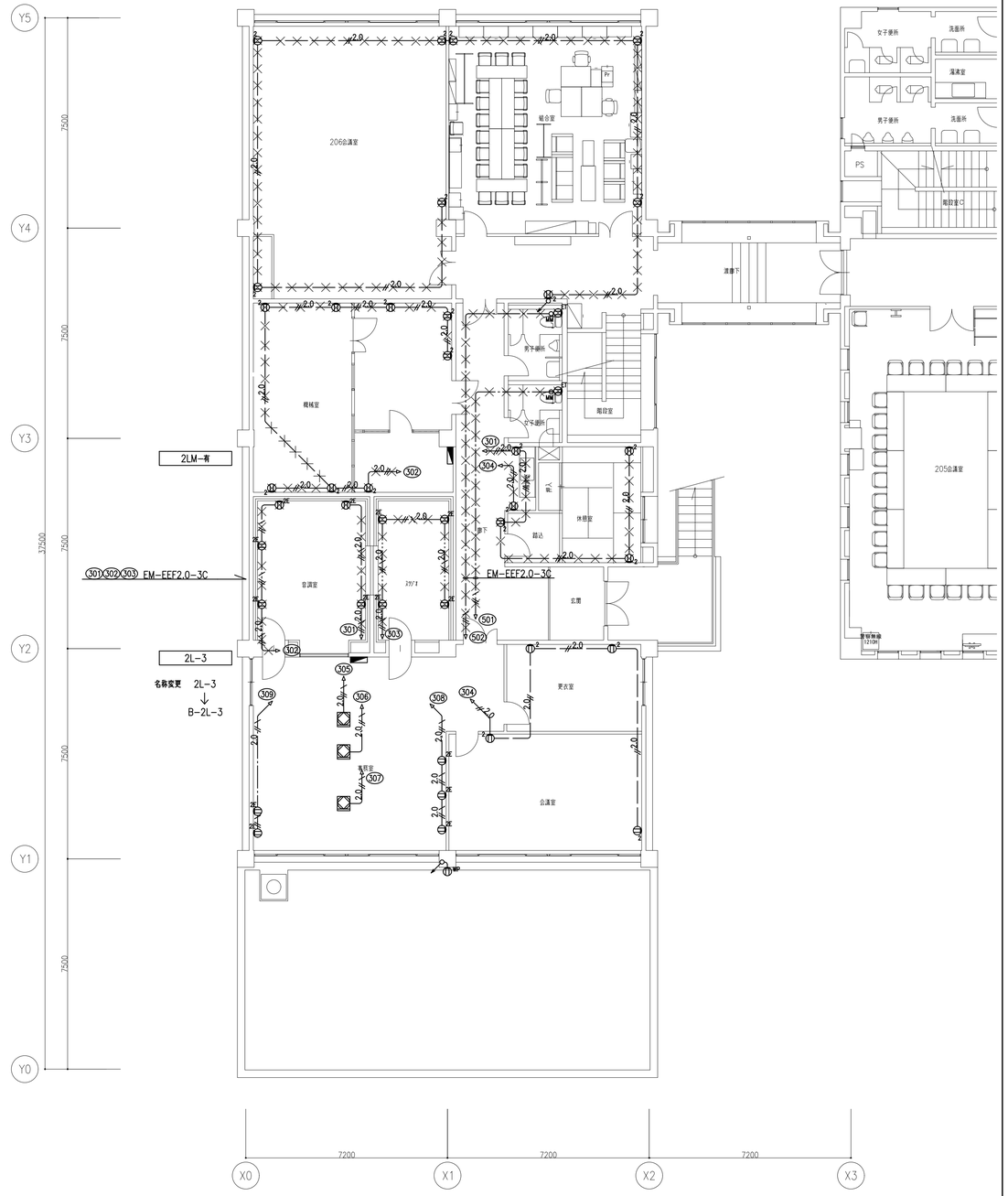
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>E－16 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>動力設備改修図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## 1階撤去図




## 2階撤去図




### 撤去電線・ケーブル凡例

| | | |
|---|---|---|
| 特記無き配管・配線は下記による。 | | |
| 2.0 | IV 2.0 x 2 | (E19) |
| 2.0 | IV 2.0 x 3 | (E19) |
| | 撤去を示す | |
| PF配管は壁面のみ、2重天井内はころがし配線。 | | |
| 配管打込み部分は電線のみ撤去、配管隠ぺい部分は配管、電線共に撤去。 | | |

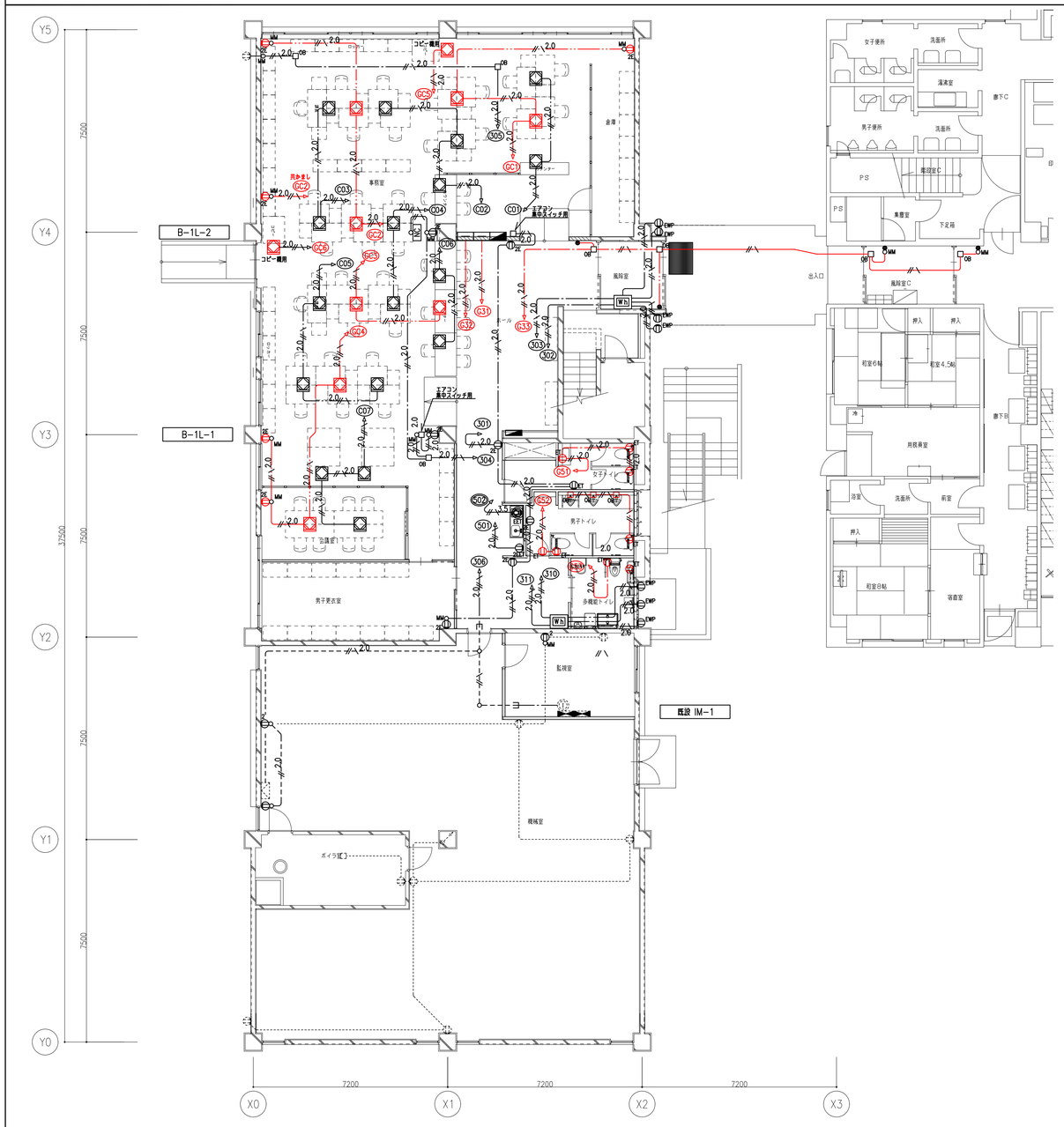
### 撤去配線器具凡例

| | |
|---|---|
| $\oplus_2$ | 埋込コンセント 2P15A x 2 |
| $\oplus_{2E}$ | 埋込コンセント 2P1E15A x 2 接地極付 |
| $\oplus_{ET}$ | 埋込コンセント 2P1E15A x 1 接地端子付 |
| $\oplus_{WP}$ | 防水コンセント 2P15A x 2 |
| MM | メタルモールスイッチボックス 天井までメタルモール A型 |
| | 通線カバー (パナソニック DUN1200K相当品) |

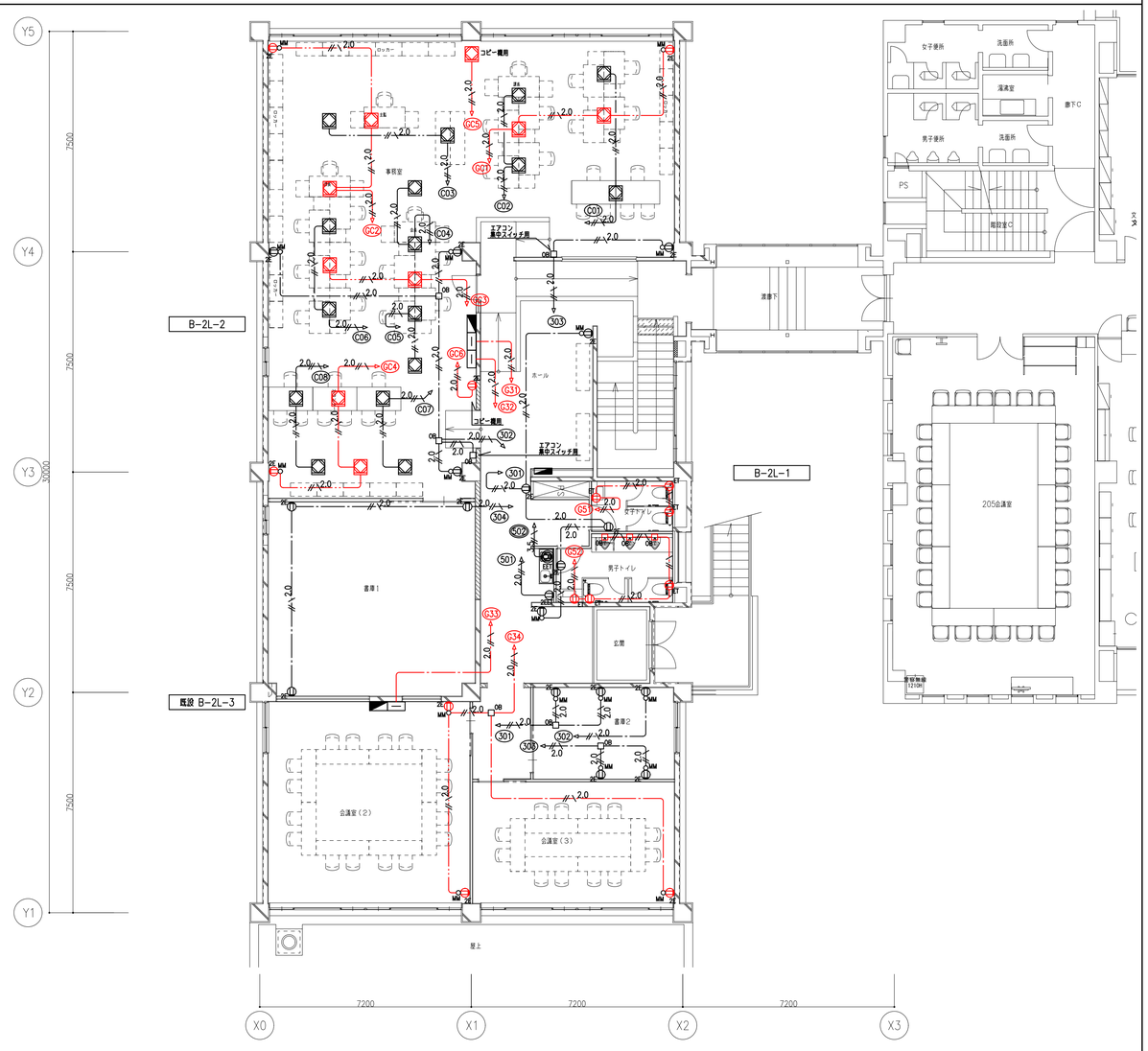
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>E - 17 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名<br>コンセント設備撤去図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

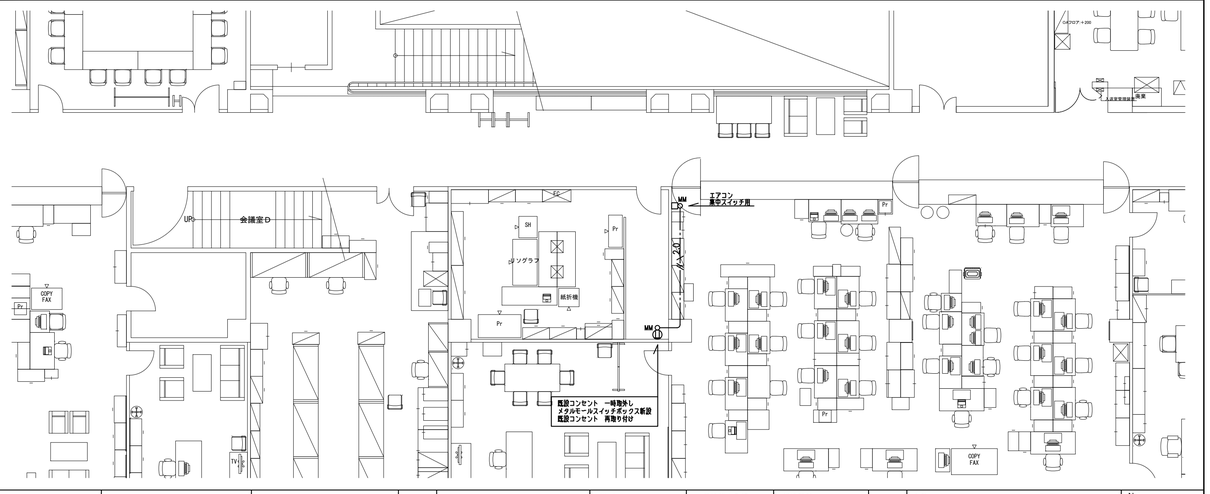
## 1階改修図




## 2階改修図




## 本庁舎２階改修図




### 電線・ケーブル凡例

| | | |
|---|---|---|
| 特記無き配管・配線は下記による。 | | |
| ―//― | EM-EEF1.6-3C | (PF22) |
| ―//―2.0 | EM-EEF2.0-3C | (PF22) |
| ―//―3.5 | EM-CE 3.5SQ-4C | (PF22) |
| - - -//- - - | EM-EEF1.6-3C | ( E25 ) |
| - - -//-2.0 | EM-EEF2.0-2C | ( E25 ) |
| - -//-2.0 - | EM-EEF2.0-3C | ( E25 ) |
| PF配管は壁面のみとし、２重天井内はころがし配線とする。 | | |

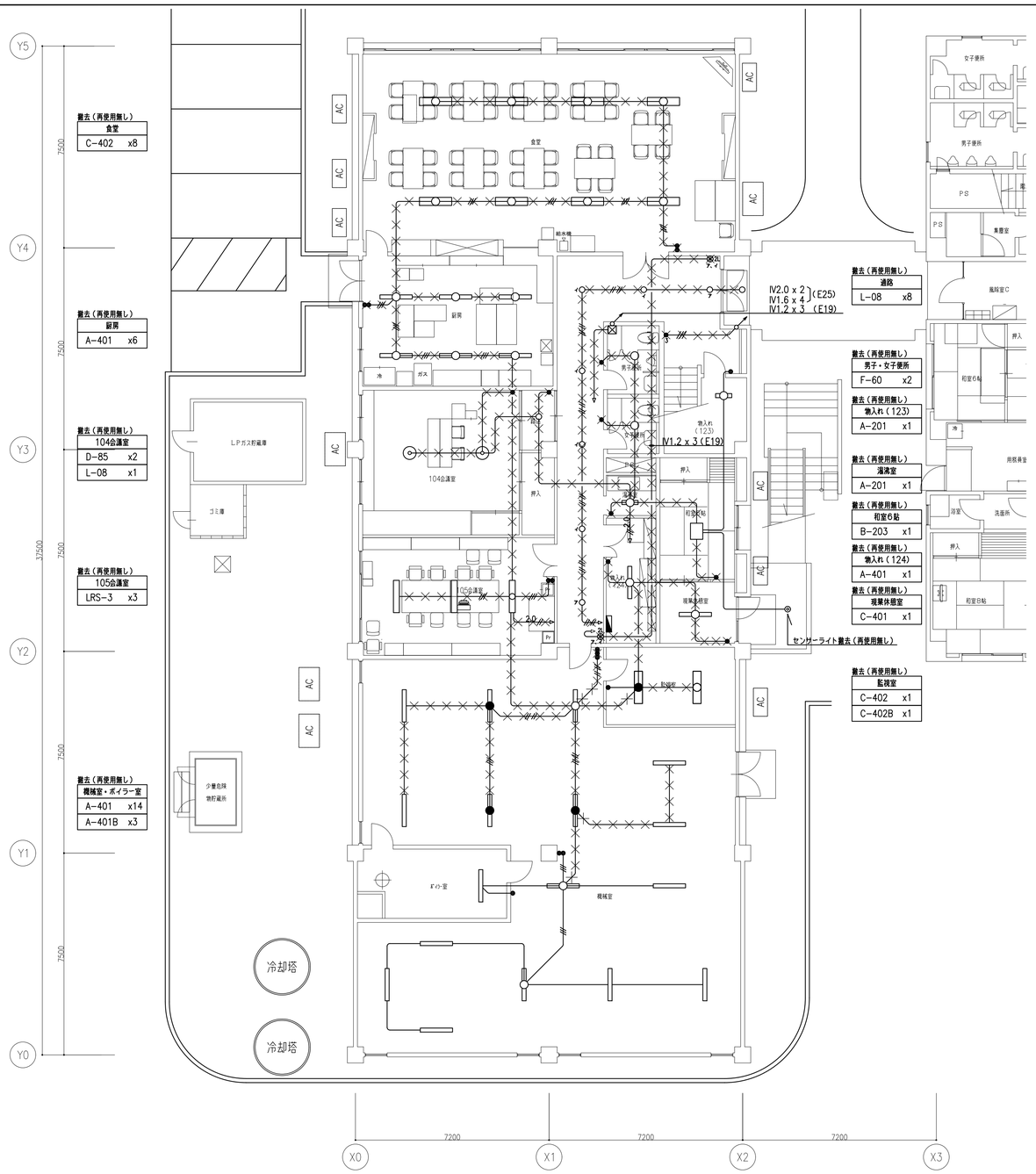
| | | |
|---|---|---|
| ⓤ | 埋込コンセント 2P15A x 1 | |
| ⓤ2 | 埋込コンセント 2P15A x 2 | |
| ⓤEE | 埋込コンセント 2P1E15A x 2 | 接地極付 |
| ⓤET | 埋込コンセント 2P1E15A x 1 | 接地端子付 |
| ⓤEET | 埋込コンセント 2P1E15A x 2 | 接地極接地端子付 |
| ⓤEMP | 防水コンセント 2P1E15A x 2 | 接地端子付 |
| ◎EET | 200Vコンセント 2P1E20A x 1 | 接地極接地端子付 |
| ○MM | メタルモールスイッチボックス | 天井までメタルモール A型 |

| | | |
|---|---|---|
| □OB | アウトレットボックス | VE製 四角中浅 |
| | インナーコンセントスクエア型（コンセント2E×1付） | （NE35519相当品） |
| | 情報コンセント（電話用6極4芯） x1 | （スペースのみ） |
| | 情報コンセント（Cat6） x2 | （スペースのみ） |
| | ※ 各インナーコンセント用に、4個口OAタップ（接地15A抜け止め形、3mコード、 | |
| | マグネット、電源表示付） x1個を納品する事。 | |
| Wh | 自販機用電力量計盤 電力量計1φ2W100V（検定付き）x4個 実装 | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大阪（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. | E－18 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大阪（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 | コンセント設備改修図 | 縮尺 | A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## 1階撤去図




### 撤去照明器具凡例

| 記号 | 型式・形状 | | 参考品番 | その他 |
|---|---|---|---|---|
| A-201 | 直付 | FL 20W-1 | | トラフ型 |
| A-401 | 直付 | FL 40W-1 | | トラフ型 |
| A-401B | 直付 | FL 40W-1 | | トラフ型 蓄電池内蔵 |
| B-203 | 直付 | FL 20W-3 | | シーリングライト |
| C-401 | 埋込 | FL 40W-1 | | |
| C-402 | 埋込 | FL 40W-2 | | |
| C-402B | 埋込 | FL 40W-2 | | 蓄電池内蔵 |
| D-85 | 直付 | ツイン85W | HFA7624K | シーリングライト |
| E-101 | 直付 | FL 10W-1 | | ウォールライト |
| F-60 | 直付 | IL 60W-1 | | コップ型 |
| L-08 | 埋込 | LED ダウンライト | LRS1-08 | |
| LRS-3 | 埋込 | LED 40型 | | |

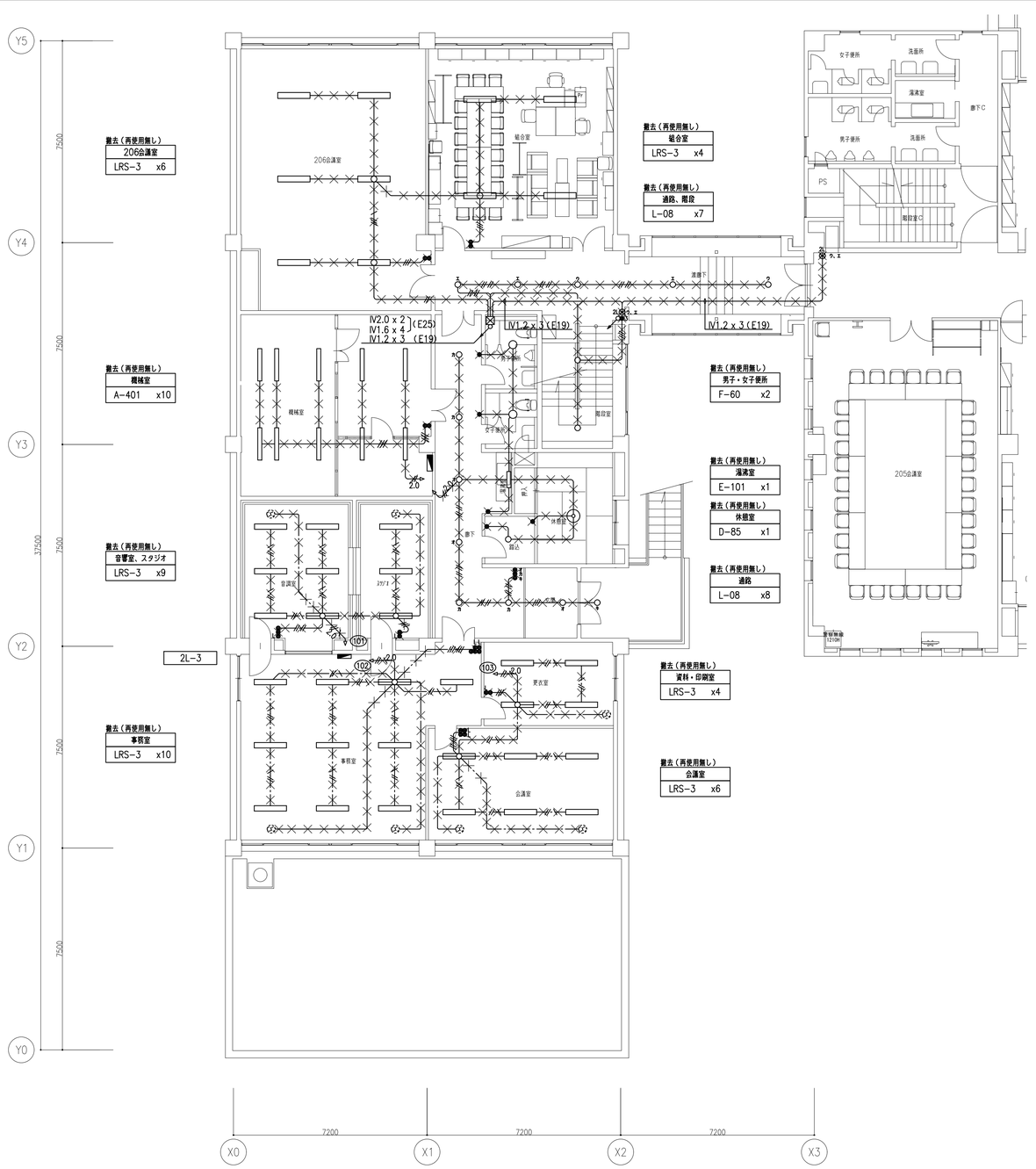
### 撤去電線・ケーブル凡例

| | | |
|---|---|---|
| 特記無き配管・配線は下記による。 | | |
| ———— | IV 1.6 x 2 | (E19) |
| ———//——— | IV 1.6 x 3 | (E19) |
| ———///——— | IV 1.6 x 4 | (E19) |
| ———//——— 2.0 | IV 2.0 x 2 | (E19) |
| ——-·—— | EM-EEF1.6-2C | (PF16) |
| ———\——— | EM-EEF1.6-3C | (PF22) |
| ———//——— | EM-EEF1.6-2C x 2 | (PF22) |
| ———#——— | EM-EEF1.6-2C + 3C | (PF22) |
| ———///——— | EM-EEF1.6-3C x 2 | (PF22) |
| ———//——— 2.0 | EM-EEF2.0-3C | (PF22) |
| ——×——×—— | 撤去を示す | |
| PF配管は壁面のみ、2重天井内はこうがし配線。 | | |

### 撤去配線器具凡例

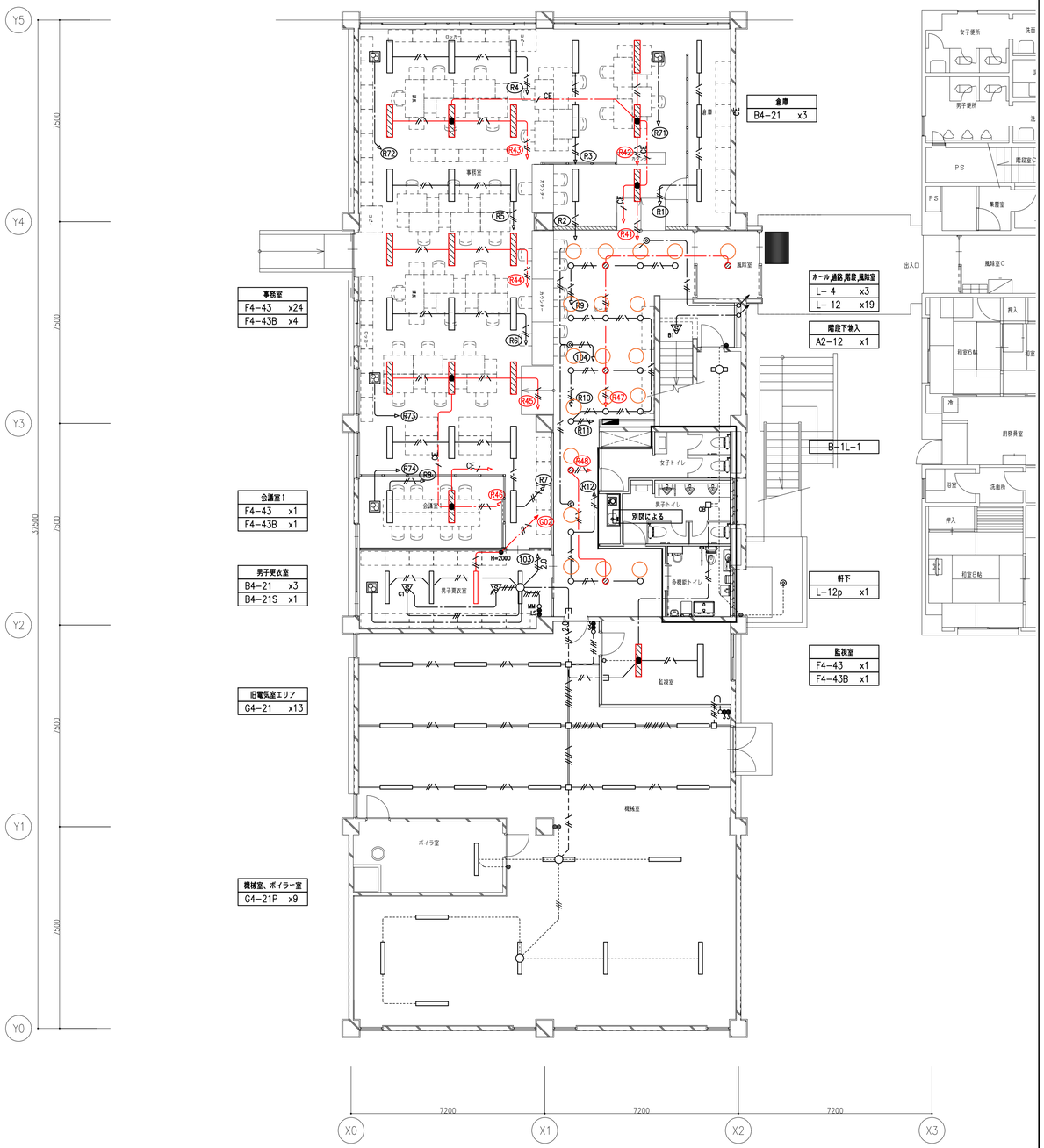
| | |
|---|---|
| ● | 片切スイッチ x 1 |
| ●2 | 片切スイッチ x 2 |
| ●3 | 片切スイッチ x 3 |
| ●3 L | 3路スイッチ |
| ●L | 片切スイッチ x 1 + 片切スイッチ（LED表示付）x 1 |
| ●2 L | 片切スイッチ x 2 + 片切スイッチ（LED表示付）x 1 |
| ●L 2 | 片切スイッチ x 2 + 片切スイッチ（LED表示付）x 2 |
| ●3 L 2 | 片切スイッチ x 3 + 片切スイッチ（LED表示付）x 2 |
| ●WP | 防水スイッチ |
| 2L | ワンショットリモコンスイッチ（2L） |
| | |
| | |
| | |

## 2階撤去図

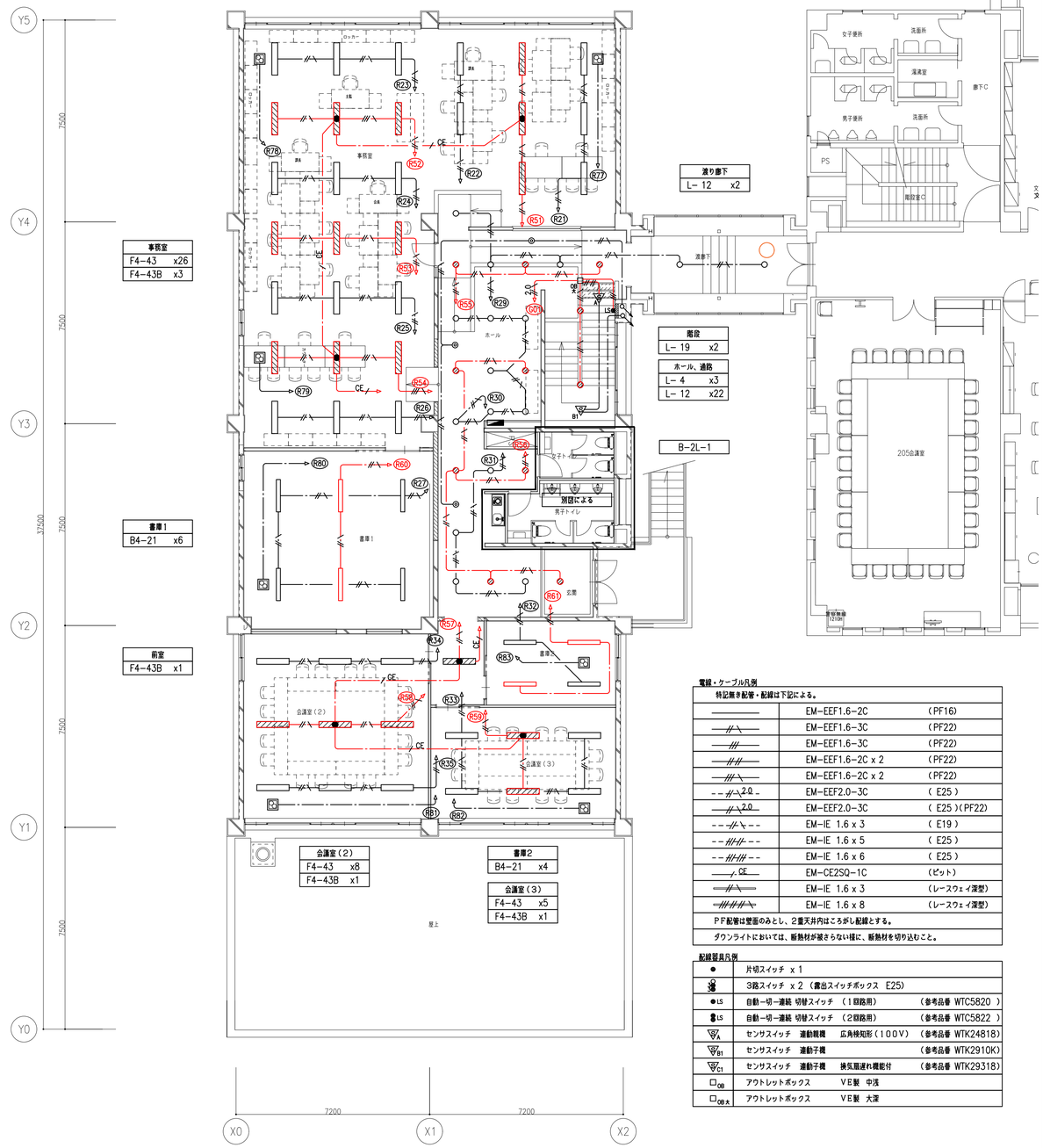



| | | |

## 1階改修図




## 2階改修図




**電線・ケーブル凡例**

特記無き配管・配線は下記による。

| | | |
|---|---|---|
| ——— | EM-EEF1.6-2C | (PF16) |
| ——//—— | EM-EEF1.6-3C | (PF22) |
| ——//—— | EM-EEF1.6-3C | (PF22) |
| ——//—— | EM-EEF1.6-2C x 2 | (PF22) |
| ——//—— | EM-EEF1.6-2C x 2 | (PF22) |
| ——//2.0—— | EM-EEF2.0-3C | ( E25 ) |
| ——//2.0—— | EM-EEF2.0-3C | ( E25 )(PF22) |
| ——//—— | EM-IE 1.6 x 3 | ( E19 ) |
| ——///—— | EM-IE 1.6 x 5 | ( E25 ) |
| ——///—— | EM-IE 1.6 x 6 | ( E25 ) |
| ——/CE—— | EM-CE2SQ-1C | (ピット) |
| ——//—— | EM-IE 1.6 x 3 | (レースウェイ深型) |
| ——////—— | EM-IE 1.6 x 8 | (レースウェイ深型) |

PF配管は壁面のみとし、2重天井内はころがし配線とする。

ダウンライトにおいては、断熱材が被さらない様に、断熱材を切り込むこと。

**配線器具凡例**

| | | |
|---|---|---|
| ● | 片切スイッチ x 1 | |
| 3 | 3路スイッチ x 2 (露出スイッチボックス E25) | |
| ●LS | 自動一切一連続 切替スイッチ (1回路用) | (参考品番 WTC5820 ) |
| 3LS | 自動一切一連続 切替スイッチ (2回路用) | (参考品番 WTK5822 ) |
| $S_A$ | センサスイッチ 連動親機 広角検知形(100V) | (参考品番 WTK24818) |
| $S_{B1}$ | センサスイッチ 連動子機 | (参考品番 WTK2910K) |
| $S_{C1}$ | センサスイッチ 連動子機 換気扇遅れ機能付 | (参考品番 WTK29318) |
| □OB | アウトレットボックス VE製 中浅 | |
| □OBK | アウトレットボックス VE製 大深 | |

**照明器具凡例**

| 照会記号 | 型式内容 | 公共品番 | 参考品番 | 相当品 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| A2-12 | 直付一体20型(トラフ型) | LSS1-2-15 | XLX210NENJ LE9 | | 1600 lm W=80 |
| B4-21 | 直付一体40型 | LSS9-4-30 | XLX430AENP LE9 | | 3200 lm W=150 |
| B4-21S | 直付一体40型 人感センサ付 | LDS1-LSS9-4-29 | XLX430ANNP LE9 | | 3050 lm W=150 |
| F4-43 | 埋込40形 | LRS3-4-65 | XLX460UENT LE9 | | 6680 lm |
| F4-43B | 埋込40形 | LALE-027 | XLG461UGNJ LE9 | | 6680 lm |
| G4-21 G4-21P(パイプ吊り) | 直付一体40型 反射笠付 | | XLX430KENP LE9 | | 3140 lm |
| L- 4 | LEDダウンライト | LRS1-05 | XND0639WN LE9 | | 610 lm |
| L- 12 | LEDダウンライト | LRS1-13 | XND1561WN LE9 | | 1695 lm |
| L- 12p | LEDダウンライト (防湿型) | LRS1RP-13 | XNW1561WN LE9 | | 1525 lm |
| L- 19 | LEDダウンライト | LRS1-22 | XND2561WN LE9 | | 2490 lm |

| 器具種別照度 | | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 3.0m | 4.0m | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常照度 | A1 | 5.4 | 5.7 | 5.9 | 6.1 | 4.5 | | |
| 誘導照度 | A2 | 12.5 | 13.4 | 13.9 | 14.9 | 10.6 | | |
| 視角照度 | A4 | 11.3 | 12.0 | 12.6 | 13.4 | 14.6 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣( ) | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号( ) |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣( ) | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号( ) |

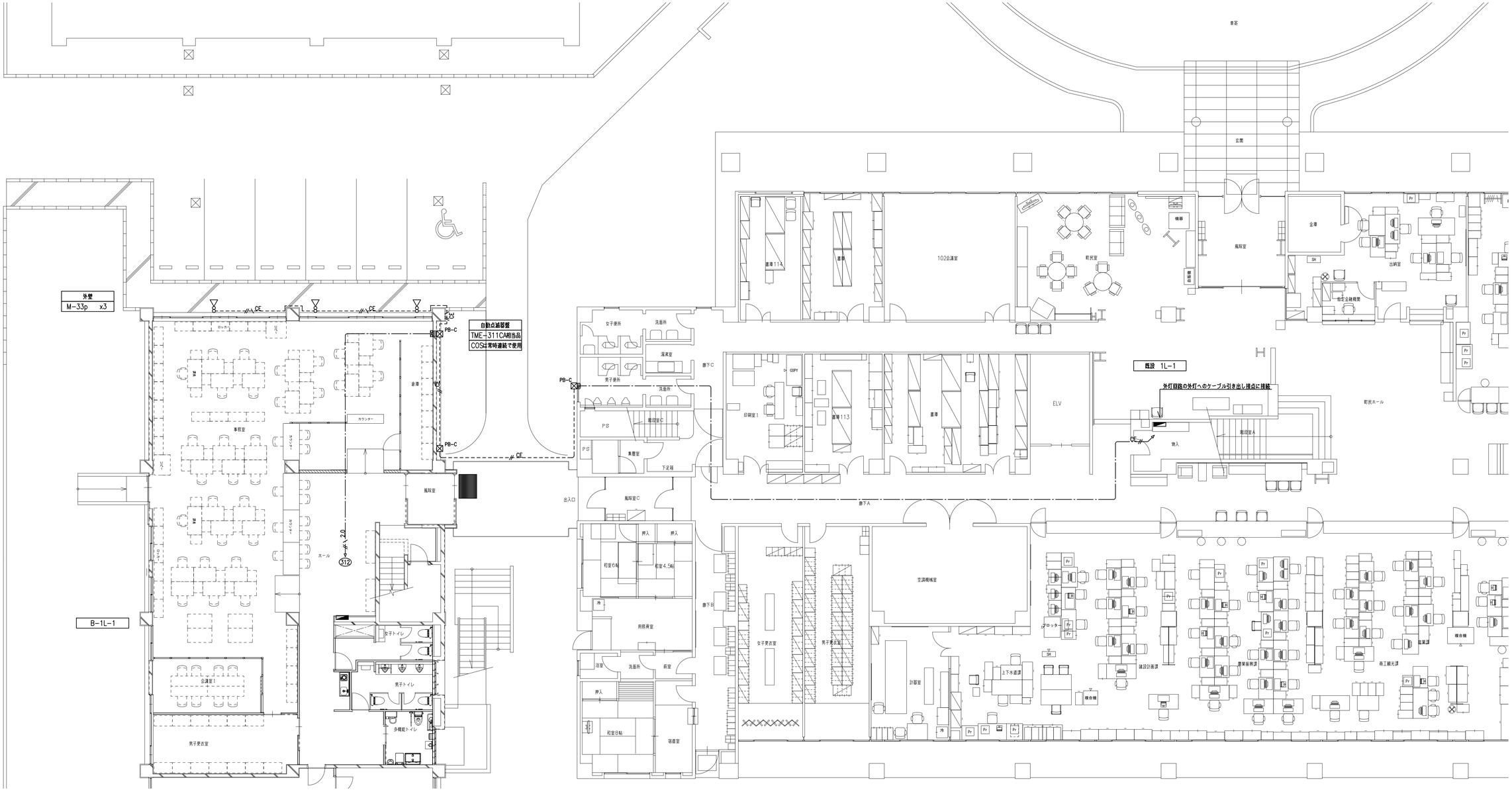
名称 竜王町総合庁舎別館改修工事

図名 電灯設備改修図

No. E - 20

縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200

File $f




| | |
|---|---|
| 照会記号 | M-33p |
| 型式内容 | LED投光器 |
| 公共品番 | |
| 参考品番 | NYS15040 LE7　相当品 |

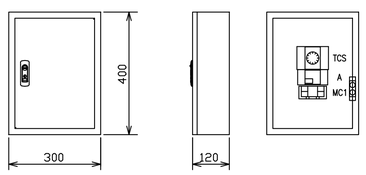
4600 lm

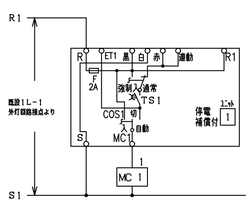


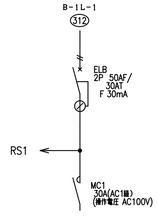
電源内蔵型、広角タイプ配光
耐風速60m/s
落下防止ワイヤー付

凡例

| | | |
|---|---|---|
| | 自動点滅器盤 | |
| ⊠ PB-C | プルボックス　SUS製　200x200x200　（防水仕様） | |
| 特記無き配管・配線は下記による。 | | |
| ——//——2.0 | EM-EEF2.0-3C | （ ピット ） |
| ——//——CE | EM-CE3.5SQ-2C | （ ピット ） |
| - - -//-CE- - - | EM-CE3.5SQ-2C | （ZGP22） |
| - - -//-CE- - - | EM-CE3.5SQ-3C | （ZGP22） |
| 露出配管は塗装仕上げとする。 | | |



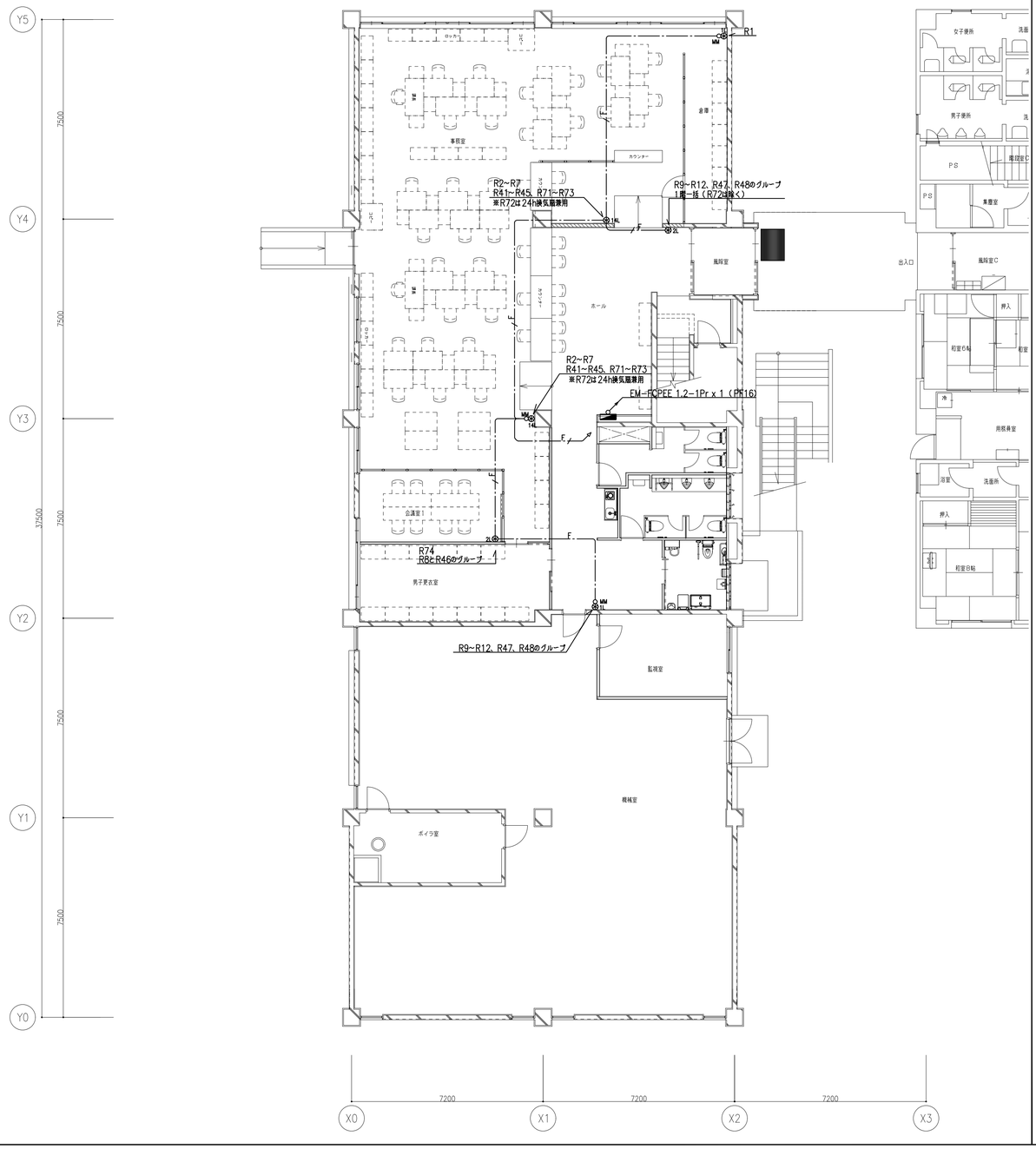




自動点滅器盤

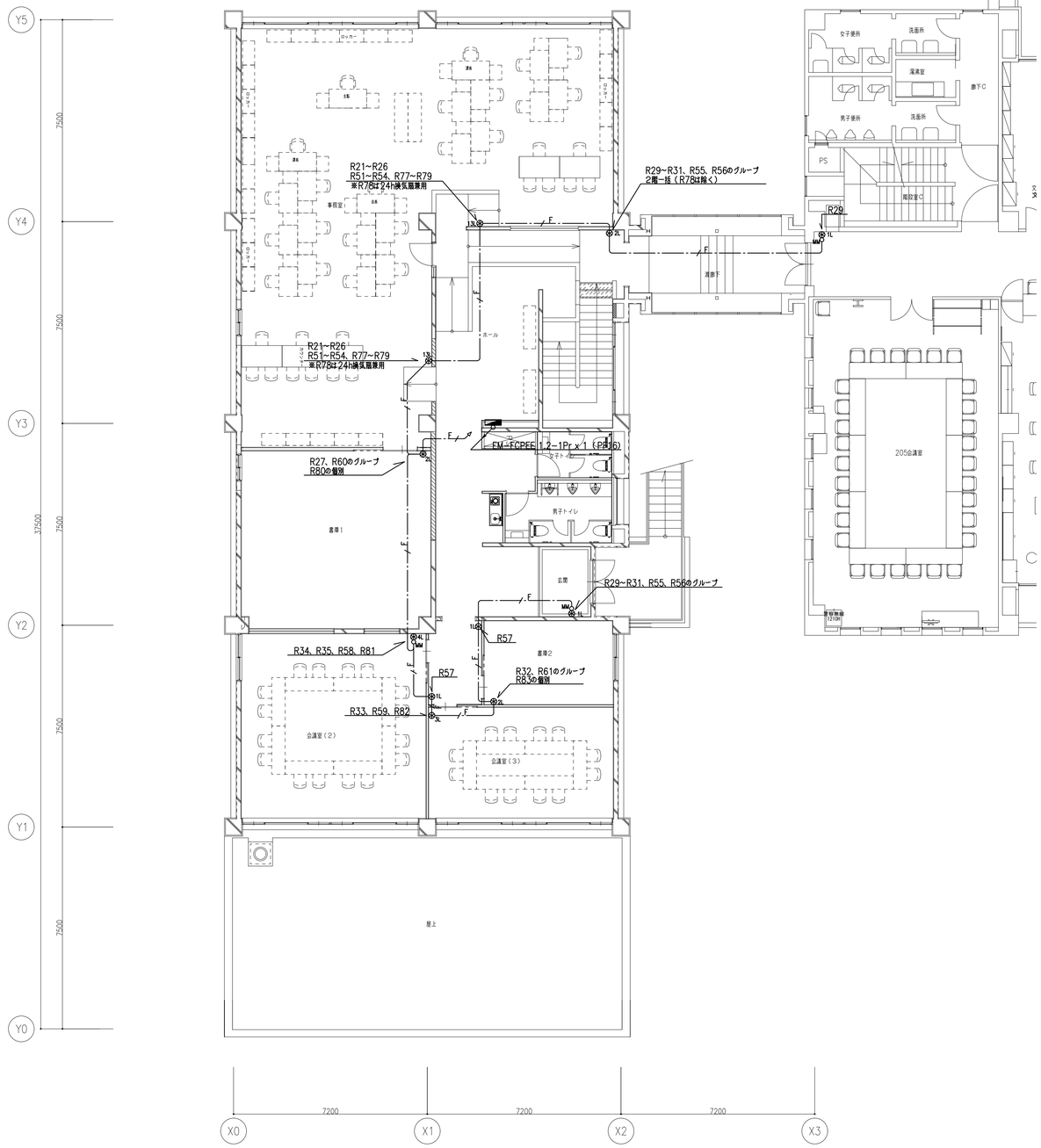
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E - 21 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 駐車場外灯設備図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## 1階改修図




## 2階改修図



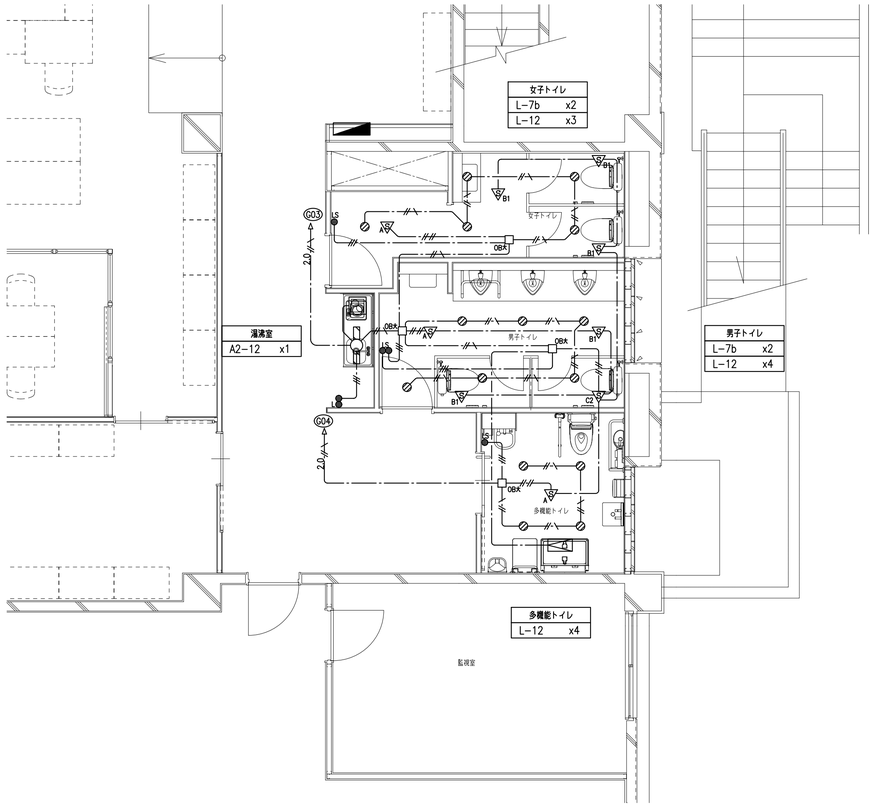

凡例

| | |
|---|---|
| ⊛1L | フル2線式リモコンスイッチ　1L |
| ⊛2L | フル2線式リモコンスイッチ　2L |
| ⊛3L | フル2線式リモコンスイッチ　3L |
| ⊛4L | フル2線式リモコンスイッチ　4L |
| ⊛2L+3L | フル2線式リモコンスイッチ　2L+3L |
| ——/F—— | EM-FCPEE 1.2-1Pr x 1　（PF16） |
| PF配管は壁面のみとし、2重天井内はころがし配線とする。 | |

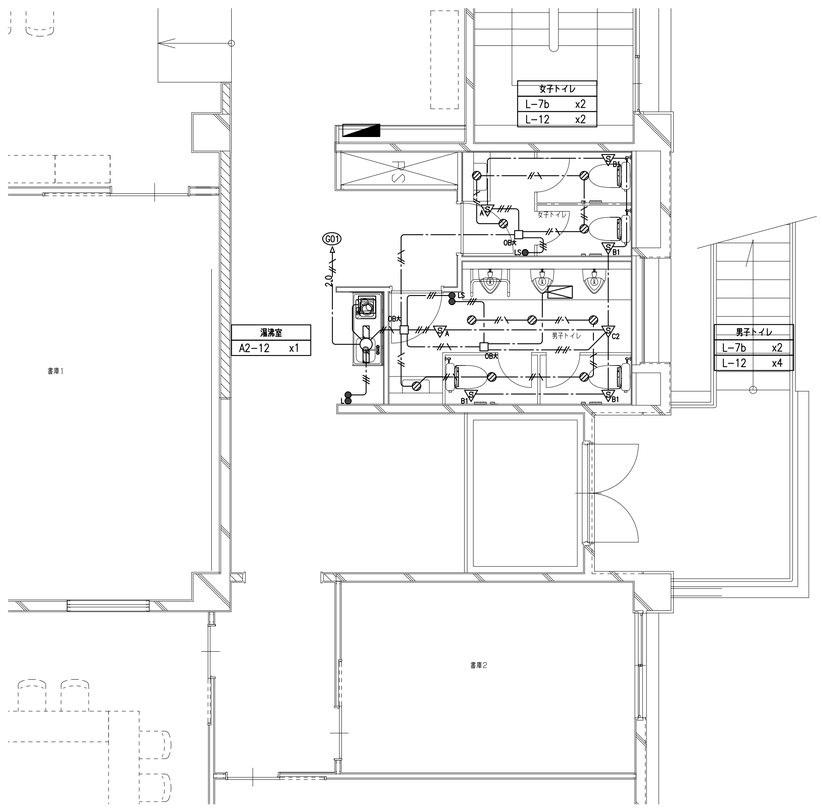
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－22 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 電灯設備改修図（リモコンスイッチ配線図） | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## １階トイレ廻り改修図




## ２階トイレ廻り改修図




**照明器具凡例**

| 照会記号 | A2-12 | 照会記号 | L-7b | 照会記号 | L-12 |
|---|---|---|---|---|---|
| 型式内容 | 直付一体20型（トラフ型） | 型式内容 | ＬＥＤダウンライト | 型式内容 | ＬＥＤダウンライト |
| 公共品番 | LSS1-2-15 | 公共品番 | | 公共品番 | LRS1-13 |
| 参考品番 | XLX210NENJ LE9 相当品 | 参考品番 | XND1039WY LE9 相当品 | 参考品番 | XND1561WN LE9 相当品 |
| | 1600 lm<br>W=80 | | 925 lm<br>φ100 | | 1695 lm<br>φ150 |

**ケーブル凡例**

| 特記無き配管・配線は下記による。 | | |
|---|---|---|
| ———— | VF1.6-2C | （PF16） |
| ———//——— | VF1.6-3C | （PF22） |
| ———//\——— | VF1.6-3C （1E） | （PF22） |
| ———//——— | VF1.6-3C x 2 | （PF22） |
| ———////——— | VF1.6-3C x 2 | （PF22） |
| ———//\2.0——— | VF2.0-3C （1E） | （PF22） |
| ＰＦ配管は壁面のみとし、２重天井内はころがし配線とする。 | | |
| ダウンライトにおいては、断熱材が被さらない様に、断熱材を切り込むこと。 | | |

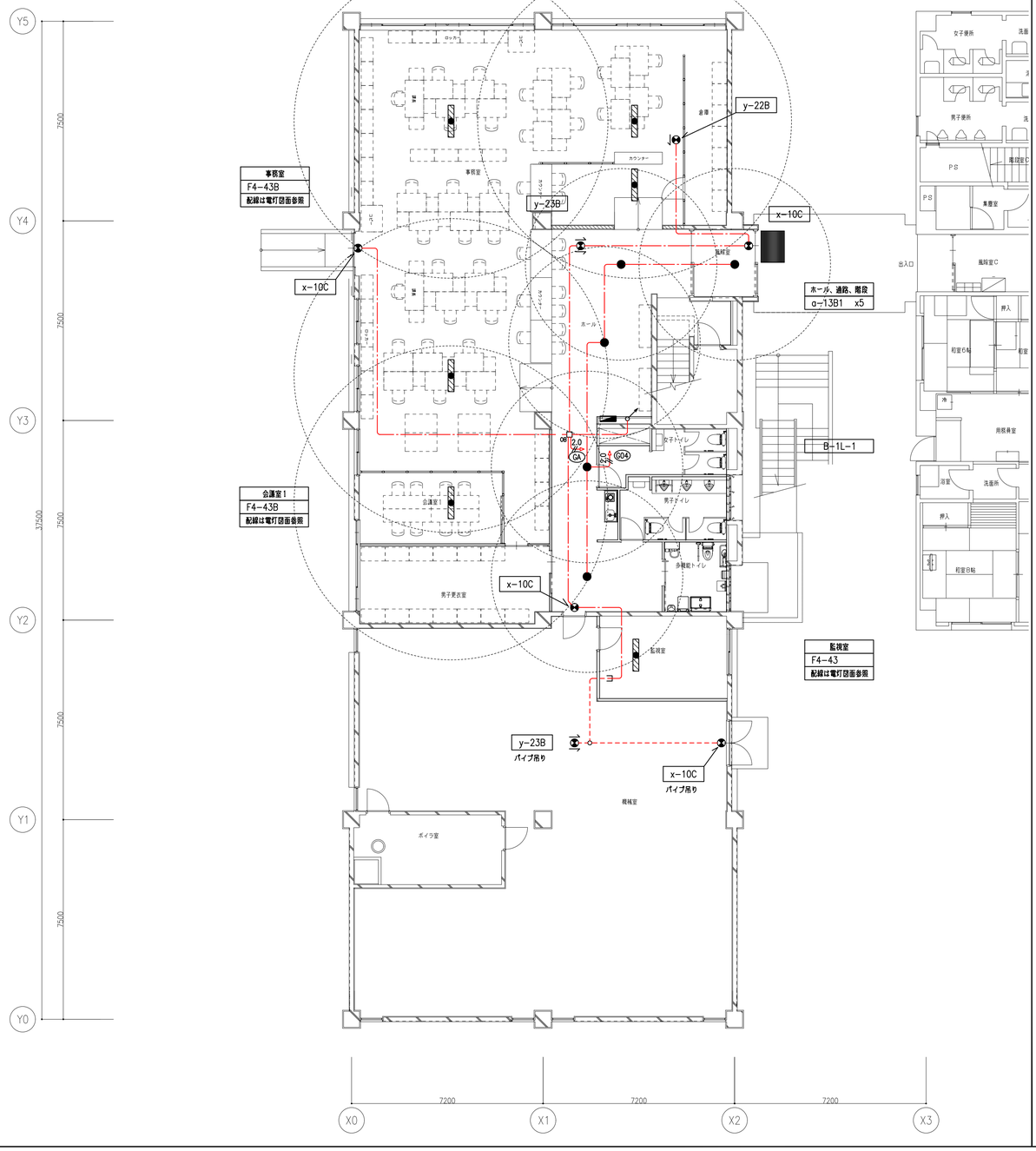
**配線器具凡例**

| | | |
|---|---|---|
| ●LS | 自動一切一連続 切替スイッチ （１回路用） | （参考品番 WTC5820 ） |
| ●LS | 自動一切一連続 切替スイッチ （２回路用） | （参考品番 WTC5822 ） |
| ▽A | センサスイッチ 連動親機 広角検知形（１００Ｖ） | （参考品番 WTK24818） |
| ▽B1 | センサスイッチ 連動子機 | （参考品番 WTK2910K） |
| ▽C2 | センサスイッチ 連動子機 ３系統換気扇送れ機能付 | （参考品番 WTK2933K） |
| □OBK | アウトレットボックス ＶＥ製 四角大深 | |

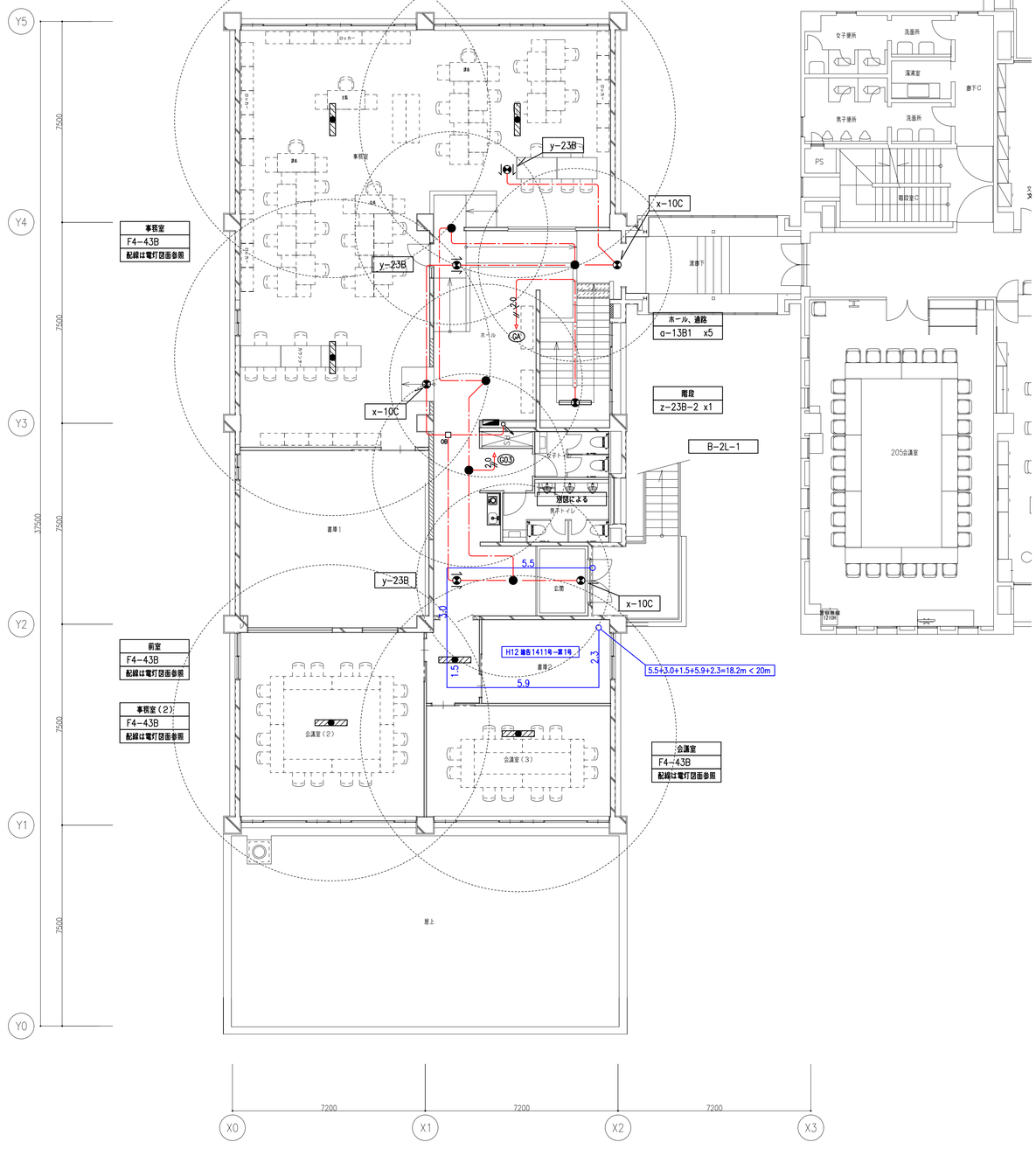
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. | E - 23 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 | 電灯設備（トイレ廻り）改修図 | 縮尺 | A1：1/ 50<br>A3：1/100 |

File $f

## 1階改修図

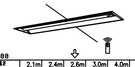



## 2階改修図




| 照会記号 | F4-43B |
|---|---|
| 型式内容 | 埋込40形 |
| 認定番号 | LALE-027 |
| 公共品番 | |
| 参考品番 | XLG461UGNJ LE9 相当品 |

6680 lm



| 器具取付高さ | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 3.0m | 4.0m | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 単独配置 | A1 | 5.4 | 5.7 | 5.9 | 6.1 | 4.5 |
| 連続配置 | A2 | 12.5 | 13.4 | 13.9 | 14.9 | 16.6 |
| 千鳥配置 | A4 | 11.3 | 12.0 | 12.6 | 13.4 | 14.6 |

| 照会記号 | x-10C |
|---|---|
| 型式内容 | LED誘導灯（直付型） C級片面 避難口 |
| 認定番号 | 1AS111-3207 |
| 参考品番 | FA10312 LE1 + FK10000 相当品 |



| 照会記号 | y-22B |
|---|---|
| 型式内容 | LED誘導灯（直付型） B級片面 通路 |
| 認定番号 | 1AM111-3209 |
| 参考品番 | FA20312 LE1 + FK20016 相当品 |



| 照会記号 | y-23B |
|---|---|
| 型式内容 | LED誘導灯（直付型） B級両面 通路 |
| 認定番号 | 1AM221-3210 |
| 参考品番 | FA20322 LE1 + FK20016+17 相当品 |



| 照会記号 | z-23B-2 |
|---|---|
| 型式内容 | LED階段通路誘導灯（ひとセンサ段調光30分） |
| 認定番号 | 3AE-1082 |
| 参考品番 | XLF433PTNK LE9 相当品 |



| 照会記号 | a-13B1 |
|---|---|
| 型式内容 | LED非常照明 （低天井用） |
| 認定番号 | LALE-004 |
| 参考品番 | NNFB90605J 相当品 |

リモコン自己点検機能付



| 器具取付高さ | 2.1m | 2.4m | 2.7m | 3.0m | 3.2m | 3.5m | 3.7m |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 単独配置 | A1 | 3.8 | 4.0 | 3.6 | 2.8 | 2.5 | 1.6 | 1.1 |
| 連続配置 | A2 | 8.5 | 9.4 | 10.1 | 10.1 | 10.0 | 9.7 | 9.4 |
| 千鳥配置 | A4 | 6.9 | 7.6 | 8.3 | 8.9 | 9.3 | 9.7 | 9.4 |

**電線・ケーブル凡例**

特記無き配管・配線は下記による。

| | | |
|---|---|---|
| ——・—— | EM-EEF1.6-2C | （ピット） |
| ——//——\ | EM-EEF1.6-3C | （ピット） |
| - - - - - - - | EM-EEF1.6-2C | （ E19 ） |
| ——//——2.0 | EM-EEF2.0-2C | （ピット） |

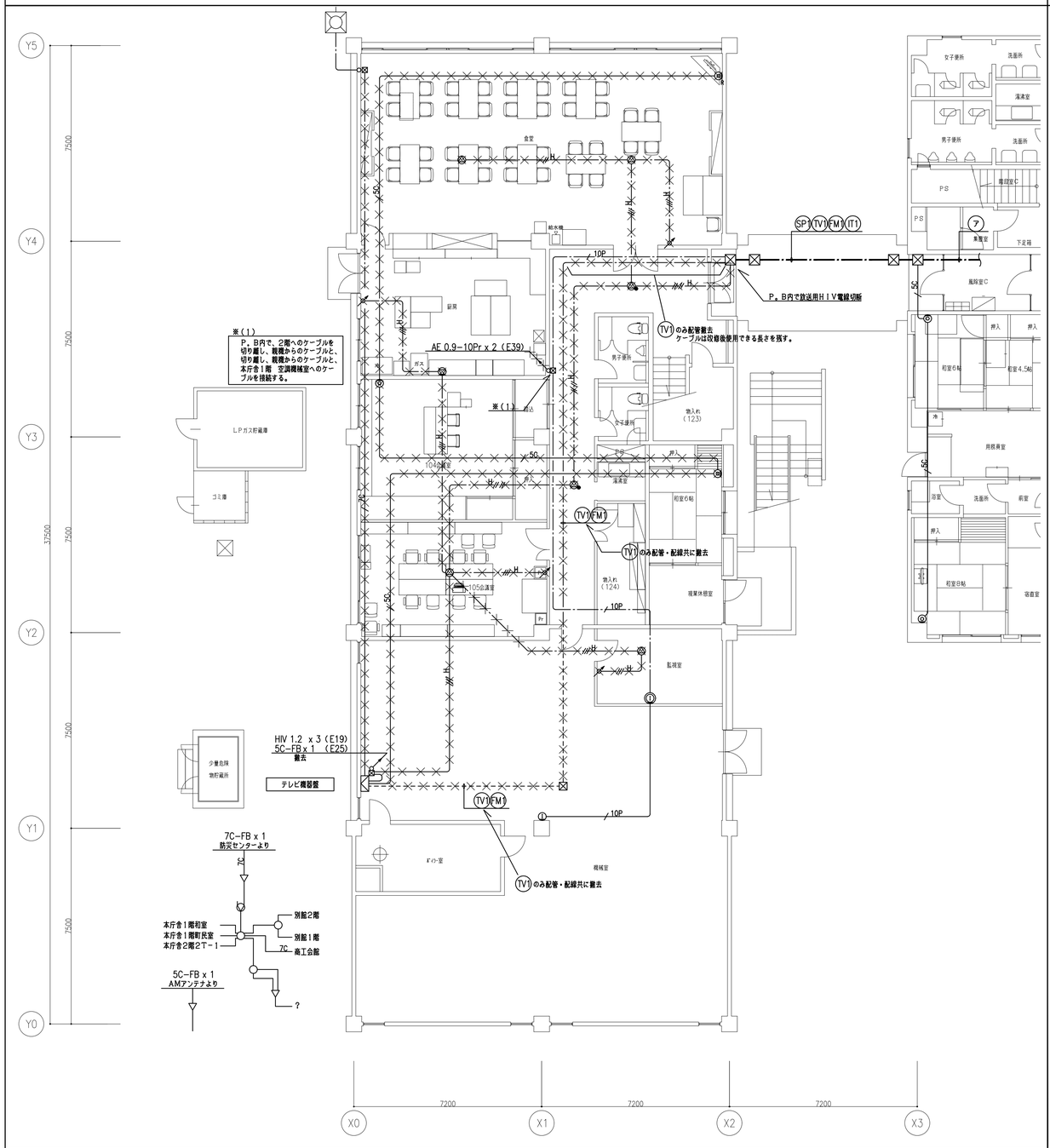
**配線器具凡例**

| | | |
|---|---|---|
| □ OB | アウトレットボックス | VE製 四角中浅 |
| ○ | 露出丸ボックス | E19 3方出 |

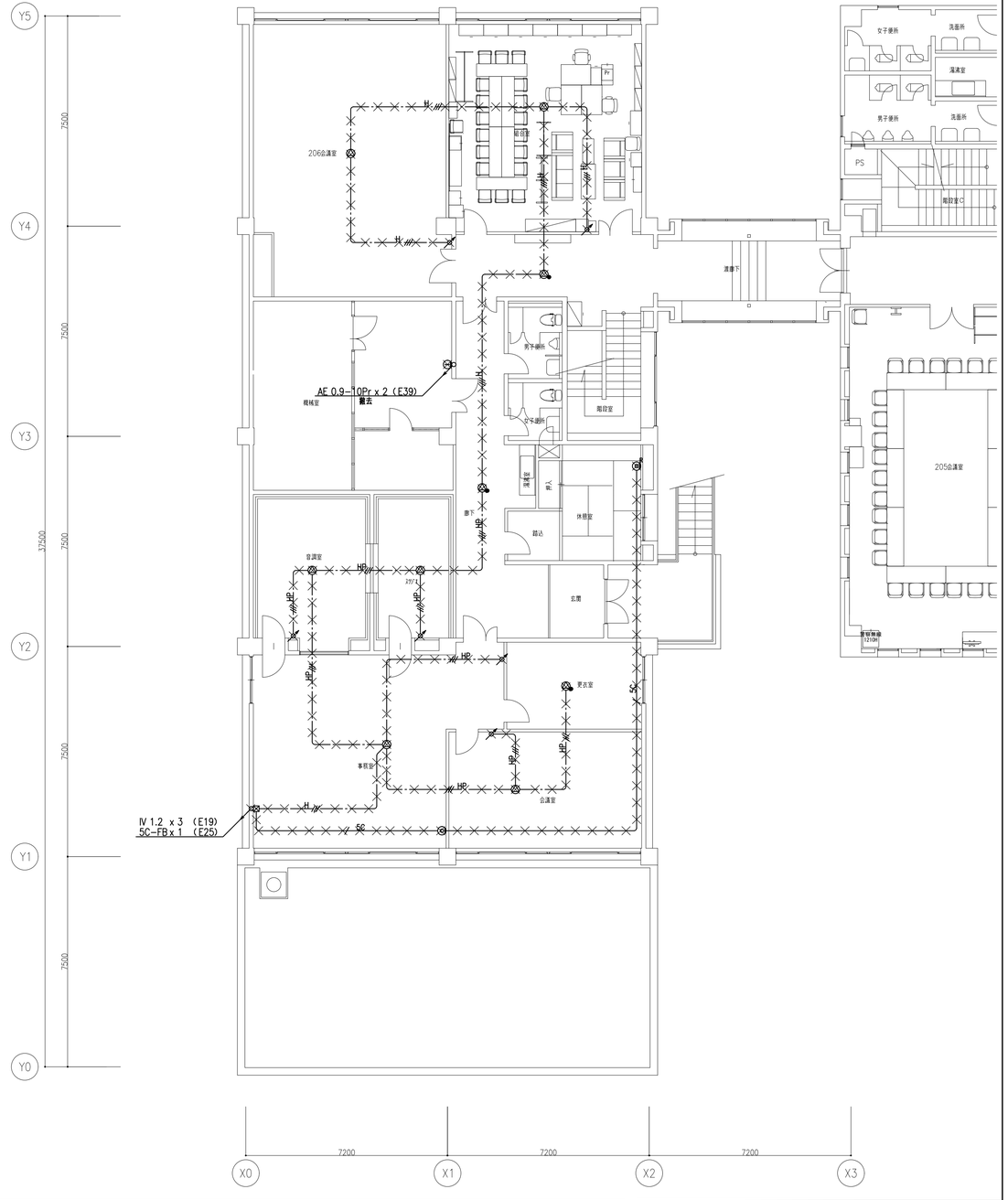
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E - 24 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 | 誘導灯・非常灯設備改修図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## 1階撤去図




## 2階撤去図




### 撤去機器凡例

| | | |
|---|---|---|
| ◎ | 天井埋め込みスピーカー | SC4Hi−3Vo |
| ◎H | 天井埋め込みスピーカー （ATT付） | SC4Hi−3V3 |
| ▽ | 壁掛けスピーカー | |
| ⊿ | アッテネーター | |
| ◎ | 直列ユニット（中間２端子） | |
| ◎R | 直列ユニット（端末２端子） | |
| Ⓘ | インターホン 親機（６局） | |
| Ⓘ | インターホン 子機 | |

### 撤去電線・ケーブル凡例

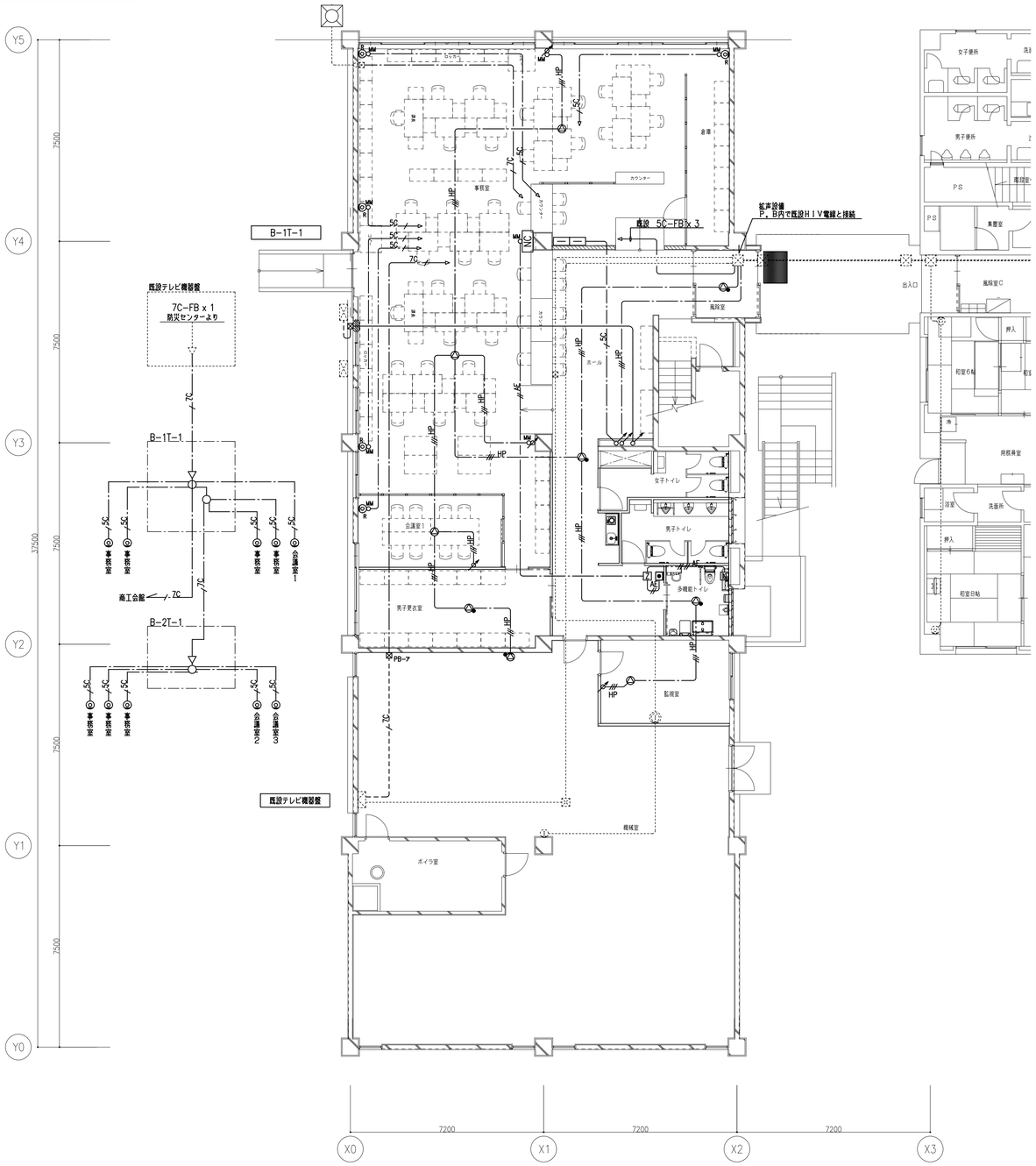
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 拡声 | H | HIV 1.2 x 2 | (E19) | |
| 拡声 | H | HIV 1.2 x 3 | (E19) | |
| 拡声 | H | HIV 1.2 x 4 | (E19) | (SP1) |
| 拡声 | HP | EM−HP 1.2−3C x 1 | (PF16) | |
| テレビ | 5C | 5C−FB x 1 | (E25) | |
| テレビ | 5C | 5C−FB x 2 | (E25) | |
| テレビ | 5C | 5C−FB x 3 | (E31) | (TV1) |
| テレビ | 7C | 7C−FB x 1 | (E25) | |
| AM、FM | 5C | 5C−FB x 2 | (E25) | (FM1) |
| ｲﾝﾀｰﾎﾝ | 10P | AE 0.9−10Pr x 1 | (E25) | (IT1) |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| (ア) | 拡声 | HIV 1.2 | x 4 | (E19) | 本庁舎2階　未来創成課　放送アンプへ |
| | テレビ | 5C−FB | x 1 | (E25) | 本庁舎1階　町民室へ |
| | テレビ | 5C−FB | x 1 | (E25) | 本庁舎2階　2T−1へ |
| | FM | 5C−FB | x 2 | (E25) | 本庁舎2階　2T−1へ |
| | ｲﾝﾀｰﾎﾝ | AE 0.9−10Pr | x 1 | (E25) | 本庁舎1階　空調機械室へ |

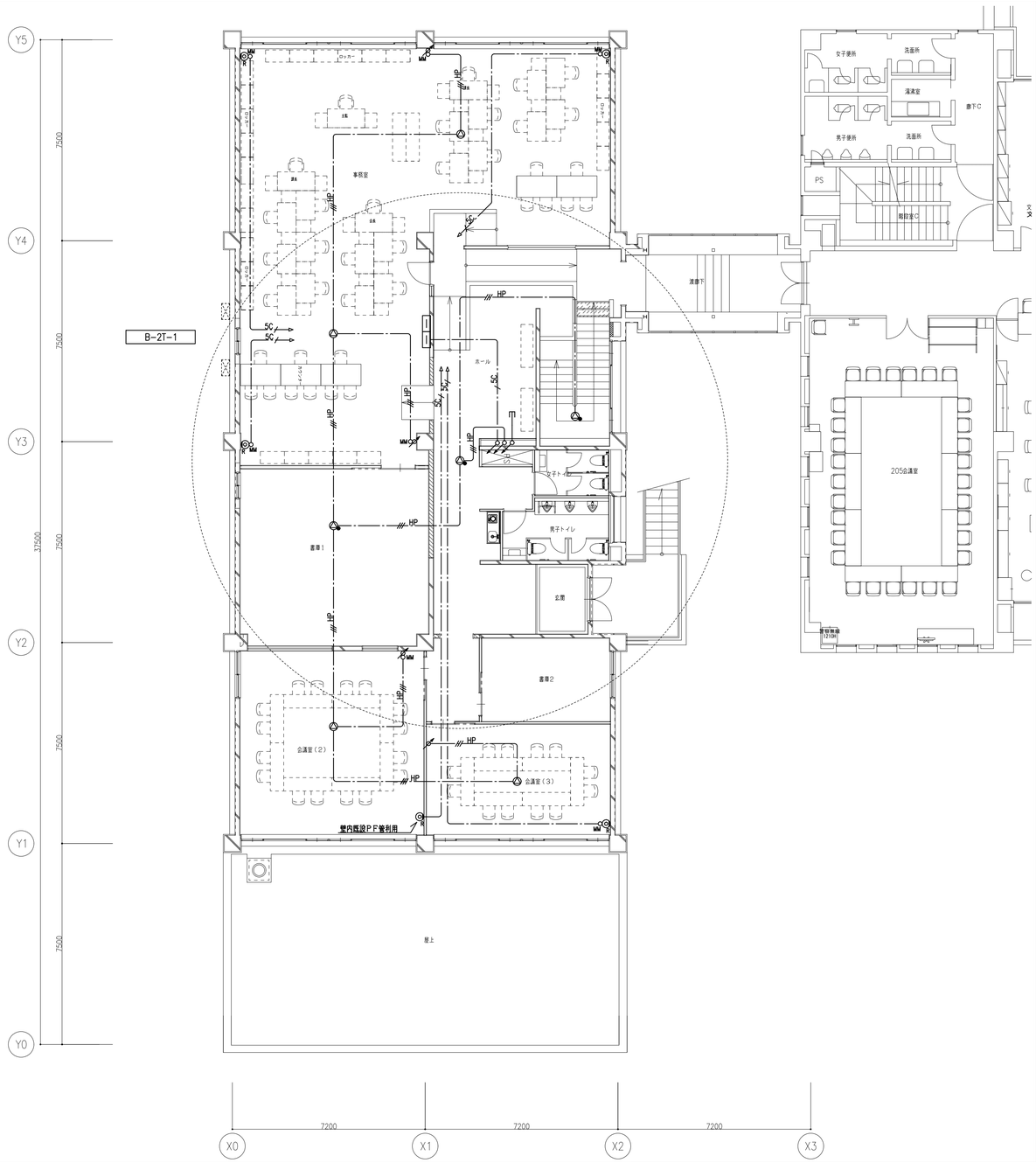
| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>E − 25 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>拡声・テレビ共聴設備撤去図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## 1階改修図




## 2階改修図



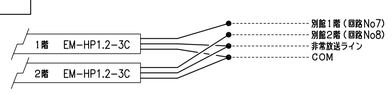

### 機器凡例

| | | |
|---|---|---|
| | 天井埋め込みスピーカー | SC₄Hi−3V₀ |
| | 天井埋め込みスピーカー （ATT付） | SC₄Hi−3V₃ |
| | 壁掛けスピーカー | |
| | アッテネーター | |
| | 直列ユニット（端末1端子） | |
| MM | メタルモールスイッチボックス　天井までメタルモール　A型 | |
| PB−7 | プルボックス　鋼板製 | 150x150x100　（塗装仕上げ） |

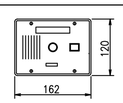
### 電線・ケーブル凡例

| | | | |
|---|---|---|---|
| HP | EM−HP 1.2−3C | x 1 | （PF16） |
| AE | EM−AE 1.2−2C | x 1 | （PF16） |
| AE | EM−AE 1.2−4C | x 1 | （PF16） |
| 5C | EM−S−5C−FB | x 1 | （PF22） |
| 7C | EM−S−7C−FB | x 1 | （E25）（PF22） |

PF配管は壁面のみとし、2重天井内はころがし配線とする。

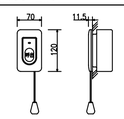



### NC　1窓表示機



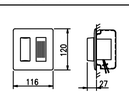

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | DC12V（電源アダプターから供給） |
| 形　状 | 壁埋込形（JIS3個用スイッチボックス） |
| 材　質 | ステンレス t0.8 |
| 窓　数 | 1窓 |
| 表示方式 | 断続ブザー音と表示窓点灯 |
| | |
| 参考品番 | CN−1A34/A−D |

### N　呼出し押ボタン（壁付け）



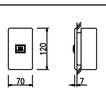

| | |
|---|---|
| 形　状 | 壁埋込形 |
| プレート | 抗菌ABS樹脂プレート |
| 確認灯 | LED（赤） |
| 押ボタン | ノンロック式 |
| 彩　り | マンダリンオレンジ色 |
| | |
| 参考品番 | NBR−7HWA |

### Y　代表拡声下灯（ブザー付）




| | |
|---|---|
| 形　状 | 壁埋込形 |
| 材　質 | プレート：樹脂プレート |
| | 表示灯カバー：ポリカーボネート |
| 表示灯 | LED（赤），DC8V |
| | |
| | |
| 参考品番 | NR−BZLB27 |

### 復旧ボタン

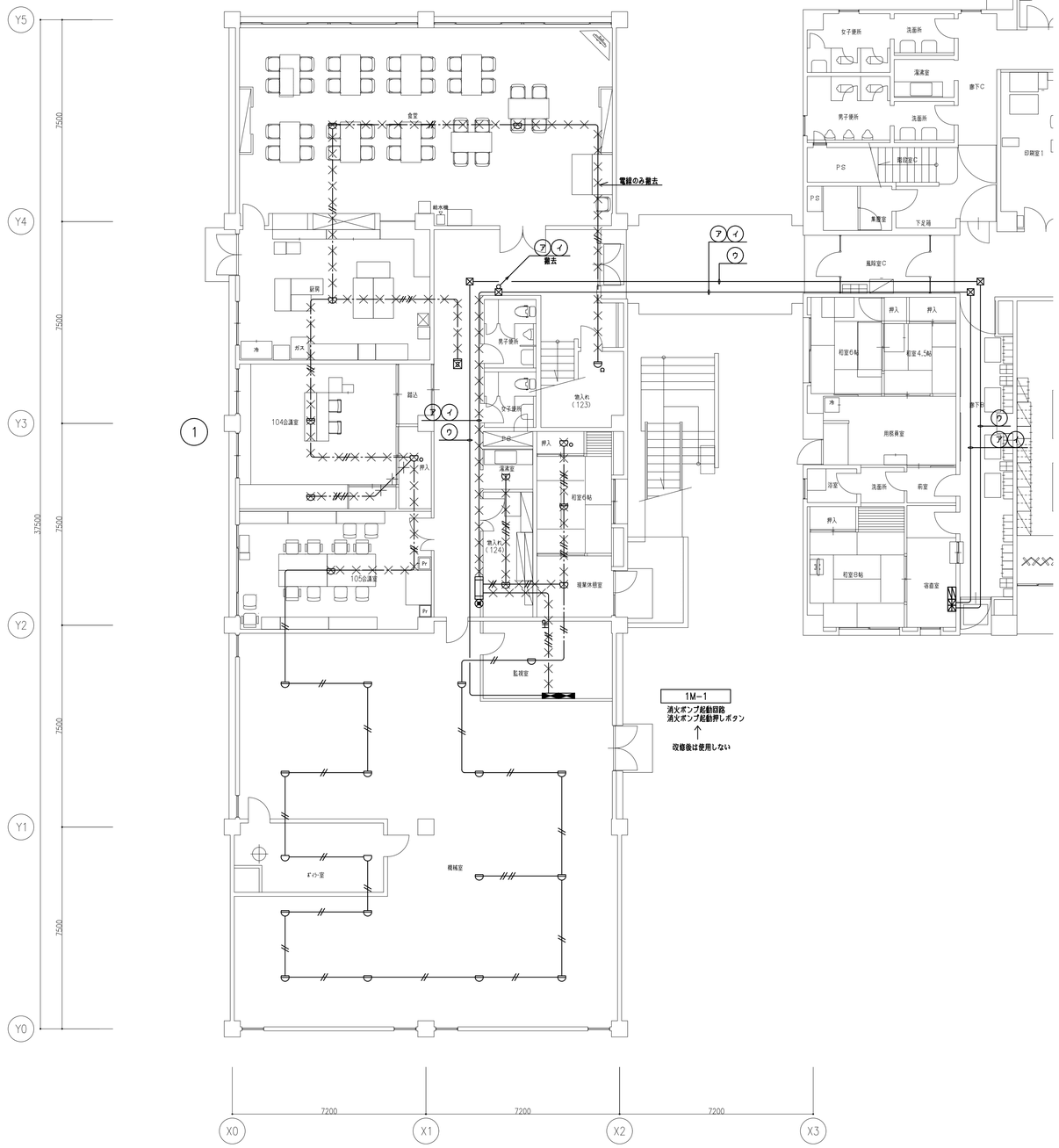



| | |
|---|---|
| 形　状 | 壁埋込形 |
| プレート | 樹脂プレート |
| 復旧スイッチ | ノンロック式 |
| | |
| | |
| | |
| 参考品番 | NBR−2A−C |

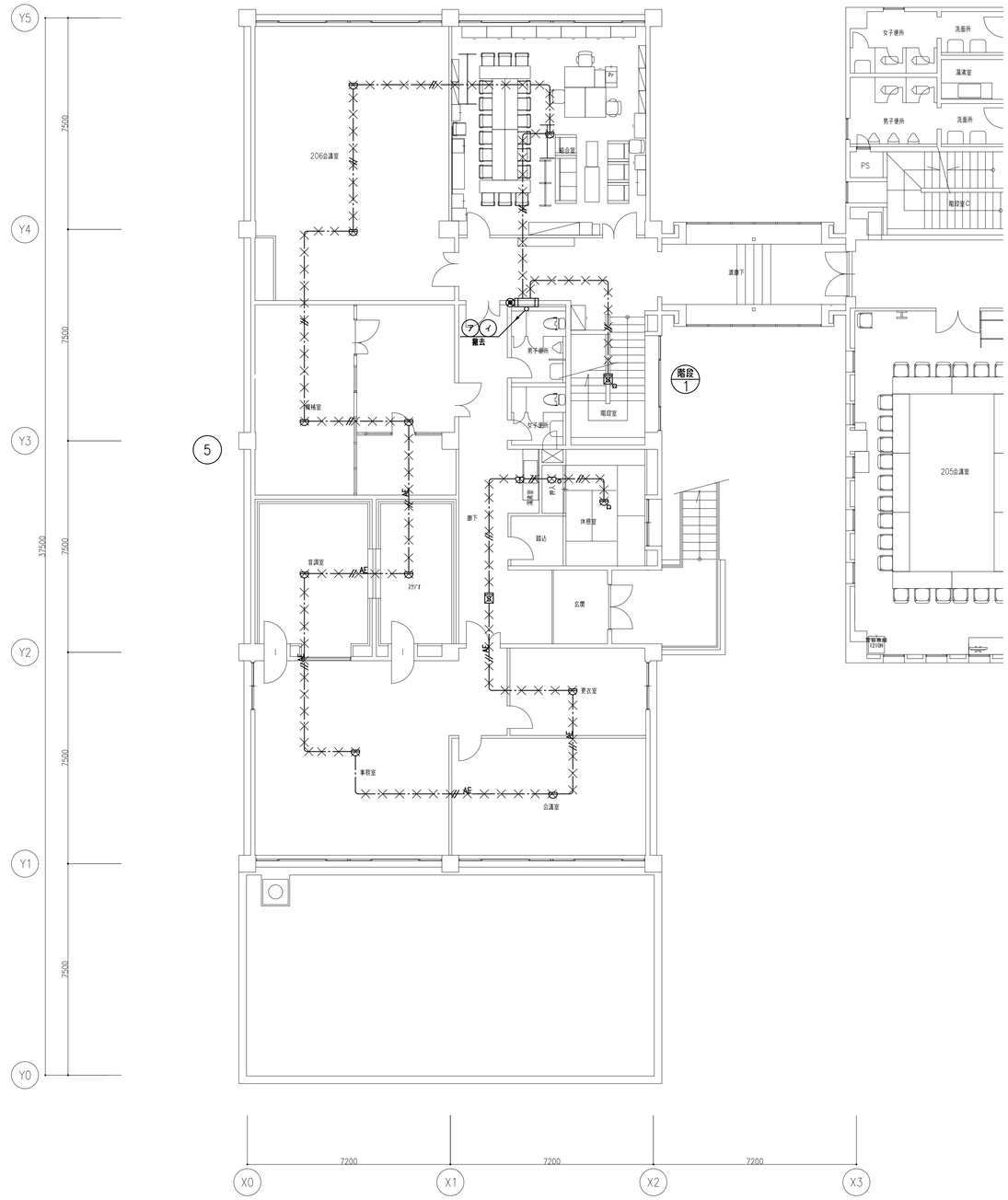
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E − 26 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 拡声・テレビ共聴・トイレ呼出設備改修図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## 1階撤去図




## 2階撤去図




### 撤去機器凡例

| | | |
|---|---|---|
| | 複合型火災受信機 | P型1級50回線（火災25窓＋排煙20窓＋予備5） |
| | 総合盤 | P型1級　消火栓ボックス組み込み型 |
| ⊗ | 消火栓起動スイッチ | |
| | 差動スポット型感知器 | 2種露出型 |
| | 定温スポット型感知器 | 1種 |
| | 定温スポット型感知器 | 1種防水型 |
| S | 光電式煙感知器 | 2種露出型 |
| Ω | 終端抵抗 | |

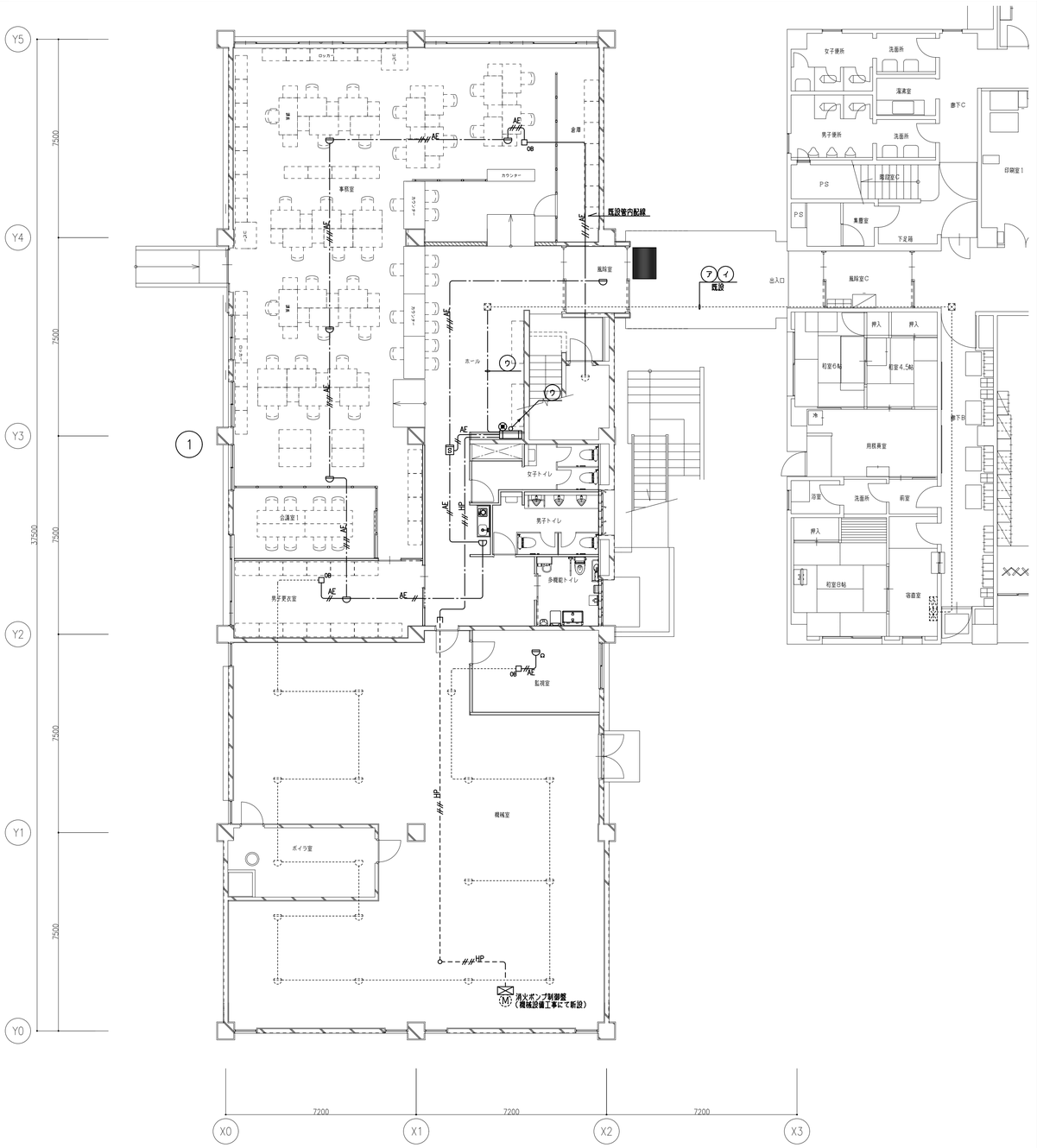
### 撤去電線・ケーブル凡例

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ―// | IV 1.2 x 2 | | | (E19) |
| ―//― | IV 1.2 x 4 | | | (E19) |
| ―//AE― | EM−AE 1.2−2C | x 1 | | (PF16) |
| ―//AE― | EM−AE 1.2−4C | x 1 | | (PF16) |
| ―//HP― | HP 1.2−4C | x 1 | | (E19) |
| ア | 自火報 | HP1.2−5Pr | x 1 | (E31) |
| イ | 消火栓起動 | HP1.2−4C | x 1 | (E25) |
| ウ | 表示 | CPEV0.9−30Pr | x 1 | (E39) |

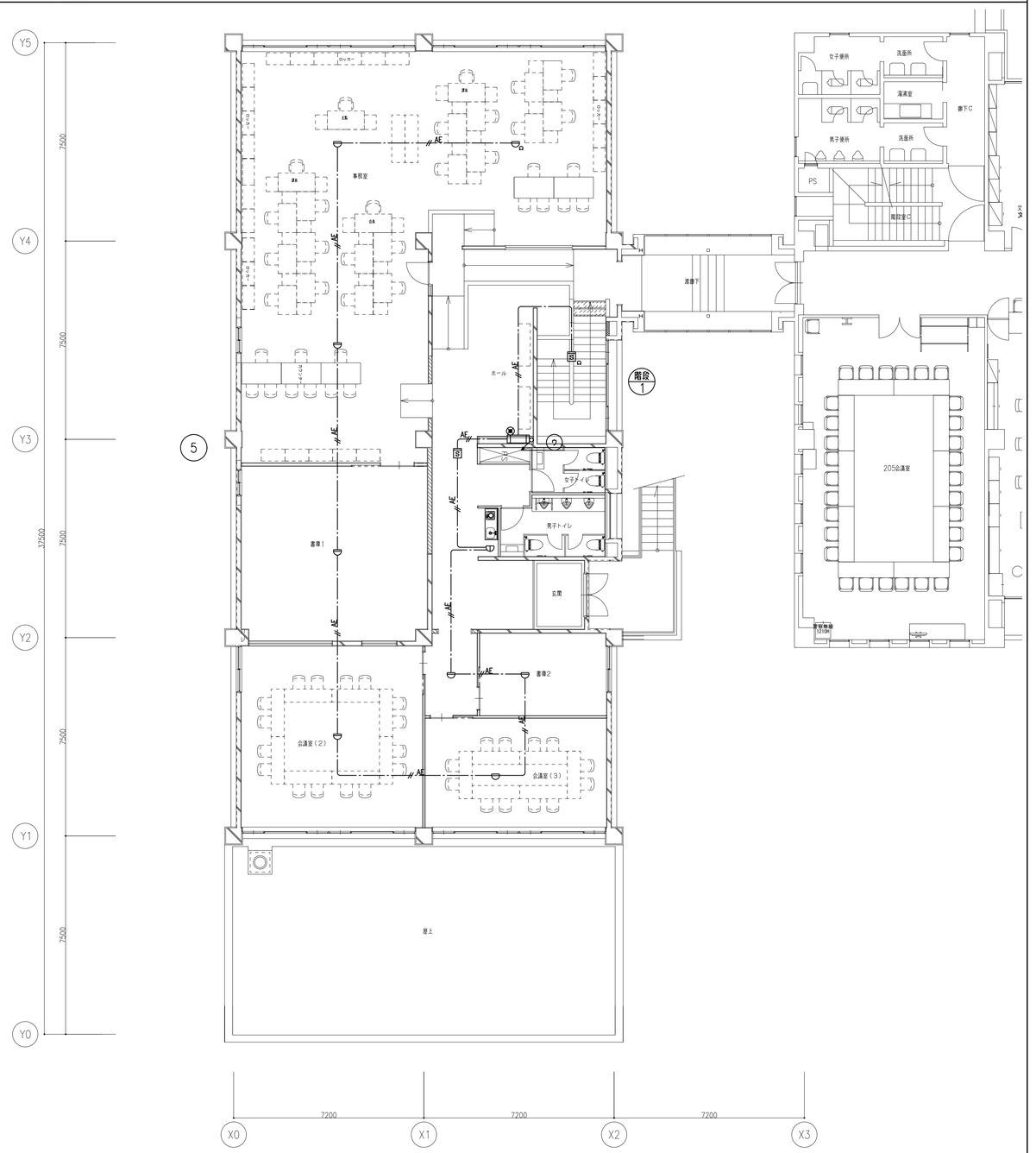
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E − 27 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 自動火災報知設備撤去図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## 1階改修図




## 2階改修図




**機器凡例**

| | | |
|---|---|---|
| | 総合盤（消火栓ボックス組込型） | |
| ⊗ | 消火栓起動押しボタン | （24V） |
| | 差動スポット型感知器 | 2種露出型 |
| | 定温スポット型感知器 | 1種防水型 |
| S | 光電式煙感知器 | 2種露出型 |
| OB | アウトレットボックス | VE製　四角中浅 |

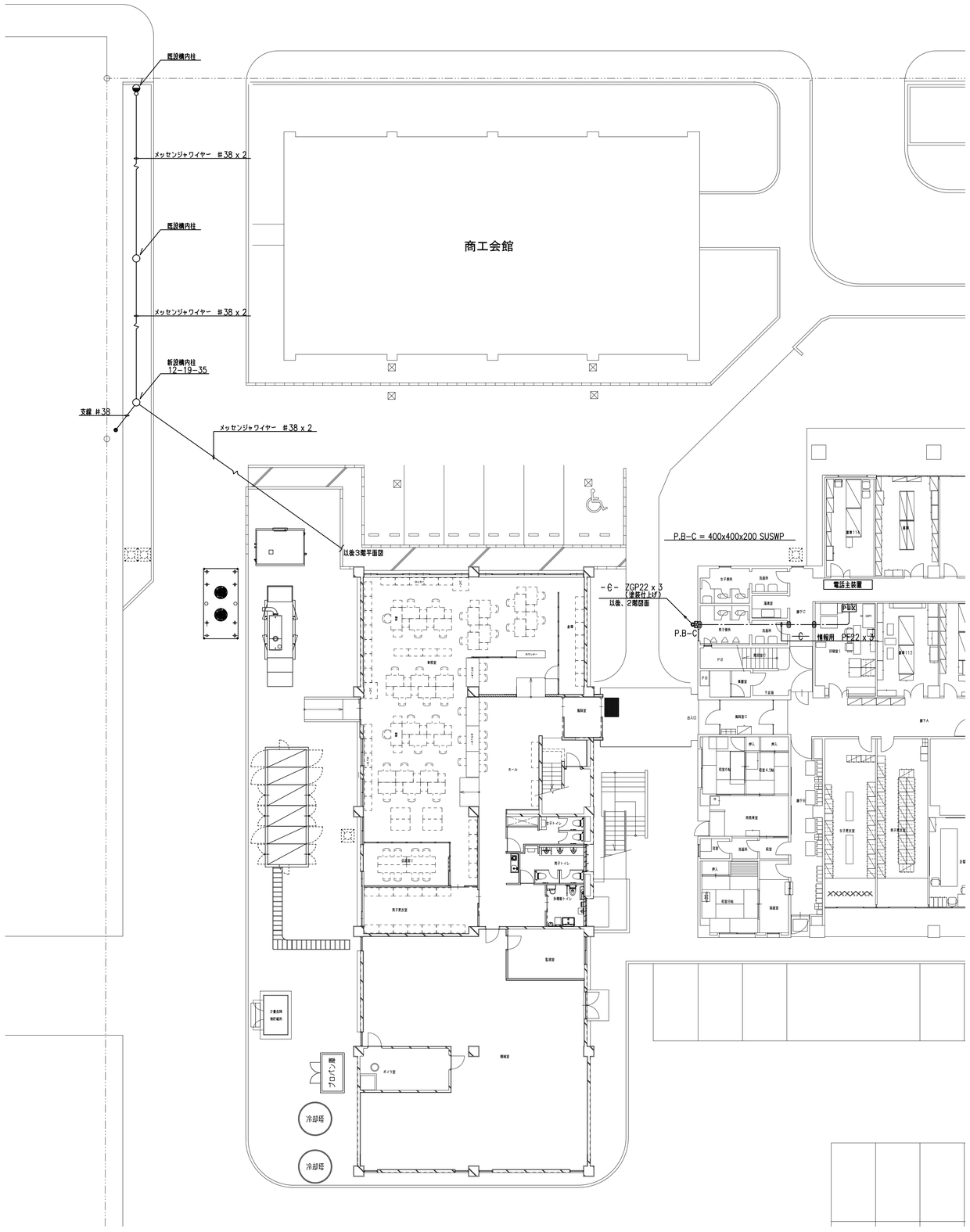
**電線・ケーブル凡例**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 特記無き配管・配線は下記による。 | | | | |
| AE | EM-AE 1.2-2C | x 1 | (PF16) | |
| AE | EM-AE 1.2-4C | x 1 | (PF16) | |
| HP | EM-HP 1.2-4C | x 1 | (PF16) | (E19) |
| ② | 自火報　EM-HP1.2-5Pr | x 1 | | (PF22) |
| | 消火栓起動　EM-HP1.2-4C | x 1 | | (PF16) |
| PF配管は壁面のみとし、2重天井内はころがし配線とする。 | | | | |

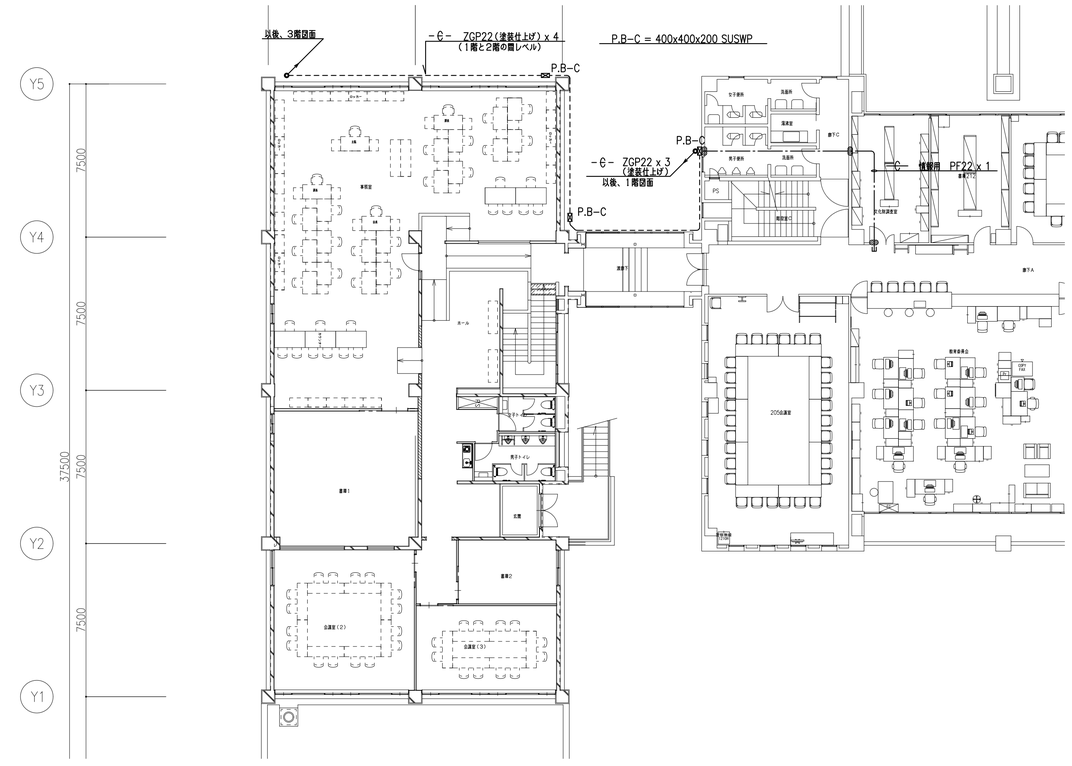
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－28 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 自動火災報知設備改修図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

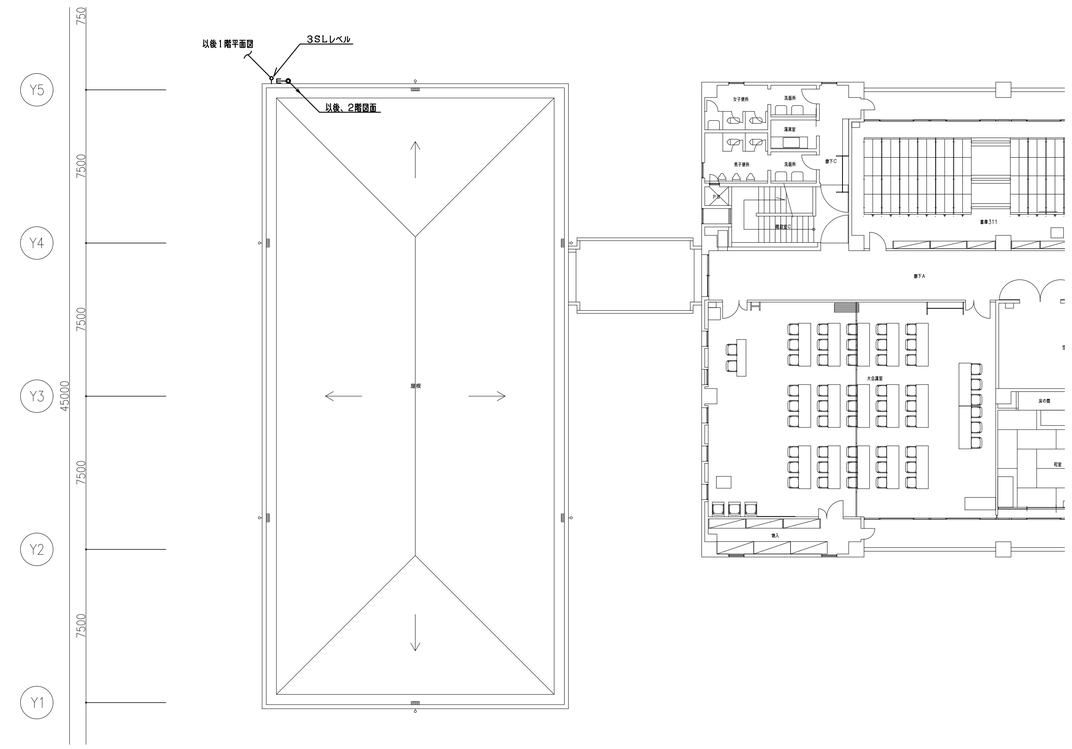
## １階改修図




## ２階改修図




## ３階改修図




| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>E − 29 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>構内通信線路設備 | 縮尺<br>A1：1/150<br>A3：1/300 |

File $f

# 1.　仕様書

## 1.1 概　要

本仕様書は竜王町総合庁舎に設置するコミュニケーションサーバシステム設備工事について規程するものとする。
納入する更新設備は、本庁舎１階印刷室に交換機を設置し、メタル配線にて別館新設端子盤へ配線する構成とする。
また最先端のＩＰ技術を用いた各種サービスに対応できるものであること。

## 1.2　納入場所

滋賀県蒲生郡竜王町大字小口３番地

## 1.3　納入期日

令和　年　月　日までに据付調整を完了するものとする。

## 1.4　機器数量

本設備に関する構成は、下記内容について行うものとする。

１）IP-PBX 関係 ・・・・・・・・・・・・・・・ 一式
２）電話機関係 ・・・・・・・・・・・・・・・ 一式
　① 一般電話機 ×100 台
　② 24 ﾎﾞﾀﾝ多機能電話機 × 80 台
　③ 60 ﾎﾞﾀﾝ DSS ｺﾝｿｰﾙ × 2 台
　④ PHS ｱﾝﾃﾅ × 8 台
　⑤ PHS 子機 × 6 台
　⑥ PHS 充電台 × 6 台
３）ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ装置 ・・・・・・・・・・・・・・・ ・一式
４）通話履歴管理装置・・・・・・・・・・・・・・・一式
５）課金用ﾌﾟﾘﾝﾀ ・・・・・・・・・・・・・・・ 一式
６）保守ｺﾝｿｰﾙ ・・・・・・・・・・・・・・・ 一式
７）電話交換機用 19 ｲﾝﾁﾗｯｸ・・・・・・・・ 一式
８）据付工事関係 ・・・・・・・・・・・・・・・ 一式

搬入経路、その他現場の状況を考慮し、計画書を作成したうえで、監督職員と協議を行う。

## 1.6 試　験

機器据付工事調整完了後、総合試験を行うこと。

## 1.7 検　収

本設置工事完了後、検収すること。

## 1.8 保　証

検収後１ヶ年以内に設計、製作あるいは工事不良によると認められる事故が発生したときは、すみやかに修理を行うこと。

## 1.9 申請手続

本工事の施工・完成に必要な官公庁湖への手続等は受注者の責任と費用においておこなうこと。

## 1.10 その他の事項

本工事の施工は工事担任者(AI・DD 総合種)の資格を有する者が行うこと。
また、本工事の管理責任者は 1 級電気通信工事施工管理技士の資格を有する者が行うこと

# 2.ＩＰ－ＰＢＸ仕様

## 2.1 概　要

１）ＩＰ－ＰＢＸシステムは、電話機、電源装置、電話機一式により構成し、下記の通話を行うことを主な目的とする。

（1） 内線相互通話　（2） 内線と局線間通話
（3） 内線と拠点間通話

２）ＩＰ－ＰＢＸシステムは、構内交換設備に関する技術基準及び関係ある法令規格等を満足するものとする。

## 2.2 方　式

| | | |
|---|---|---|
| 通話路方式 | IPスイッチング方式、PCM時分割方式 | |
| 制御方式 | 蓄積プログラム制御方式 | |
| プロセッサ | 64ビットマイクロプロセッサ | |
| 中継方式 | ・個別着信方式 | ・電子ボタン電話応答方式（直結式） |
| | ・中継台方式 | ・電子ボタン電話応答方式（集結式） |
| | ・分散方式 | ・INSネットダイヤルイン方式 |
| | ・PBXダイヤルイン方式 | ・着サブアドレス呼出方式 |
| | ・追加ダイヤルイン方式 | |
| 冗長構成 | 電話交換機本体装置（メインユニット） ・・・ | 二重構成 |
| | 電話交換機装置（リモートユニット） ・・・ | 一重構成 |

2.2.1セキュリティ対策

① Ｗｉｎｄｏｗｓ等の汎用ＯＳはウイルス攻撃や、設備の乗っ取り等の外部からの攻撃を受ける危険性があるため、独自に開発されたＯＳを採用していること。
② 駆動機構を有する記憶媒体は故障率が高いため可能な限り使用しないこと。駆動機構を有すること。
記憶媒体を使用している場合は、データを保存するなど必要な時だけ稼働させること。
③ セキュリティ面を考慮し、IP電話用の音声ポートと周辺装置用LANポートが独立していること。
④ 外部／内部からの国際電話発信など特定の発信先番号への発信が頻発した場合、不正利用とみなし、自動的に特定の発信先を規制できる機能を有していること。

## 2.3 トラヒック条件

内線電話機1回線あたりの標準発着呼量は7.2HCSとする。

## 2.4 収容回線数

| | 種別 | | 実　装 | 容　量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 端末台数 | 内線 | 一般内線 | 152 | 192 | 拠点内線含む |
| | | デジタル多機能内線 | 9 | 16 | うち60ボタンコンソール２回線 |
| | | PHS内線 | 8 | 8 | |
| | 局線 | 一般公衆回線 | 1 | 4 | |
| | | INSネット64 | 6 | 8 | |
| | 端末 | ２４ボタンデジタル多機能電話機 | 80 | | |
| | | ６０ボタンＤＳＳコンソール | 2 | | |
| | | 一般電話機 | 100 | | |
| | | PHS基地局 | 8 | | |
| | | PHS子機（充電台共） | 8 | | |
| | ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ装置 | | | | 同時通話録音数 16,470時間分 |
| | 通話履歴管理装置 | | 1 | | ノートパソコン含む |
| | 保守ｺﾝｿｰﾙ | | 1 | | |

## 2.5 番号計画

監督職員と協議とする。

## 2.6 電気的条件

2.6.1　電源電圧　AC100V±10V（60Hz）

2.6.2　収容電話機ダイヤル条件

| 項目 | | 条件 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| PB式ダイヤル | 送出可能数字及び周波数 | 周波数 | 1,209Hz | 1,336Hz | 1,477Hz |
| | | 697Hz | 1 | 2 | 3 |
| | | 770Hz | 4 | 5 | 6 |
| | | 852Hz | 7 | 8 | 9 |
| | | 941Hz | * | 0 | # |
| | 周波数偏差 | ±1.5% | | | |
| | 信号レベル | PB電話機準拠（NTT技術参考資料） | | | |
| | 信号送出時間 | 50ms以上 | | | |
| | ミニマムポーズ | 30ms以上 | | | |
| | 周期 | 信号送出時間+ミニマムポーズ 120ms以上 | | | |
| DP式ダイヤル | ダイヤルスピード | 10±0.8pps、20±1.6pps | | | |
| | インパルスメーク率 | 33±3% | | | |
| | ミニマムポーズ | 600ms以上（10PPS）、450ms以上（20PPS） | | | |

2.6.3　内線／トランク線路条件

| 項目 | 条件 |
|---|---|
| アナログ内線（ループ抵抗） | 一般内線：600Ω（電話機抵抗含む）<br>長距離内線：1,500Ω（電話機抵抗含む） |
| デジタル内線 | 600m（0.5Φ） |
| 一般公衆回線 | 1,700Ω（所属局内部抵抗含む） |

2.6.4　IPインタフェース

| 項目 | 条件 |
|---|---|
| LANインタフェース | 10/100/1,000Mbpsイーサネット |
| 音声符号化方式 | G.722、G.711、G.729a |
| QoS | ToS(IP Precedence、Diffserv) |
| VLAN | TagVLAN(IEEE802.1Q/p) |

## 2.7 構　造

2.7.1　設置形態

電話交換機は、19インチラック設置、平置き設置、卓上設置、縦置き設置のいづれかとする。
機器の耐震性能は、水平加速度1.1G（震度7相当）に対応可能とする。
通話履歴管理装置を管理するノートパソコンは、19インチラック等に搭載する事。
なお設置に必要な機材は受注者が準備すること。

2.7.2　寸法・重量・色（相当品）

| 項　目 | | 寸　法（mm） | | | 重量 | 色 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 幅 | 奥行 | 高さ | (kg) | （マンセル近似値） |
| 本体 | CPUモジュール（注1） | 430 | 397.3 | 43 | 約5.0 | リアルブラック（10.0RP 0.6/0.0） |
| | 二重化用CPUモジュール（注1）（注2） | 430 | 397.3 | 88 | 約7.4 | リアルブラック（10.0RP 0.6/0.0） |
| | LTモジュール（注3） | 430 | 400.6 | 88 | 約8.2 | リアルブラック（10.0RP 0.6/0.0） |
| MDF/バッテリー | MDF/バッテリーモジュール（注4） | 430 | 460 | 700 | 約57.8 | リアルブラック（10.0RP 0.6/0.0） |

（注1） 内蔵蓄電池およびパッケージの重量は含まない。
（注2） CPUカード実装時［ACケーブル、バッテリなし］。
（注3） カードフル実装時、内蔵蓄電池なしの重量。
（注4） MDF（マウントのみ）、内蔵蓄電池４個実装時。

## 2.8 環境条件

| 項　目 | 条　件 |
|---|---|
| 周囲温度 | 0℃～40℃（休日、夜間などでこれを超える場合は空調設備が必要） |
| 相対湿度 | 20%～90%（結露しないこと） |
| 空調設備 | 一般事務所並み |

使用部品は、RoHS 指令に準拠し、有害物質※を定められた値以上含有していないこと。

※:鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル（PBB）、ポリ臭化ジフェニエーテル（PBDE）、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル（DEHP）、フタル酸ブチルベンジル（BBP）、フタル酸ジブチル（DBP）、フタル酸ジイソブチル（DIBP）

# 3.　電源装置

蓄電池　AH（10分間／3時間停電耐力）
AC消費電流　A（最大1.23A／CPUモジュール、最大1.57A／二重化CPUモジュール、最大2.43A／LTモジュール）

# 4.　端末機器仕様

4.1デジタル多機能電話機
1) 機能ボタン数：24ボタン(40ボタンに増設可能なこと)、保留、転送,フッキングの固定機能ボタン等
2) LC Dディスプレイ：半角28文字x4行表示(バックライト付き)で可動式とする。
3)外形　：約181mm(W)x約 244mm(D)x約143mm(H)
　いづれも本体寸法は、最低チルトレク角度25°、かつディスプレイの角度が０度の場合。
4) ケーブル　：2芯モジューラーケーブル
5) ユニバーサルデザイン:
　①視覚に障がいがある者でもボタン操作が可能なように点字対応が可能なこと。
　②弱視者を考慮したLCDディスプレイの白黒反転、縦倍角文字での表示が可能なこと。
　③ヒアリングエイドに対応していること。
6)発着信履歴
　発信履歴60件、着信履歴60件蓄積ができること。
7) PC故障対応の場合多機能電話機からの主装置システムデータ登録 変更ができること。
8) 不在着信があった場合には、LCDディスプレイ上にアイコン表示可能なこと。
9) 欧州RoHS指令に準拠していること。

4. 2 一般電話機
1) 機能ボタン数：転送(フック)、再ダイヤル
2)外形　：154mm(W)x222mm(D)x111mm(H)以上
3) ケーブル　：2芯モジューラーケーブル
4) ユニバーサルデザイン:ヒアリングエイドに対応していること
5) 呼び出し音色が3種類の中から選択可能なこと。
6)受話音量調整、呼出音量の調整が可能なこと。

4.3 PHS 基地局
4.3.1 外形 :160mm(W)x159mm(D)x40mm(H) [注：突起部(アンテナ)含まず]
　:188mm(W)x159mm(D)x40mm(H) [注：突起部(アンテナ)含む]
4.3.2ケーブル　:2芯モジューラーケーブル
4.3.3環境条件:
　(1) 周囲温度:-10℃ ～ 50℃
　(2) 相対湿度:10% ～ 85% (結露しないこと)

4.4 PHS 子機
4.4.1 防水・防塵対応：防水（IP55/IP57）
4.4.2 機能ボタン ：ソフトキー(3個)、ワンタッチキー(2個)、電話帳キー
4.4.3 外形: 45mm(W)x125mm(D)x12mm(H)
4.4.4 使用時間： 連続通話6時間、待ち受け時間500時間以上
4.4.5 電話帳 ： 1,000件/3番号
4.4.6 PCインタフェース(電話帳編集):micro-USB
4.4.7 その他機能要件:
　(1) 高速ハンドオーバが可能なこと。
　(2) Carrity-NX間(構内)で、テキストメッセージをやりとり可能なこと。
　(3) ボイスメールと連携し通話録音ができ、メッセージが到着した時はディスプレイに到着通知を表示可能なこと。
　(4) 端末落下時の破損を防ぐため、アンテナ部分が内蔵化された
　(5) カラー液晶に対応していること。

4.5 ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ
4.5.1 搭載方法 :ライン/トランクモジュール搭載（最大 1 枚/システム）
4.5.2 音声蓄積時間 :最大 470 時間（8GB CF カード使用時）
4.5.3 音声蓄積時間 :通録ファイルを外部サーバに転送することで、音声蓄積時間の制限なく※通話録音が可能なこと。※ 外部サーバの空き HDD 容量分（60MB で 約 1 時間）
4.5.4 メールボックス数 :○○○ボックス（最大 2,000 ボックスまで拡張可能）
4.5.5 メールボックス数 :最大:2,000
4.5.6 同時通話録音数 :最大 16
4.5.7 着信代行サービスモード:3 種類（夜、昼、休業日）
4.5.8 ガイダンス言語 :日本語、英語（マルチランゲージセット）
4.5.9 その他機能要件:
(1) ボイスメールが投函されると、指定した E-mail アドレスに到着通知を送信可能なこと。
(2) メールボックスに投函されたボイスメールを Web ブラウザから確認可能なこと。
(3) ボイスメールを送信する際、日時を指定して送信可能なこと。
(4) 自分が送信したメッセージを相手が確認した場合、自動的に自分のメールボックスに通知可能なこと。
(5) 他のメンバーも使用可能な同報グループと自分のみ使用可能なプライベートグループを作成可能なこと。
(6) 電話に応答する前に相手の名前が通知でき、そのまま応答するかボイスメールに転送するか選択可能なこと。
(7) 設定データや音声ファイルをバックアップすることが可能なこと。
(8) 自分にかかってきた電話を録音中にモニタすることができ、途中で受話器を上げれば相手との通話が可能なこと。
(9) 音声自動応答（IVR 機能）が利用可能なこと。

# 5.　付帯装置機器仕様（相当品）

## 5.1 通話履歴管理装置

5.1.1　構成　：ノートパソコン 1台
　（ノートパソコンは保守コンソールと共用）
(1) ノートパソコン 1台
・CPU:　Celeron3265U 1.8GHz以上
・メモリ:　4GB
・ハードディスク:　500GB
・ドライブ:　DVD-ROMドライブ
・OS:　Windows10Pro64bit
・モニタ:　15.6型ワイド液晶（HD）以上
・マウス:　USB レーザーマウス
・MicroSoft　Office：　Parsonal付
5.1.2 通話履歴情報蓄積数　：2,000,000件 程度
5.1.3 相手先番号（相手先名）：　10,000件 程度
5.1.4 内線番号（内線名）　：　10,000件 程度
5.1.5 その他機能要件：
(1) 外線発信、着信の履歴情報を取り込み表示することができること。
(2) 内線相互接続の不応答呼を取り込み表示することができること。
(3) 迷惑電話着信(IP電話交換機の迷惑電話リストに登録された発信者番号や非通知からの着信)の履歴情報を取り込み表示することができること。
(4) 不正アクセス(単位時間あたりの過剰な発信)を「検 知」し、管理者に通知することができること。
(5) 蓄積した通話履歴情報の一覧を表示することができ、データをプリントアウト、グラフ表示することができること。
(6) 通話履歴情報をＣＳＶ ファイルで出力でき、外部アプリケーションソフトにより 編集加工できること。
(7) 蓄積されている履歴情報を特定の抽出条件で検索でき 、検索条件は統計情報にも反映でき、また、複数の検索条件を組み合わせて検索することができること。
(8) IP電話交換機から履歴情報を収集するタイムスケジュールを設定できること。
(9) タイムスケジュールの実行結果、システムの運用状態、履歴情報や統計情報の状況をメールで通知できること。
(10) 着信履歴情報から迷惑電話の発信者番号を抽出し 自動的にIP電話交換機の迷惑電話リストに登録できること。

## 5.2 保守コンソール

5.2.1　構成　：ノートパソコン 1台
　（ノートパソコンは通話履歴管理装置と共用可）
(1) ノートパソコン 1台
・CPU:　Celeron3265U 1.8GHz以上
・メモリ:　4GB
・ハードディスク:　500GB
・ドライブ:　DVD-ROMドライブ
・OS:　Windows10Pro64bit
・モニタ:　15.6型ワイド液晶（HD）以上
・マウス:　USB レーザーマウス
・MicroSoft　Office：　Parsonal付

# 6.　本配線盤

方式　ＭＤＦ別置型

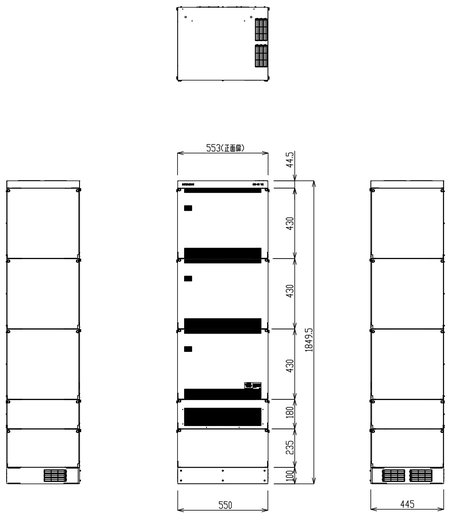
# 7.　据付工事

本工事は、ＮＴＴの技術基準及び関連法令に基づく基準工法により施工するものとし、施工にあたっては監督職員と協議の上、その指示にしたがって施工すること。
機器、又は搭載ラックの耐震性能を満たす据付施工とし、その根拠を提示すること。
なお、設備の据付、撤去に伴う必要な補修作業も本工事に含むものとする。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称　竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.　E－30 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名　電話設備仕様書 | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

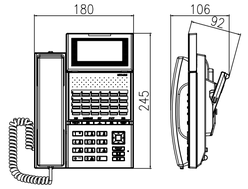
File $f

## 電話主装置



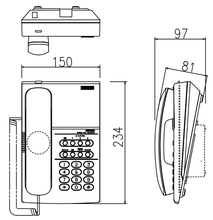

参考品番 ： ＳＶ９３００ＣＴ
参考品番 ： ＣＸ－０１

## 多機能電話機



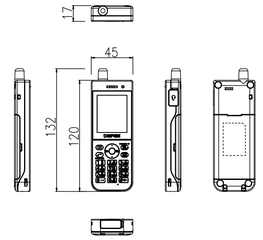

参考品番 ： ＤＴＫ－２４Ｄ－１Ｄ（ＷＨ）ＴＥＬ
参考品番 ： ＨＩ－２４Ｇ－ＴＥＬ ＳＤ

## 一般電話機



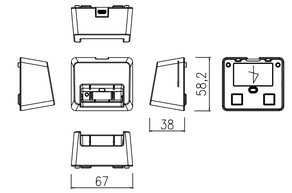

参考品番 ： ＤＴＬ－１－１Ｄ（ＷＨ）ＴＥＬ
参考品番 ： ＨＩ－４ＡⅡ

## ＰＨＳ子機



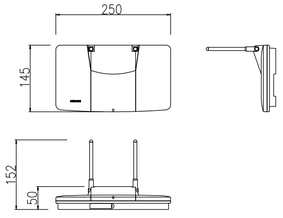

参考品番 ： ＰＳ８Ｄ－ＮＸ　ＴＥＬＰＨＯＮＥ
参考品番 ： ＨＩ－Ｄ８ＰＳⅡ（充電台含む）

## ＰＨＳ子機充電台



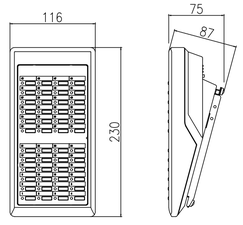

参考品番 ： ＰＳ８Ｄ－ＮＸ　ＣＨＧ

## ＰＨＳアンテナ



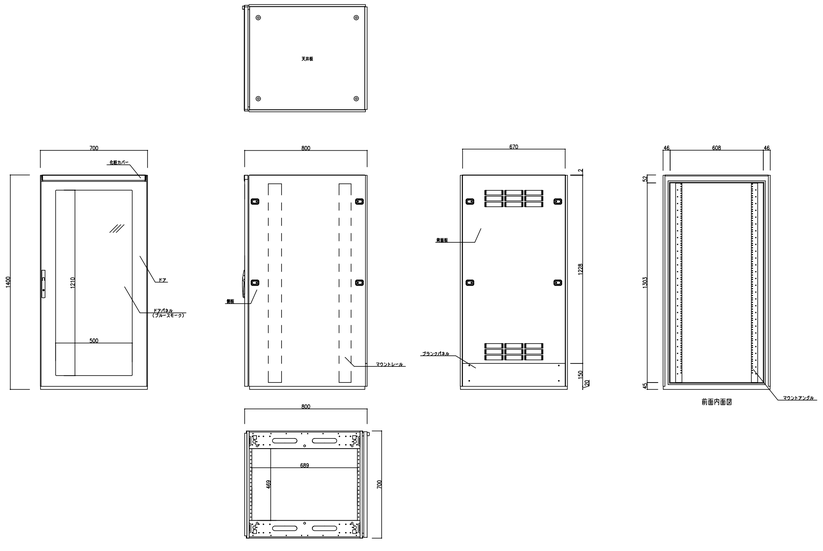

参考品番 ： ＢＳ５１－１Ｄ
参考品番 ： ＨＩ－Ｄ３ＢＳ

## ４８ボタンＤＳＳコンソール




参考品番 ： ＤＴＫ－６０－１Ｄ（ＷＨ）ＣＯＮＳＯＬＥ
参考品番 ： ＨＩ－４８ＤＳＳＧＡ

## １９インチラック

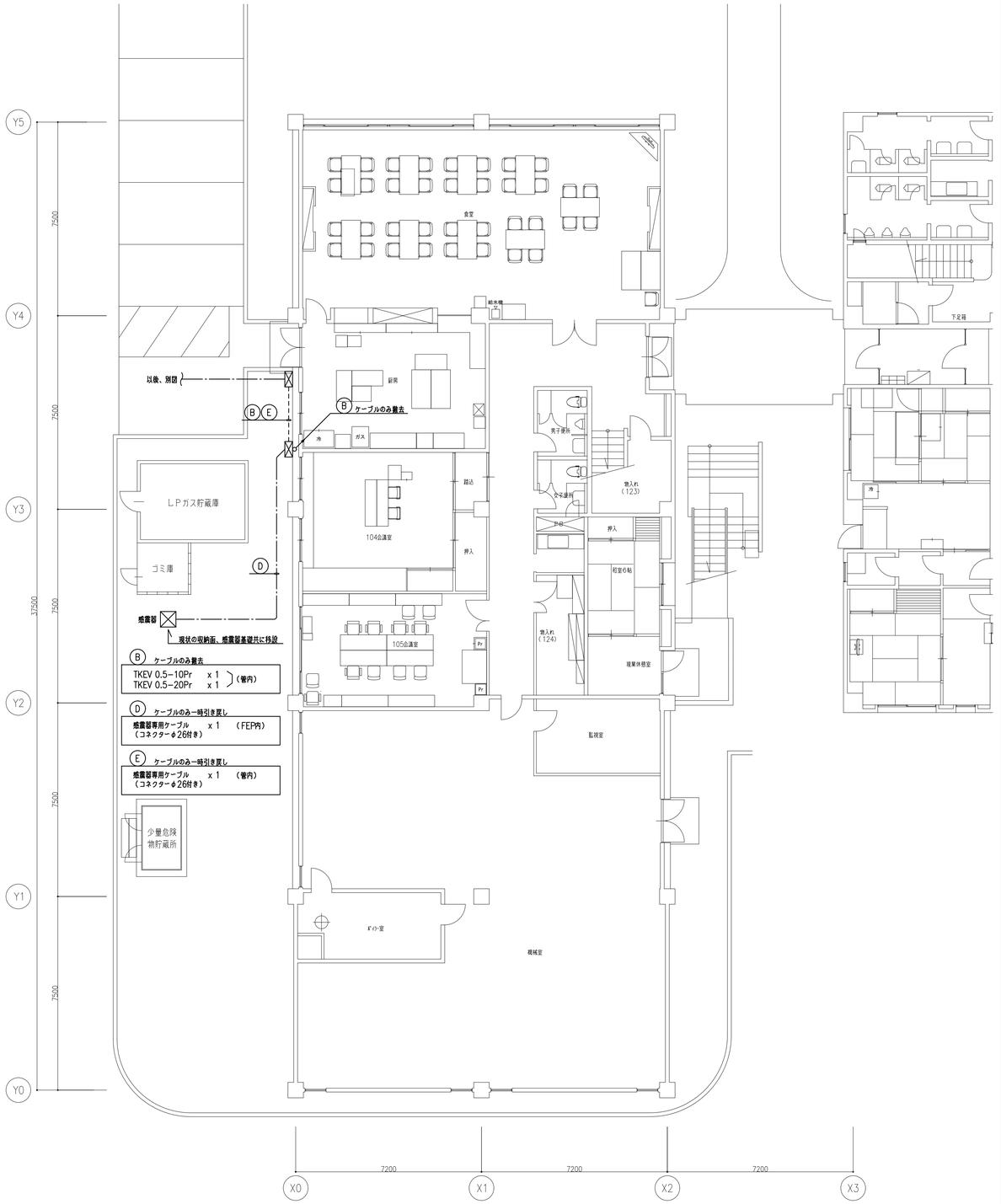



参考品番 ： ＦＳ８０－７１４ＥＮ

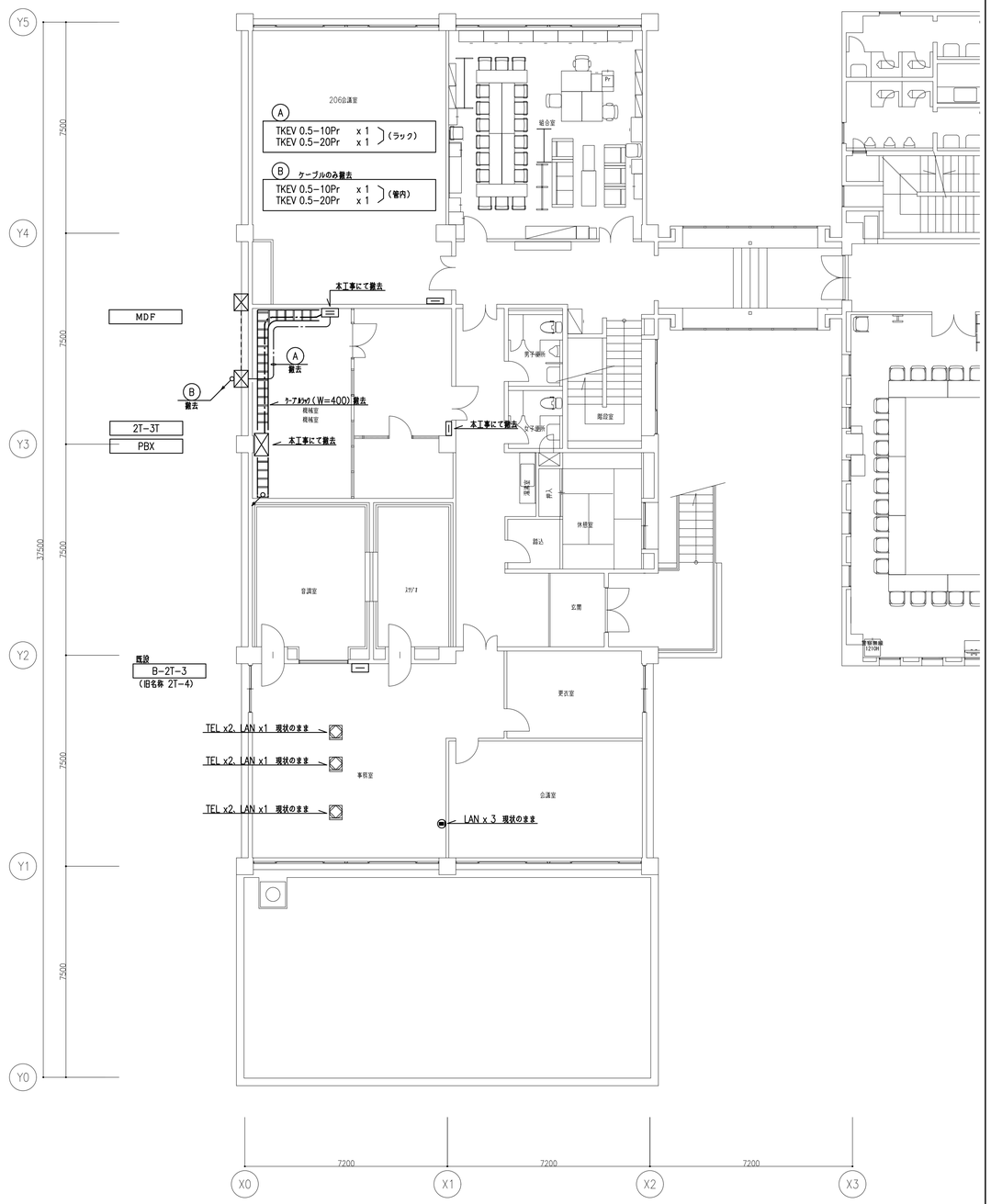
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第９３９号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ．<br>Ｅ－３１ |
| | | | | 構造/設備関係規定<br>への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>電話設備機器参考姿図 | 縮尺<br>A1：N/S<br>A3：N/S |

File $f

## 1階改修図



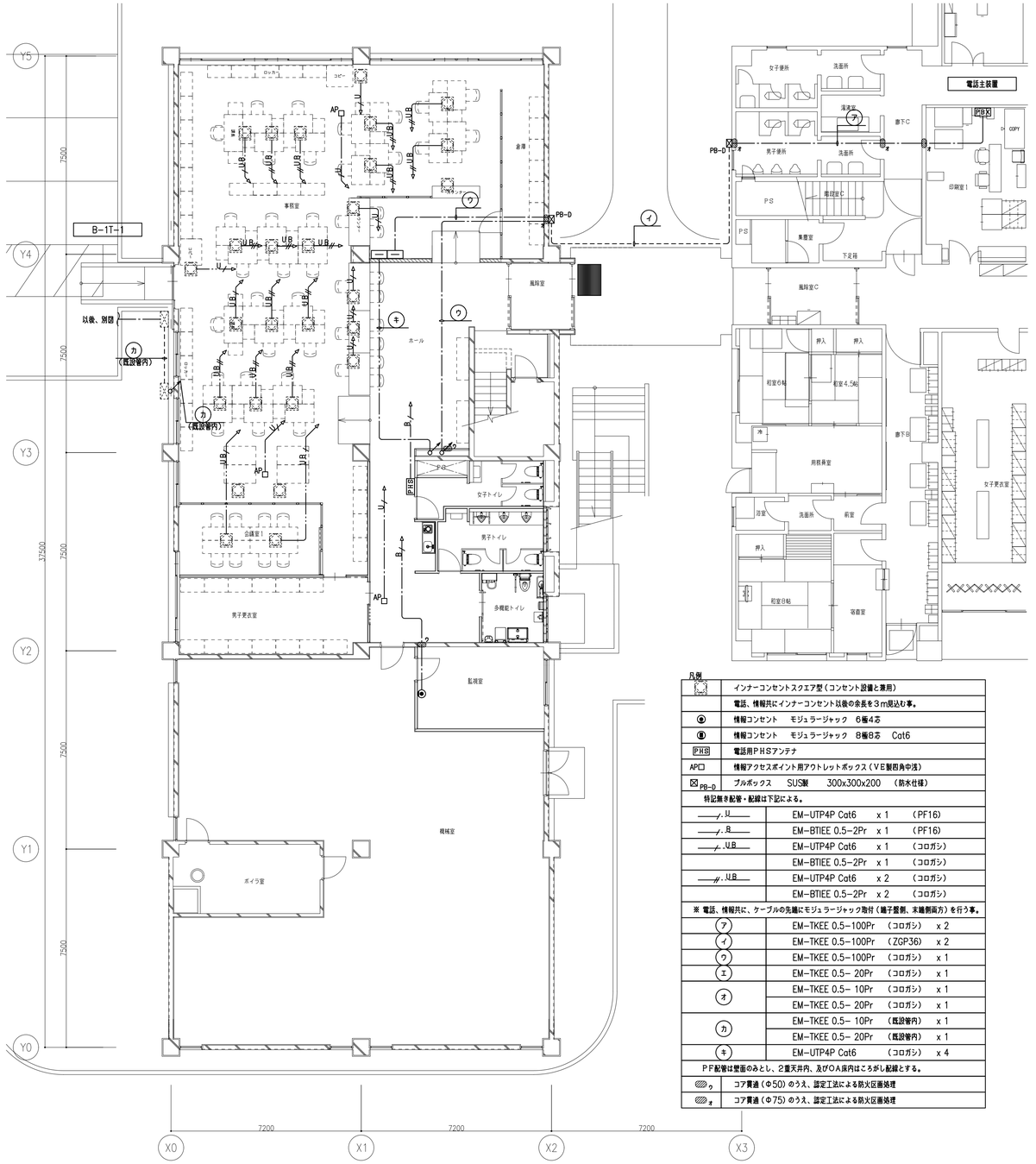

## 2階改修図




| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E - 32 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 電話情報設備撤去図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## １階改修図




凡例

| | |
|---|---|
| | インナーコンセントスクエア型（コンセント設備と兼用） |
| | 電話、情報共にインナーコンセント以後の余長を３m見込む事。 |
| ◉ | 情報コンセント　モジュラージャック　6極4芯 |
| ◉ | 情報コンセント　モジュラージャック　8極8芯　Cat6 |
| PHS | 電話用ＰＨＳアンテナ |
| AP□ | 情報アクセスポイント用アウトレットボックス（ＶＥ製四角中浅） |
| ⊠ PB-D | プルボックス　SUS製　300x300x200　（防水仕様） |

特記無き配管・配線は下記による。

| | | |
|---|---|---|
| U | EM-UTP4P Cat6 x 1 | (PF16) |
| B | EM-BTIEE 0.5-2Pr x 1 | (PF16) |
| UB | EM-UTP4P Cat6 x 1 | (コロガシ) |
| | EM-BTIEE 0.5-2Pr x 1 | (コロガシ) |
| UB | EM-UTP4P Cat6 x 2 | (コロガシ) |
| | EM-BTIEE 0.5-2Pr x 2 | (コロガシ) |

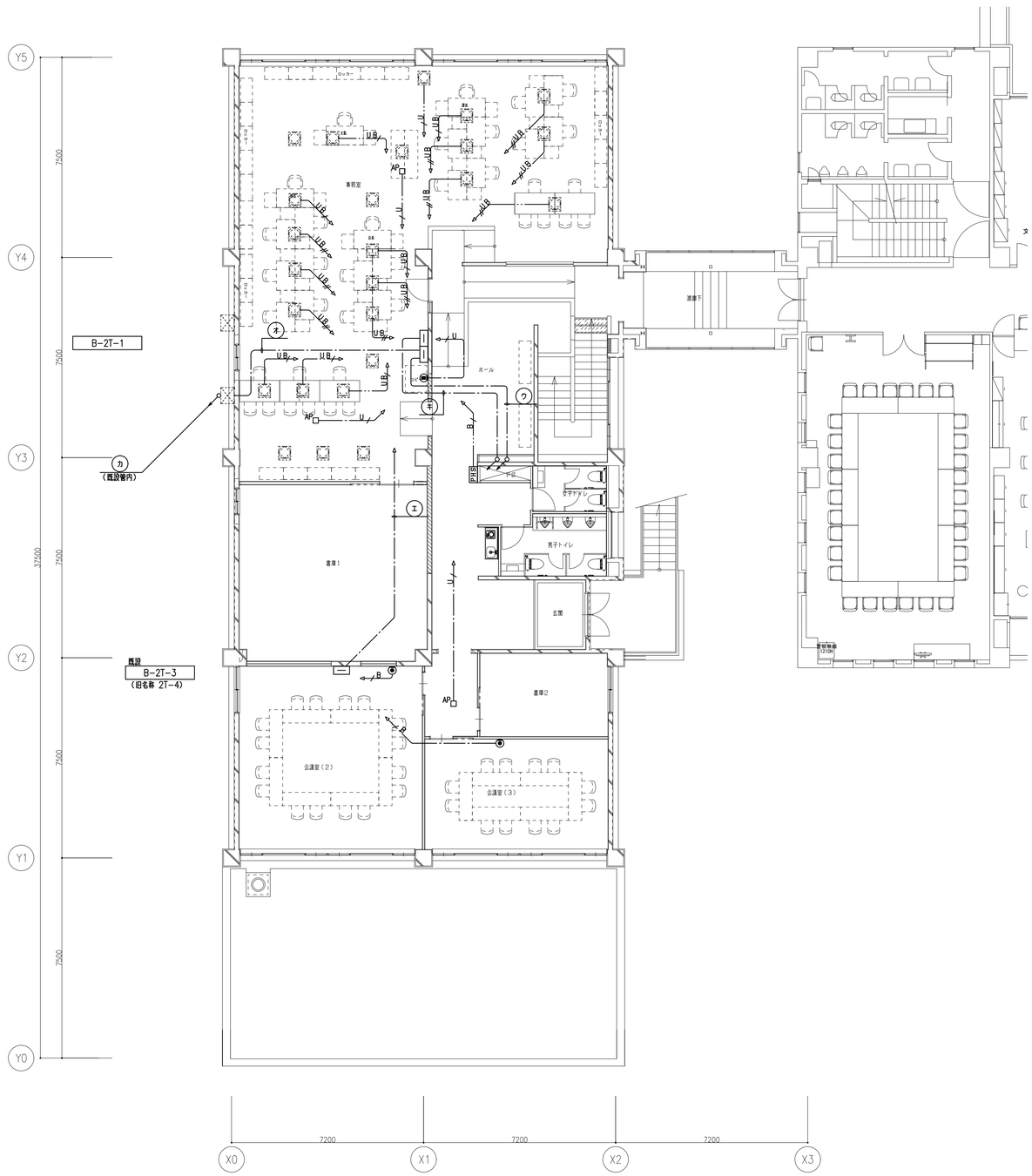
※ 電話、情報共に、ケーブルの先端にモジュラージャック取付（端子盤側、末端側両方）を行う事。

| | | |
|---|---|---|
| ア | EM-TKEE 0.5-100Pr | (コロガシ) x 2 |
| イ | EM-TKEE 0.5-100Pr | (ZGP36) x 2 |
| ウ | EM-TKEE 0.5-100Pr | (コロガシ) x 1 |
| エ | EM-TKEE 0.5- 20Pr | (コロガシ) x 1 |
| オ | EM-TKEE 0.5- 10Pr | (コロガシ) x 1 |
| | EM-TKEE 0.5- 20Pr | (コロガシ) x 1 |
| カ | EM-TKEE 0.5- 10Pr | (既設管内) x 1 |
| | EM-TKEE 0.5- 20Pr | (既設管内) x 1 |
| キ | EM-UTP4P Cat6 | (コロガシ) x 4 |

ＰＦ配管は壁面のみとし、２重天井内、及びＯＡ床内はころがし配線とする。

| | |
|---|---|
| ▨ ク | コア貫通（Φ50）のうえ、認定工法による防火区画処理 |
| ▨ オ | コア貫通（Φ75）のうえ、認定工法による防火区画処理 |

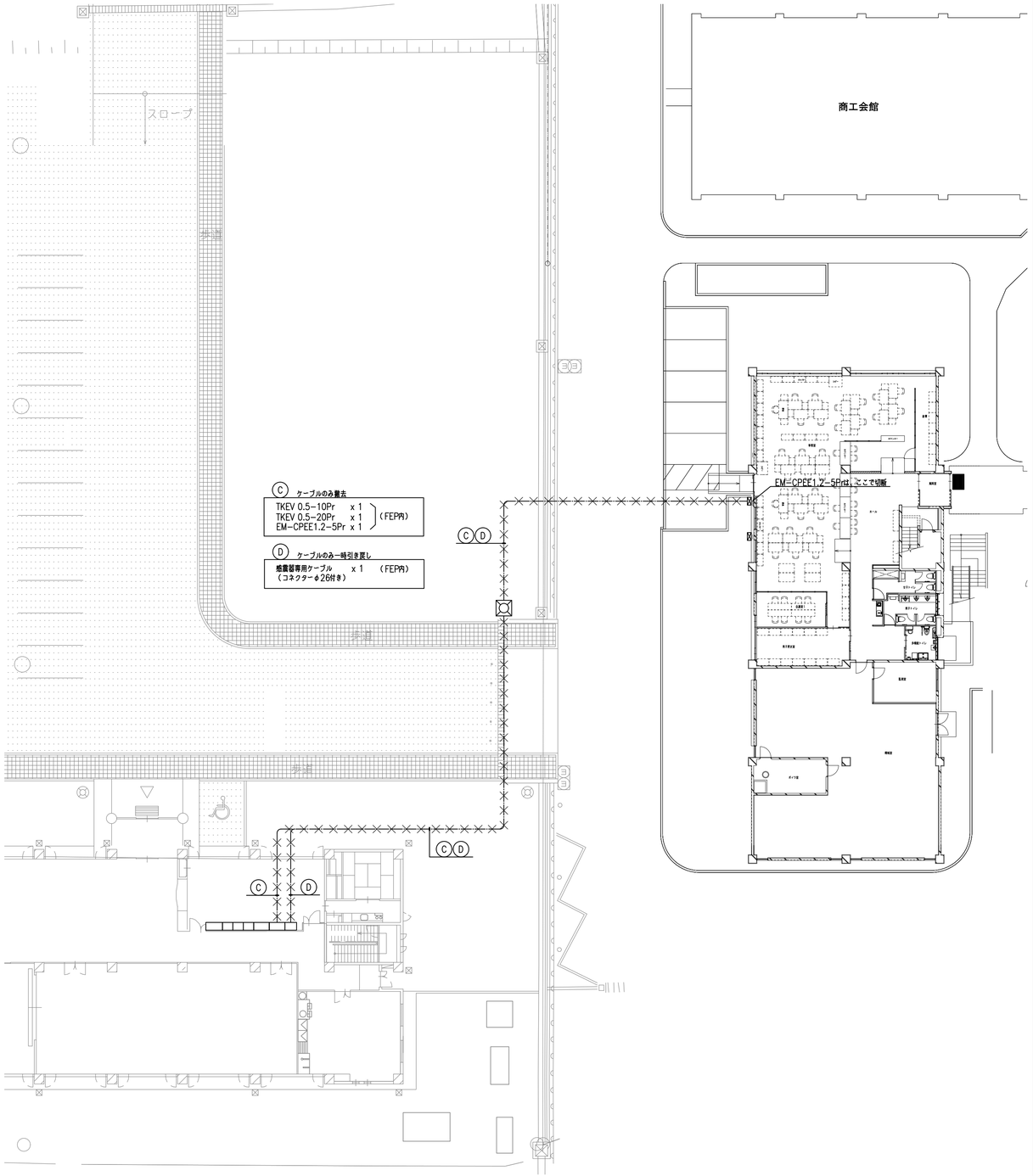
## ２階改修図



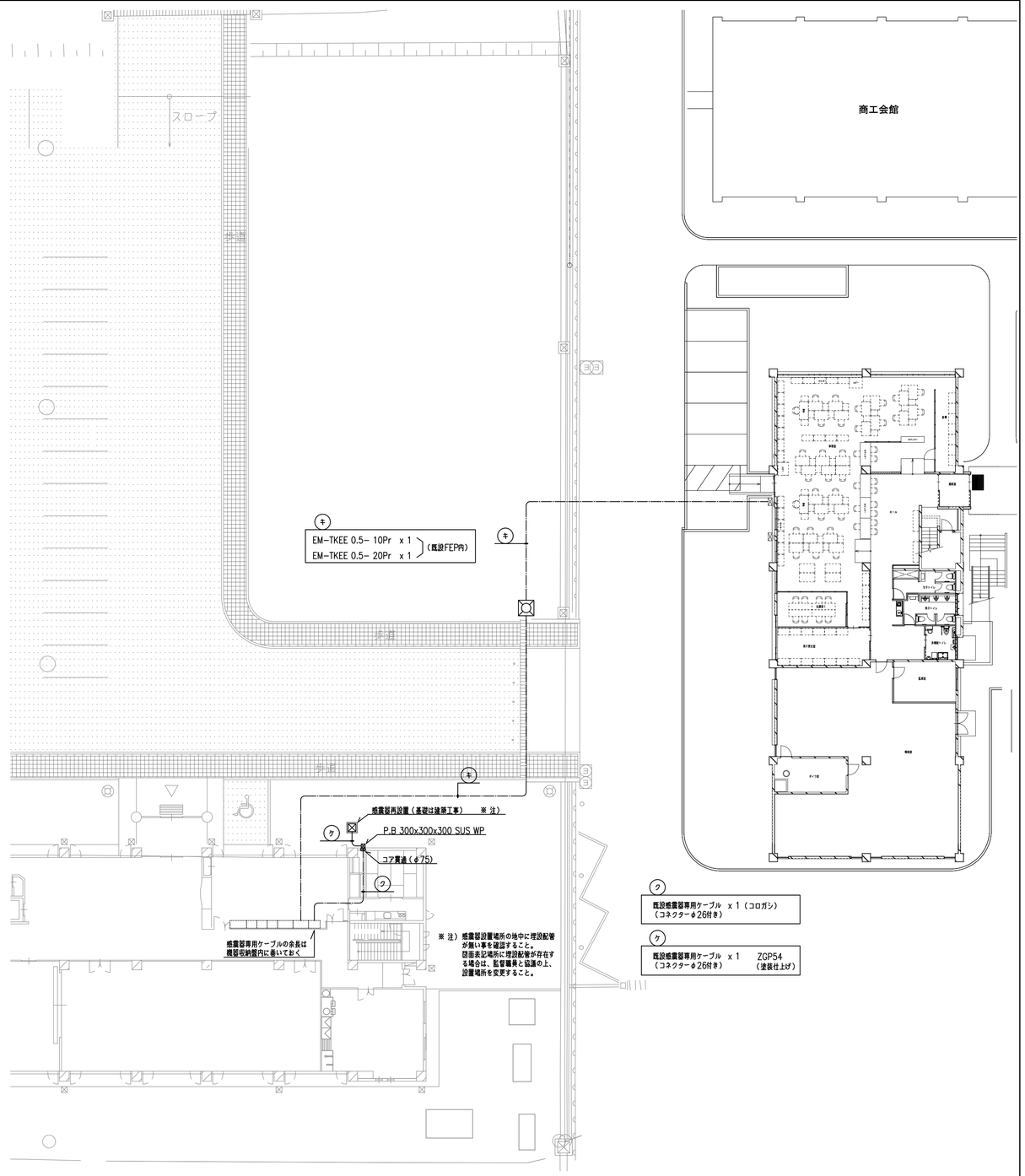

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E－33 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 電話情報設備改修図 | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

File $f

## 撤去図




## 改修図




| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. E - 34 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 電話情報、地震計設備（別館～防災センター）撤去、改修図 | 縮尺<br>A1：1/200<br>A3：1/400 |

File $f

2020.12

# 機械設備工事特記仕様書

## 工事概要

| | |
|---|---|
| 工事名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 |
| 工事場所 | 蒲生郡竜王町大字小口３番地 |
| 工事期間・限 | 令和　　年　　月　　日　限 |
| 工事概要説明 | 本工事は、竜王町総合庁舎別館改修工事に伴う機械設備工事一切を行う。 |

※該当工事には適用欄に○印を附す。

| 適用 | No | 工事種目 | 工種 新設 | 工種 改修 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 受水設備 | | | |
| ○ | 2 | 給水設備 | | ○ | |
| ○ | 3 | 排水通気設備 | | ○ | |
| ○ | 4 | 衛生器具設備 | | ○ | |
| ○ | 5 | ガス設備 | | ○ | |
| ○ | 6 | 消火設備 | | ○ | |
| ○ | 7 | 給湯設備 | | ○ | |
| ○ | 8 | 換気設備 | | ○ | |
| | 9 | 排煙設備 | | | |
| | 10 | 暖房設備 | | | |
| | 11 | 冷房設備 | | | |
| ○ | 12 | 空気調和設備 | | ○ | |

別途工事
・工事区分表による。

機械設備工事仕様書
１．図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書、同改修工事標準仕様書および同設備工事標準図の令和元年版機械設備工事編（以下、「標仕」という）による。
２．項目は、○印の付いたものを適用する。

建物概要

| No | 名称 | 構造 | 階数 | 延面積（㎡） | 棟数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 計 | | | | | |

## 一般共通事項

| 項目 | 特記事項 |
|---|---|
| 適用項目 | 一般共通事項の扱いは、本工事が単独の工事又は分離発注の場合は以下の全項目を適用し、他工事に含まれる一括発注の場合は、※印を付したものを適用する。 |
| ※１ 施工基準 | イ　本工事は、工事請負契約書及び同約款を適守し、本特記仕様書、図面 14 葉及び標準仕様書により完全に施工する。なお上記相互間に相違のある場合の優先順位は記載の順序とする。<br>ロ　必要な関係諸官庁への申請手続き等は、全て受注者の負担とする。<br>ハ　本図は、工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。<br>ニ　その他関係諸法規に基づき完全に施工する。 |
| ※２ 監理指針 | 国土交通省大臣官房官庁営繕部整修機械設備工事監理指針（令和元年版）に準ずる |
| ※３ 施工監理ﾁｪｯｸﾘｽﾄ | 施工に際し、施工手引き書である機械設備工事施工監理チェックリスト（滋賀県土木交通部建築課　２０１９年度版）に従う。 |
| ※４ 完成図 | 完成図の種類、記入内容および様式は標仕により作成し、原図、ＣＡＤデータおよび焼付製本（Ａ１サイズ）　３部を提出するものとする。<br>なお、標仕1.7.2(1)図面の種類に本特記仕様書を加えたものとする。 |
| ※５ 保全に関する資料 | 保全に関する資料は標仕により作成し、監督員に指示された必要部数の原本、複写図および電子データを提出するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督員の指示による。 |
| ※６ 工事写真 | 区分：着工前／工事中／完成時／定期提出　分類・規格：ｶﾗｰ･ﾃﾞｰﾋﾞｽ　撮影枚数：6・⑩・20／3・⑤・7／2　部数(ネガ1枚に付)：1／1／2／2　備考：状況によりつなぎ写真／必要に応じ／／月末報告用<br>完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真帳に貼り付け提出する。<br>写真撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部整修「工事写真撮影ガイドブック」に準ずる。 |
| ※７ 現場代理人 | 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。<br>契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事における現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する運用基準（滋賀県土木交通部）」による。<br>①現場代理人の常駐を要しない期間<br>・請負契約の締結の日の翌日から令和　　年　　月　　日までの期間については、現場代理人の工事現場への常駐は要しない。<br>・請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。<br>②工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。<br>現場代理人は、受注者との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。 |
| ※８ 技術管理 | 受注者は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたらせること。<br>①　技術者の専任を要しない期間<br>・請負契約の締結翌日から令和　年　月　日までの期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任は要しない。<br>・　請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。<br>②　滋賀県建設工事請負契約約款（以下「契約約款」という）第31条第2項の規定に基づく検査を完了した日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日（契約約款第31条第6項に該当するものを含む）とする。<br>なお、日程上の都合上、契約工期満了後に検査が行われる場合は、契約工期完了後の監理技術者等の工事現場への専任を要しない。 |
| ９ 技能士 | 適用工事種別　・配管施工：１級　・熱絶縁施工：１級　・冷凍・空気調和機施工：１級　・建築板金施工 |
| ※10 下請業者機材等の選定 | 各種下請業者、機器材料等県内で供給できるものについては、極力県内業者、県産品を選定するこことと、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 |
| ※11 検査合格書等 | 各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約書、施工下請業者､材料製造所連名書とする。 |
| ※12 建築工事との取合い | コンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強及び仕上部分の軽量鉄骨天井下地、同壁下地の間口部補強は建築工事とするも、事前に施工図を作成し、監督職員、建築工事業者承認の上とする。 |
| ※13 既存設備間係 | 施工に際し、既設内容、取合いをよく調査するとと共に既存施設の担当者と十分協議を行い、その機能を低下せしめてはならない。 |
| ※14 公害対策 | 工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事現工まで講ずること。 |
| ※15 産業廃棄物の処理 | 受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けること。<br>①本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）を遵守し、分別解体及び再資源化等を実施すること。また、着工前の同法第１１条の「通知」は受注者が提出のこと。 |
| | ②「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を遵守し、一定規模以上の工事においては、再生資源利用「促進」計画書及び同実施書を作成し速やかに報告のこと。<br>③受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、同法１２条の３によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。 |
| ※16 発生材の処理 | 引渡を要するもの： |
| 17-1 保険の付与及び事故の補償（法定外の労災保険の付与） | 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 |
| ※17-2 保険等 | 受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。 |
| ※18 監督職員事務所 | 規模　・１号　・２号　・３号　・４号　・５号　・設けない<br>備品　机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、受注者加入電話の子機、衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。 |
| ※19 安全対策 | 工事車輌の出入りについては、危険防止に努めること。又、必要に応じて交通整理員を配置すると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のなき様留意し、全般に支障なき様万全の策を講ずること。また、施設運営についても、担当者と協議を行い支障なき様に努めること。 |
| ※20 続労安全衛生管理義務者 | 労働安全衛生法第３０条第２項の続括安全衛生管理義務者には、（　建築工事　電気設備工事　機械設備工事　）の受注者を指名する。 |
| ※21 創意工夫等実施状況 | 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに提出することができる。<br>ただし、工事成績評定においての高度技術、創意工夫または地域社会への貢献（以下「創意工夫等」という）に対する評価は、施工計画書にそのことが記載され、または事前に受注者から自主的に創意工夫等にかかる資料が監督員職員あて提出され、それらの項目が創意工夫等に該当すると判断し、施工等に反映されていた場合に評価するものとし、実施前に施工計画書に記載または資料等の提出がなされていない場合は評価しないものとする。 |
| ※22 別途工事との連絡協議 | 受注者は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取合について図示あるも、施工時に必要に応じ協議を行い連絡を密にすること。 |
| ※23 シンナー等の保管管理 | シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。 |
| ※24 フロンの回収等 | 冷媒にフロンを使用している機器の撤去においては、フロン排出抑制法に基づきフロンガスを全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用した材料、工法を用いないこと。 |
| ※25 工事実績情報の作成・登録 | 受注者は、工事請負代金　500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）入力システムに基づき、「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けた後、（一財）日本情報総合センター（JACIC）に登録するとともに、センター発行の「登録内容確認書（工事実績）」の写しを監督職員に提出しなければならない。提出の期限は以下のとおりとする。<br>(1)受注登録の期限は、契約締結後10日以内とする。<br>(2)竣工登録の期限は、工事完成後10日以内とする。<br>(3)受注登録の内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更登録を行うこと。 |
| ※26 工事関係車両の電波法遵守 | 受注者は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現場において不法無線局を搭載していると疑われし車両を確認したときは、速やかに監督職員にその旨報告する。 |
| ※27 過積載の防止措置 | 受注者は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を順守する旨を記載した施工計画書を提出し徹底を図ること。 |
| ※28 技術検査 | 工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。 |
| ※29 施工上の留意事項等 | イ　液化石油ガス設備工事を施工するものは、特定液化石油ガス設備工事事業者であること。<br>ロ　液化石油ガス設備工事の作業に従事する者は、液化石油ガス設備士であること。<br>ハ　液化石油ガスの各種検査は、供給者または保安機関の検査を受け合格すること（記録紙および検査写真を提出すること）。<br>ニ　給水配管の接合剤は、上水道用の接合剤とする（継手指定品を除く）。<br>ホ　地中埋設の銅管類は防食処置を行う。また、コンクリート貫通箇所はプラスチックテープを巻きモルタル埋めする。<br>ヘ　建物内埋設配管は全てスラブより吊るものとし、その要領は標準仕様書の屋内配管の支持要領に準ずる。<br>ト　暖房給湯設備における試運転用油量は、オイルストレージタンクの1/3以上とする。<br>チ　空気調和設備における仕切弁については、100Ａ以上はバタフライ弁(JIS10K)とする。<br>リ　コンクリート製排水桝、汚水桝、浄化槽と硬質塩化ビニル管の接続部は砂付き加工の工場製品を使用し、漏水防止を図る。<br>ヌ　機械設備工事内で電気設備を含む場合には、別途電気設備工事に全て準ずる。<br>ル　機器の据付、配管支持については、『建築設備耐震設計施工指針』を参考とする。<br>ヲ　風量調整ダンパー、防排煙ダンパー類は、全て工場製作品とし、(財)日本建築センターの防災認定マークを貼付されたものとする。<br>ワ　配管には空気だまりの無いように施工し、図示以外で施工必要箇所には自動空気抜き弁を取付ける。<br>カ　保温工事については、極力滋賀県保温保冷事業協同組合員等業内業者とする。<br>ヨ　当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。また撤去工事は特に既設配管の行先を確認のと、安全に処理する。<br>タ　環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。<br>(1)グリーン購入法に基づくエコマーク商品<br>(2)建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品、材料<br>(3)滋賀県リサイクル製品認定制度に基づく滋賀県リサイクル製品<br>（参考URL http://www.pref.shiga.jp/d/haikibutsu/gomizero/h2112reeflet.pdf） |
| ※30 暴力団員等による不当介入の排除 | 竜王町の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について（「不当介入に関する通報制度」の徹底について）<br>１ 受注者は、暴力団員等（暴力団の構成員および暴力団関係者、その他県発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求または業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。<br>２ 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別記様式第１号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、請負者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行うものとする。<br>３ 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 |
| ※31 環境配慮指針 | 公共事業に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出すること。 |
| 32週休2日取組促進型工事（受注者希望方式） | 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休２日に取り組む旨を協議した上で工事を実施する週休２日取組促進型工事（受注者希望方式）である。費用の計上等の運用にあたっては、「（営繕工事版）週休２日取組促進型工事実施要領」により行う。<br>４週８休以上の現場閉所（現場休息）を前提に労務費を補正して予定価格を作成しており、４週８休に満たない場合は、現場閉所（現場休息）の状況に応じて請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。週休２日の取り組みを実施しない場合は、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。<br>学校の長期休暇期間（春休み）は、監督員協議の上、対象期間から外すことができるものとする。 |
| ※33 建設工事公衆災害防止対策要綱 | 建設業法（昭和24年法律第100号）第25条の27第2項の規定に基づき「建設工事公衆災害防止対策要綱（国土交通省告示第496号　令和元年9月2日、以下「新要綱」）」が告示されたため、公共建築工事標準仕様書に位置付ける「建設工事公衆災害防止対策要綱」は新要綱に読み替える。 |
| 34 余裕期間制度（発注者指定方式） | １．本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間（契約締結日から工事開始日の前日までの期間）を設定した工事である。取り扱いについては、「工事における余裕期間制度実施要領（令和２年２月）（滋賀県）」および「建設工事における余裕期間制度 運用マニュアル（令和２年２月）（滋賀県土木交通部）」に基づくものとする。<br>２．余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責において行うものとする。<br>３．余裕期間内は、主任技術者または監理技術者を配置することを要しない。また、現場代理人は工事現場に常駐しないものとする。<br>４．コリンズへ登録する技術者の従事期間は、実工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）<br>５．受注者は工事開始日の前日までに現場代理人等を定め、所定の様式により届け出るものとする。<br>６．実工期：令和●年●月●日から令和●年●月●日まで<br>なお、低入札価格調査等により、上記の工事開始日以降に契約締結となった場合には、余裕期間は適用しない。 |
| ※35 施工計画書 | 受注者は、施工計画書の作成にあたり、「その他」の事項として新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を記載するものとする。<br>必要と認める拡大防止対策のうち共通仮設および現場管理の範囲を超え、受注者が追加で費用を要する拡大防止対策を行う場合は、受発注者間で設計変更の協議を行うこととする。協議における資料は受注者の負担により作成するものとする。 |
| 36 建設業法第26条第3項ただし書の規定の運用を受ける監理技術者の配置 | 1．本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の(1)～(8)の要件を全て満たさなければならない。<br>(1)建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下､「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。<br>(2)監理技術者補佐は、一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。<br>(3)監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。<br>(4)同一の特例監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に２件までとする。<br>(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一の工事とみなす。）<br>(5)特例監理技術者が兼務できる工事は同一土木事務所管内（土木事務所、支所）の工事でなければならない。<br>(6)特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回および主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。<br>(7)特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。<br>(8)監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。<br>２．本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、前項(1)～(8)の事項について確認できる書類を下記により提出すること。<br>(1)監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者などの合格証など）<br>(2)(1)の提出書類と同じ<br>(3)監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類(3カ月以上の雇用関係を証明できる健康保険被保険者証の写しなど)<br>(4)特例監理技術者が兼務する工事のＣＯＲＩＮＳの写し等<br>(5)(4)の提出書類と同じ<br>(6)業務分担、連絡体制等を記載した書類（施工計画書など）<br>(7)(6)の提出書類と同じ<br>(8)(6)の提出書類と同じ<br>３．本工事において、特例監理技術者および監理技術者補佐の配置を行う場合または配置を要さなくなった場合は遅切にＣＯＲＩＮＳへの登録を行うこと。 |
| ※37 石綿含有建材の事前調査 | ・大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令等に基づき実施すること。<br>・石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規程に規定する建築物石綿含有建材調査者等、一定の知見を有する者が実施するよう努めること。<br>・事前調査結果は書面で発注者に説明すること。<br>・事前調査結果を作業場に備え付け、掲示すること。 |

## 一般共通事項

| 種目 | 適用 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 1 受水設備 | | 工事範囲及び説明 | |
| | | 負担金等 | 要、不要 |
| | | 量水器 | 貸与、本工事 |
| | | 受水タンク | （　SUS　）製、容量（有効　　）m3、耐震（0.6・1.0・1.5）G |
| | | 高置タンク | （　　）製、容量（有効　　）m3、耐震（1.0・1.5・2.0）G |
| | | 揚水ポンプ | 口径（　　）mm φ×（　　）m H×（　　）k W |
| | | 給水ポンプ | 口径（　　）mm φ×（　　）m H×（　　）k W |
| | | 配管材料 | 屋外配管：硬質塩化ビニル管 HIVP･VP、ビニルライニング鋼管 VD<br>ポリ粉体ライニング鋼管 PD |
| | | | 屋内配管：水道用耐震型高性能ポリエチレン管（電気融着） |
| | | 保温工事 | 施工は標準図による。 |
| ②給水設備 | ○ | 工事範囲及び説明 | 本工事は、建物改修に伴う給水設備工事を施工する。 |
| | ○ | 給水方式 | 直圧式、加圧式、重力式 |
| | ○ | 配管材料 | 屋外配管　：硬質塩化ビニル管 HIVP、ビニルライニング鋼管 VD<br>屋内埋設配管：ビニルライニング鋼管 VD<br>ポリ粉体ライニング鋼管 PD<br>屋内配管　：ビニルライニング鋼管 VA |
| | ○ | 保温工事 | 施工は標準図による。 |
| | ○ | 水圧試験 | 水圧試験を行い漏水のないようにする。 |
| | ○ | 継手、弁等 | ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆型)、管端防食型弁、ライニング弁を使用する。 |
| | | 水質試験 | 飲酒試験（１１項目+残留塩素）を行う（　　箇所）。 |
| ③排水通気設備 | ○ | 工事範囲及び説明 | 本工事は、建物改修に伴う排水設備工事を施工する。 |
| | ○ | 排水方式 | 単独式、合流式、屋内分流屋外合流式 |
| | ○ | 配管材料 | 屋外配管：硬質塩化ビニル管　VP ・ VU、卵形管 EGP<br>硬質塩化ビニルリサイクル三層管 RF-VP<br>下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管RS-VU（埋設部） |
| | | | 屋内配管：硬質塩化ビニル管 VP、排水用鉛管 LP<br>排水用鋳鉄管 CIP、硬質塩化ビニルリサイクル管 RF-VP<br>排水用ビニルライニング鋼管 DVLP、耐火二層管 |
| | ○ | 保温工事 | 施工は標準図による。 |
| | ○ | その他 | 曲がり部はできる限り大曲がりエルボを使用し、排水の流通を良くする。 |
| ④衛生器具設備 | ○ | 工事範囲及び説明 | 本工事は、建物改修に伴う衛生器具設備工事を施工する。 |
| | ○ | 衛生器具 | 器具リストによる。 |
| | ○ | その他 | 衛生器具・手ずりの取り付けにあたっては、メーカーが指定する工法で行うこと。 |
| ⑤ガス設備 | ○ | 工事範囲及び説明 | 本工事は、改修に伴う配管工事及びガスボンベ庫の新設工事を施工する。 |
| | | 負担金等 | 要、不要 |
| | | ガス計量器 | 貸与、本工事 |
| | ○ | 配管材料 | 屋外配管　：配管用炭素鋼鋼管（白）（露出部）、ポリエチレン被覆鋼管（埋設部）、ポリエチレン管（埋設部） |
| | | | 屋内埋設配管：ポリエチレン被覆鋼管、ビニル被覆鋼管 |
| | | | 屋内配管　：配管用炭素鋼鋼管（白）、フレキ管（SUS） |
| | ○ | 試験 | 気密試験後、点火試験を行い燃焼の確認、機器調整を行う。 |
| | ○ | ガスの種別 | 都市ガス(13A)、プロパンガス |
| | ○ | その他 | 埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成樹脂被覆ボールバルブとする。 |

| 種目 | 適用 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| ⑥消火設備 | ○ | 工事範囲及び説明 | 本工事は、建物改修に伴う消火設備工事を施工する。 |
| | ○ | 消火水槽 | （　　）製、容量（有効　　）m3、（専用・受水槽兼用） |
| | ○ | 消火充水槽 | （　　）製、容量（有効　　）m3 |
| | ○ | 消火ポンプ | 口径（　　）mm φ×（　　）m H×（　　）k W |
| | ○ | 消火栓箱 | 消火栓箱参考図による。 |
| | ○ | 配管材料 | 屋外配管　：・ビニル被覆鋼管　ＳＧＰ－ＶＳ・配管用炭素鋼鋼管（白） |
| | | | 屋内配管　：・配管用炭素鋼鋼管（白） |
| | ○ | その他 | 自家発電設備の位置変更に伴う消火ポンプ及び排煙機の設置届、並びに消火ポンプ更新時の着工届及び設置届、それらに付随する協議は本工事にて行うこと。 |
| ⑦給湯設備 | ○ | 工事範囲及び説明 | 本工事は、建物改修に伴う給湯設備工事を施工する。 |
| | ○ | 給湯ボイラ | 鋳鉄製セクショナルボイラ、鋼製ボイラ、ガス炊きボイラ<br>電気温水器、給湯器 |
| | ○ | 熱源 | Ａ重油、灯油、ＬＰガス、都市ガス（13A）、電気 |
| | | 配管材料 | 脱酸銅管M、ステンレス鋼管、耐熱ビニルライニング鋼管<br>保温付き被覆銅管（保温厚14mm以上）、ポリブテン管 |
| | | 保温工事 | 施工は標準図による。 |
| ⑧換気設備 | ○ | 工事範囲及び説明 | 本工事は、建物改修に伴う換気設備工事を施工する。 |
| | ○ | 送風機<br>ダクト | 換気扇、全熱交換器、天井埋込換気扇、有圧換気扇 |
| | | 保温 | 空調換気扇の外気側給排気ダクトは、保温すること。 |
| | ○ | 施工 | 送風機据付については、防音、防振に注意して施工のこと。 |
| | ○ | 機器 | 機器リストによる。 |
| ⑨排煙設備 | | 工事範囲及び説明 | |
| | | 排煙機 | |
| | | 排煙方式 | Ａ方式＝手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動盤 → 排煙機<br>Ｂ方式＝煙感知器 → 中継器<br>↓<br>手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動盤 → 排煙機 |
| ⑩暖房設備 | ○ | 工事範囲及び説明 | 本工事は、建物改修に伴う空気調和設備工事を施工する。 |
| | | 冷温熱源機 | 直だき吸収式冷温水発生機(単効用・二重効用)、<br>水冷チリングユニット、空冷式ヒートポンプチラーユニット<br>（ターボ・スクリュー・遠心・吸収 ）冷凍機<br>鋳鉄製ボイラー、鋼製ボイラー |
| | | 空気調和機 | 立型ユニット型空調機、横型ユニット型空調機 |
| | | 放熱器 | ファンコイルユニット、ファンコンベクタ、コンベクタ、ベースボードヒータ |
| ⑪冷房設備 | ○ | パッケージ型空調機 | 床置型、天井吊型、天井埋込型、天井カセット型、壁掛型 |
| | ○ | 配管材料 | 冷温水管：水道用亜鉛めっき鋼管、耐熱性ビニルライニング鋼管<br>冷却水管：ビニルライニング鋼管 VA、ポリ粉体ライニング鋼管 PA<br>冷媒配管：脱酸銅管Ｌ、断熱材被覆銅管 |
| | | | 排水配管：硬質塩化ビニル管 VP |
| | | | 油配管　：SUS304鋼接鋼管、圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） |
| ⑫空気調和設備 | ○ | 保温保冷 | 施工は標準図による。 |
| | | 自動制御 | 本工事では次の制御を行なう。 |
| | | 中央監視 | 中央監視盤を設け、システムの集中運転監視を行なう。 |

## 使用機材製造者指定

本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築課所定の様式により承諾を得て使用のこと。

| 適用 | 機材名 | 製造業者 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ○ | 配管類 | ＪＩＳ規格等適合品製造者 | | | | | |
| ○ | 弁類 | ＪＩＳ規格等適合品製造者 | | | | | |
| | タンク類 | | | | | | |
| | ポンプ類 | | | | | | |
| | 量水器 | | | | | | |
| | 防振継手 | | | | | | |
| | ﾌﾚｷｼﾝﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ(SUS) | | | | | | |
| | ﾌﾚｷｼﾝﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ(ｺﾞﾑ) | | | | | | |
| ○ | 排水金物類 | ダイドレ | 福西鋳物 | 中部コーポレーション | 長谷川鋳工所 | | |
| | マンホール類 | | | | | | |
| | グリーストラップ | | | | | | |
| ○ | 衛生陶器 | ＴＯＴＯ | ＬＩＸＩＬ | | | | |
| ○ | 消火栓箱 | 横井製作所 | 北浦製作所 | 立売堀製作所 | | | |
| | ボイラー | | | | | | |
| ○ | 瞬間湯沸器 | リンナイ | ノーリツ | パーパス | | | |
| | 給湯器 | | | | | | |
| | 厨房機器 | | | | | | |
| | ガス集合装置 | | | | | | |
| | ガスコック類 | | | | | | |
| | 浄化槽 | | | | | | |
| | 送風機 | | | | | | |
| ○ | 換気扇 | 三菱電機 | パナソニック | 東芝キヤリア | | | |
| | 全熱交換器 | | | | | | |
| | 排煙機 | | | | | | |
| | 防火･防煙･排煙ダンパー | | | | | | |
| | 冷凍機 | | | | | | |
| | 冷温水発生機 | | | | | | |
| | 冷却塔 | | | | | | |
| ○ | 空調機 | ダイキン | 三菱電機 | 日立 | 東芝キヤリア | | |
| | 放熱器 | | | | | | |
| | ファンコイルユニット | | | | | | |
| ○ | 吹出口・吸込口 | 空研工業 | 協立エアテック | フカガワ | | | |
| | 製缶類 | | | | | | |
| | 自動制御機器 | | | | | | |
| | 受水槽 | | | | | | |

※工事図記号（凡例）は別図（　　）による。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） |

| | |
|---|---|
| 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 |
| 図名 | 機械設備工事特記仕様書 |
| No. | Ｍ－０１ |
| 縮尺 | A1：―<br>A3：― |

新設

| 1階 女子トイレ | 1階 男子トイレ | 1階 多目的トイレ | 2階 女子トイレ | 2階 男子トイレ | 合計 | 器具名称 | 参考品番 | 備考・付属品等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 2 | | 2 | 2 | 8 | 腰掛式便器 | CFS498BCK | TCF5830AES(洗浄便座)、T112CL9(L型手摺)、T110D3R(固定金具)×3、YH702(棚付二連紙巻器) |
| | | 1 | | | 1 | 腰掛式便器 | CFS498BC | TCF5840AUPN(洗浄便座)、T112CL11(L型手摺)、T110D37(固定金具)×3、T110D44(固定金具)×3、T112HK7R(可動式手摺)、T110D36(固定金具)、T110D53(固定金具)、EWC283CR(背もたれ)、T110D37(固定金具)×2、T110D44(固定金具)×2、YH702(棚付二連紙巻器) |
| | 3 | | | 3 | 6 | 壁掛小便器 | UFS900JCS | |
| 1 | | | 1 | | 2 | カウンター洗面器 | MKWFR0800BPA13AY | TENA125A(自動水栓)、T6PM16(排水金具)、TLK04201J(水石鹸入れ)、MFT4Q0782BANB12W(フロントパネル)、YM4575F(化粧鏡) |
| | 1 | | | 1 | 2 | カウンター洗面器 | MKWFC0800BPA14AY | TENA125A(自動水栓)、T6PM16(排水金具)、TLK04201J(水石鹸入れ)、MFT4C0794B7NB12W(フロントパネル)、YM4575F(化粧鏡) |
| | | 1 | | | 1 | 壁掛洗面器 | LSA125AA | |
| | | 1 | | | 1 | 壁掛手洗器 | LSE90AAPR | |
| | | 1 | | | 1 | コンパクトオストメイトパック | UAS81RNB2NW | UTR141(側板) |
| | | 1 | | | 1 | 化粧鏡 | YMK51K | |
| | | 1 | | | 1 | ベビーシート | YKA25S | YPH62018W2R(アンカーボルト)、T110D45(固定金具) |
| | | 1 | | | 1 | ベビーチェア | YKA15S | YPH62017W2(アンカーボルト)、T110D45(固定金具) |
| | | 1 | | | 1 | フィッティングボード | YKA41R | T110D45(固定金具) |
| | 1 | | | 1 | 2 | 小便器用手摺 | T112CU22 | T110D36(固定金具)×2、T110D44(固定金具)×4 |
| | | 1 | | | 1 | チャームボックス | YKB104 | |
| | | 1 | | | 1 | ハンドドライヤー | TYC420W | |

撤去

| 1階 MWC | 1階 WWC | 1階 厨房 | 1階 食堂 | 1階 給湯室 | 2階 MWC | 2階 WWC | 2階 湯沸室 | 合計 | 器具名称 | 参考品番 | 備考・付属品等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | | | | 1 | 1 | | 4 | 腰掛式便器 | — | フラッシュバルブ　紙巻器共 |
| 1 | | | | | 1 | | | 2 | 床置小便器 | — | |
| 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 6 | 壁掛洗面器 | — | 化粧鏡共 |
| | 1 | | | | | 1 | | 4 | 掃除用流し | — | |
| | | | | 1 | | | 1 | 2 | キッチン | — | 棚共 |

## 衛生機器表（新設）

| 記号 | 機器名称 | 機器特性・性能 | 電気特性 消費電力 | 台数 | 設置場所・備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| WHG 5 | ガス給湯器 | 瞬間湯沸器　先止式 | 1φ100V | 2 | 1階　湯沸室 |
| | | 号数：5号 | — | | 2階　湯沸室 |
| | | 電源供給・配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：RUS-V51YTA(WH)(リンナイ) | | | |
| FU 11 | 屋内消火栓 | 1合屋内消火栓　単独型 | 1φ100V | 2 | 1階　ホール |
| | | 付属品：ホース、ホース架、ノズル、バルブ、発信機、起動ボタン、表示灯、他一式 | — | | 2階　ホール |
| | | 電源供給・配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：YM-ST-10(B)(横井製作所) | | | |
| FP 2 | 消火ポンプ | 消火ポンプユニット　屋内消火栓用　流れ込み用 | 3φ200V | 1 | 1階　機械室 |
| | | 口径：65×50mm　　吐出量：300L/min×66.5m | 出力7.5kW | | |
| | | 付属品：モータ軸直結型ポンプ、制御盤、常時逃しオリフィス、圧力計、連成計、性能 | | | |
| | | 試験装置、他消防認定付属品一式 | | | |
| | | 電源供給・配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：KTK656CE7.5F(川本製作所) | | | |
| GB 200 | ガスボンベ庫 | ＬＰガス容器収納庫　50kg容器４本用 | — | 1 | 屋外 |
| | | 在室：高耐食溶融めっき鋼板 | — | | |
| | | 付属品：ボルト、タッピングビス、ボルトキャップ、扉、ライナープレート、他一式 | | | |
| | | 基礎は建築工事、納入取付(アンカー含む)は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：BN-200(ホクエイ) | | | |

## 衛生機器表（撤去）

| 記号 | 機器名称 | 機器特性・性能 | 電気特性 消費電力 | 台数 | 設置場所・備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| BG 5 | ガス給湯器 | 瞬間湯沸器　先止式 | 1φ100V | 2 | 1階　湯沸室 |
| | | 号数：5号 | — | | 2階　湯沸室 |
| | | 電源供給・配線配管は電気工事、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| FU 1 | 屋内消火栓 | 1号屋内消火栓　単独型 | 1φ100V | 2 | 1階　ホール |
| | | 付属品：ホース、ホース架、ノズル、バルブ、発信機、起動ボタン、表示灯、他一式 | — | | 2階　ホール |
| | | 電源供給・配線配管は電気工事、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| P 2 | 消火ポンプ | 消火ポンプユニット　屋内消火栓用 | 3φ200V | 1 | 1階　機械室 |
| | | 口径：65mm　　吐出量：450L/min×49m | 出力7.5kW | | |
| | | 付属品：モータ軸直結型ポンプ、制御盤、常時逃しオリフィス、圧力計、連成計、性能 | | | |
| | | 試験装置、サクションユニット、フート弁、呼水槽、他消防認定付属品一式 | | | |
| | | 電源供給・配線配管は電気工事、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |

株式会社　丸山建築事務所
一級建築士事務所登録第レ39号
板橋　晶一
一級建築士登録　第213806号

構造設計　一級建築士登録　大臣（　）　構造設計 一級建築士登録 交付番号（　）

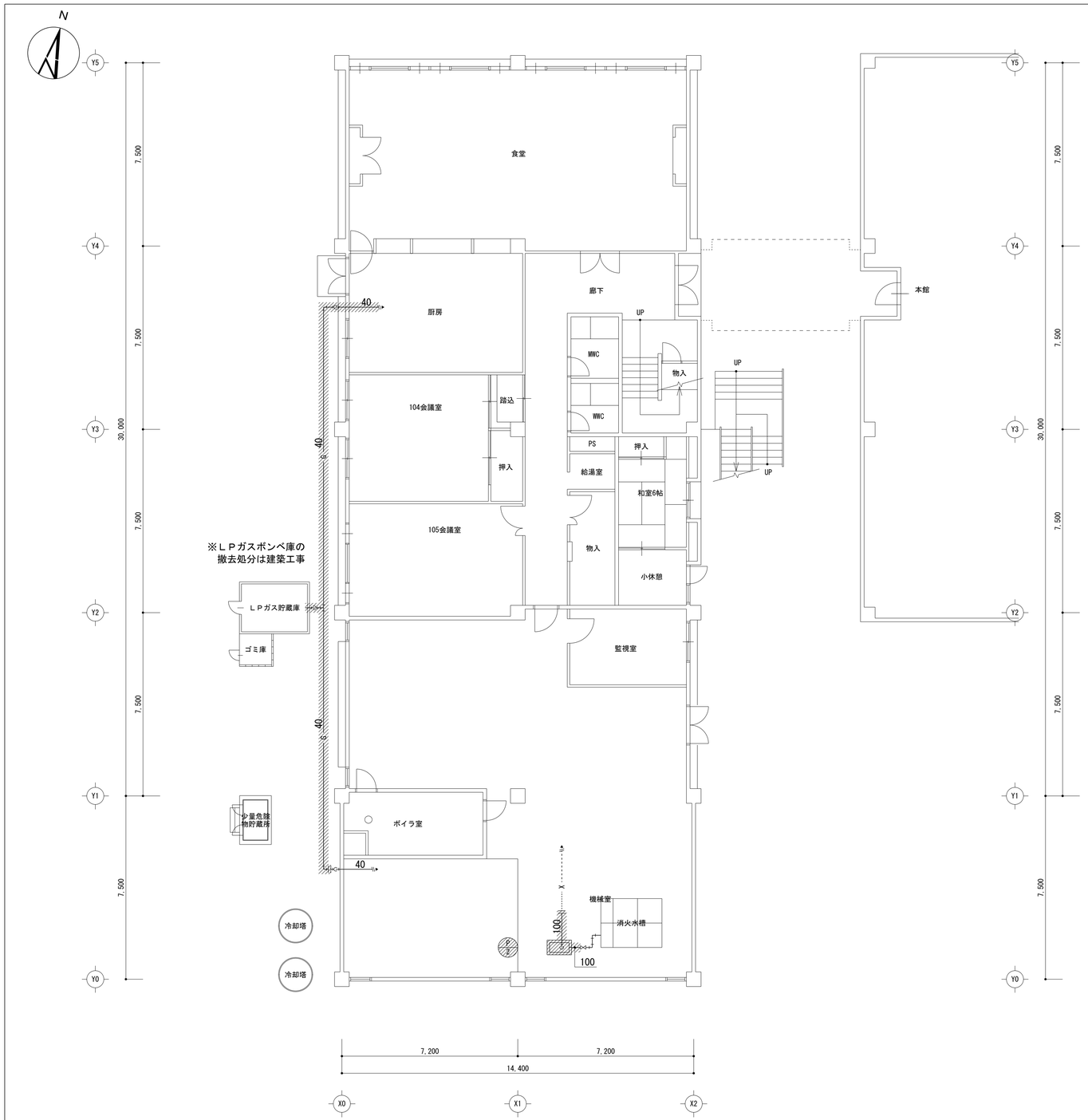
構造/設備関係規定への法適合を確認した　一級建築士登録　大臣（　）　構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　）

名称　竜王町総合庁舎別館改修工事

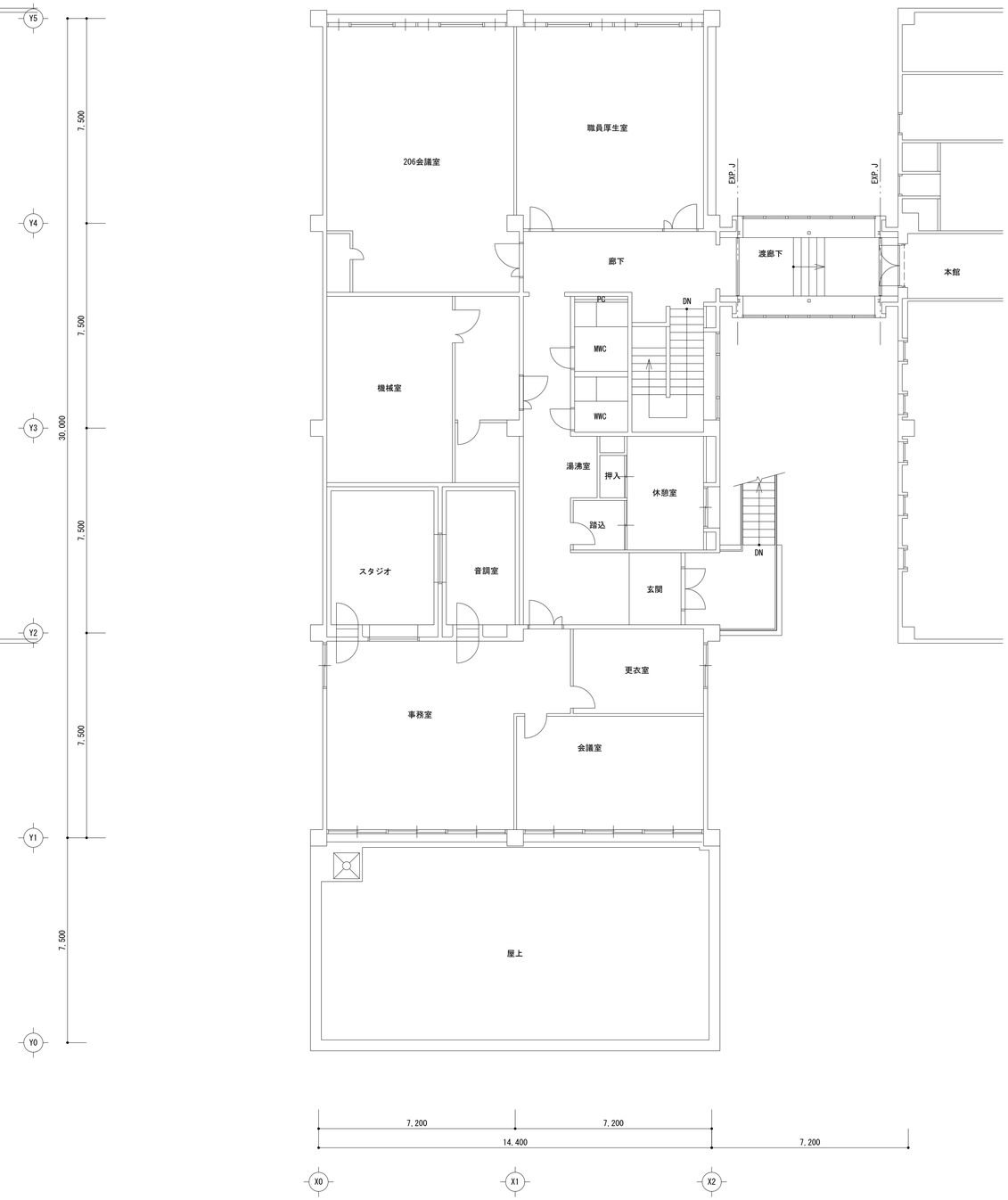
図名　衛生器具機器表(新設・撤去)

No. M－02

縮尺 A1：— A3：—

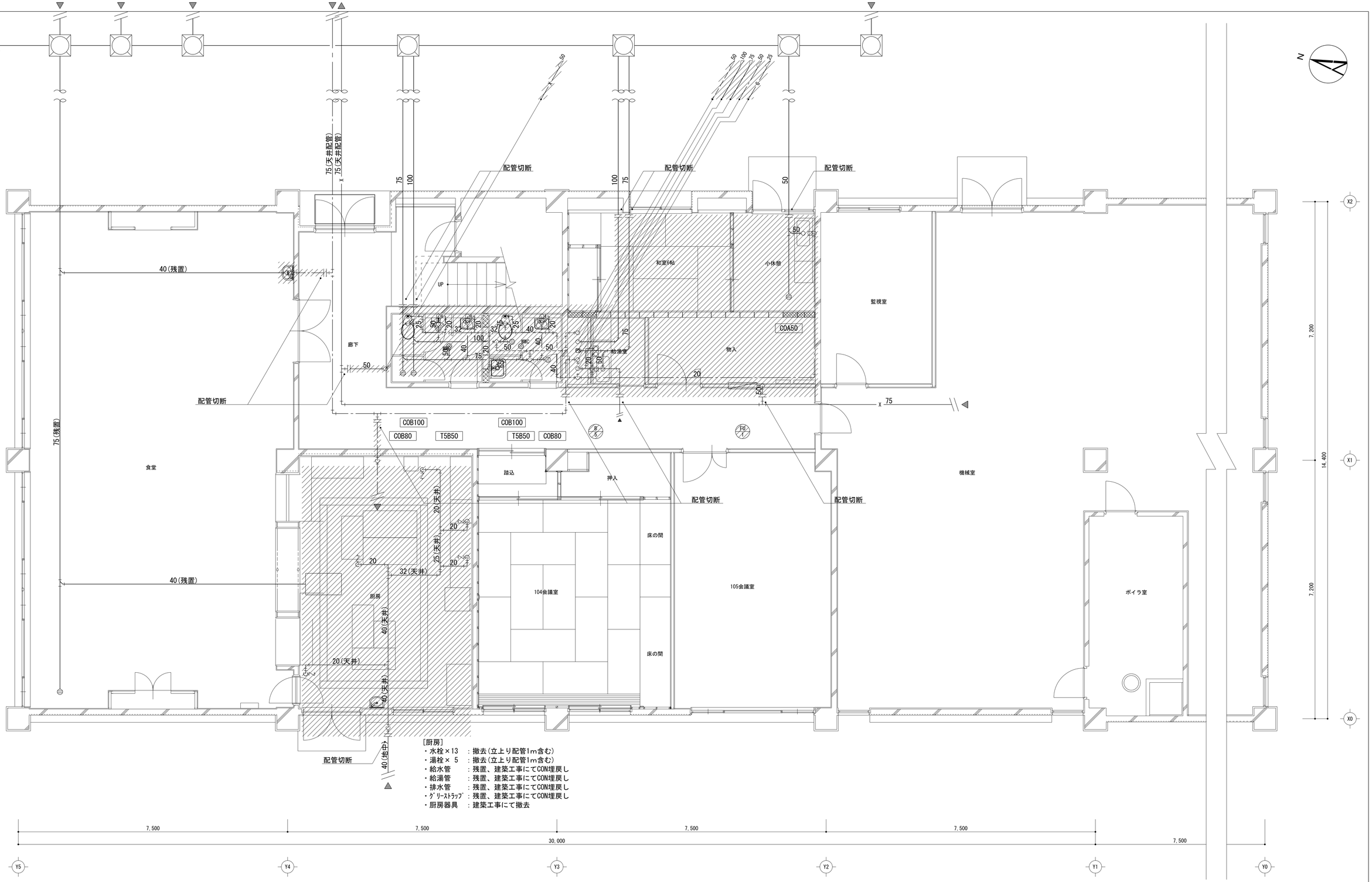



1階平面図

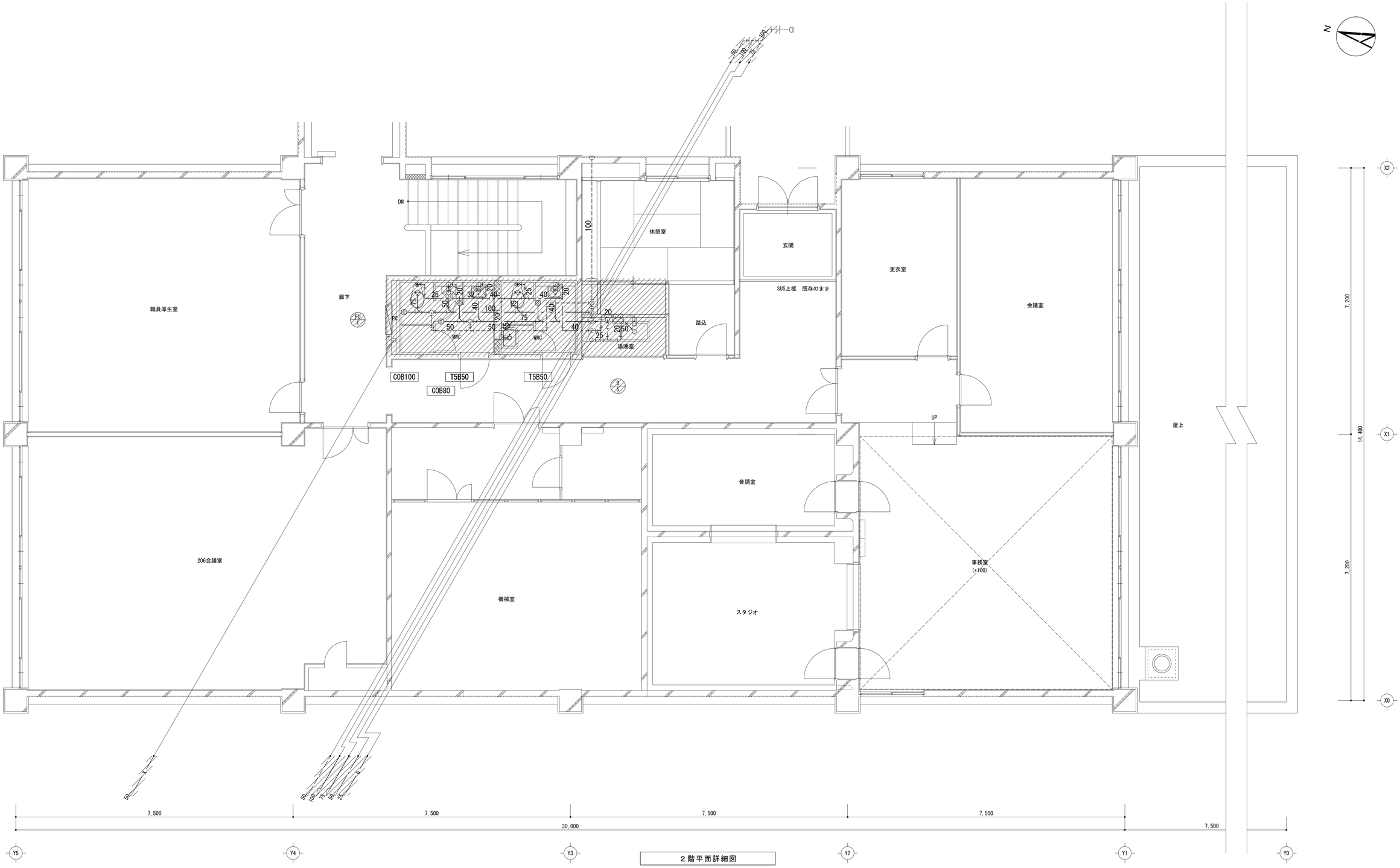



2階平面図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 設計年月日<br>令和　3　年　　月 | 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>M－０３ |
| | | | | | 構造/設備関係規定<br>への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名<br>給排水設備　１・２階平面図(現況) | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

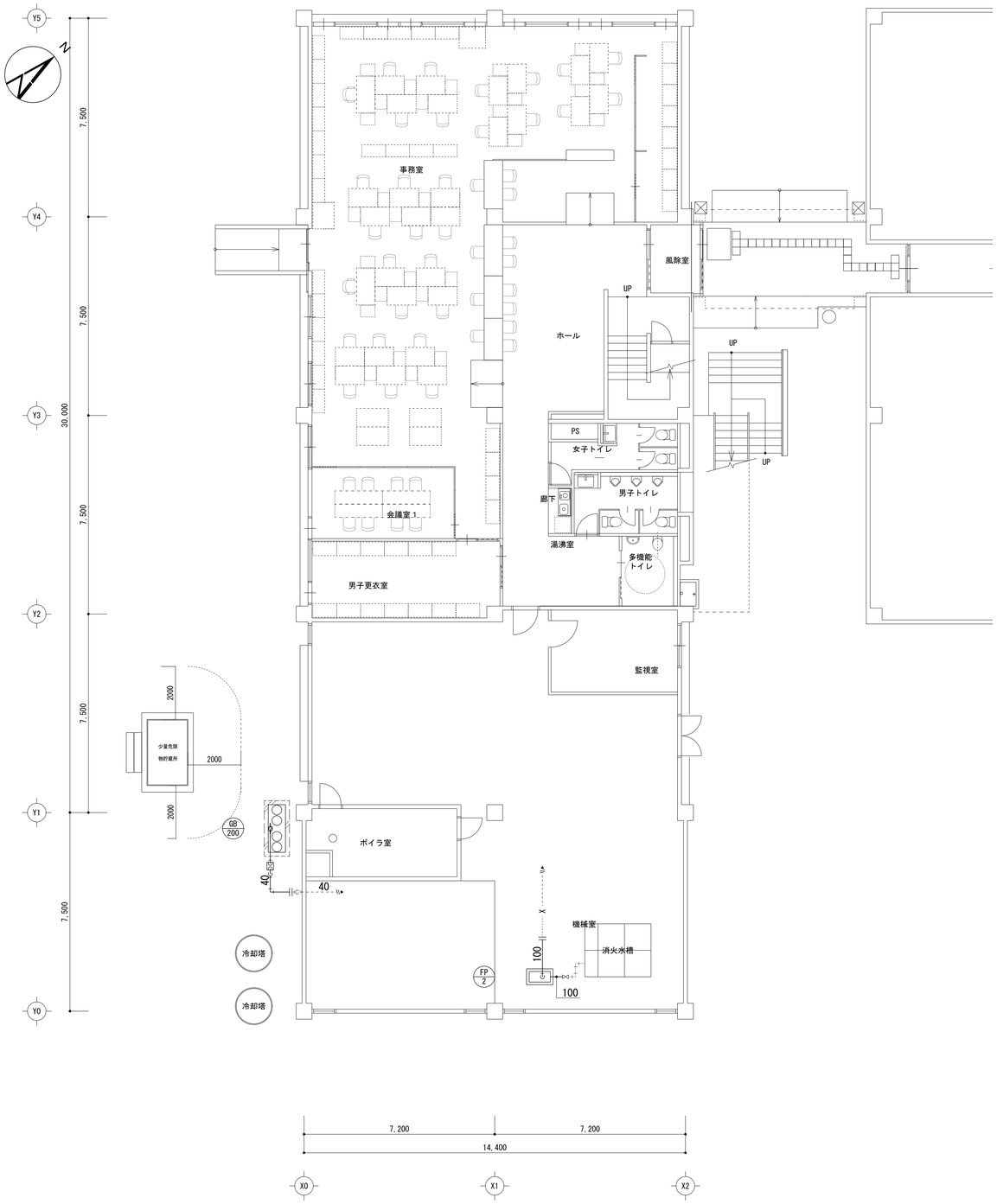



| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ｍ－０４ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 給排水設備　１階平面詳細図(現況) | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

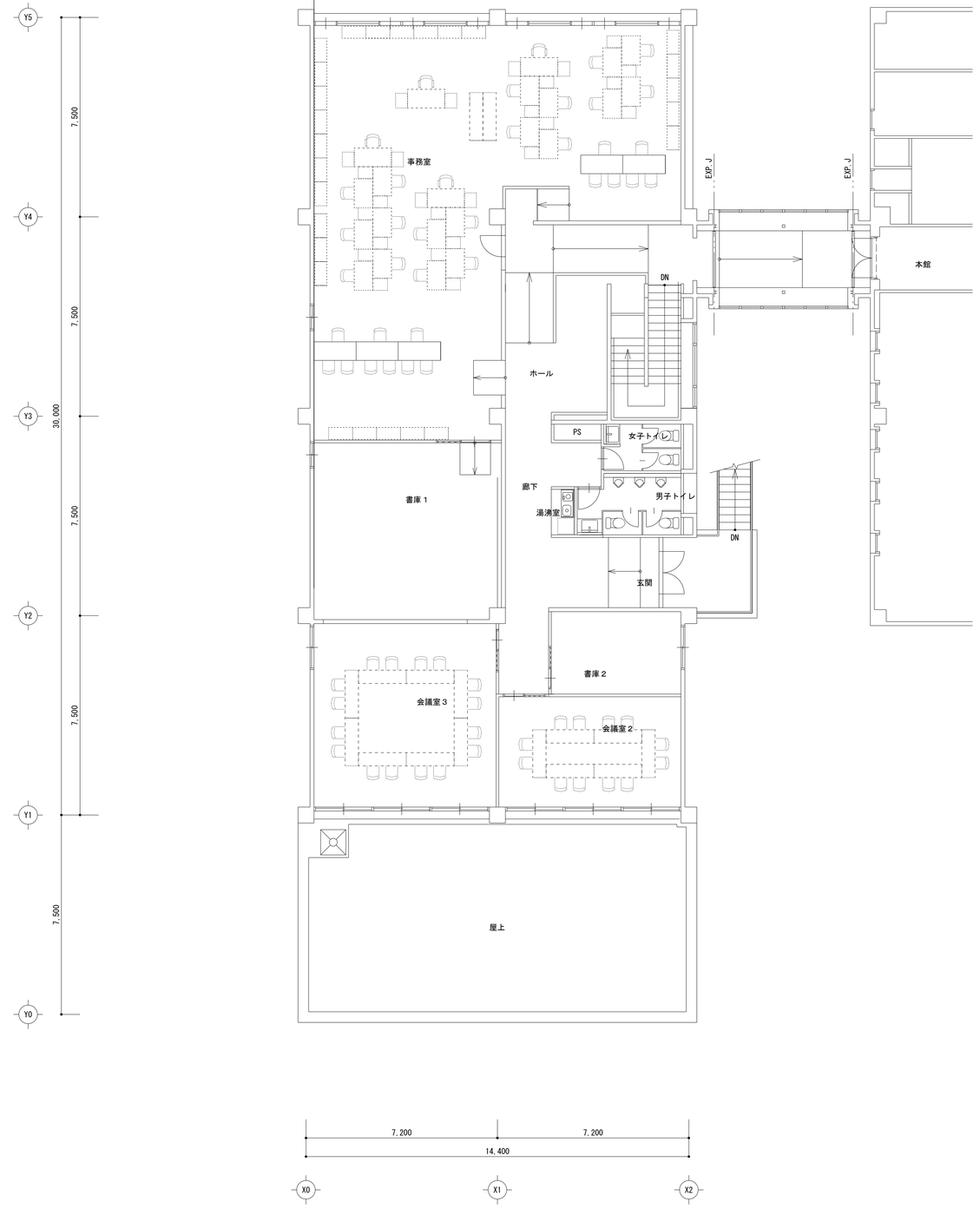



## ２階平面詳細図

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第Ｌ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計　一級建築士登録　構造設計一級建築士登録<br>大臣（　　）　交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ｍ－０５ |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した　一級建築士登録　構造設計/設備設計一級建築士登録<br>大臣（　　）　交付番号（　　） | 図名<br>給排水設備　２階平面詳細図（現況） | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |




1階平面図




2階平面図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ．<br>Ｍ－０６ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 給排水設備　１・２階平面図(改修) | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |




CODD50：掃兼用ﾄﾞﾚﾝ(非防水型)を示す。

配管用スリーブ入れ　参考数量　(本工事)

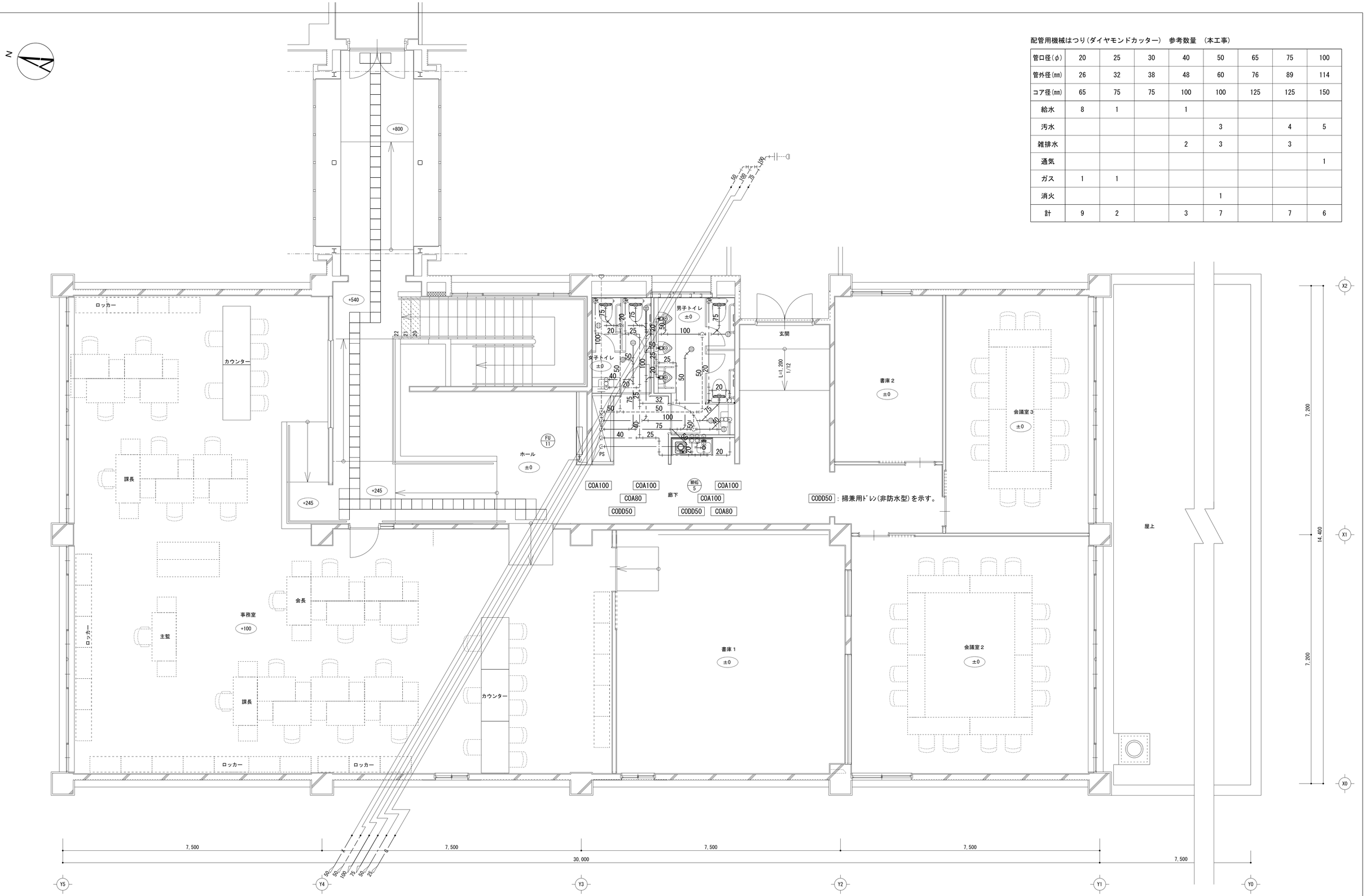
| 管口径(φ) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 | 65 | 75 | 100 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管外径(㎜) | 26 | 32 | 38 | 48 | 60 | 76 | 89 | 114 |
| スリーブ径(㎜) | 65 | 75 | 75 | 100 | 100 | 125 | 125 | 150 |
| 給水 | 11 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 汚水 | | | | | 3 | | 6 | 4 |
| 雑排水 | | | | 4 | 5 | | 3 | |
| 通気 | | | | | 1 | | | |
| ガス | 1 | 1 | | | | | | |
| 計 | 13 | 2 | 1 | 5 | 10 | | 9 | 4 |

1階平面詳細図

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ. Ｍ－０７ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 給排水設備　１階平面詳細図(改修) | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

配管用機械はつり（ダイヤモンドカッター）　参考数量　（本工事）

| 管口径(φ) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 | 65 | 75 | 100 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管外径(mm) | 26 | 32 | 38 | 48 | 60 | 76 | 89 | 114 |
| コア径(mm) | 65 | 75 | 75 | 100 | 100 | 125 | 125 | 150 |
| 給水 | 8 | 1 | | 1 | | | | |
| 汚水 | | | | | 3 | | 4 | 5 |
| 雑排水 | | | | 2 | 3 | | 3 | |
| 通気 | | | | | | | | 1 |
| ガス | 1 | 1 | | | | | | |
| 消火 | | | | | 1 | | | |
| 計 | 9 | 2 | | 3 | 7 | | 7 | 6 |




CODD50：掃兼用ﾄﾞﾚﾝ(非防水型)を示す。

２階平面詳細図

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>M－０８ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名<br>給排水設備　２階平面詳細図(改修) | 縮尺<br>A1：1/50<br>A3：1/100 |

## 空調換気設備　機器表

| 記号 | 機器名称 | 機器特性・性能 | 電気特性 消費電力 | 台数 | 設置場所・備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 新設 | | | | | |
| VF 1 | 換気扇 | ダクト用換気扇　天井埋込形　24時間換気機能付　低騒音　格子タイプ | 1φ100V | 2 | 2階　会議室2 |
| | | ダクト径：150φ　風量：320m³/h×100Pa | 消費電力0.062kW | | 会議室3 |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、天吊金具、他一式 | | | |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：VD-20ZLXP13-CS(三菱電機) | | | |
| VF 2 | 換気扇 | ダクト用換気扇　天井埋込形　24時間換気機能付　低騒音　格子タイプ | 1φ100V | 1 | 1階　会議室1 |
| | | ダクト径：100φ　風量：160m³/h×100Pa | 消費電力0.034kW | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、天吊金具、他一式 | | | |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：VD-18ZLSC13-S(三菱電機) | | | |
| VF 3 | 換気扇 | ダクト用換気扇　天井埋込形　低騒音　格子タイプ | 1φ100V | 5 | 1階　事務室×2 |
| | | ダクト径：150φ　風量：400m³/h×140Pa | 消費電力0.090kW | | 2階　事務室×2 |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、天吊金具、他一式 | | | 書庫1 |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：VD-23ZXP13-C(三菱電機) | | | |
| VF 4 | 換気扇 | ダクト用換気扇　天井埋込形　低騒音　格子タイプ | 1φ100V | 3 | 1階　事務室 |
| | | ダクト径：150φ　風量：270m³/h×80Pa | 消費電力0.049kW | | 男子更衣室 |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、天吊金具、他一式 | | | 2階　事務室 |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：VD-20ZC13(三菱電機) | | | |
| VF 5 | 換気扇 | ダクト用換気扇　天井埋込形　低騒音　格子タイプ | 1φ100V | 1 | 2階　書庫2 |
| | | ダクト径：150φ　風量：160m³/h×50Pa | 消費電力0.024kW | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、天吊金具、他一式 | | | |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：VD-17ZSC13(三菱電機) | | | |
| SSF 1 | 空調送風機 | ストレートシロッコファン　天吊埋込タイプ　消音形 | 1φ100V | 1 | 1階　多機能トイレ(天井内) |
| | | ダクト径：200φ　風量：550m³/h×140Pa | 消費電力0.088kW | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、天吊金具、他一式 | | | |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：BFS-50SUG2(三菱電機) | | | |
| SSF 2 | 空調送風機 | ストレートシロッコファン　天吊埋込タイプ　消音形 | 1φ100V | 1 | 2階　女子トイレ(天井内) |
| | | ダクト径：150φ　風量：360m³/h×100Pa | 消費電力0.065kW | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、天吊金具、他一式 | | | |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：BFS-40SUG2(三菱電機) | | | |
| EF 132 | 有圧換気扇 | 産業用有圧換気扇　排気タイプ | 3φ200V | 1 | 1階　機械室 |
| | | 羽根径：30cm　風量：1,500m³/h×50Pa | 消費電力0.069kW | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：EWF-30BTA(三菱電機) | | | |
| SF 32 | 有圧換気扇 | 産業用有圧換気扇　給気タイプ | 3φ200V | 1 | 1階　機械室 |
| | | 羽根径：30cm　風量：1,700m³/h×50Pa | 消費電力0.075kW | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：EWF-30BTA-Q(三菱電機) | | | |
| OAG 1 | 給気口 | 給排気グリル　ネットフィルター付　風量調節機構付 | — | 5 | 1階　廊下 |
| | | ダクト径：100φ | — | | 会議室1 |
| | | 付属品：— | | | 2階　廊下 |
| | | 納入取付は本工事とする。 | | | 会議室2 |
| | | 参考品番：P-13GLF6(三菱電機) | | | 会議室3 |
| VF MK | 換気扇 | ダクト用換気扇　ミニキッチン付属品 | 1φ100V | 2 | 1階　湯沸室 |
| | | ダクト径：100φ | — | | 2階　湯沸室 |
| | | 付属品：— | | | |
| | | 電源供給・リモコン配線配管は電気工事、納入取付は建築工事、ダクト接続は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |

## 空調換気設備　機器表

| 記号 | 機器名称 | 機器特性・性能 | 電気特性 消費電力 | 台数 | 設置場所・備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 撤去 | | | | | |
| EF 1 | 空調送風機 | ストレートシロッコファン | 1φ100V | 1 | 1階　物入(天井内) |
| | | ダクト径：250φ　風量：300m³/h×160Pa | — | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源は残置、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| EF 2 | 空調送風機 | ストレートシロッコファン | 1φ100V | 3 | 1階　和室6帖(天井内)×2 |
| | | ダクト径：250φ　風量：400m³/h×130Pa | — | | 2階　休憩室 |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源は残置、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| EF 11 | 換気扇 | ダクト用換気扇　天井埋込形 | 1φ100V | 2 | 2階　MWC |
| | | ダクト径：150φ　風量：180m³/h×50Pa | — | | WWC |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源は残置、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| EF 13 | 有圧換気扇 | 産業用有圧換気扇　排気タイプ | 3φ200V | 1 | 1階　機械室 |
| | | 羽根径：30cm　風量：1,700m³/h×50Pa | — | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源は残置、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| SF 3 | 有圧換気扇 | 産業用有圧換気扇　給気タイプ | 3φ200V | 1 | 1階　機械室 |
| | | 羽根径：30cm　風量：1,700m³/h×50Pa | — | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源は残置、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| EF 14 | 送風機 | 片吸込シロッコファン　天吊型　排気用 | 3φ200V | 1 | 1階　厨房(天井内) |
| | | 番手：#2-1/2　風量：6,300m³/h×400Pa | — | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源は残置、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| SF 4 | 送風機 | 片吸込シロッコファン　天吊型　排気用 | 3φ200V | 1 | 1階　厨房(天井内) |
| | | 番手：#2-1/2　風量：5,300m³/h×200Pa | — | | |
| | | 付属品：コントロールスイッチ、取付枠、他一式 | | | |
| | | 電源は残置、撤去処分は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） |
| | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） |

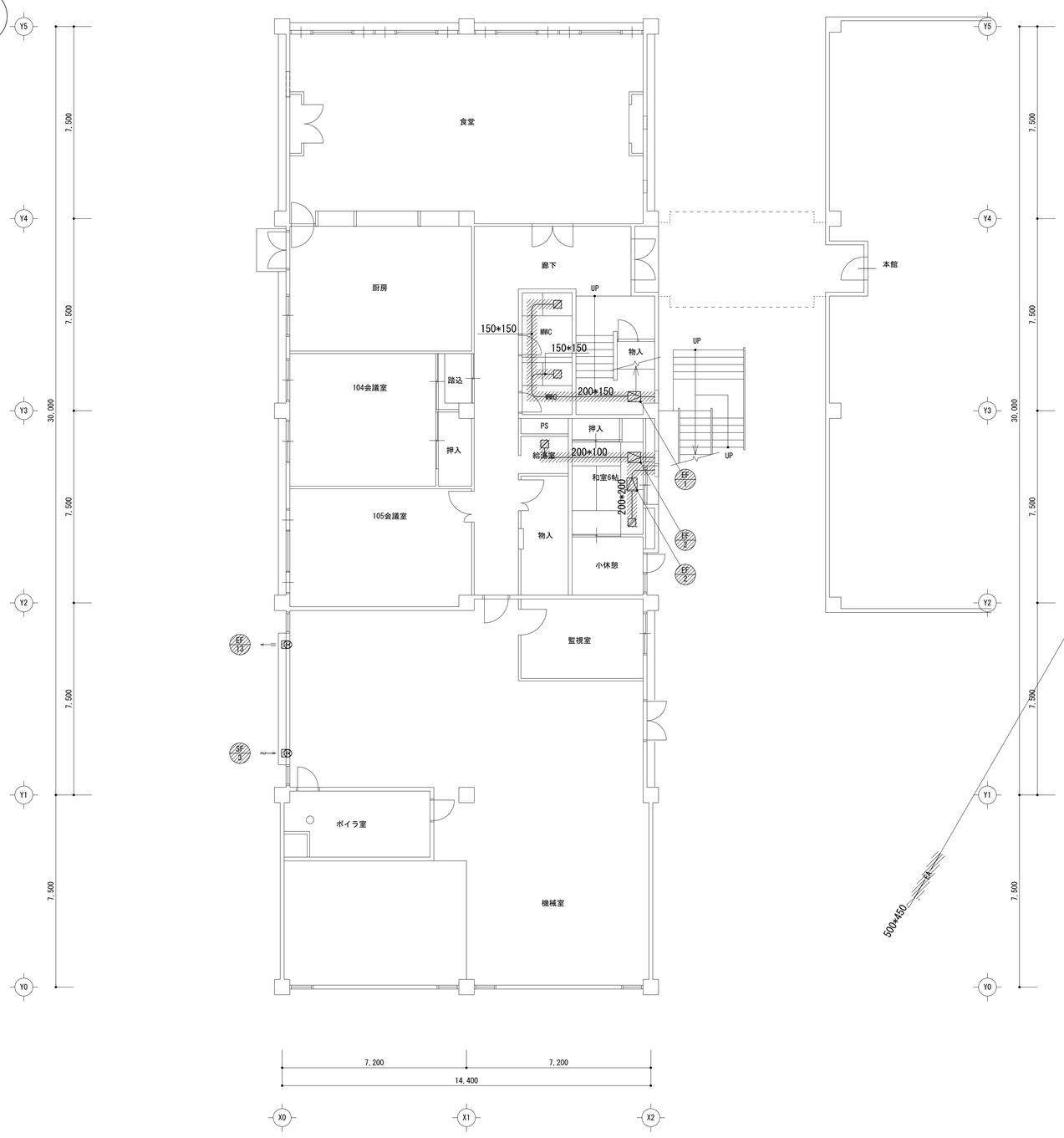
名称　竜王町総合庁舎別館改修工事

図名　換気設備　機器表(新設・撤去)

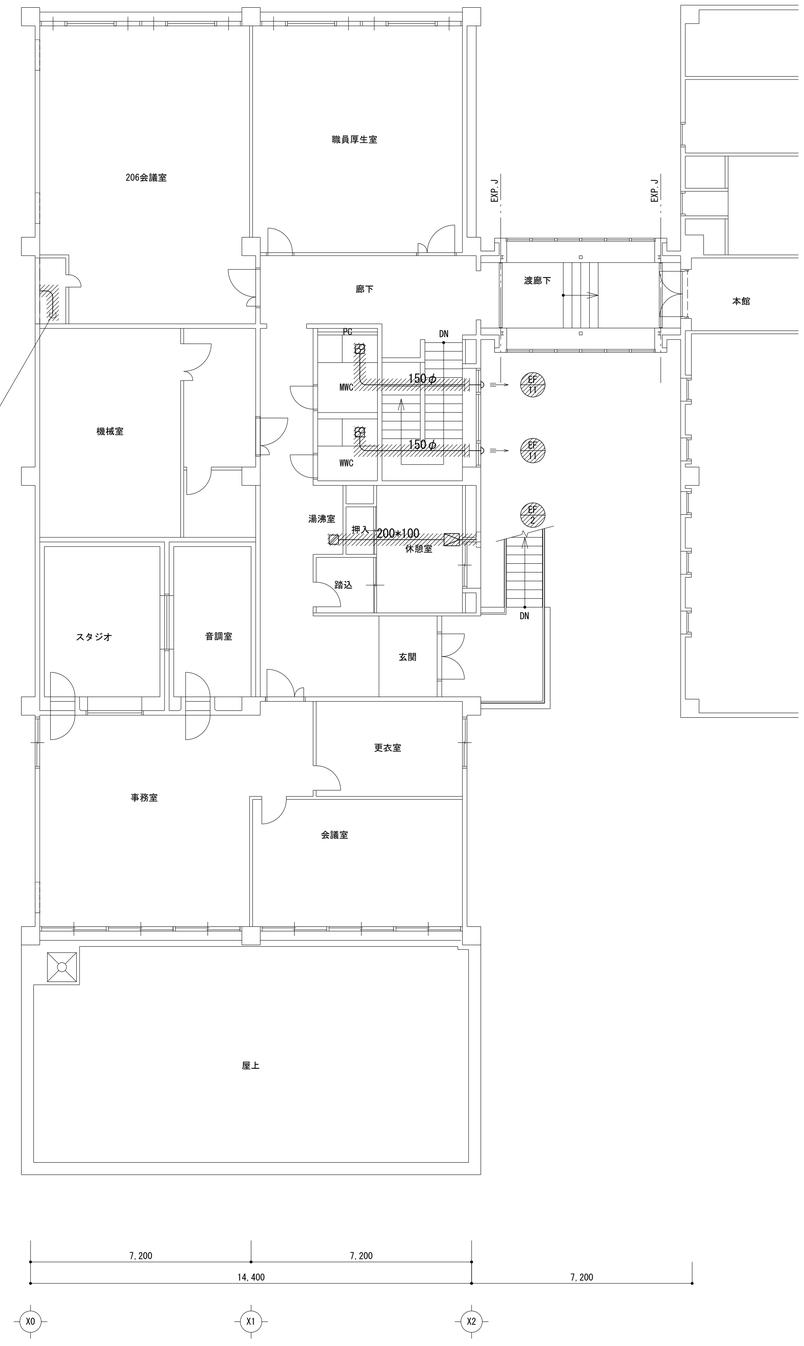
No.　M－09

縮尺　A1：—　A3：—

N

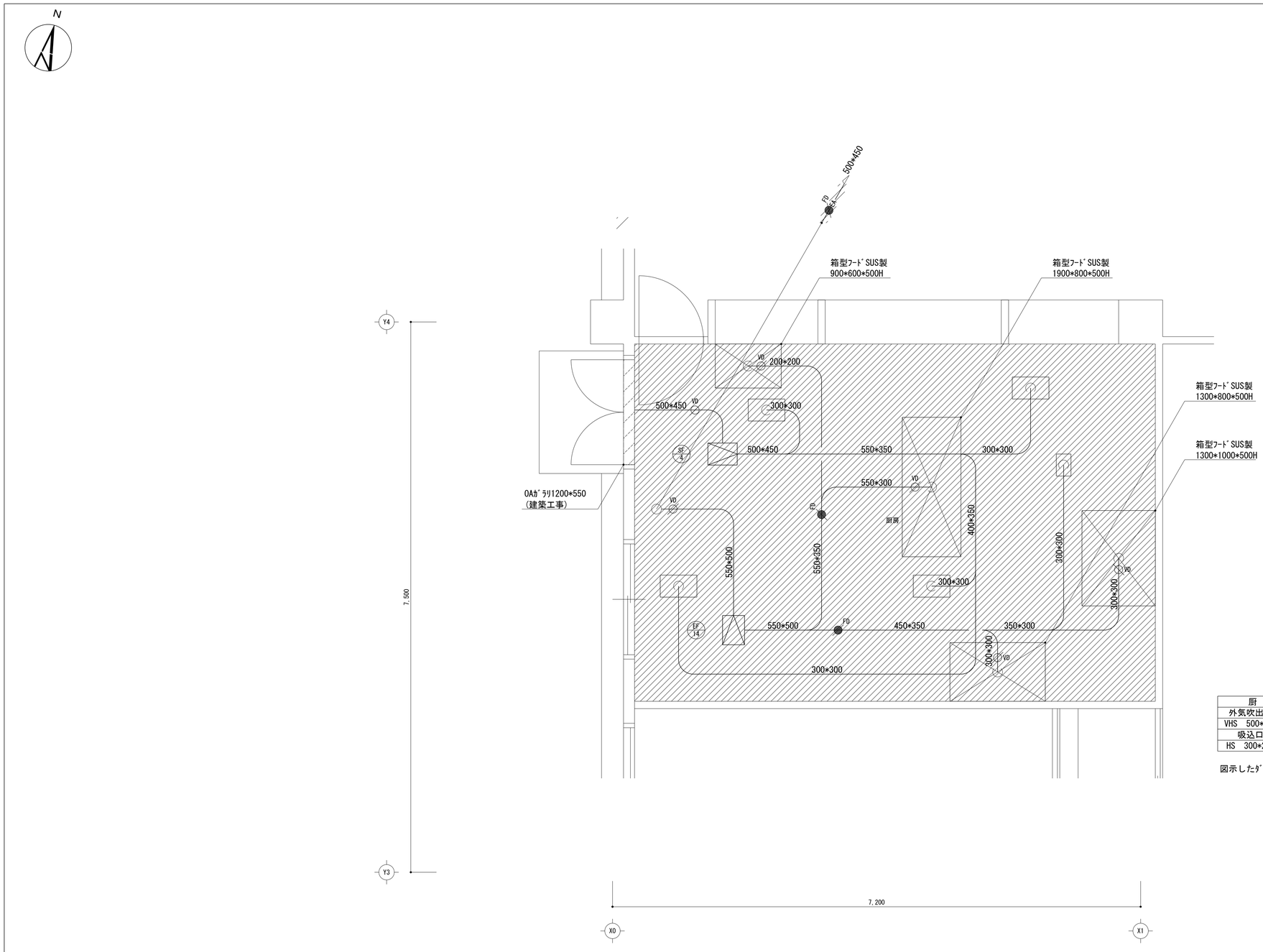



1階平面図




2階平面図

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 設計年月日<br>令和 3 年 月 | 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板積 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>M－１０ |
| | | | | | 構造/設備関係規定<br>への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | 図名<br>換気設備 １・２階平面図（現況） | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

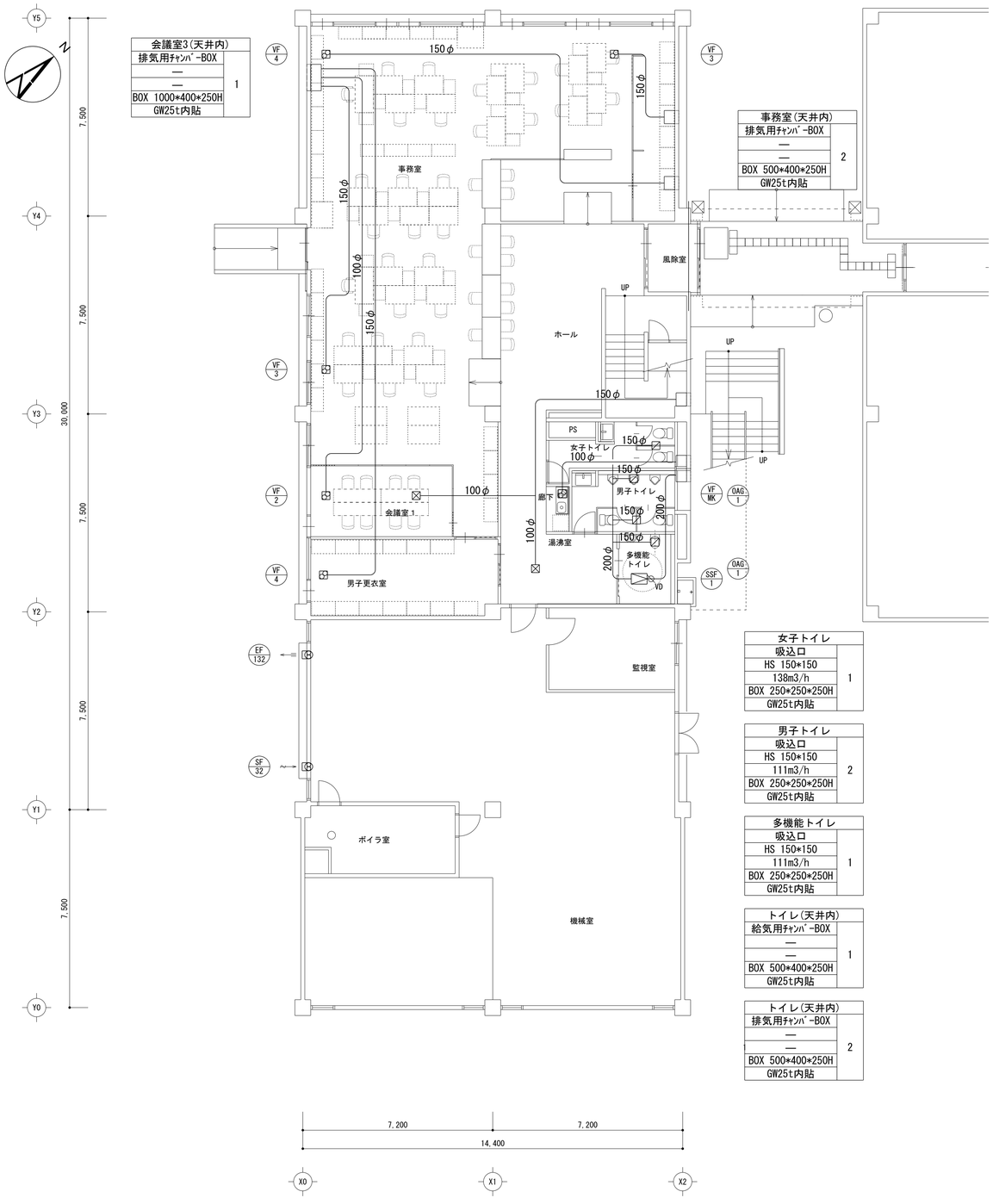



| 厨　房 | |
|---|---|
| 外気吹出口 | 4 |
| VHS　500×300 | |
| 吸込口 | 1 |
| HS　300×200 | |

図示したﾀﾞｸﾄ及び付属品をすべて撤去のこと（本工事）。

1階　厨房　平面図

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 設計年月日<br>令和　3 年　月 | 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計　一級建築士登録　構造設計 一級建築士登録<br>大臣（　）　交付番号（　） | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | Ｎｏ.<br>Ｍ－１１ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した　一級建築士登録　構造設計/設備設計 一級建築士登録<br>大臣（　）　交付番号（　） | 図名<br>換気設備　１階厨房平面図（現況） | 縮尺<br>A1：1/30<br>A3：1/60 |




| 会議室3(天井内) | |
|---|---|
| 排気用ﾁｬﾝﾊﾞｰBOX | 1 |
| — | |
| — | |
| BOX 1000*400*250H | |
| GW25t内貼 | |

| 事務室(天井内) | |
|---|---|
| 排気用ﾁｬﾝﾊﾞｰBOX | 2 |
| — | |
| — | |
| BOX 500*400*250H | |
| GW25t内貼 | |

| 女子トイレ | |
|---|---|
| 吸込口 | 1 |
| HS 150*150 | |
| 138m3/h | |
| BOX 250*250*250H | |
| GW25t内貼 | |

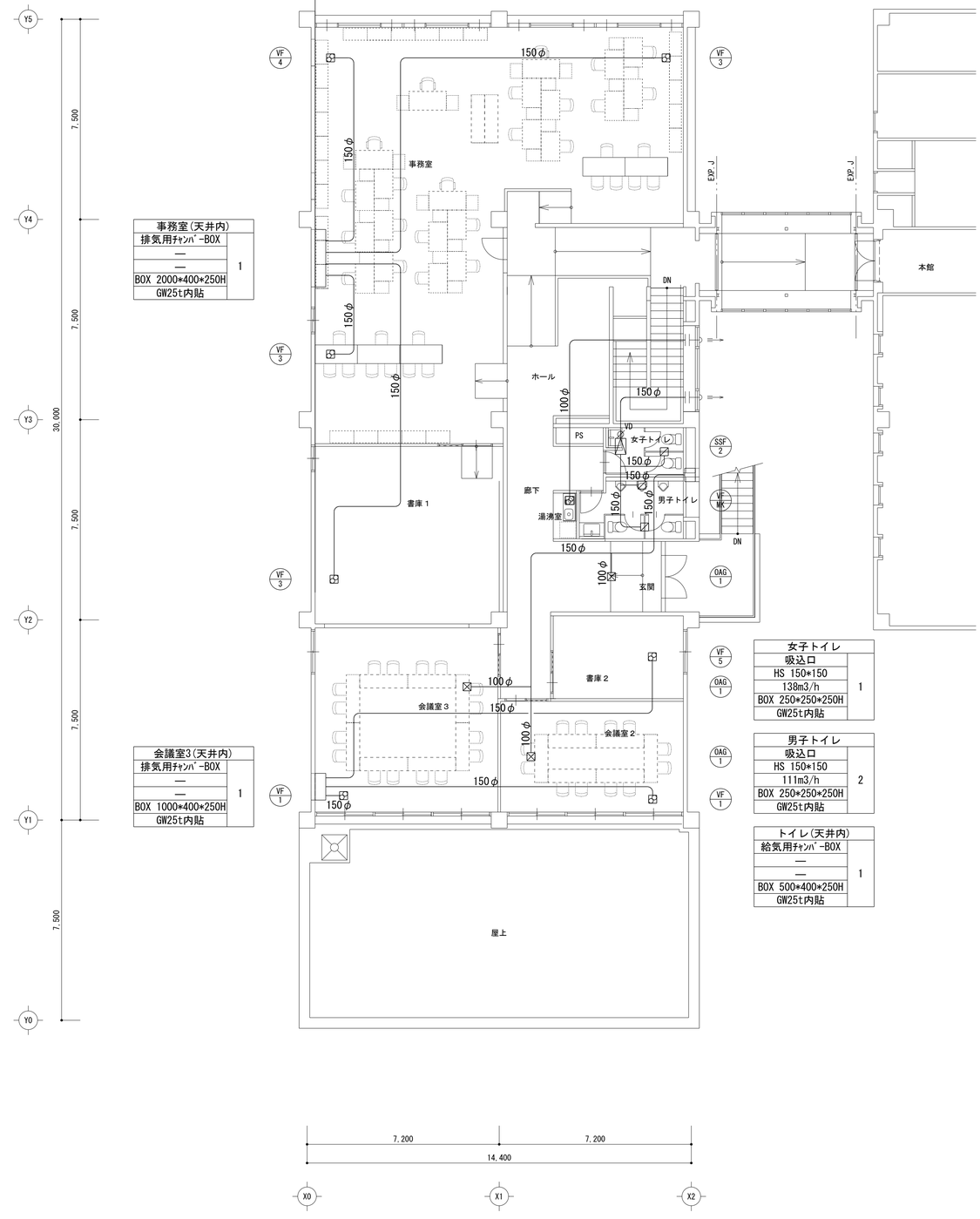
| 男子トイレ | |
|---|---|
| 吸込口 | 2 |
| HS 150*150 | |
| 111m3/h | |
| BOX 250*250*250H | |
| GW25t内貼 | |

| 多機能トイレ | |
|---|---|
| 吸込口 | 1 |
| HS 150*150 | |
| 111m3/h | |
| BOX 250*250*250H | |
| GW25t内貼 | |

| トイレ(天井内) | |
|---|---|
| 給気用ﾁｬﾝﾊﾞｰBOX | 1 |
| — | |
| — | |
| BOX 500*400*250H | |
| GW25t内貼 | |

| トイレ(天井内) | |
|---|---|
| 排気用ﾁｬﾝﾊﾞｰBOX | 2 |
| — | |
| — | |
| BOX 500*400*250H | |
| GW25t内貼 | |

1階平面図




| 事務室(天井内) | |
|---|---|
| 排気用ﾁｬﾝﾊﾞｰBOX | 1 |
| — | |
| — | |
| BOX 2000*400*250H | |
| GW25t内貼 | |

| 会議室3(天井内) | |
|---|---|
| 排気用ﾁｬﾝﾊﾞｰBOX | 1 |
| — | |
| — | |
| BOX 1000*400*250H | |
| GW25t内貼 | |

| 女子トイレ | |
|---|---|
| 吸込口 | 1 |
| HS 150*150 | |
| 138m3/h | |
| BOX 250*250*250H | |
| GW25t内貼 | |

| 男子トイレ | |
|---|---|
| 吸込口 | 2 |
| HS 150*150 | |
| 111m3/h | |
| BOX 250*250*250H | |
| GW25t内貼 | |

| トイレ(天井内) | |
|---|---|
| 給気用ﾁｬﾝﾊﾞｰBOX | 1 |
| — | |
| — | |
| BOX 500*400*250H | |
| GW25t内貼 | |

2階平面図

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 坂橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称<br>竜王町総合庁舎別館改修工事 | No.<br>M－１２ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名<br>換気設備　１・２階平面図(改修) | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |

## 空調換気設備　機器表

| 記号 | 機器名称 | 機器特性・性能 | 電気特性 消費電力 | 台数 | 設置場所・備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 新設 | | | | | |
| MAC 335 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室外機　ハイグレードモデル | 3φ200V | 1 | ２階　屋上 |
| | | 冷房能力：33.5kW　暖房能力：37.5kW | 冷房10.00kW | | 基礎は建築工事 |
| | | 付属品：室外機防振架台、室外機転倒防止金具、他一式 | 暖房 9.63kW | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：RXUP335FC(ダイキン) | | | |
| MAC 450 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室外機　ハイグレードモデル | 3φ200V | 1 | ２階　屋上 |
| | | 冷房能力：45.0kW　暖房能力：50.0kW | 冷房13.00kW | | 基礎は建築工事 |
| | | 付属品：室外機防振架台、室外機転倒防止金具、他一式 | 暖房12.10kW | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：RXUP450FC(ダイキン) | | | |
| MAC 670 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室外機　ハイグレードモデル | 3φ200V | 1 | ２階　屋上 |
| | | 冷房能力：67.0kW　暖房能力：77.5kW | 冷房20.00kW | | 基礎は建築工事 |
| | | 付属品：室外機防振架台、室外機転倒防止金具、他一式 | 暖房20.60kW | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：RXUP670FC(ダイキン) | | | |
| MAC 45-4 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | １２ | １階　事務室×４ |
| | | 冷房能力：4.5kW　暖房能力：5.0kW | 冷房0.047kW | | ホール×２ |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | 暖房0.034kW | | ２階　事務室×６ |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：FXYFP45NB(ダイキン) | | | |
| MAC 56-4 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 1 | １階　監視室 |
| | | 冷房能力：5.6kW　暖房能力：6.3kW | 冷房0.052kW | | |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | 暖房0.038kW | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：FXYFP56NB(ダイキン) | | | |
| MAC 71-4 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 3 | ２階　ホール |
| | | 冷房能力：7.1kW　暖房能力：8.0kW | 冷房0.072kW | | 廊下 |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | 暖房0.068kW | | 書庫２ |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：FXYFP71NB(ダイキン) | | | |
| MAC 90-4 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 3 | １階　男子更衣室 |
| | | 冷房能力：9.0kW　暖房能力：10.0kW | 冷房0.128kW | | ２階　会議室３×２ |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | 暖房0.110kW | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：FXYFP90NB(ダイキン) | | | |
| MAC 140-4 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 2 | ２階　書庫１ |
| | | 冷房能力：14.0kW　暖房能力：16.0kW | 冷房0.209kW | | 会議室２ |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | 暖房0.200kW | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：FXYFP140NB(ダイキン) | | | |
| | コントローラー | ＯＮ／ＯＦＦコントローラー | 1φ100V | 4 | １階　事務室×２ |
| | | 室内ユニットの一括／個別での運転・停止管理。 | | | ２階　事務室×２ |
| | | 再使用する空調機(ACP)も組み込んで集中制御するものとする。 | | | |
| | | 電源供給は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：DSC301B1(ダイキン) | | | |
| | コントローラー | 空調集中管理コントローラー | 1φ100V | 1 | 本館２階　総務課 |
| | | スケジュール制御、個別・ゾーン・一括の運転・停止、温度・風量・風向管理。 | | | |
| | | 再使用する空調機(ACP)も組み込んで集中制御するものとする。 | | | |
| | | 電源供給は電気工事、納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：DCL401B1(ダイキン) | | | |
| ACP 71-4 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 4 | １階　事務室 |
| | | 冷房能力：7.1kW　暖房能力：8.0kW | 冷房0.072kW | | |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | 暖房0.068kW | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：FXYFP71NB(ダイキン) | | | |
| ACP 80-4 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 1 | １階　会議室１ |
| | | 冷房能力：8.0kW　暖房能力：9.0kW | 冷房0.128kW | | |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | 暖房0.110kW | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：FXYFP80NB(ダイキン) | | | |
| ACP 90-4 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 2 | ２階　事務室 |
| | | 冷房能力：9.0kW　暖房能力：10.0kW | 冷房0.128kW | | |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | 暖房0.110kW | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・納入取付は本工事とする。 | | | |
| | | 参考品番：FXYFP90NB(ダイキン) | | | |
| | 防　振　架　台 | ACP-224用(既設室外機一時撤去再取付) | — | 1 | ２階　屋上 |
| | | 付属品：室外機転倒防止金具、他一式 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |
| | 防　振　架　台 | ACP-335用(既設室外機一時撤去再取付) | — | 1 | ２階　屋上 |
| | | 付属品：室外機転倒防止金具、他一式 | | | |
| | | 参考品番：— | | | |

## 空調換気設備　機器表

| 記号 | 機器名称 | 機器特性・性能 | 電気特性 消費電力 | 台数 | 設置場所・備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一時撤去再取付 | | | | | |
| ACP 224 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室外機　ハイグレードモデル | 3φ200V | 1 | ２階　屋上 |
| | | 冷房能力：22.4kW　暖房能力：25.0kW | 冷房 5.44kW | | 基礎は建築工事 |
| | | 付属品：— | 暖房 5.64kW | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・撤去取付は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：RXUP224CA(ダイキン) | | | |
| ACP 335 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室外機　ハイグレードモデル | 3φ200V | 1 | ２階　屋上 |
| | | 冷房能力：33.5kW　暖房能力：37.5kW | 冷房 8.69kW | | 基礎は建築工事 |
| | | 付属品：— | 暖房 9.11kW | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・撤去取付は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：RXUP335CA(ダイキン) | | | |
| | | 既設室外機の一時撤去再取付で必要となるフロンの充填も本工事とする。 | | | |
| 撤去 | | | | | |
| AC 22 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　壁掛形 | 1φ100V | 2 | １階　小休憩 |
| | | 冷房能力：2.2kW　暖房能力：2.5kW | | | ２階　休憩室 |
| | | 付属品：室外機架台、リモコン(配線配管とも)、パネル、フィルター、固定金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源撤去は電気工事、リモコン配線配管・撤去は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：R22RFXS(ダイキン) | | | |
| AC 28 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　壁掛形 | 1φ100V | 1 | １階　監視室 |
| | | 冷房能力：2.8kW　暖房能力：3.2kW | | | |
| | | 付属品：室外機架台、リモコン(配線配管とも)、パネル、フィルター、固定金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源撤去は電気工事、リモコン配線配管・撤去は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：SRC28TP(三菱重工) | | | |
| AC 71 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　壁掛形 | 3φ200V | 4 | ２階　職員厚生室 |
| | | 冷房能力：7.1kW　暖房能力：8.0kW | | | ２０６会議室×３ |
| | | 付属品：室外機架台、リモコン(配線配管とも)、パネル、フィルター、固定金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源撤去は電気工事、リモコン配線配管・撤去は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：FDCVP802HB(三菱重工) | | | |
| | | FDCXP803HAG(三菱重工)×３ | | | |
| | | SPW-CEP80B1(サンヨー) | | | |
| AC 100 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　床置形 | 3φ200V | 1 | ２階　機械室 |
| | | 冷房能力：10.0kW　暖房能力：11.2kW | | | |
| | | 付属品：室外機架台、リモコン(配線配管とも)、パネル、フィルター、固定金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源撤去は電気工事、リモコン配線配管・撤去は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：FDCVP1121H(三菱重工) | | | |
| AC 250 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　床置形 | 3φ200V | 1 | １階　食堂 |
| | | 冷房能力：25.0kW　暖房能力：28.0kW | | | |
| | | 付属品：室外機架台、リモコン(配線配管とも)、パネル、フィルター、固定金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源撤去は電気工事、リモコン配線配管・撤去は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：FDCVP2803HG(三菱重工) | | | |
| ACP 45 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 1 | ２階　音調室 |
| | | 冷房能力：4.5kW　暖房能力：5.0kW | | | |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・撤去取付は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：FXYFP45MD(ダイキン) | | | |
| ACP 71 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 1 | ２階　スタジオ |
| | | 冷房能力：7.1kW　暖房能力：8.0kW | | | |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・撤去取付は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：FXYFP71MD(ダイキン) | | | |
| ACP 80 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 2 | ２階　事務室 |
| | | 冷房能力：8.0kW　暖房能力：9.0kW | | | |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | | | |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・撤去取付は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：FXYFP80MD(ダイキン) | | | |
| ACP 90 | 空　調　機 | 空冷式ヒートポンプエアコン　室内機　天井埋込カセット形全周吹出 | 1φ200V | 3 | １階　１０４会議室 |
| | | 冷房能力：9.0kW　暖房能力：10.0kW | | | １０５会議室 |
| | | 付属品：ワイヤードリモコン(配線配管とも)、天井パネル、フィルター、ドレンアップ | | | ２階　会議室 |
| | | キット、防振吊金物、他一式 | | | |
| | | 空調機への電源供給は電気工事、リモコン配線配管・撤去取付は本工事とする。 | | | |
| | | 品番：FXYFP90MD(ダイキン) | | | |


株式会社　丸山建築事務所
一級建築士事務所登録第レ39号

板橋　晶一
一級建築士登録　第213806号


| | | | |
|---|---|---|---|
| 構造設計 | 一級建築士登録 大臣（　） | 構造設計 一級建築士登録 交付番号（　） | |
| 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録 大臣（　） | 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　） | |

名称　竜王町総合庁舎別館改修工事

図名　空調設備　機器表（新設・一時撤去再取付・撤去）

No.　Ｍ－１３

縮尺　A1：—　A3：—

N

食堂
厨房
廊下
104会議室
105会議室
踏込
押入
MWC
WWC
PS
給湯室
物入
和室6帖
小休憩
監視室
ボイラ室
機械室
本館
UP
[一時撤去] ACP 224
[一時撤去] ACP 335
AC 250
AC 100
AC 28
ACP 90
ACP 30

206会議室
職員厚生室
廊下
渡廊下
本館
EXP. J
機械室
スタジオ
音調室
湯沸室
休憩室
玄関
更衣室
事務室
会議室
PC
DN
ACP 71
ACP 45
ACP 80
AC 22
屋上

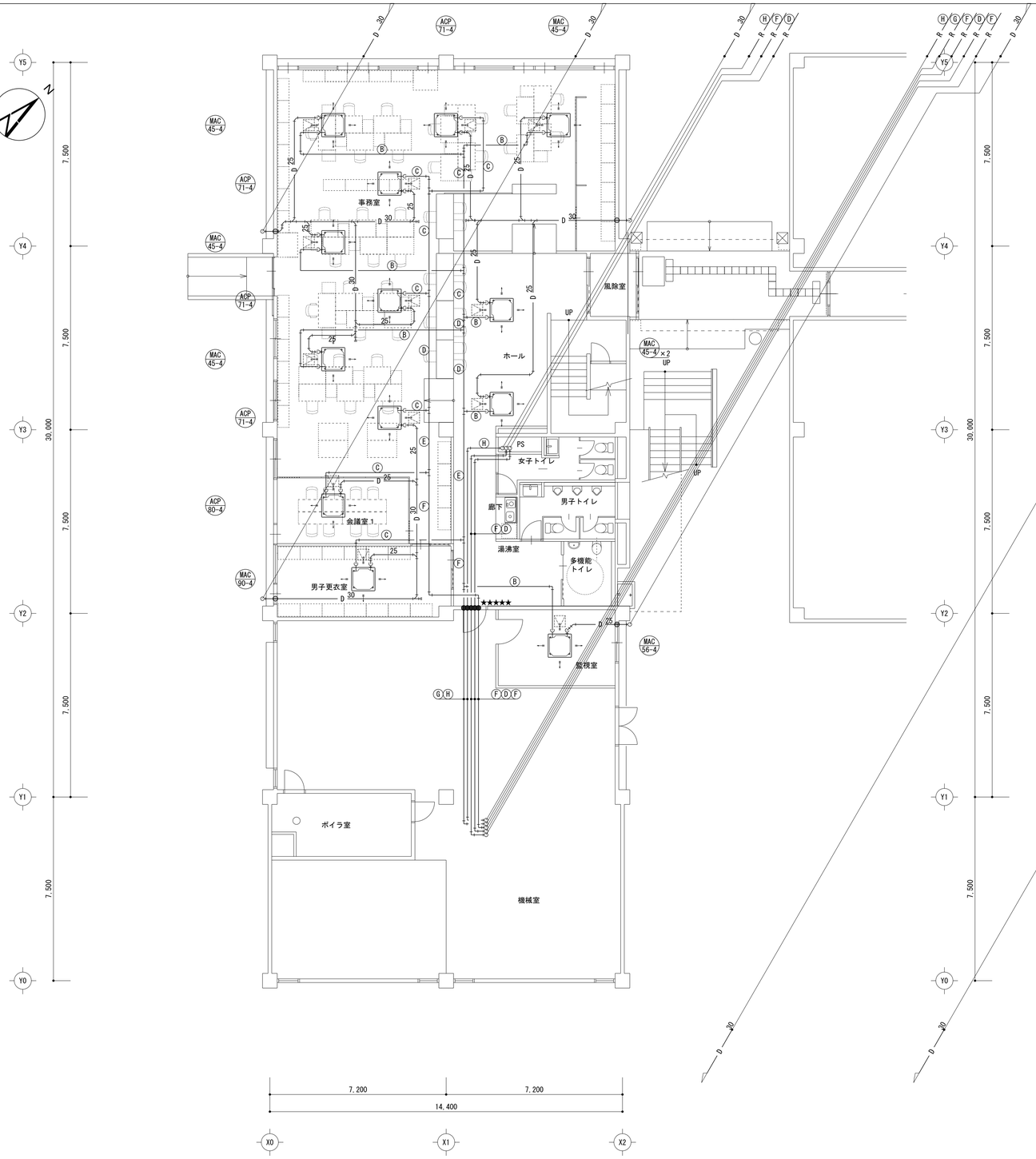
| 冷媒管サイズ | |
|---|---|
| 記号 | 液　管／ガス管 |
| Ⓐ | 6.4φ／ 9.5φ |
| Ⓑ | 6.4φ／12.7φ |
| Ⓒ | 9.5φ／15.9φ |
| Ⓓ | 9.5φ／19.1φ |
| Ⓔ | 9.5φ／22.2φ |
| Ⓕ | 12.7φ／25.4φ |
| Ⓖ | 12.7φ／28.6φ |
| Ⓗ | 15.9φ／28.6φ |
| | 天井点検口(建築工事) |

撤去範囲(本工事)

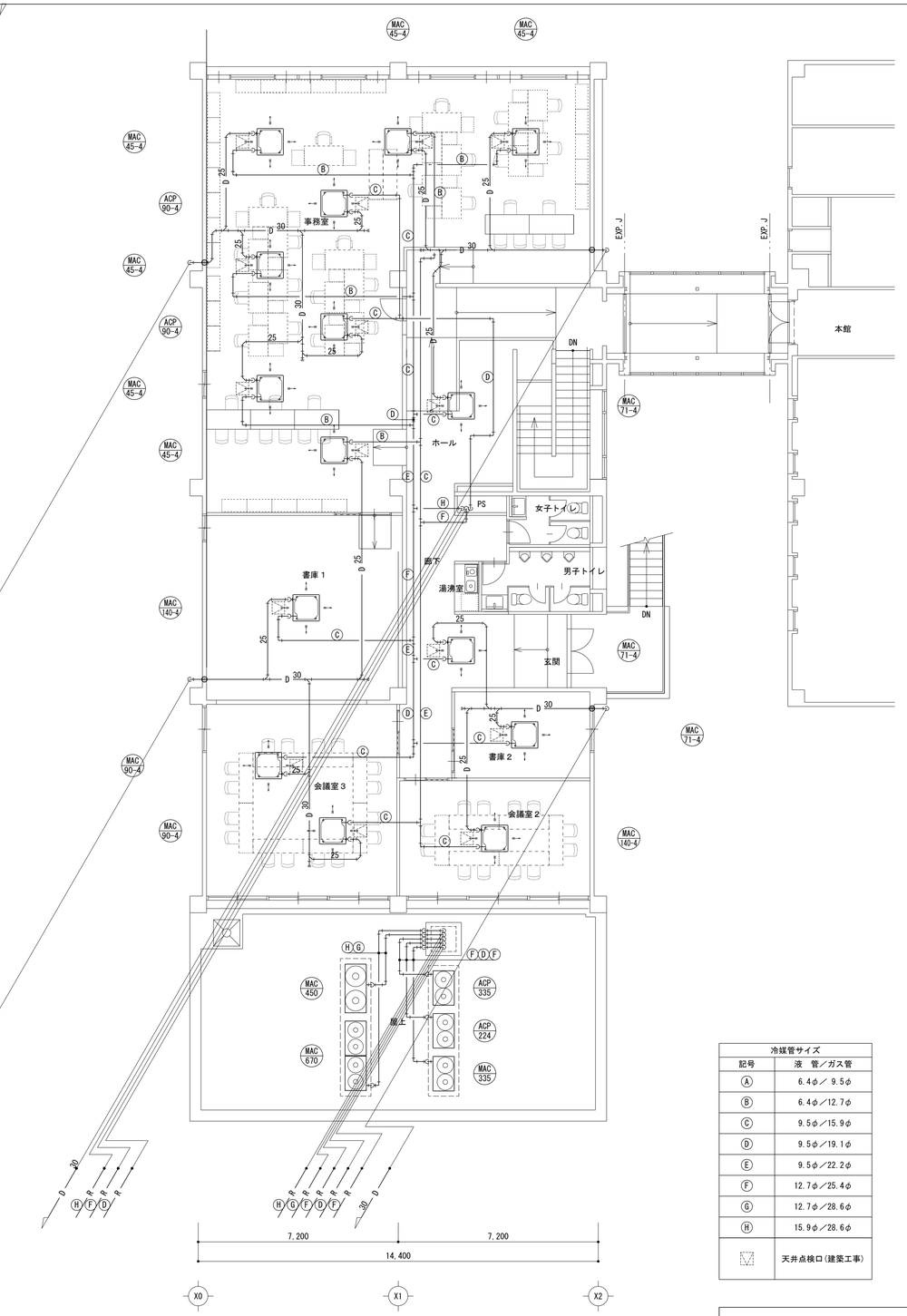
1階平面図

2階平面図

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 設計年月日 令和　3　年　　月 | 株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第タ39号 | 板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号 | | 構造設計 | 一級建築士登録 大臣（　　） | 構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　） | 名称 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. M－14 |
| | | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録 大臣（　　） | 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　） | 図名 空調設備　1・2階平面図(現況) | 縮尺 A1：1/100 A3：1/200 |




1階平面図



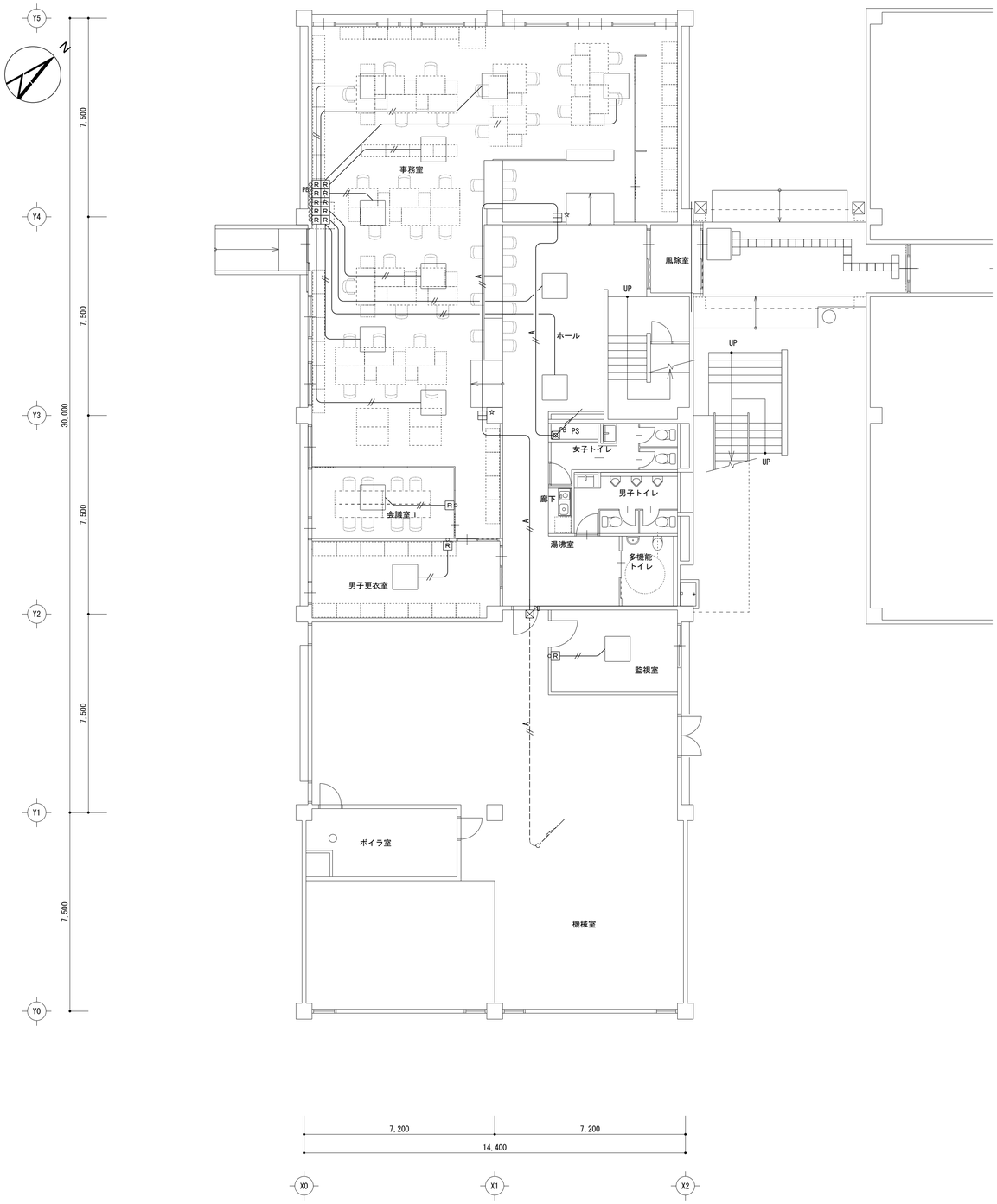

2階平面図

| 冷媒管サイズ | |
|---|---|
| 記号 | 液　管／ガス管 |
| Ⓐ | 6.4φ／ 9.5φ |
| Ⓑ | 6.4φ／12.7φ |
| Ⓒ | 9.5φ／15.9φ |
| Ⓓ | 9.5φ／19.1φ |
| Ⓔ | 9.5φ／22.2φ |
| Ⓕ | 12.7φ／25.4φ |
| Ⓖ | 12.7φ／28.6φ |
| Ⓗ | 15.9φ／28.6φ |
| | 天井点検口(建築工事) |

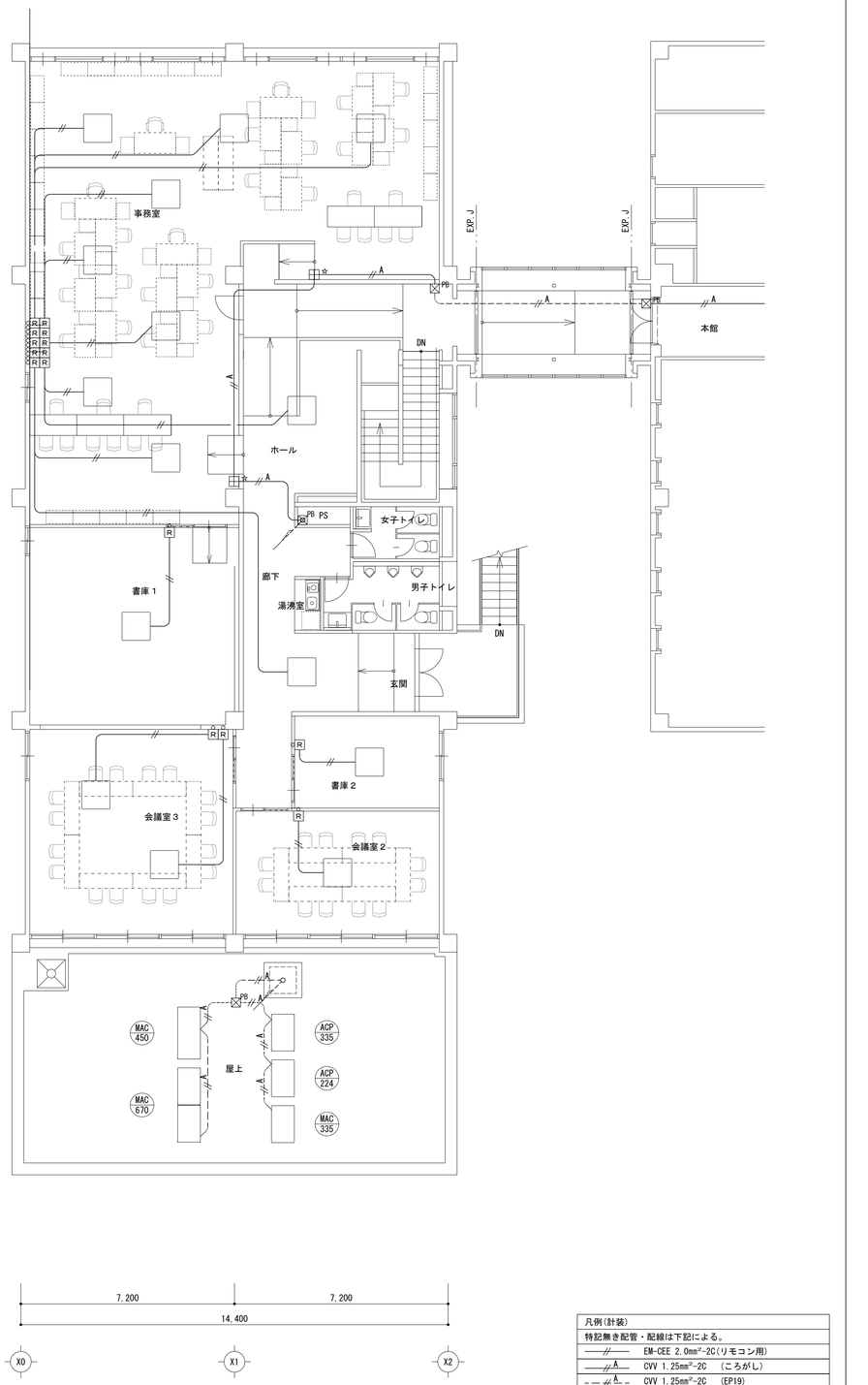
●★ ：区画貫通処理(冷媒管)
国土交通大臣認定番号
PS060WL-0777 IRC-100NX同等
コア貫通100φ含む

◎ ：コア貫通100φ(補修含む)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. | M－１５ |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | | 図名 | 空調設備　１・２階平面図(改修) | 縮尺 | A1：1/100<br>A3：1/200 |




1階平面図




2階平面図

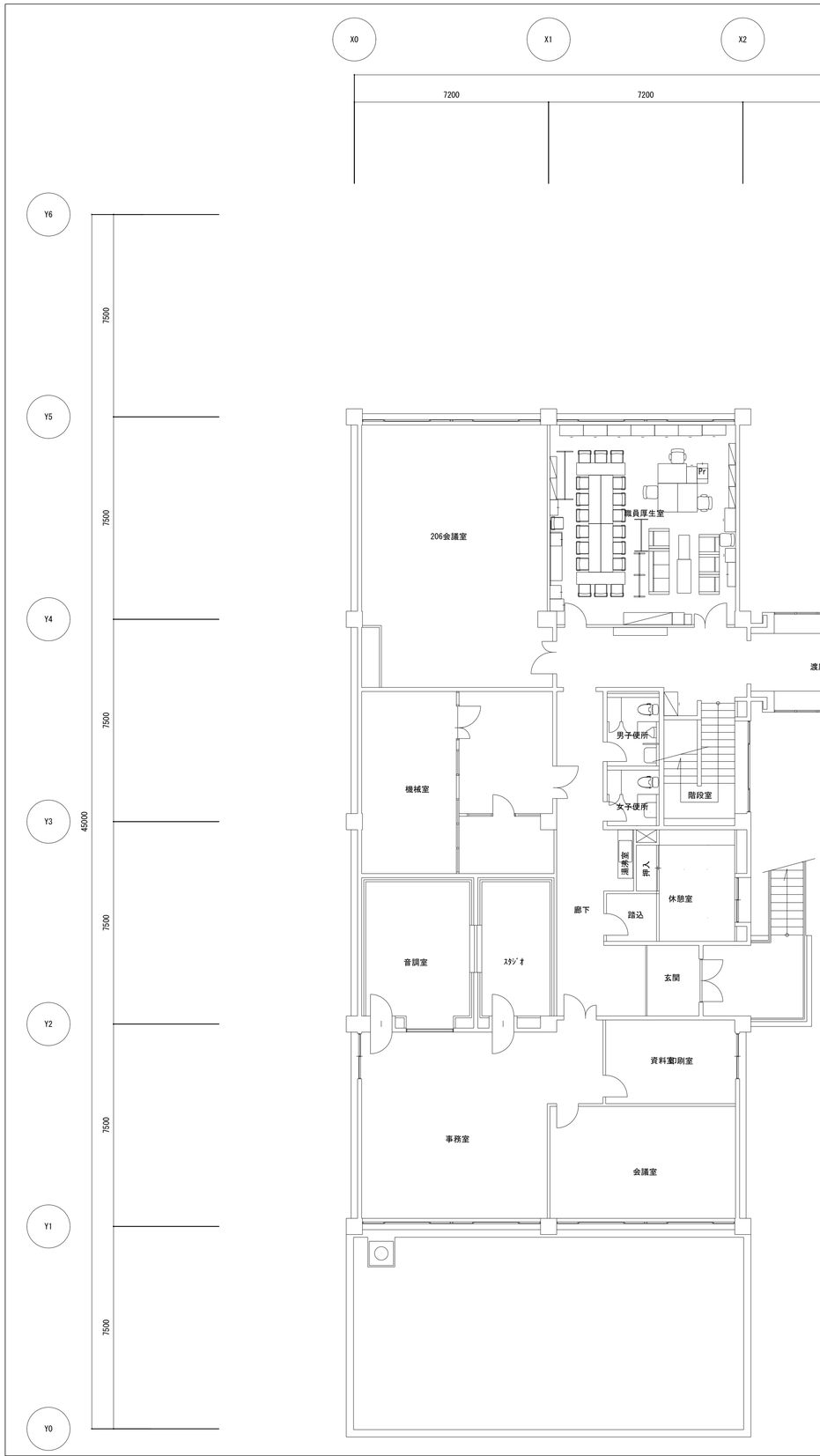
凡例(計装)

特記無き配管・配線は下記による。

| | |
|---|---|
| ———// | EM-CEE 2.0mm²-2C(リモコン用) |
| ———//A | CVV 1.25mm²-2C (ころがし) |
| - - -//A- | CVV 1.25mm²-2C (EP19) |

| 記号 | 名称 |
|---|---|
| ——— | 天井内ころがし配線 |
| - - - - - | 露出配管 |
| ○ | 金属線ぴ(MMA) |
| | |
| R | 空調機用リモコン(BOX共) FL+1,500 |
| ☆ | ON-OFFコントローラー(BOX共) FL+1,500 |
| ★ | 集中コントローラー(BOX共) FL+1,500 |
| PB | プルボックス 200x200x100 SUS WP |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社 丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 坂橋 晶一<br>一級建築士登録 第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. | M－16 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（ ） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（ ） | | 図名 | 空調設備 1・2階平面図(計装改修) | 縮尺 | A1：1/100<br>A3：1/200 |




| 凡例(計装) | |
|---|---|
| 特記無き配管・配線は下記による。 | |
| ——//—— | EM-CEE 2.0mm²-2C(リモコン用) |
| ——//ᴬ—— | CVV 1.25mm²-2C (ころがし) |
| - -//ᴬ- - | CVV 1.25mm²-2C (EP19) |
| | |
| | |

| 記号 | 名　　称 |
|---|---|
| ———— | 天井内ころがし配線 |
| - - - - - - | 露出配管 |
| | 金属線び(MMA) |
| | |
| R | 空調機用リモコン(BOX共)　FL+1,500 |
| ☆ | ON-OFFコントローラー(BOX共)　FL+1,500 |
| ★ | 集中コントローラー(BOX共)　FL+1,500 |
| PB | プルボックス　200x200x100 SUS WP |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社　丸山建築事務所<br>一級建築士事務所登録第レ39号 | 板橋　晶一<br>一級建築士登録　第213806号 | | | 構造設計 | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 名称 | 竜王町総合庁舎別館改修工事 | No. M－17 |
| | | | | 構造/設備関係規定への法適合を確認した | 一級建築士登録<br>大臣（　　） | 構造設計/設備設計<br>一級建築士登録<br>交付番号（　　） | 図名 | 空調設備　２階全体平面図(計装改修) | 縮尺<br>A1：1/100<br>A3：1/200 |